

民俗事例の窓　—自治体は民俗をどのように描いてきたのか—

斎 藤 修 平

はじめに

どこの資料館にあっても博物館にあっても寄贈されてくる報告資料の整理・管理はなかなか大変なものである。県立さきたま資料館にあっても資料図書室はすでに手狭となっており、寄贈された報告書類の整理に日々追われているのが現状である。また、整理された報告書類はどこに収納していくのかも頭痛の種となっている。本年度に入って図書室内部を整理する機会があり、県内市町村から寄贈された民俗関係の報告書類の書架を特定し整理することになった。そのおりに架蔵の文献整理を思い立ち、さらには索引がわりとなるようにそれぞれの「章立て」を一括してまとめてみようと思いついたのである。整理をしていくと、県内の市町村が刊行してきた民俗関係の報告書類は思ったほど十全には収蔵されていないこともわかり、今後の収集の課題であることも判明してきた。本報告は、これまでに県内の市町村が刊行した民俗関係図書類の確認と整理のための一歩ということで、次年度の紀要にも紙幅の関係などで落としてしまったところを掲載して市町村刊行の民俗資料報告書の章立て集成を目指していこうと考えている。

それともう一つ、筆者は表題に示した通りのことだが、県内の市町村が民俗をどういうふうに描いて来たのかという課題を設定している。各自治体の調査グループは民俗らしきものの中から、どういう手続きを経て特定の項目を「民俗」と認定し、それを調査対象化して記述していったのかという問題を考えたいということである。章立てには、あきらかにそれぞれの地域の民俗をどのように考えた上で、それを把握しようと努めたかという調査者（自治体）の政治的な思考の痕跡がある。したがって章立ての変遷なども、それはとりもなおさず調査者（自治体）とフィールドとの関係性の変化を示すものだから、今後も民俗編などを発行していない、いわば未調査の自治体にとっては、『民俗編』というものは、いったいどういう思想の下で仕上げられていった本であり、そこにはどのような陥穀があるのか、といった点で参考になることが多いと思っている。自治体の民俗調査は通常は市町村史編纂事業という傘下に入って「いまやらなきゃ、間に合わない」といういわば乗り遅れを心配し、時間ぎれの脅迫観念の下で開始され、短期間で終了することが多い。そして、これこそ我が町の民俗という名の下で、選択された項目に対して集中的な調査が行われ、それぞれの「市町村の民俗」として記述されていくことになっている。自覚的であっても、無自覚であっても、ともあれ自治体が民俗をどのように表象してきたのかを明らかにしていければ、と思っている。

とにかく、章立て資料として、ここでは36市町村の39例をまづ紹介してある。かなり字が小さいけれど、ざっとでも一見すれば、誰が、どのようにな場所から、どのような手段を講じてこのように見事に基準化された章立てを市町村の民俗調査報告を、問うてみる気分になるはづである。そして、そういう問いは、もういくらも残っていない「民俗編未刊行」地域の民俗調査と資料刊行を考えていく上で重要なことだと思っている。近年、物凄いスピードで積み上げられてきた民俗資料群に接近する窓口として章立てを提示しながら、民俗という分野の自明性を一度は振り返っていくことも大切なのはと思ったしたいである。民俗編の編纂のための章立ては、「こうじやなきゃいけない」というものではないだろうし、現在、市町村の民俗資料刊行のために調査に従事されている調査員の方々も今一度、どのような姿勢で民俗と係わっていくことがいいのか反芻してみることも大事かもしれない、と思うのである。

資料001 『上尾の民俗 I』

(上尾市文化財調査報告 第三十七集)

平成1年12月

目 次

第一章 社会生活

1 小泉の社会生活	1
2 領家の社会生活	6
3 平方の社会生活	
(1) 平方の概観・(2) 平方の上宿社会生活	13
(3) 平方新田の社会生活	15

第二章 生産・生業

1 平方上宿1家の農業・(1) 農業経営	21
(2) 麦 作	22
(3) 陸 稲・(4) さつまいも	25
(5) その他の作物	27
2 藤波H家の農業・(1) 農業経営	28
(2) 麦 作	30
(3) 摘 田	33
(4) さつまいも	36
(5) その他の作物	39
3 小敷谷F家の農業・(1) 農業経営	40
(2) 麦 作	42
(3) 摘 田	45
(4) 陸 稲	48
(5) さつまいも	49
(6) その他の作物	52
4 農業・補遺・(1) 農業経営	55
(2) 麦	56
(3) 摘田・陸稻	56
(4) その他の作物・副業	56
5 養 蚕・(1) 平方上宿N家の事例	57
(2) 中分Y家の事例	59
6 漁撈・狩猟・(1) 荒沢沼と漁撈	61
(2) 荒沢沼周辺の漁法	62
(3) 荒沢沼周辺の魚の食べ方・出荷	64
(4) 荒川、入間川、屏風沼と漁撈	64
(5) 荒川、入間川、屏風沼の漁法	65
(6) 狩 猟	67

第三章 年中行事

1 平方上宿I家の年中行事	
(1) 概 観	68
(2) 正月行事	69
(3) 春から夏の行事	72
(4) 盆行事	75
(5) 秋から冬の行事	77
2 平方領領家O家の年中行事	
(1) 概 観・(2) 正月行事	79
(3) 春から夏の行事	82
(4) 盆行事	84
(5) 秋から冬の行事	86
3 小泉K家の年中行事・(1) 概 観	87
(2) 正月行事	88
(3) 春から夏の行事	91
(4) 盆行事	92
(5) 秋から冬の行事	94
4 藤波H家の年中行事・(1) 概 観	96
(2) 正月行事	97
(3) 春から夏の行事	102
(4) 盆行事	104
(5) 秋から冬の行事	107
5 小敷谷F家の年中行事・(1) 概 観	109
(2) 正月行事	110
(3) 春から夏の行事	114
(4) 盆行事	117
(5) 秋から冬の行事	120

6 年中行事・補遺・(1) 正月行事	122
(2) 春から夏の行事	130
(3) 盆行事	133
(4) 秋から冬の行事	138

第四章 人の人生

1 出産と育児・(1) 妊 娠	143
(2) 出 産	144
(3) 成長と祝い	147
2 婚 姻・(1) 縁 談	150
(2) 結 納・(3) 祝 言	151
3 葬 送・(1) 死と靈	153
(2) 葬 送	156
(3) 忌明け・年忌	162

第五章 信仰

1 ムラの神仏・(1) 小 泉	164
(2) 中 分	165
(3) 藤 波・(4) 井戸木	166
(5) 中 妻・(6) 沖の上	167
(7) 弁 財	168
(8) 小敷谷・(9) 小 林	169
(10) 畦 吉	170
(11) 領 家	171
(12) 平 方	172
(13) 上 野	174
(14) 平方領領家	175
(15) 上野本郷・(16) 貝 塚	176
2 ムラの祭り・(1) 小 泉	177
(2) 中 分	180
(3) 藤 波	182
(4) 井戸木	186
(5) 中 妻	187
(6) 沖の上	188
(7) 弁 財	189
(8) 小敷谷	190
(9) 小 林・(10) 畦 吉	191
(11) 領 家	193
(12) 平 方	196
(13) 上 野・(14) 平方領領家	204
(15) 上野本郷	206
(16) 貝 塚	207

3 イエの神

(1) 神棚・(2) 年神様・(3) 荒神様	209
(4) 恵比寿・大黒様	210
(5) 床の間・(6) その他の屋内神	211
(7) 屋敷神	212
(8) 領家地区のウジガミサマ	213

4 代参講と神参り

(1) 各地区的代参講の種類と組織	214
(2) 各講の実際	218
(3) 神参り	227

5 俗 信

(1) 予知・前兆	228
(2) 民間療法	230
(3) 災難除け・(4) 禁 忌	232

平成元年12月25日 発行

上 尾 市

資料002 『朝霞市史 民俗編』

平成7年3月

目 次

第一章 概 説

第一節 自然環境	3
第二節 朝霞市の略史	6
第三節 民俗の概観	8

第二章 社会生活・親族

第一節 社会生活	15	
1 社会生活に関わる出来事	16	
2 人口・世帯数の変遷	20	
3 近隣集団		
(1) 町内会		
<下内間木・上内間木・宮戸・田島・浜崎・岡・根岸 台・溝沼・膝折>	24	
(2) 組合・近所・講中		
<下内間木・上内間木・宮戸・田島・浜崎・岡・広沢・根岸台・溝沼・膝折>	49	
(3) 消防団	65	
4 生業集団		
(1) 農家組合(農業組合)	70	
(2) 水利組合	75	
(3) 出荷組合	76	
(4) モヤイ	77	
5 年齢・性別集団		
(1) 子どもの団体	78	
(2) 青年会	85	
(3) 老人会	100	
(4) 婦人の団体	103	
6 同信集団		
(1) 氏子集団	109	
(2) 檀家集団	111	
(3) ムラ内の講	112	
(4) 代参講	116	
第二節 親族		
1 親族呼称	120	
2 親族とつきあい関係		
(1) 下内間木<下内間木イッケ/親つきあい>	122	
(2) 上内間木	125	
(3) 宮戸<宮戸イッケ/親つきあい>	125	
(4) 田島<親つきあい>	127	
(5) 岡<岡イッケ>・(6) 根岸台<根岸台>	128	
第三章 生業		
第一節 農業	135	
1 耕地(田と畑)	138	
2 稲作		
(1) 用水<井戸の利用/河川の利用/灌水の利用>	139	
(2) 稲作の作業工程	143	
<タウナイ/クロツケ/シロカキ/エナマツクリ/タネマキ/タエウ/タクサトリ/ソウゴ ジマイ/カリレ/脱穀・乾燥・精耕・選別・俵詰め>		
(3) 湿田の稻作	148	
3 畑作		
(1) 畑地の土壤	152	
(2) 作物の種類の変化	152	
(3) 畑作の作業工程	155	
(4) 麦作<イガツミ タネマキ サッキリ 麦刈り 脱穀・調整>	157	
(5) 陸稻	159	
(6) 根菜類	160	
①ニンジン<日本種 洋種>	160	
②ゴボウ<作業工程 バウリ>	162	
③ダイコン<作業工程>	163	
(7) 芽類	164	
①サトイモ ②サツマイモ	165	
(8) 葉物類	167	
4 肥料<下肥 ツクテ キンピ エグミ>	168	
5 作物の保存・出荷		
(1) ムロ(ムロホリ)	171	
(2) 運搬<水路・陸路>	172	
(3) 市場	174	
6 農具と機械化	175	
第二節 漁撈	179	
1 漁撈の対象となる場	180	
2 魚の種類		
(1) 川でとれるもの	181	
(2) 池でとれるもの	182	
3 漁法の種類	183	
(1) 網漁法<矢矢アミ/マチアミ/サギリ/セバリ/トアミ/ヨツデ>	183	
(2) 釣(竿)漁法<オキアリ/トビツキ/ナガラ>	185	
(3) 突刺漁法	187	
(5) その他の雑漁法	188	
第三節 狩猟		
1 網狩猟	<カスミアミ/オトリ/カモアミ> 190	
2 犬狩猟	<ワク/ハコナ/トラ> 192	
3 その他の雑狩猟	<サギトリ/トリモチ> 193	
第四節 諸職	194	
1 竹屋<竹材の種類と利用法/竹山の管理/作業工程/出荷/修業と生活>	195	
2 簾屋<製品の種類/材料/製作工程/出荷>	200	
3 井戸屋	(1) 挖抜き井戸<作業工程/生活と信仰> 204	
	(2) 丸井戸<作業工程/ポンプ井戸/井戸蓋え/生活と信仰> 207	
4 車屋	(1) 水車<水車の用途/水車の製作> 210	
	(2) 春屋・粉屋 213	
5 針金屋(伸銅業)		
	(1) 伸銅の歴史 214	
	(2) 材料 215	
	(3) 製品 216	
	(4) 製作工程<伸銅に関わる職人/技術の変化> 217	
	(5) 制作工程<ジアワセ/ホド/ツボ/ユ/電気炉/カタハツクリ/ヌカガタ/ユコレ/メホド/庄庭/ドツツキ/キオトシ/カワムキ/シゲ> 218	
(6) 経営	224	
(7) 生活と信仰	226	
6 菓子屋	227	
	(1) 膜折の菓子屋<製品/販売/平林寺の出入敷> 228	
	(2) 停車場通り菓子屋	
	<製品/材料/販売/菓子作り修業と生活> 230	
第五節 商業	234	
1 家畜商	<馬と牛/馬鹿/市/飼育> 235	
2 吳服屋	<商品の種類/仕入れ/販売方法/仕立てと染直し/信仰> 239	
3 八百屋		
	(1) 膜折の八百屋<仕事の種類/生活> 242	
	(2) 停車場通りの八百屋<卸と小売/市場/生活> 244	
4 魚屋	<商品/東莞と小売/市場/仕出し/技術/生活> 246	
5 旅館		
	(1) 膜折宿の商人宿<宿泊客/部屋と料理/信仰> 249	
	(2) 駅前の割烹旅館<客/部屋と料理> 251	
第六節 勤め人の登場		
—ゴルフ場・被服廠で働いた人々—		
1 ゴルフ場で働いた人々	253	
	(1) 朝霞ゴルフ場の開場と閉場 254	
	(2) キャディーの仕事 254	
2 被服で働いた人々		
	(1) 被服廠の朝霞移転 256	
	(2) 被服廠の組織 (3) 仕事と生活 257	
	(4) 徹用工の生活 260	
	(5) 「営団」の誕生 261	
第四章 衣生活		
第一節 仕事着		
1 野良着 (1) 男性の野良着	267	
	(2) 女性の野良着<着物/腰まき/股引き/足と手/モンペ> 269	
	(3) 仕事着の行商 272	
2 職人の仕事着	<井戸屋/竹屋/廉屋/籠屋/桶屋/下駄屋/屋根屋/伸銅工場の職人/鍛冶屋/菓子屋/醤油屋/髪結> 272	
3 仕事着の袖<筒袖/ムキヤ袖/なぎなた袖>	276	
第二節 普段着	278	
1 大人の普段着	(1) 毎日の着物 278	
	(2) 着物の四季<袷から単衣へ/単衣から袷へ> 279	
2 子供の普段着		
	(1) 学校での服装<男児/女児/通学の服装> 280	
	(2) 体操の時の服装 282	
第三節 よそゆきと晴れ着		
1 よそゆき<女によそゆき/男のよそゆき>	284	
2 晴れ着		
	(1) 子供の成長と着物	
	<生まれた時の着物/お七夜/養育/お宮参り/誕生日/七五三> 286	

(2) 祝儀の着物 <花嫁衣裳/お色直し/新客の衣裳/里帰り/もんべ姿の花嫁/貸衣裳>	289
(3) 年祝いの着物	293
(4) 葬式の着物<死者の着物 喪服 アキヨメ>	293
第四節 染・織と裁縫	
1 染めと織り<養蚕/染め/織り>	296
2 裁縫所	297
3 洗い張り<糊/張り方/干し方>	299
4 作り直し・つくろい	301
第五節 かぶりもの、雨具、はきもの	305
1 かぶりもの<ちりく頭巾>	305
2 雨具<蓑/キモザ/ショイタ/傘>	307
3 はきもの	
(1) 野良仕事用<わらじ/わらぞうり/地下足袋/田んぼの長靴>	310
(2) 日常用一下駄<駄下駄/日和下駄/子供の下駄/鼻緒/修理>	312
(3) 雨の日用	313
(4) 足袋・靴下	314
第六節 寝具	
1 布団	316
(1) 敷布団<敷布団の作り方/綿の入れ方/布団地/敷布>	317
(2) 掛布団<額布団の作り方/布団の襟/更掛け>	320
(3) かいまき<毛布>	322
2 ねまき	323
3 枕	324
4 蚊帳	325
第七節 髪と美容	
1 髪	
(1) 髮型<オケシ/髪型坊主/坊主/若い衆刈り/女の子の髪型/理髪/女人の髪型>	326
(2) 髮結<出巻結>	330
2 美容<歯磨き/化粧/洗髪/風呂>	332
第八節 衣服の管理、保存	
1 洗濯 <石鹼>	335
2 虫干し	336
3 収納	337
第五章 食生活	
第一節 食制	
(1) 呼称と回数<朝食/昼食/夕食/休み>	343
(2) 食事の作法	344
(3) 食事の場所	345
第二節 毎日の食事	348
1 主食	
(1) ご飯<ご飯の炊き方/人参ご飯の作り方/足らず米/すいとん>	348
(2) うどん	351
(3) そば	352
(4) 雑炊	353
2 副食(おかず)<納豆/豆腐/野菜のおかず/魚介類のおかず>	354
3 汁 <味噌汁/すまし/醤油汁>	356
4 一日の食事	
(1) 田島地区・新井家の一日の食事	359
(2) 宮戸地区・高橋家の一日の食事	361
5 間食	362
第三節 ハレの日の食事	
1 年中行事の食事	364
(1) 正月<正月の準備/餅つき/三が日の食事/雑煮/セチ/オオバソノ七草/歳開き/小正月/恵比寿講>	365
(2) 春の行事<節分/初牛/ひなまつり/彼岸/端午の節句>	378
(3) 夏から冬の行事<土用餅/セチ/盆/十三日・迎え盆/十四日/十五日・送り盆/十六日/二十四日/十五夜・十三夜/十日夜/荒神様/冬至/星祭り>	385
2 人の一生と食事	392
(1) 妊娠と出産の食事 <妊娠の食事/産後の食事/妊娠・出産の禁忌>	392
(2) 子供の成長と食事 <出生/お七夜/お食い初め/初節句/誕生日>	394
(3) 祝儀の食事<見合い/結婚式>	396
(4) 葬式の食事<枕だんご/一休飯/初七日・四十九日>	397
3 ハレの日の変わりもの<餅/ぼた餅/赤飯/小豆飯/粥/団子/まんじゅう/うどん・そば/まぜご飯/けんちん汁>	398
第四節 保存食	
1 潰物	
(1) 春から夏の漬物<ぬか漬け>	403
(2) 夏の漬物<梅干し/らっきょう漬け/塩漬け/味噌漬け>	404
(3) 秋の漬物<たくあん漬け>	407
(4) 冬の漬物<白菜漬け>	408
2 干し物<切り干し大根(きりぼし)/ずいき(芋柄)>	410
第五節 調味料と嗜好品	
1 調味料<味噌/味噌こし/醤油/塩/砂糖/油/酢>	412
2 嗜好品	
(1) お茶 <茶摘み/製茶/ふかし/火おこし/青ごろし/手もみ/火入れ/保存>	416
(2) 酒<酒/甘酒>	422
第六節 台所と道具	
1 台所の移り変わり	424
2 井戸の移り変わり<田島・内間木地区的井戸>	426
3 台所の道具	
<貯蔵用具/精米・製粉用具/炊事用具/調理・調整用具/食事用具(食器類)>	427
第七節 民間療法(薬用植物)	431
第六章 住生活	
第一節 環境と住まい方	
1 ノガタとサトガタ	437
2 自然とその利用	
(1) ノガタ	439
(2) サトガタ	440
(3) ハケ	442
第二節 屋敷と母屋	444
1 屋敷取りと付属舎	
(1) 納屋/作業小屋/堆肥小屋/風呂/便所/井戸/馬屋ヒヤ/蔵/屋敷神/屋敷林と垣根・塀/門	444
2 母屋	
間取り(1) 母屋の外観	449
(2) 間取りと其その機能 <ダイドロ/ハリダシ/チャ/マ/ザシキ/ティ/オク/ヘヤ>	451
第三節 建築儀礼<山出し/手扶振る舞い/手斧立て/地祭り/地掘く/建前/荒打ち・轟きごもり/家移り>	475
第七章 交通・交易	
第一節 交通	
1 道	
(1) 歴史の道<川越街道/停車場新道/河岸道>	483
(2) 市内の主要道の道筋	492
(3) 坂	
(4) 道の管理	498
2 川	
(1) 舟運<舟運/船頭/船頭たちの信仰/網引き/オワ舟/舟工/荷積舟>	500
(2) 河岸	503
① 新河岸川の河岸場	
<井戸河岸(江口河岸)/台河岸/辰崎河岸/宮戸河岸>	504
② 黒目川の河岸場	
<横岸河岸(黒目河岸)/黒目川の河岸場計画>	506
③ 荒川の河岸場	507
④ 水運の衰退	
(3) 橋と渡し場	
① 橋	
<現在の橋梁>	508
② 舟渡し	
<地蔵木の渡し/渡船場/下内間木の渡し/権八渡し/未無川>	511
(4) 舟運と水神信仰	514
3 荷車の普及と交通機関の発達	519
(1) 荷車<荷車/馬力/手車/牛車と馬車/オート三輪自転車>	519
(2) 運送<運送/マルツウ>	522
(3) 人力車と円タク<人力車/円タク>	523
(4) 乗合馬車とバス<乗合馬車/バス>	523
(5) 鉄道	527
第二節 交易	529
1 家・村の外へ	
(1) 家の外へ	530
(2) 村の外へ	531
2 家・村の外から	
(1) 訪れる商人	532
(2) 訪れる職人	535
3 市と河岸	
(1) 市と河岸	536

(1) 膝折宿の市	537
(2) 不動様の市	539
(3) その他の市	540
(4) 卸売市場	541
(5) 河 岸	544
4 交易と町の賑い	
(1) 膝折宿一川越街道の宿場町	547
(2) 停車場通り一鉄道とともに発展した町	557
第八章 年中行事	
第一節 年中行事の変化	
1 曆の変化<遅れの行事>	567
2 行事の変化<行事の消滅化>	573
第二節 正月行事	582
1 正月の準備<歳暮/すとり/餅つき/かき餅/達穀餅/水餅/カマシ'メ/門松・松飾り/年神櫛/大海日/ミコッパ'ライ/おみたま/年越しそば>	582
2 大正月<初詣/年男/若水くみ/三が日の食事/雑煮/書初め/セチ・オオバン'初卯/その他/仕事初め/タナサガ'シ/門つけ/六日年越/鏡入れ/初荷/七草叢開き/ブク>	600
3 小正月<女の正月>	612
(1) モノヅクリ	
<栗穗/桜穗/割り花/粥つき餅/鏡玉つくり/小豆粥/赤のご飯>	612
(2) 成木責め	620
(3) 恵比寿講	621
第三節 春から夏の行事	
1 次郎の朔日	626
2 節分<ヤッカバシ/豆/豆蒼き>	626
3 八日節句	637
4 やぶいり	639
5 初 午<ヨミヤ/初午/小屋掛け/よみや>	640
6 彼 岸	649
7 三月節句	652
8 お釈迦様	654
9 五月節句	657
10 サナブリ<衢フリから田植え>	663
11 六月一日(旧)<雨降り正月/農休日>	665
12 粉 初	668
13 天王様	669
14 土 用	672
15 七 夕<七夕馬/供物/七夕飾りご馳走/七夕の雨/豆の伝承>	672
第四節 益行事	
1 盆の準備	
<盆供/墓掃除/新盆/盆棚/掛軸/無縁仏/みずむけ/馬/金花・銀花>	687
2 盆行事	
<迎え盆/懶經/しじょう縄/土産団子/送り盆/かたずけ/施餽鬼/裏盆>	692
第五節 秋・冬の行事	
1 八朔の節句	704
2 十五夜	705
3 彼 岸	708
4 クンチ	709
5 お日待ち	709
6 十三夜	711
7 荒神様<お旅立ち/申帰り/おちつき>	712
8 十日夜(とうかんや)	717
9 恵比寿講	720
10 カビタリ(川浸り)	721
11 大師講	722
12 八日節句	722
13 ふいご祭り	723
第九章 人の人生	
第一節 出産・育児	731
1 妊娠	
<妊娠/アヤカリック/妊娠中絶/嘔吐い/安産祈願/妊娠中の禁忌/流産>	731
2 出産<出産の場所/産婆/トリアゲ'バ'ーサン/出産/出産時の無事を願う/出生数/えなど臍の緒の処理/産湯/産毛剃り/チンケバ'/出産と禁忌/床上げ/死産/産婦の死>	737
3 出産と祝い<誕生/お夜・命名/橋渡り/宮参り/お食初め/初節句/初誕生日の祝い/七五三の祝い/元服>	749
4 育 児<母子の健康/離乳/児い・民間治療法/春龍坊主>	757
第二節 結 婚	762
1 縁談	
<縁組の地域性/縁談/見合い/恋愛結婚/口固め/仲人/結納/足入れ>	762
2 祝宴<袴装/嫁入り道具/嫁入り/ご祝儀・祝宴/仲間入り/里帰り>	770
3 嫁の人生<嫁の人生/嫁の休日/嫁いびり/子供を持つということ/生涯で一番よかった頃/別れ/感謝>	777
第三節 葬送	
1 死<死の知らせ/死/枕直し/死に使い/入棺/座棺と寝棺/通夜>	784
2 葬送の準備<葬式と組合/床取り帳/大役/道具作り>	791
3 葬送<出棺/野辺送り/野辺送りの鉢と太鼓/埋葬/墓地からの帰りと清めの席/四十九の餅>	797
4 忌明け・年忌<忌明け/逆さ着物/四十九日/年忌>	804
付 神葬祭<死ということ/遷靈祭・通夜祭/祖靈舍・靈臺に靈を移す/死後の祭り/盆と正月>	808
第四節 墓 制	
1 墓 制<単墓制と両墓制/両墓制の分布>	810
2 宮戸の宝蔵寺の両墓制	
<呼び方/共同墓地と個人墓地/埋葬/墓移し/お詣りする場所/墓地整理>	811
3 上内間木の阿弥陀堂の両墓制	
<両墓制であった様子/両墓制の成立/お参り/両墓制を止めた理由>	816
第十章 信仰・芸能	
第一節 村の神仏	823
1 神 社	
(1) 下内間木地区・冰川神社	
<由緒沿革/境内社等/氏子組織/日常管理/行事祭礼>	823
(2) 上内間木地区・内間木神社<(1)に同じ>	827
(3) 宮戸地区・宮戸神社<(1)に同じ>	830
(4) 田島地区・神明神社<(1)に同じ>	835
(5) 浜崎地区・冰川神社<(1)に同じ>	839
(6) 岡地区・冰川地区 <(1)に同じ>	844
(7) 溝沼地区・冰川神社<(1)に同じ>	850
(8) 膝折地区・子之神冰川神社<(1)に同じ>	857
2 寺 院	
(1) 下内間木地区・西福寺(觀音堂)	
<由緒沿革/境内仏堂・墓地等/檀家組織/日常管理/行事等>	864
(2) 宮戸地区・宝蔵寺<(1)に同じ>	868
(3) 田島地区・富善寺<(1)に同じ>	872
(4) 浜崎地区・三光院<(1)に同じ>	875
(5) 岡地区・東圓寺 <(1)に同じ>	878
(6) 岡地区・本仙寺 <(1)に同じ>	883
(7) 根岸台地区・金剛寺<(1)に同じ>	889
(8) 根岸台地区・台雲寺<(1)に同じ>	894
(9) 溝沼地区・泉藏寺 <(1)に同じ>	900
(10) 溝沼地区・光善寺 <(1)に同じ>	902
(11) 膝折地区・一乘院 <(1)に同じ>	904
3 堂庵	
(1) 下内間木地区<觀音堂/地藏堂>	910
(2) 上内間木地区<阿弥陀堂/大日堂>	911
(3) 宮戸地区<薬師堂/地藏堂>	913
(4) 浜崎地区<觀音堂/東薬師堂/地藏堂>	913
(5) 岡地区<不動堂/觀音堂>	915
(6) 根岸台地区<阿弥陀堂/文殊堂/大日堂/阿弥陀堂>	918
(7) 溝沼地区<觀音堂>	920
(8) 膝折地区<地藏堂/閻魔道>	920
第二節 地域・同族の神仏	
1 稲 荷	924
(1) イッケが中心に祀る稻荷	924
(2) イッケと近所で祀る稻荷	926
(3) 地区で祀る個人の稻荷	929
(4) 地域で祀る稻荷	930
2 その他<下内間木地区の不動堂/宮戸地区の天明稲荷神社/田島地区の美女神社/浜崎地区的六道地藏尊/岡地区的オシャクシ様/根岸台地区のHイッケの神明神社/南栄の八幡神社(榮町地区)/溝沼地区的下の権現様/泉木地区的白山神社/膝折地区的愛后神社>	932
第三節 家の神仏	
1 屋内の神仏<大神宮様/仏様/荒神様/エビス様/床の間>	944
2 屋外の神仏<井戸神様/便所神様/屋敷神>	948
第四節 講	952
1 代参講	

(1) 木曾御嶽講<根岸台地区の御嶽講/宝明講>	953	(2) 作る・競う<作る/競う>	1098		
(2) 大山講	960	(3) いたずら・(4) 味わう	1099		
(3) 御岳講	961	4 冬 (1) 探る・捕る<集める/捕る>	1100		
(4) 棟名講	962	(2) 作る・競う<作る/競う>	1102		
(5) 高尾講	964	第二章 伝説・世間話・昔話			
(6) 成田講	965	第一節 伝説	1111		
(7) 三峰講	966	1 片目の魚	1116		
(8) 古峰講	967	2 なんじやもんじやの木	1119		
(9) 平心講	968	3 縁きり榎	1120		
(10) 富士講	(11) 伊勢参り	970	4 金剛寺の銀杏の木	5 脳瘻石	1122
(12) 川崎の大師様	971	6 弘法大師お杖掘りの滝	1123		
2 村内の講 (1) 水神講	971	7 末無川	1127		
(2) 観音講 (馬頭観音講)	973	8 仏坂	1129		
(3) 広沢観音講 (4) 念仏講	976	9 膝折の地名由来	1130		
(5) 稲荷講 (ビシャ講)	977	10 膝折草分けの高麗氏	1135		
第五節 稲荷講	978	11 下内間木地区草分けの十三軒	1137		
1 子どもの行事—ヨミヤ		12 根岸地区的草分け	1139		
<根岸台地区のヨミヤ/浜崎地区中道下のヨミヤ/参加者の年齢と性別/小屋作りと準備/大人の闇戸/遊び/轍・旗/カジ・ツキ/ヨミヤの終り>	978	13 上内間木地区の草分けの家	1139		
2 稲荷講 (ビシャ講)<根岸台地区のビ'シャ講/浜崎地区のビ'シャ講/日どり/出席者/場所/食事/宿の引継ぎ>	984	14 宮戸地区的草分けの家	1140		
第六節 民間宗教者	990	15 浜崎地区的草分けの家	1140		
1 各地区における民間宗教者との関係	991	16 田島地区的草分けの家	1141		
2 市内の主な民間宗教者		17 岡地区的草分けの家	1141		
(1) 天明稻荷神社	994	18 溝沼地区的草分けの家	1142		
(2) 日英寺別院	997	19 台地区的草分けの家	20 一夜塚	1143	
(3) 「先達」	1001	21 桧塚	1145		
(4) 出雲大社	1003	22 行人塚	23 流山塚	1147	
第七節 民族芸能	1007	24 越居塚	1148		
1 風流その他		25 ごはん塚	1149		
(1) 獅子舞と雛子<溝沼の獅子舞/膝折雛子/富士見雛子>	1007	26 広沢観音	1150		
(2) 神樂<湯花神楽/蒲安の舞/里神楽>	1014	27 泉蔵寺の観音様	1152		
2 歌謡 (1) 歌謡	1020	28 岡の氷川様と広沢の観音様の主	1153		
(2) はつうせ	1026	29 魔害を防いでくれる日王子	1154		
第十一章 子どもの遊び		30 おしゃくじ様	1154		
第一節 年中行事と子ども<正月/小正月/節分/恵比寿講/初午/三月の節句/五月の節句/七夕/盆/十五夜/十三夜/クリスマス>	1033	31 病を治してくれる神仏			
第二節 家族の一員としての子ども一家の手伝い—		(1) 笠森(加佐森、瘡守)稻荷	1155		
(1) 朝	1041	(2) 元禄地藏	1156		
(2) 学校	1042	(3) 桧坂の地蔵様	1157		
(3) 学校から帰って<子守り/風呂掃除/夕飯の支度>	1043	(4) 地蔵様(下内間木地区)	1157		
(4) 農作業<小学校低学年/小学校高学年から>	1044	(5) あごなし地蔵(溝沼小字後根)	1157		
第三節 子どもの遊び		(6) 瘡神社・(7) 歯痛の神様(戸隠神社)	1157		
1 屋内の遊び (1) 特徴	1046	(8) 美女神社・(9) 薬師様(宮戸地区)	1158		
(2) 遊びの内容<お手玉/おはじき/人形遊び/かるた取り/あやとり/折紙/手あわせ・じゅんけん/その他の遊び>	1046	(10) 権現様(溝沼地区)	1158		
2 屋外の遊び (1) 特徴	1057	(11) ほうそう神・(12) 溝沼の獅子	1159		
(2) 遊びの内容		32 蕎麦を作ってはいけない地区	1159		
<鬼ごっこ/かくれんぼ/戦鬼/トロッキー/アウト/たか鬼/色鬼 影踏み/缶けり/だるまさんころんだん/ホコボン/足掛け(人工衛星飛んだ)/かごめかごめ/はないちもんめ/あぶく立った煮え立った/タケノコ一本くださいな/通りやんせ/ウマ乗り/石蹴り/こま回し/メンコ/ピーポー玉/銅銭し/銅つぶし/竹馬/たが回し/缶ばっくり/風あげ/羽根つき/まりつき/鍋焼きゴム跳び/棒高跳び/相撲/革野球/トチボール/ゴルフ遊び/ごっこ遊び/落とし穴/脇試し/探検>	1058	33 天王様とキュウリ	34 子の神	1160	
3 ほかの世界とのかかわり		35 岡の氷川様の御神体	1161		
<物売り・芸人/恐ろしい動物/水>	1077	36 溝沼の氷川様の御神体	1162		
第四節 自然の中で		37 広沢の池出土の鰐口	1163		
1 春 (1) 探る・捕る<摘み草/集める/捕る>	1081	38 東円寺本道本尊の薬師如来	1163		
(2) 作る・競う<作る/当てる/競う>	1083	39 血の出る杉(根岸字流山)	1164		
(3) 味わう	1085	40 力石	1166		
2 夏 (1) 探る・捕る<集める/捕る>	1086	41 黒目川のさんしょのぶ	1167		
(2) 泳ぐ	1090	42 上内間木のまぐろ家と河童	1168		
(3) 作る・競う<作る/競う>	1092	43 溝沼のケツアブリ	1169		
(4) いたずら	1095	44 七夕	1170		
(5) 味わう	1096	第二節 世間話	1171		
3 秋 (1) 探る・捕る<集める/捕る>	1097	1 キツネ火	1175		
		2 赤池のキツネ	1176		
		3 門ざえもんのキツネ	1177		
		4 女に化けたキツネ	1178		
		5 キツネが火の玉んなって線路を転がって歩いた話	1178		
		6 岡のゆかいなキツネ	1179		
		7 水を汲むキツネ	1179		
		8 キツネに引まわされた話	1180		
		9 こうざえもんタヌキ	1180		

10	とんとんと戸をたたくムジナ	1181
11	根子八の大椀	1183
13	中山屋敷のてる姫の話	1184
14	火をふいた氷川様のモミの木	1185
15	血とり	1185
17	カマイタチ	1187
18	電気が怖い	1188
20	二本松と庚申塔	1189
21	平方のおしあさま	1190
22	一升の徳利に五升	1191
第三節	昔 話	1193
1	蛙報恩	1195
2	天道様金の鎖	1197
3	たのきゅう	1199
4	古屋の漏り	1202
附編1	朝霞青年学校経営概要	1207
附編2	酒造藏	1224
主な参考・文献一覧		1227
執筆者一覧		1233
話者一覧		1234
資料提供者・協力者一覧		1238
朝霞市史編さん関係者名簿		1242
編集後記		1244

平成7年3月31日 発行

朝霞市史編さん室

資料003 『荒川村誌 第七編民俗』

昭和58年12月

目 次

第七編	民 俗	
第一章	伝 説	
第一節	石に関する伝説	857
第二節	水に関する伝説	858
第三節	地名に関する伝説	862
第四節	社寺に関する伝説	864
第五節	木に関する伝説	871
第二章	呪 術	
第一節	冠婚葬祭にまつわるもの	872
第二節	朝・夜・日・季節にまつわるもの	872
第三節	衣服にまつわるもの	872
第四節	動物にまつわるもの	873
第五節	器物にまつわるもの	873
第六節	雑	873
第三章	禁 忌	
第一節	冠婚葬祭に関するもの	875
第二節	朝・日・時・季節にかんするもの	878
第三節	数に関するもの	886
第四節	衣服に関するもの	887
第五節	住居に関するもの	888
第六節	動物に関するもの	890
第七節	植物に関するもの	893
第八節	器物に関するもの	896
第九節	雑	899
第四章	前兆予知	
第一節	善に関するもの	902
第二節	悪に関するもの	903
第三節	その他	906
第五章	民間療法	
第一節	呪によるもの	908
第二節	神仏に祈願するもの	910
第三節	草根木皮による薬物的なもの	911
第六章	祭りと民間信仰	
第一節	信願相撲	916
第二節	甘酒祭り	916

第三節	廻し念仏	922
第七章	年中行事	
第一節	小正月行事	924
第二節	節分とやいかがし	928
第三節	五月節供	931
第四節	七夕祭りとネブタの木	934
第五節	十日夜	937
第六節	天狗祭り	938
第八章	芸 能	
第一節	神 楽	941
第二節	獅子舞	945
第三節	白久の人形芝居	951
第九章	唄	
第一節	遊びの唄	956
第二節	くらしの唄	968
第十章	方 言	970
第十一章	民 具	989
荒川村歴史年表／参考文献目録／資料提供及び助言者あとがき		
荒川村誌編さん委員会編さん委員（執筆者）		
昭和58年12月28日 発行		
荒 川 村		

資料004 『岩槻市史 民俗史料編』

昭和59年3月

目 次

第一章	生活の場と民俗概観	
第一節	自然環境と歴史	3
1	岩槻の自然環境	3
2	岩槻の略沿革 <原始時代 古代・中世 近世 近代>	4
第二節	明治初期の町や村の様子	7
第三節	岩槻市域の民俗の特徴	15
第二章	社会性活と親族	
第一節	民俗社会のしくみ	27
1	民俗社会と近世村	27
2	村鎮守の祭祀と村祈祷	31
3	村の境とフセギの行事	35
4	村の中の地域区分	39
5	組あるいは自治会の班	47
6	隣保班	54
7	村入り	56
8	村の起こりの伝承	57
第二節	民俗社会の運営	
1	町村制の実施と区制	59
2	民俗社会の警護と防災	62
3	ムラヤク	64
4	自治会	67
第三節	民俗社会の中の諸集団	72
1	若い衆講	73
2	青年団	78
3	旦那講	79
4	遊山講	80
5	オトキ・念佛講	82
6	老人会	83
7	代参講の組織	83
8	茅講	86
第四節	家と家族	
1	家の創設	87
2	相続	90
3	家族	91
4	子供たち	93
5	青年たち	95
6	奉公人	97
第五節	本家・分家・親戚	
1	本家・分家	99

2 親 戚	107	2 狩 猷	272
第六節 大口地区的社会性活		第四章 職人と技術	
1 大口の概況	112	第一節 職人と技術	
2 ムラの範囲と空間<ムラ境と虫追い/地域区分/隣組 墓地/勢至堂 /コゲ ^タ 地蔵/香取神社>	112	1 人形作り (1) 岩槻人形	277
3 ムラの運営と行事<区長・自治会/区長代理・監査/定使/総会・新年年 会/区費/共有地/道普請・堀渡い/氏子総代/年番/香取神社の祭礼>	116	(2) 天保の人形	287
4 ムラの集団<若い衆講/旦那講/遊山講/念佛講/代参講>	120	(3) 奉納ひな人形	289
5 ムラシンルイと家族生活		2 ダルマ作り	290
<ムラシンルイ/本家・分家/家族の呼び方/家族の構成/相続/シンショウ譲り>	124	3 かご屋	292
第七節 町の社会性活		4 タンスとお宮製作	296
1 岩槻町と太田町	127	5 コウジヤ	301
2 町の境界と町への出入口	131	6 下駄屋	302
3 各町内の様子		7 鍛冶屋	309
<市宿町/久保宿町/淡江町/田中町/新町/横町/林道町/富士宿町/新曲輪町>	134	8 大工	312
4 自治会	138	9 仕事師	320
5 消 防	143	10 屋根ふき	324
6 神 社	144	11 瓦屋	330
7 青年の集団	148	12 左官	336
8 婦人会・老人会	152	13 畳屋	342
9 組合・憲保班・自治会の班	153	14 石工	357
10 向う三軒両隣のつきあい	156		
第三章 農業・川漁		第五章 交通・交易	
第一節 水田と畑		第一節 交通と運輸	
1 ノガタとサト		1 道と種類と施設	363
<ノガタとサト/耕地整理・暗渠排水/耕地の所有/現在の耕地>	161	(1) 主要道路	363
2 水田灌漑と水利慣行	171	(2) ムラの道	366
3 稲 作	180	(3) 廃れた道路<春日部往還/菖蒲往還/その他>	368
(1) 稲作の変遷<ウエタとミタ/稲の品種>	180	(4) 道の施設<橋/渡船場/一里塚/道標/杉並木/茶店など>	372
(2) ウエタ<タウナイ/クロケ/苗代と種まき/施肥/シロカキ/田植え/除草・ 追肥/ホカケミズ/稻刈り/脱穀・調整>	186	(5) 道と俗信	380
(3) ツミタ<クロケ/フンゴ'ミ/タウナイ/シロカキ/ウエヒキ/タツミ/マ リリ/除草/追肥/稻刈り>	195	(6) 道の管理	381
4 ハスとクワイ<ハス/クワイ>	203	2 日光御成街道	382
5 畑 作		3 河川の利用 (1) 元荒川	384
(1) 畑と作物<畑の種類と利用/作物の変遷/つくってはいけない作物>	205	(2) 綾瀬川	385
(2) 畑作の技術<麦 穂/オカボ'ノバ' /サツマイモ/前栽物/綿>	205	(3) 綾瀬川の船	386
	210	(4) 綾瀬川の状態	387
第二節 肥料と農具		(5) 藻刈り	388
1 肥 料<堆肥/灰/下肥/モク/落葉/金肥>	219	(6) 舟運従事者の話	389
2 農具と牛馬		(7) 肥 船	392
<マンウ/クワ/鋤と韁/マンガ' /馬と牛/カマ/脱穀用具/運搬具>	225	(8) 綾瀬川汽船株式会社	393
第三節 養蚕と農閑期の仕事		4 車の普及 (1) 荷 車	394
1 養 蚕	233	(2) 自転車	396
2 農閑期の仕事<ムシロオリ/ハタオリ>	235	(3) リヤカー	398
第四節 労働と休日		(4) オート三輪	398
1 労働慣行		(5) トラック	399
(1) 共同労働<イシゴ'ト/スケ/ヒヨウトリ>	238	5 交通機関の発達	399
(2) 奉公人	242	(1) 人力車 (2) 乗合馬車	402
(3) アサヅクリとヨナベ<アサヅ'クリ/ヨナバ'>	243	(3) 乗合自動車	404
2 休日と農耕儀礼		(4) タクシー	406
<タウナショウガ'ツ/モメンボ' ウサマ/タネマキショウガ'ツ/ツミタのサナブ' リタ ツミショウガ'ツ/ウエタのサナブ'リとタウエショウガ'ツ/オシメリショウガ'ツと雨乞 リ/ロケサシショウガ'ツ/ミシオイ/アレナショウガ'ツ/カッキリガ'ユ・コッキガ' ユ・ヒッキリガ'ユ/麦まきの祝い/オヒマチ/ダイシガ'ユ>	244	6 鉄道の敷設	410
第五節 川漁と狩獵		(1) 岩槻電気軌道 (2) 乗合馬車	402
1 川 漁	255	(3) 總武鉄道	413
(1) 漁 法	258	7 運搬方法と運搬具	414
(一)漁具を使わぬ漁<ツカミ/ドジョウホリ/籠を使った漁獲/ニギシ/カイボ リ/ツケバ>		第二節 旅と旅人	416
(二)突刺・鉤引漁<ツキア'シ/ド'ジ' ヨウブ'チ/サナギ'放>		1 旅に出る機会	417
(三) ウケ漁<ガ'ド'ウケ/ウナギ'ド'ウケ/ド'ジ' ヨウケ/ケツメド'ド ウケ/タカツ'ツボ' ピ'ンド'ウケ/カナアミウケ/ウケを使ったエビ'とり>		(1) 西国巡礼	417
(四) 鈎 漁<オカボ'リ/ナマズ'ツバ'タキ>		(2) 伊勢参宮	418
(五) 網 漁<ハズ'オイカケ/カツツクイ/オシアミ/ド'ジ' ヨウブミ/スクイ ミ/クロツミ/アシ'アミ/トアミ/キロミ>		(3) 関東社寺への参詣	422

4	市取引		
(1)	岩槻の六斎市<近代以前の六斎市/近代の六斎市/市神>	433	
(2)	慈恩寺観音市	441	
(3)	周辺市町村の市	442	
5	野菜の出荷と市場	443	
6	穀物販売と穀物問屋	447	
7	商店	452	
(1)	白木綿商	454	
(2)	穀物問屋	(3) 灰問屋	456
(4)	川魚仲買商	458	
第六章 衣食住			
第一節 衣服			
1	仕事着と普段着<仕事着/普段着/オビ' /タビ' /下着/オシメ>	463	
2	寝具<ねキ/フトン/マクラ/カヤ>	470	
3	外出着と晴れ着<外出着/防寒着/晴れ着>	471	
4	被りものと履き物<被りもの/雨具/履き物>	477	
5	染織と衣服の調達<ワタ/ハタオリ/コンヤ/衣服の調達>	480	
6	髪型と化粧<髪型/化粧/歯磨き/洗髪/フロ>	482	
7	洗濯と衣服の管理<洗濯/衣服の管理/針仕事>	485	
第二節 食生活			
1	食生活の概観<一日の食事/膳とチャバ台/食事の支度と後かたづけ/食料の保存/その他>	488	
2	日常の食べ物<主食/副食/間食>	492	
3	ハレの日の食べ物<餅/赤飯/アズ' キメシ/団子/粥/マン' ュウ/ウドン/ソバ/スミカリ/ケンチン汁/五目飯>	503	
4	味噌と醤油<味噌/醤油/その他の調味料>	511	
第三節 住居			
1	屋敷構え<屋敷構え/付属建物/庭・屋敷林>	516	
2	母屋<母屋の向き/アフ' グ' チ・セド' グ' チ/ツノヤ/屋根型/間取り>	519	
3	燃料と照明<付け木/照明>	524	
4	井戸	526	
5	風呂	527	
6	屋根葺	527	
7	建築儀礼<ジ' マツリ/作業始め/水盛り/ネギ' リ/シ' キ' ヨウ/ナガ' テ/上棟式/アラウチ/フキ' モリ/シンコウ式/ヤクツリ>	529	
第七章 人の人生			
第一節 産育			
1	妊娠<妊娠と産の神/帯祝い/妊娠中の禁忌※祝い>	553	
2	出産<出産/胞衣・産湯/躰の縫合/ウタテメシ/産見舞/授乳/産婦の食事/チク>	559	
3	生児儀礼<お七夜/トコアゲ/食い初め/初膳供/初正月と孫抱き/初山/初誕生>	572	
4	育児<育児儀礼と祝い/子守>	582	
5	七五三から厄年まで<三つ身の祝い/帯解き/十五の初山/一人前になるまで/奉公/一人前/若い衆講※年齢別の講/厄年と年祝い>	584	
第二節 結婚			
1	太田町と大森の婚姻習俗	592	
2	結婚の条件<縁談/見合い/恋愛/仲人/結納/アシレ>	602	
3	婚礼<ご祝儀の時期/荷送り/嫁迎え/嫁入り/嫁の入家式/ご祝儀/メテ' タモウシとムラマリ/里帰り/離婚/オンジ' イ>	615	
第三節 葬送			
1	死と靈<死の予兆/未期の水/マカラ' ンゴ' /シニ' カイ/ヨカン・ニユカン/通夜>	637	
2	葬送<葬式組/墓穴掘り/野辺送り/埋葬と吊りの作法/葬家の贈り物>	647	
3	忌みあけ・年忌<初七日まで/四十九日など/年忌>	666	
4	葬制・墓制<流れ葬儀/その他の異常葬法/墓制>	674	
第八章 信仰・俗信			
第一節 村で祀る神仏			
1	神社		
(1)	はじめに	697	
(2)	市内の神社<岩槻地区宮町久伊豆神社/川通地区大戸第六天神社/柏崎地区柏崎久伊豆神社/和土地区笹久保新田浅間神社/神和地区尾が崎八幡神社/慈恩寺地区上野鷲宮神社/河合地区平林寺閑白神社>	704	
2	堂庵		
(1)	はじめに	721	
(2)	市内の堂庵<岩槻地区久保宿庚申堂/川通地区增長薬師堂/川通地区新方須賀觀音堂/柏崎地区谷下庵/新和地區高曾根薬師堂/慈恩寺地区表慈恩寺阿弥陀堂/河合地区平林寺觀音堂>	724	
3	寺院	733	
第二節 地域・同族でまつる神仏			
1	耕地・組でまつる神仏	737	
2	有志でまつる神仏	747	
3	小祠	750	
4	同族でまつる神仏	751	
第三節 家でまつる神仏			
第四節 講			
1	念仏講		
	<血の池/光明真言/四方がため/大寺/じぞうそん/送り念仏/からくり/家見念仏>	761	
2	代参講	769	
3	総参講	780	
4	一般の講	783	
第五節 民間宗教者			
第六節 俗信			
1	禁忌呪法	789	
2	民間療法	790	
3	自然現象に関する民間知識	792	
4	民間知識	793	
第九章 年中行事			
第一節 概論			
1	はじめに	797	
2	暦の変化<旧暦から新暦へ/モノヒ'>	798	
3	年中行事の変化	800	
4	年中行事暦	804	
第二節 正月行事			
1	正月の準備<様はらい/門松/餅つき/シメカサ'リ/神の膳>	812	
2	大晦日<大晦日>	817	
3	正月行事<トシオトコ/正月の供え物/正月のカレイ/俵神様/若木汲み/初詣仕事始めと初荷/オオハ'ン'ソブ'ルマイ/年始の挨拶/トシガ'ミキマ/ヤマリ/七草粥/正月の間の仮屋/クワイル・クワビ'ラキ/マコダ'マタ'ソゴ' /ニワトコ/ナ/オミタマ/成木責め/アズ'キガ'ユカコハ'シ/アズ'キメヒヅ'ユオウマシ>	818	
4	その他の正月行事		
	<門付け/万歳/金比羅様の縁日/ヤブ'イリ/若衆講>	835	
第三節 春から夏の行事			
1	一月の行事<エ'スコ/ハツカナ/天神講>	836	
2	二月の行事<次郎の朔日/節分/初午/太子講/ヨウカゼ'ツク/甘酒祭り/オビ'シャ/不動様の縁日/淡島様/タ'ンナ講>	839	
3	三月の行事<三月の節供/毘沙門天/春の彼岸/馬寄せ/シャニチマイリ/金比羅様>	846	
4	四月の行事<花祭り/モメンホ'ウサマ/ウメワカサマ/トウカネン'ツ/大師様の御影/大師送り/秋葉様の祭日>	848	
5	五月の行事<五月の節供 大鳳あげ>	851	
6	六月・七月の行事<農作業にかかる一連の行事/タネフリショウガ'ツ/ナナブ'リ/アシアライ/タツミショウガ'ツ/ロクサイショウガ'ツ/百万遍/浅間神社の祭りと初山/天王様/虫追/開山忌オヌリ山>	853	
7	七夕<セタ>	858	
第四節 盆			
1	盆の準備		
	<カノ/カケケ/ボ'ソコ/ニイボ'ン/盆の墓掃除/盆棚作り>	861	
2	盆行事		
	<迎え盆と盆行事/野まわり/旅猿鬼/櫻絆/エート※エート/送り盆>	864	
3	ウラボン<ウラボ'ン>	869	
第五節 秋から冬の行事			
1	八月・九月の行事		
	<ハツサケ'ツクと二百十日/十五夜※十三夜/クンチヒオマチ>	869	
2	十月・十一月の行事		
	<トカシヤ/無月と荒神様/エビ'スコ/二十三夜/タ'シカ'ユ/カッキリガ'ユ・コッキリガ'ユ/ヒッキリガ'ユ>	873	
3	十二月の行事		
	<カビ'タリモチ/ヨウカゼ'ツク/秋葉神社へのお参り/コ'ミッパ'タキ/冬至>	878	
第十章 民俗芸能・遊戯			

はじめに	883		
第一節 民俗芸能			
1 高曾根の獅子舞	885		
(1) 日時	(2) 組織及び諸役	885	
(3) 曲目・舞の実際<割り/一本幣/二本幣/狂い>	888		
(4) 服装	(5) 練習	892	
(6) 祭の準備	(7) 祭当日	893	
(8) 祭当日		895	
2 柏崎の万作			
(1) 変遷	(2) 日時・場所	897	
(3) 演目		898	
3 尾ヶ崎の囃子			
(1) 由来・変遷		900	
(2) 日時・場所		901	
(3) 楽器	(4) 曲目	902	
4 高曾根の囃子			
(1) 由来・変遷	(2) 日時・場所	905	
(3) 練習	(4) 曲目	(5) 楽器	906
5 黒谷・浮谷の囃子	(1) 由来・変遷	906	
(2) 日時・場所	(3) 練習	907	
(4) 曲目	(5) 楽器	907	
6 笹久保の古式子供相撲土俵入り			
(1) 由来・変遷		908	
(2) 組織・諸役	(3) 練習	909	
(4) 祭の過程		910	
(5) 土俵入りの所作	<小役/小役以外の子供たち/手合/龜能>	912	
7 釣上の古式子供相撲土俵入り			
(1) 由来	(2) 組織・諸役	916	
(3) 練習	(4) 祭の過程	917	
(5) 土俵入りの所作		918	
第二節 民謡・童謡			
1 民謡	(1) 仕事唄	925	
(2) 祝い唄		926	
(3) 余興歌		932	
第三節 遊戯			
1 女の子の遊び<ナッコ/キヤコ'/綴取り/まりつき/ナンキン玉>		935	
2 男の子の遊び	<コマシ'マイ/ナッキンボ'ウ/メンコ/馬とび/水鉄砲/竹鉄砲/コ'ムカン/弓矢/タガ'回し/水浴び/魚とり>	937	
3 男女共通の遊び<ゴ'ムトイ'/縄とび/カクネコ'ツコ/鬼ごっこ/こうとうごとろ/ケダシ/竹馬>		940	
第四節 わらべ唄<子守りうた(1)(2)(3)(4)/遊ばせうた(1)(2)/お手うた(1)(2)(3)(4)(5)(6)/手まりうた(1)(2)(3)(4)(5)/羽根つきうた(1)(2)>		943	
第十一章 昔話・世間話・伝説			
第一節 昔話	951		
はじめに	<十二支の由来/2猿と蟹/3からかち山/4くらげに骨がないわけ/5ほととぎすの鳴き声/6雀奉行/7犬の脚/8兔と鹿のかけ比べ/9ひえったかの鳴き声/10蛇媚入/11桃太郎/12ぶつアリベイ/13ちゅうたらこい/14花咲が爺さん/15舌切り雀/16旅人の留守番/17米埋め・糠埋め/18皿々山/19紅皿と欠皿/20鬼の家の便所/21猫の踊り場/22節分の豆と鬼の婿入り/23松山鏡/24たくあん風呂/25どっこいしょ/26嫁と姑/27本筋と半殺し/28平林/29二人の不精者/30まるでしかくで/31姥捨て山/32断絶は本尊様/33仕事は弁当/34けんかの裁き/35物語用木切れ/36かわをむいて食べる/37ねずみ絆/38いまさか降りるよ/39達磨におあしがあるもんか/40あいたい喧嘩/41一口話/42四十九の餅/43五色の読み/44天から禪/発端の言葉/結びの言葉>	951	
第二節 世間話	<1むじな/2狐に化かされた話/3狐や狸に化かされること/4まみ/5おとつかき/6おとかの嫁入り/7黒浜の大どうばう/8力持ち/9愛宕社の大蛇/10うましか>	982	
第三節 伝説			
はじめに	<1衣掛の松/2鏡掛け松/3着立柳/4なんじやもんじやの木/5天狗が寝廻した杉/6著立杉/7物見松/8片葉の葦/9虎御石/10力石/11黒谷の七島/12鏡ヶ池/13片目の魚/14荷草/15駆除/16八幡塚/17行人塚/18慶伝塚/19金塚/20童灯登ること/21鶴大明神/22世訛り稻荷/23松尾大明神/24いは天神/25サンカの薬師/26しばられ地蔵/27北向きのお地蔵様/28コテ地蔵/29手無不動/30八百比丘尼/31ショウガバあさん/32おたま様/33元荒川出現の第六天社の御神体/34鶴の宮/35とうもろこしを作ってはいけない村/36ごまを作ってはいけない村/37きゅうりを作ってはいけない家/38みょうがんぼはちこく/40人身御供/41門松をたてない家/42餅なし正月>	987	
第十二章 民俗の変化と変容			
はじめに		1015	
第一節 社会生活			
<近隣組織への加入/クマアイのつきあい/緊急の連絡/共同作業>		1016	
第二節 人生儀礼<五月日のハラオビ'/実家からの届け物/出産の場所/ハソのオ/はじめて台所にたった日/チブ'クあけ/お七夜/初宮参り/オクツイ'/メ/初誕生/漫談の初山/七五三/十五の初山/結婚式/実家/アシレ/アシレをし理由/嫁入りしてきた時おがんだ神様/葬送/マクラダ'ンゴ'/魔よけの刃物/埋葬/ロクト'ウ/葬式の手助け/ナミ仏や四十九の餅>		1024	
第三節 信仰<神社の氏子/神社の役/神社に出かける時/初詣/屋敷の神様/エビス/大黒様/まつらなくなった神様>		1041	
第四節 年中行事<残存するもの/消滅するもの/やったことのないもの/解やボ'タモチ/ダンゴ'/盛んになったもの>		1050	
民俗調査話者一覧	・資料提供者及び協力者名簿		
市史編さん関係者名簿	・あとがき		
付図1 岩槻街復元図			
付図2 明治末頃の岩槻街並			
付図3 川通地区フセギ札の位置			
昭和59年3月19日 発行			
岩槻市役所 市史編さん室			

1 肥 料<灰/堆肥/下肥/禁>	180
2 馬と牛<馬/牛>	187
3 農 具<鐵/万能/車と鍔/馬鍔/收穫用具/選別用具/ムシロ>	190
第三節 農家とくらし	
1 農家のくらし<農家数/農作業の一年/養蚕/ヨナベ' とアサツ' クリ>	195
2 共同労働と一人前	
* 共同労働<ウチデ' マ/テマガ' リとモヤイ/スケ/ヒヨウトリ>	204
* 一人前	208
3 休み日と農耕儀礼	
* 休み日	210
* 休み日と農耕儀礼の諸相<木綿紡主/種まき祝いと種まき正月/サナブリとタツミ正月/サナブリと田植え正月/雨降り正月/虫送り/雨乞い/アレナ シ正月/ハサギ/カッキリガコ/お日待ち>	212
第四節 川漁と獵<網漁/釣漁/筌漁/その他の漁>	222
第五節 職人・商人の暮らし	231
1 桶屋（渡辺清蔵氏）のはなし	233
2 染物屋（安藤好夫氏）のはなし	242
3 屋根屋（沢野栄次郎氏）のはなし	249
4 八百屋（町田初五郎氏）のはなし	258
第四章 交易と交通	
第一節 交易と道路	
1 市（いち）と交易<浦和の二七市/与野の四九市/岩槻の十六市/越谷の二七市/鳩ヶ谷の三八市/蕨の四九市/志木の二七市/川越の三六九市/東京の市場>	268
2 店と行商	276
* 浦和宿の店<米穀商と米の流通/魚屋>	277
* 村々の店	286
* 行商	287
3 運搬	291
4 街道と主要道<中山道/日光御成街道/赤山街道/岩槻道/越ヶ谷道/鳩ヶ谷道/志木道/与野道/羽根倉道>	294
5 村々の道	303
第二節 舟運と河岸場	308
1 荒川の河岸場	
<羽根倉河岸/道場河岸 秋ヶ瀬の渡し/道溝河岸（地蔵河岸）>	309
2 芝川と見沼代用水の舟運	318
* 江戸時代の舟運	319
* 見沼通船会社の舟運	
<八丁河岸/宮本河岸/山崎河岸/北原積場/染谷河岸/大崎河岸>	321
* 見沼通船の廃止	332
3 綾瀬川の河岸場	
<戸井河岸/新河岸/下野田河岸/駿（なわて）河岸/戸塚河岸（銀蔵河岸）>	333
第五章 衣食住	
第一節 衣生活	
1 衣料と服飾の変遷	344
2 仕事着と普段着<男良着/船頭の仕事着/普段着>	346
3 ヨソイキと晴れ着<ヨキ/晴れ着>	352
4 ミノ・ゴザとかぶりもの・履物	
<ミノゴザ/かぶりもの/履物>	356
5 髮型とお歎黒<髪型/お歎黒>	362
6 染織と衣服の管理<機織り/染め物/洗濯/衣服の管理>	364
第二節 食生活	
1 食事と食物<-日の食事/食器・調理用具の変遷/穀類の調理法>	366
2 日常的食べ物<主食/副食/簡食>	371
3 ハレの日の食べ物	
<餅/赤飯と赤の飯/粥/団子/饅頭/ウドン/ソバ>	377
4 味噌と醤油<味噌/醤油>	387
5 保存食	
<漬物/梅ぼし/切り干し大根といもがら/魚の乾物/アラと水餅>	391
6 水とお茶・酒<飲料水/茶/酒>	396
第三節 住	
1 屋敷<立地/屋敷林/垣根>	397
2 母屋<家の向き/間取りの変遷/左ざまい/カドリ' とイドリ/式台/屋根の形/屋根ふき/様/瓦屋根/たたみ/町家（商家）の洋風住宅>	400
3 付属建物<門/倉/納屋/その他の建物>	419
4 井戸	
5 <掘抜井戸と突抜井戸/井戸の位置と神様/井戸深い/井戸縄/井戸掘り>	425
6 災害と住居<地震/風/水害/その他>	427
7 照明	430
8 風呂・8 家普請<地祭りから地掘きまで/建前/上棟式>	434
第六章 人の人生	
第一節 産育	
1 妊娠<妊娠と産の神/幕祝い/妊娠中の禁忌等>	440
2 出産	
<出産/ぬ衣/産湯/臍の緒の始末/産見舞い/授乳/産婦の食事/血ブク>	444
3 生児儀礼	
<お七夜/ウブアケ（産明け）/食い初め/初節供/初正月と初山/初誕生>	451
4 育児<育児儀礼と祝い/子守>	458
5 七五三から厄年まで<三つの祝い/解き/成人/厄年>	460
第二節 婚姻	
1 大間木の婚姻習俗	463
2 結婚の条件<縁談/見合い/恋愛/仲人/結納/アシレ（足入れ）>	467
3 婚礼	
<道具送り/ムコイ（婿入り）/嫁入りと入家式/迎え祝儀/（付）離婚>	477
第三節 葬送	
1 死と靈<死の兆/未期の水/臨終直後の処理/枕団子と枕飯/二人使い/湯薬/入棺/通夜/耳みさぎ>	492
2 葬送<葬式組/墓穴掘り/野辺送り/埋葬と掃りの作法/喪家への贈り物>	501
3 忌み明け・年忌<初七日まで/四十九日など/年忌>	517
4 葬制・墓制<神葬祭/異常葬/墓制>	525
第七章 民間療法	
第一節 村鎮守	
1 村と村鎮守	536
2 神社整理	539
3 神社の年間祭祀	543
4 神社の維持・管理	546
5 神社にまつわる伝説	549
第二節 小祠	
1 小祠の概観	550
2 稲荷社	552
3 天王社	553
4 村組で祭る神	556
5 職業集団によって祭る神<神/觀音/太子講>	557
6 特別の靈験がある神	560
第三節 小堂・寺	
1 釈迦堂	560
2 薬師堂	561
3 阿弥陀堂	562
4 觀音堂	562
5 不動堂	562
6 弁天堂	563
第四節 村祈とう	
1 觀音經	565
2 百万遍	566
3 お獅子様	567
4 フセギ	569
第五節 信仰的な講集団	
1 稲荷講	570
2 念仏講	572
3 庚申講その他	576
4 代参講	
<猿名講/大山講/木曾御嶽講/戸隠講/三峰講/古峰講/成田講/伊勢講>	578
第六節 屋敷と家を守る神	
1 屋敷神	586
2 屋内神	588
3 カドモリ（門守り）	591
第七節 共同祈願	
1 雨乞いと雹祭り	592
2 虫送り	594
3 呪い	595
4 禁忌	597
第八章 年中行事	
第一節 序論	
1 概説	600

2	暦法の変化	502
3	下木崎の年中行事	607
第二節 正月行事		
1	正月の準備 <獻はらい/お松迎へ/餅つき/シメカザ'リ/トシカ'ミタ'ナと神の膳>	615
2	大晦日<ミツカッパ'ライ/オミタマ>	623
3	正月行事<トシトコ/正月の供物と家例、村例/六日までの行事/七草がゆ/クリン/オオバ'ソ>	626
4	小正月 <マコダ'マ/ハナカキ/お飾り下げ/ナルカ/ナンエカ/アズ'キガ'ユ(小豆粥)>	637
5	その他の正月行事<歳暮/書き初め/四方拝/仕事始め/初荷/ウタイ'ゾメ/ネンシマワリ/ヤブ'イリ/十王飯/お正月念仏/馬寄せ/代神楽/三河万歳/正月の遊び/不幸のあった家の正月>	645
第三節 春から夏の行事		
1	一月の行事<エビ'スコウ/二十日こがし/初大師/天神様の祭日/文殊様の縁日/不動様の縁日>	648
2	二月の行事<次郎の朝日/節分/初午/トウカセ'ック(八日節供)>	653
3	三月の行事<ヒナの節供/ツジ'ユウモチ/春の彼岸/往日まいり>	663
4	四月の行事 <花祭り/トウカネン'ツ/春祭り/大師様/ウメワカサマ/モメンボ'ウス'>	665
5	五月の行事<五月の節供/八十八夜/種播き祝い>	668
6	六月・七月の行事 <サフ'リ/オロクショウサマの田植え月/半夏生/オオバ'ライ(大祓い)/ロカツノイタチ(6月1日)/セギ'ビ村祈り/土用>	671
7	七夕 <セタ>	679
第四節 盆		
1	盆の準備<カマ'クチアケ/ニイホ'ン(新盆)/盆の墓掃除/盆擺作り>	682
2	盆行事 <仏様迎えと盆行事/ムエンボ'トケ(無縫仏)/送り盆/新葬祭の家のセタと盆>	689
3	ウラボン<ウラボン(盂蘭盆)>	697
第五節 秋から冬の行事		
1	八月・九月の行事<ハッサク(八朔)の節供と二百十日/十五夜/十三夜/ケンチ乱いとオヒマチ(待ちち)/秋の彼岸>	698
2	十月・十一月の行事<トウカンヤ(十日夜)/お一夜/神無月と荒神様/秋のエビ'ス講/二十三夜/農業感謝祭/大師講/七五三>	703
3	十二月の行事<八日節供/トウカマチビ'ユウニンチマチ/冬至/針供養/カビ'タリモチ(川浸り餅)>	713
第九章 民俗芸能		
第一節 民謡		
1	作業歌<麦うち歌(中尾)/くるり棒押し歌(玄蕃新田)/麦打ち歌・田植え歌・草取り歌・白ひき歌・糸とり歌・機織り歌・綱打ち歌・餅搗き歌・酒造り歌・ド'ハブ'子歌・(以上大久保領家)/タコツキ歌/馬方節/通船舟歌(見通船、八丁河岸)/船頭歌(猿瀬川、駿河岸)/船頭歌(大久保領家)>	716
2	祝い歌<うたたんじやく(三室)/初うせ(中尾)(下山口新田)/トノサ節(大久保領家)(下山口新田)>	720
3	踊り歌<高砂・宮ザ'ク・オイトコ・伊勢音頭・カッポ'レ・大津絵・ヤッサカ踊り・相撲甚句(以上大久保領家)>	725
4	童歌<子守歌・お手玉歌・ハネツキ歌・手巻歌(以上大久保領家)/キシャゴ'の歌・ナッコの歌(以上三室)>	729
第二節 舞踏女		
1	辻の獅子舞	731
第三節 獅子舞		
1	辻の獅子舞	732
2	田島の獅子舞	738
3	白幡の獅子舞	740
第四節 木遣歌		
1	木遣歌	741
第五節 祭り囃子		
1	駒形の祭り囃子	743
2	宿(三室)の祭り囃子	749
3	宮本(三室)の祭り囃子	754
4	大門の祭り囃子	756
5	大久保領家の祭り囃子	758
6	新田の祭り囃子	761
7	白鶴の祭り囃子	764
8	五闇の祭り囃子	765
9	宿の祭り囃子	767
10	塙本の祭り囃子	769
11	西堀の祭り囃子	771
12	鹿手袋の祭り囃子	774
13	道場の祭り囃子	776
14	中島の祭り囃子	777
15	町谷の祭り囃子	780
16	南元宿の祭り囃子	783
17	内谷の祭り囃子	785
第十章 伝説		
第一節 旧市部<日蓮駒つなぎのケヤキ/松の木のない講神社/片目の鰐/うさぎを倒わない/日蓮伏せの柱/争いモミの木/太田雀/弓矢を嫌う一族/鎌坂>		
第二節 六辻地区<広田寺の親類様/曲がり松/いば地蔵/別所沼の大蛇/オシャビ'キ様/白幡沼/藤原秀郷伝説/逆さイチヨウ/逆さイチヨウ>		
第三節 三室地区<片目の鰐/竜燈/おこり仏/鎌坂>		
第四節 尾間木地区<弁才天と馬子/八百比丘尼/天狗の釣檣籠/亀井六郎の猿/赤蛇の神水/成田山に詣でない家>		
第五節 見沼に関する伝説<蓮を作らない話/見沼の笛/螢の御殿/雨降り朝顔/男女(みな)のえし/見沼のイモリ/竜神祭り/見沼の竜神/見沼の竜神オタケ様>		
第六節 野田・大門地区<開かずの門/国昌寺山門の竜/猿から出現した太子様/家出た人をさがす狹犬/「足立」の地名/流れついた薬師如来/木倉神社/キユウリを作らない話/問答に移った大白天神社/鶏を食べない話/七夕の日につるのある作物の畠に入らない話/愛宕社の竜/愛宕社>		
第七節 第久保地区<八百比丘尼が植えたケヤキ/入定塚/人柱神子田/毛いも/狐橋/流れ去った鐘/荒川に流れついた阿弥陀如来/ヨシタケ(黄竹)/モロコシを作らない家/ソバ(蕎麥)を作らない話>		
第八節 土合地区<上の官と下の官の争い(泣き節供)/馬上答め/ケヤキの神木/絆冢/笠松/逆さイチヨウ'/土官出現の正鏡音/鬼ヶ面/早道場/あけぼ山/流れついだ仮像/千馴/鴻沼の竜神>		
第九節 西浦和地区<入定塚/ソバ'を作らない話/流れついだお宮>		
あとがき ······ 820		
昭和55年3月31日 発行 浦和市総務部市史編さん室		

資料006 『大宮市史』

第五卷 民俗文化財編』

昭和44年4月

目 次

はじめに	1
村の生活	1
一 村 <村の上と下-村境・字境-道の呼称-神社と寺院-村の共有の土地・物件>	1
二 村人 <村のおむだち-組(生活的な組・子供組・若者組・その他の組)-頼母子講-寄り合い-新来者の仲間入りの作法-制裁-旅(旅の服装と所持品・旅に出るときの行事・休宿所・旅から帰ったときの行事)>	8
三 村のくらし	
1 交易 <村の店舗の種類と商圈-村のくる行商人-注文して購入するもの-仲買人による売買-市と模様-その他>	26
2 運搬	
3 職人	
生産生業	
一 農事暦 <予行行事-農作業-ある農家の農作業日記および各地区生産暦>	40
二 田耕作	
1 稲作 <植田と播田-種子の保存と選別-春田打ち-苗代ごしらえ-種子ふり-苗代の管理-田植えとその行事-田摘み-水の取り入れ-除草-中耕-施肥-除虫作業とその行事-稻刈り-脱穀と調整-収穫祭>	56
2 水田の裏作	
3 蓼根	
三 畑地耕作	
<麦作-薩稻-蕎麦-豆類-蔬菜類-薯蕷-甘藷-稲-藍-輪作と連作>	80
四 肥料・役畜・農具・協業	
<肥料-役畜-農具(耕耘除草用具・播種施肥用具・碎土用具・收穫用具・脱穀用具・調整用具-運搬包装用具)-協業>	93

五 養 蚕	<蚕の飼育一蚕室一養蚕用具一養蚕の信仰>	102
六 農閑作業	<叢編工一真綿作り一機織り一紙漉一怖浜一紫藤巻一製茶一染物一蒟蒻の製造一山仕事一漁業一 家畜の飼育>	106
七 農業に関する禁忌	126	
八 職人のくらし<職人の技能習得一職人の信仰>	127	
九 商人のくらし<商人の技能習得一商人の信仰>	128	
信仰と俗信		130
一 講	130	
1 地域的な講		
イ 産土神を中心とした講(産土講一覧)		
ロ 仏教的な講(地蔵・鐵音・供養塔一覧)		
ハ 俗信的な講<庚甲講(庚甲塔一覧)一馬頭觀音講(馬頭觀世音塔一覧)一太子講(天神 講一お精進講・鐵音講・遊山講)>		
2 参講	<三峰講一大山講・石尊講一榛名講一御嶽講・信心講一成田講・不動講一戸隱講一 古峰講一木曾御嶽講一伊勢講一富士登山講一平等講(おしし様講・祐狗講)一板倉講・雷電講 一善光寺講一穴守稻荷講一笠間稻荷講一香巣講一敬神講(水川太々講)一秋葵講一八雲講>	
二 家の神	<家の中の神一屋敷神>	198
三 俗 信		
イ 前兆一災難よけ・禁忌・まじない一願かけ一幽霊・妖怪・異獣など一孤一付民間療法>	206	
家と親族		
一 家 族	<家族の範囲一家族の呼び方一家族の中心一主婦の地位>	220
二 相 続	<相続者一相続者の権限一遺産の相続一見分け一勘当・義絆>	225
三 本家と分家	<本家と分家の呼び方一本家と分家のつきあい一非血縁の分家>	227
四 親族と姻戚	<範囲一交際一親族会議のメンバー>	230
五 仮り親・親方・子方		232
六 隠 居	<隠居する時・年齢一隠居の呼び方一同居・別居・別家の別一隠居の権限一隠居の 世話一隠居分の相続>	234
人の人生		
一 誕 生	<幕祝い一安産祈願一妊娠・出産の禁忌一出産の禁忌一うぶ湯・うぶたて飯・うぶ着一へ そのお・えなー産婆>	238
二 生児儀礼	<命名一お七夜一宮参り一食初め一初節供一初誕生>	248
三 育 児	<育児用具と玩具一胎衣・病弱な子一育児祈願と年祝い>	256
四 成人から結婚まで	<若い男女のつきあい一恋愛結婚と見合結婚一婚約一仲人一 婚姻圈一結婚の形態(婚礼の呼び方・誓入・足入れ婚・年期誓・婦女房)一結婚式(初夏入り・嫁 入り・嫁入り行列・中宿・奥入れ道具・嫁の到着・盃・披露宴)一里がえり一婚姻と俗信一離縁一 でおくれ・その他>	264
五 葬 制	<葬式の呼称など一葬式組の範囲・役割り一北枕一枕めし・だんご一通夜一湯濯・ 納棺一葬列一忌中一墓地一葬制と俗信>	289
衣 服		302
一 ふだん着	<着物と帯一下着一冠りもの一手甲・脚絆・足袋一履きもの一子どもの服装一 若者の服装一娘の服装一雨の日の服装>	304
二 仕事着<野良着>		318
三 晴れ着<産着一七五三一婚礼衣裳一訪問着一葬送の衣服>		321
四 制 服	<消防装束一学制服>	327
五 化 粧	<髪の結い方一顔の化粧>	330
六 寝 具		334
七 着物の保管と手入れ		335
八 衣服の禁忌と呪い		338
食 物		
一 主食と副食		339
1 主食の材料<米と麦一粟と稗一もろこし・そば一甘藷>		
2 主食の食べ方<粒食(ごはん・赤飯・ぼたもち・おかゆとおじや・かてめし) 一餅類(まちも・ひきもち・革餅・かしわ餅・だんご)一粉食(うどん・そ ば・すいとん・麦がし・きな粉)>		
3 副食の材料	<野菜一魚と海草一鶏や卵一川魚など一豆腐・油揚げ一野草一野鳥>	
4 調味料<塩・砂糖・一味噌・醤油・香辛料>		
5 食物の保存<ほしい・もち一漬物一千物一土中の保存一その他の保存>		
二 食 事		358
1 ふだんの食事<名称一内容一間食>		
2 特別の日の食事		
3 災害時の食事		
4 食事の席順、作法など		
三 用 具		
四 食器一膳一鍋一釜一ざる・ます一蒸し用具一運搬用一酒・水の入れ物一舟と臼>	365	
付 食物の禁忌		371
付 錄		371
1 贈答用食品	2 料理の仕方	
住 居		
一 屋 敷	<屋敷の間取り一立地一屋敷の構え一家屋配置一戸戸(戸戸掘り・戸戸渡い・戸戸神信仰と 年中行事)一屋敷林と垣根>	380
二 母 屋		389
1 屋 根	<屋根形一屋根の材料一ぐし一破風一煙出し>	
2 間取り	<農家の間取り(左勝手と右勝手・二室型の家・広間型の家・四つ間型の家・ 式台のある家・蚕室のある家)一商家の間取り一特殊な家の間取り一建物の細部(床と天井・ 柱・縁側と雨戸・部屋の仕切り・窓)一間取り一住まい方(台所・囲炉裏とまど・勝手・流 し・うまや・座敷・北座敷・でい・部屋となんど・灯火)>	
三 付属建物	<門と木戸・戸と物置一納屋・肥料小屋一扇>	440
四 家づくり	<敷地の選定一地つき棟上げ一壁塗り一屋根葺き>	450
年中行事		
一 年中行事暦		458
二 年中行事		465
伝説と巷説		
一 見沼の伝説	<御舟祭りと片目の鯉一見沼の笛一螢の宮一見沼の竜神(その1・その 2)一雨降り朝顔一男女のえし一見沼の蛇丸一見沼のいもり>	532
二 大宮の伝説	<足立・高鼻一氷川神社に参詣できぬ家一鎌ヶ谷戸と鎌塚一黒塚の魔婆一 黒塚の大黒天一蛇松・御鷹止めの松一倉屋敷稻荷社一椎谷山景元寺一土手の闇薙堂一高台橋のお女 郎地蔵一火の玉不動一安藤橋一浪橋一塩地蔵一天沼のおしゃもじさま一竹芝居物語一暴れ御輿>	543
三 三橋の伝説	<諫訪明神のお使い一駒形社一太平一うたらぎ一首無し地蔵一茶堂>	564
四 日進の伝説	<普門院のいたずら禪師像一片羽の迦楼羅一尾ヶ山稻荷一内藤塚一櫛引と切敷田園>	568
五 宮原の伝説	<三貴清水一慶安塚一加茂神社の金の御幣一雷様の貝殻>	574
六 大砂土の伝説	<磐神社と竜神の笛一砂一土呂の大杉>	576
七 指扇の伝説	<指扇一中釘一箇中親音一つぶ松一堀口坂>	579
八 馬宮の伝説	<屋間の渡し>	579
九 植水の伝説	<八百比丘尼一八百姫松で作った白一神様の仲違い一お后盛み>	585
十 片柳の伝説	<染谷の由来一おかま坂と高井一中氷川一御蔵のいかり草一お宮弁天一南 部の十王尊一長久寺弘法大師一瘤地蔵>	590
十一 七里の伝説	<膝子一延命地蔵>	600
十二 春岡の伝説	<子繪神社と寅御石一生入定一五郎淵と片葉の葦一六坊田一金井坂と經塚一青海塚>	601
巷説	<大宮八景一六国見が原一劍法一の宮流一神道徳次郎一強盗除けの鬼い一高台橋の千匹蟹一 乱れ柳屋・梅屋のあけぼの一大門町轍一切られ与三郎一馬のお化け一十六塚の躰體一藤橋一長老堂 と早鐘五郎一大橋の盆灯籠一島高徳の後裔たち一黒塚一雷震木の肌刀一鼻の窮介さん>	608
歌 詞		
一 歌 詞	<田の草取り一麦打ち娘一麦搗き娘の蝶子一粉ひき娘一白ひき娘一機織り娘一唄踊 り唄一數え唄一桃糸三拜一祝儀の唄一始めの唄一おつもりの唄一嫁御様一仲介一春駒一舌一七色の 花一植木鉢一宝船一とばめ一ねづみ一茶一落一おかみさん一お招きしても一お正月一五葉の松一帯 ときの唄一祝儀の唄一はっせーはやし言葉1ーはやし言葉2ー一本杉の仇討一中山道往来>	629
二 和 譜	<御詠歌・念仏唄>	
三 現代歌謡	<六地蔵和讃一如來さま十日念仏一熊谷発心和 讃一壺坂和讃一卓状庵薬師如來の唄一官一谷塔羅音和讃一当山は三十一番御本尊馬頭觀世音菩薩二 奉唱上御詠歌一新秩父三十三箇所觀音詠歌一足立坂東順礼歌一北足立八十八か所靈場一大靈功德 念仏一戰疫英靈供養和讃>	647
四 童謡	<こ正月一正月数え唄一お手玉一押しくら饅頭一竹馬一天神様一手まり 一おはじき一独楽一棒木一めんこ一ビーベー玉一ヨーヨー一麿玉一三月齋祭り一練り一りせっせ ーはないもんめジャパン遊び一螢一びばないも虫一ほおづき一こうもり一月一がん一馬一蛙一 おけら一鳥一むけ歯一十日夜一石戻り一尻まくり一鬼ごっ下駄かくし一中のこん坊主・坊さん何 處へいく一中の中のこん坊主・坊さん何處へ行く一室内の遊戯一子守唄>	677
大宮の方言と訛言		
一 名詞の部		708
二 その他の部		724
民俗芸能		
一 氷川神樂		735
二 祭囃子と里神樂	<靡子の流派一楽器と由目一踊りと舞い一演技一技術の習得一市 内靡子組一覽表>	742

三 獅子舞	760
1 深作さら獅子舞 <伝承・獅子舞の場所一門人衆一祭典と獅子舞一獅子舞 諸道具と服装一行列次第一獅子舞唄一舞の型一獅子舞後の行事一惡疫退散の獅子一奉納以外の 獅子舞>	
2 今羽さら獅子舞	3
4 秋葉さら獅子舞	
四 祈祷獅子(獅子廻り)	789
1 染谷東組の獅子	2
2 上加の獅子	
3 蓮沼と砂の獅子	
五 万 灯	795
1 祇園祭り(天王様)	
2 砂の万灯祭り <伝承・万灯と行事>	
3 染谷の万灯祭り <伝承・組織と役割一経費一万灯の飾り付け一祭りと巡路一 勘定神酒>	
六 餅つき踊り	807
1 沿革	2
2 つき方	
3 踊り方	4
4 餅つきうた	
七 万作踊り	823
1 万作の名称	2
2 市内の万作	
3 種類と楽器	
4 台本 <三番叟一高砂一高砂そうだい一太師さま一下妻そうだい一木更津そうだい一白石 そうだい(上巻)一豊年万作(1)一豊年万作(2)一新川地引一東海道五十三次一白梅粉 家一小念仏一茄子と胡瓜一とのさ一広大寺和尚一細田川一ほめ詞>	
東遊・花鎮	
1 東遊	843
2 花鎮の舞	847
昭和44年4月20日 発行	
大宮市役所	

資料007 『桶川市史 第六巻民俗編』

昭和63年3月

目 次

総 説	3
第一章 生産生業	
第一節 稲 作	11
第二節 畑 作	27
第三節 副業・諸職	49
第四節 漁 撈	69
第二章 年中行事	
概 観	85
第一節 桶川地区の年中行事	87
第二節 加納地区の年中行事	100
第三節 川田谷地区の年中行事	134
第三章 民 家	
概 観	157
第一節 川田谷地区的民家	161
第二節 桶川地区的民家	181
第三節 加納地区的民家	186
第四章 食 物	
概 観	201
第一節 桶川地区的食物	202
第二節 加納地区的食物	223
第三節 川田谷地区的食物	234
第五章 着 物	
第一部 平常着と仕事着	257
第二部 晴れ着	269
第三部 衣 料	276
第六章 社会生活	
第一節 桶川の今昔	284
第二節 労働慣行	291
第三節 家族生活	295
第四節 年齢の団体	300
第五節 その他の団体	313
第七章 人の人生	

概 観	321
第一節 新しき生命	322
第二節 出 生	325
第三節 成長期	329
第四節 婚 姻	333
第五節 厄年と年祝い	341
第六節 いのちの終わり	342
第八章 交通・通信・交易	
第一節 交 通	355
第二節 通 信	357
第三節 交 易	359
第九章 信 仰	
第一節 桶川地区の信仰	367
第二節 加納地区の信仰	383
第三節 川田谷地区の信仰	389
第十章 芸能・娯楽・遊戯	
第一節 民俗芸能	403
第二節 競技・童戯	449
第十一章 口頭伝承・民俗知識	
第一節 伝説・昔話	461
第二節 民謡	498
第三節 ことわざ・なぞ	508
第四節 予兆・占い・禁忌・呪い・民間療法	511

協力者芳名一覧

あ と が き

昭和63年3月30日 発行

桶川市役所

資料008 『大井町史 民俗編』

昭和60年3月

目 次

総 観	1
第一章 社会生活	
第一節 ム ラ	
1 ムラとは	17
2 ムラの歴史	21
3 ムラの構成	26
4 ムラの新しい組織	29
5 ムラの政治	31
6 ムラの倫理	36
第二節 年齢集団	
1 社会生活と年齢集団	40
2 ワカイシユの地位と役割	41
3 青年団の盛衰	45
4 子供・年寄の地位と役割	50
5 年齢集団の変化	55
第三節 家と親族	
1 家と生活	57
2 親 族	65
第四節 交 際	
1 ムラの生活とつきあい	69
2 不祝儀のつきあい	72
3 祝儀のつきあい	76
4 折々のつきあい	81
5 つきあいの礼儀	83
第二章 生業と日々の暮らし	
第一節 畑作と稲作	
1 畑作と水田耕作	87
(1)種作り/(2)大麦・小麦の栽培/(3)蕎麥の栽培/(4)諂坊の栽培1/(5)人参 の栽培/(6)大根の栽培/(7)西瓜の栽培1/(8)里芋の栽培/(9)茶/(10)ホウキ モロコシ(ホウキ草)の栽培/(11)崖縞/(12)水田耕作	
2 養蚕と畜産	121
(1)養蚕/(2)畜産	
3 農業にともなう種々の祝い	123

<鎮守社と氏子集団/寺院と檀徒集団>	
第六節 講集団	981
第七節 経済集団	984
<系統農会/産業組合/農業協同組合/農民組合/農業組合>	
第二章 生産一農	987
第一節 農家の変動<農家個数と人口>	988
第二節 農地所有の変化	990
<農地の構成と推移/農地の所有関係>	
第三節 農業組織の変化	992
<栽培作物の変化/畜産の変化/農業経営組織の変革>	
第四節 農業労働と技術の変化	996
<耕起と整地/田植/中耕除草/かんがい/収穫/肥料/病虫害防除/米の生産費と米価/田畠の耕作一年誌>	
第三章 衣・食・住の生活	1014
第一節 着物の変遷	1014
<着物の生産/ふだん着・仕事着/晴れ着>	
第二節 食べ物の変遷	1019
<食べ物の変遷/ふだんの食べ物/晴日の食べ物/嗜好品/炊事と食器>	
第三節 住居の変遷	1024
<屋敷づくり/間取り/建築/生活と水・火>	
第四章 家庭の儀礼一年中行事	1034
第一節 正月行事	1035
<年神祭り/恵方詣り/七草祝・鏡入れ/節会/小正月/恵比寿講・二十日正月>	
第二節 春から夏への行事	1040
<二郎のついたち/節分/初午/上巳の節句/春彼岸・お獅子様/お糸迎様・薬師様/端午の節句/初田植・サナブリ/六月一日・十五日の行事>	
第三節 七夕行事と盆の行事	1047
<七夕行事/盆の行事/初盆>	
第四節 秋から冬への行事	1050
<八朔の行事/月見の行事/秋彼岸・社日/亥の子一十日夜-/荒神祭り/冬至/恵比寿講/川浸り餅/ネロハ/クリスマスの祝い>	
第五節 歳暮行事	1056
<煤焼きと家の掃除/餅焼き/注連縄つくり/大晦日/年中行事暦>	
第五章 祭礼・法会	
第一節 鎮守社の祭礼	1062
<春の祭り/夏の祭り/秋の祭り/冬の祭り>	
第二節 寺院の法会	1073
<春の法会/夏の法会/秋の法会/冬の法会/その他の法会>	
第三節 小祠・小堂の祭り	1081
<天狗祭り/地蔵祭り/不動尊祭り/虚空蔵菩薩祭り/薬師堂の薬仏会/権現様/石尊講/大日様/庚申講/弁天様の祭り/天神様/神明社の祭り/大師講/秋葉講>	
第六章 人の人生	1087
第一節 誕生から成人まで	1087
<妊娠・出産に関する儀礼/育児と儀礼/成人儀礼>	
第二節 婚礼と儀礼	1093
<婚姻の条件/仲人/見合い/樽入れ/結納/足入れ婚/荷送り/婚礼/婚礼と隣組/若者組/嫁(婿)の市元/里帰り>	
第三節 葬送と儀礼	1102
<葬式/引火/葬儀と隣組/葬式の役割分担/枕だんご・枕飯/湯濯/納棺/通夜/出棺に関する儀礼/埋葬/喪服/念仏>	
第四節 年忌と忌服	1109
<追善供養/年忌/忌服>	
第七章 伝説・昔話	
第一節 伝説	1111
(1) 自然伝説	1112
<不思議田/巡礼堤/通巣社の大蛇/鍋沼の大蛇/三本が一本になったひばの木/地蔵堂の鐘楼/銀音堂の住人/白蛇を生んだ香炉/龍水井戸>	
(2) 歴史伝説	1120
<豆木法師/延命地蔵/六兵衛田んぼ/行人塚/小手腹地蔵/六十軒の弁財天/漂流してきた不動尊/スパイ発見に役立った加須弁>	
(3) 信仰伝説	1128
<切られ鏡音/雨乞い池/棺の中の子どもも生きていた/女中の身投げ/とげぬき地蔵/紋兵衛地蔵>	
第二節 昔話	1136
<オトカツビ/血盃り/橋の上の蛙/瓜盛人立往生/藤内どん/天狗屋敷>	
第八章 方言・俗語	1139

第一節 方言の種類	1140
<方言・俗語一覧/接頭語一覧/接尾語一覧>	
第二節 音韻の形態	1151
<母音・子音の転換/母音・子音の脱落/添加/転倒>	
第九章 俗信の伝承	1154
第一節 俗信の生態—40年間の変動	1156
<志多見地区の児童の伝承の比較>	
第二節 俗信の内容	1160
<兆占/禁忌/呪い/その他>	
第十章 芸能文化	1174
第一節 ササラ獅子舞	1174
<来歴獅子舞組/仮面・楽器/花笠の風流/曲目構成/芸能/ササラ獅子舞と祈祷獅子平井祐作獅子舞伝書/大越三耕地>	
第二節 万作踊り	1193
第三節 馬内の神楽	1195
加須市史年表	
加須市史関係者名簿及び調査協力者名簿	
編さんノート	
昭和56年2月16日 発行	
加須市	

資料010 『川越市史 民俗編』

昭和43年4月

目 次

第一章 民 俗	1	
第一節 解 説	3	
第二節 年中行事	6	
1 正月行事	6	
2 田植えとその行事	24	
3 七夕祭り	36	
4 盆行事	42	
5 亥の子祭り	54	
第三節 産育習俗		
1 総 名	58	
2 生児の名目	61	
3 妊娠祝い	64	
4 産屋入・産忌	66	
5 産 婆	6 分娩前後	68
7 産 神	70	
8 産 飯	71	
9 乳付親	72	
10 えい児の成育	73	
11 みづめの祝い	12 神立ち祝い	76
13 うぶや祝い	77	
14 孫祝い	78	
15 産婦の忌明け	16 かわや神 その他	79
17 宮参り	18 初節句	81
19 食い初め	82	
20 握りかご	21 一年後の誕生	83
22 帯初めの祝い	23 七歳の祝い	84
24 成人になるときの祝い	85	
第四節 婚姻習俗	86	
1 お花女郎	2 口固めと結納と	86
3 足入れ	88	
4 娶入り見参	89	
5 嫁の出立	90	
6 中宿	92	
7 入家式	93	
8 さかづきごと一杯飯	94	
9 嫁ひろう	96	
10 若衆酒	97	
11 里帰り	98	
12 なこうど	99	
第五節 葬送習俗		

1	喪の始め	100	
2	葬式の総名と葬式を忌む日	3 訃報	102
4	まくら飯	103	
5	ぶく	104	
6	耳ふさぎ	7 香典	105
8	葬具	106	
9	入棺	107	
10	一杯飯	109	
11	でたち	110	
12	野辺送り	111	
13	棺かつぎと穴掘り	112	
14	庭弔いと埋葬	113	
15	野帰り	114	
16	墓じるし	17 墓地の種類	115
18	墓直し	19 火屋	116
20	念佛の供養	117	
21	願ほどき	22 水かけ着物	118
23	中陰	24 くちよせ	119
25	忌明け	120	
26	新仏の正月と盆	27 年忌	121
第六節 伝説			
1	岩石に関する伝説	122	
2	川・淵・沼・池・水辺に関する伝説	123	
3	井戸・泉に関する伝説	127	
4	妖怪に関する伝説	129	
5	椀貸し	6 橋に関する伝説	130
7	植物・動物に関する伝説	132	
8	坂・洞穴・地名に関する伝説	135	
9	塚に関する伝説	137	
10	宝物に関する伝説	139	
11	仏像に関する伝説	140	
12	神祇に関する伝説	143	
13	行事に関する伝説	144	
第七節 童戲			145
第八節 歌謡			156
第九節 衣服			186
第十節 方言			190
第十一節 村落実態調査			
第一部 大袋宿東・宿西			210
1	概観	210	
2	生産・生業	212	
3	手工業	217	
4	林業・漁業	221	
5	食物	225	
6	住居	226	
7	社会生活	230	
8	交通・交易	235	
9	通過儀礼	236	
10	年中行事	240	
第二部 古谷本郷下組			293
1	概観	293	
2	生産・生業	296	
3	手工業	303	
4	林業・漁業	305	
5	食物	308	
6	住居	314	
7	社会生活	319	
8	交通・交易	328	
9	通過儀礼	331	
10	年中行事	338	
第二章 芸能			397
第一節 概説			399
第二節 獅子舞			401
1	石原町の獅子舞	404	
2	上寺山の獅子舞	418	
3	石田の獅子舞	430	
4	福田の獅子舞	436	
5	平塚の獅子舞	443	
6	下小坂の獅子舞	449	
7	上戸の獅子舞	457	
8	大袋の獅子舞	470	
9	豊田本の獅子舞	477	
10	笠幡の獅子舞	485	
11	吉田の獅子舞	486	
12	並木の獅子舞	491	
13	小中居の獅子舞	501	
14	古谷本郷の獅子舞	508	
15	久下戸の獅子舞	512	
16	渋井の獅子舞	519	
第三節 祭りばやし			524
1	新宿町の祭りばやし	526	
2	仙波町の祭りばやし	536	
3	今成町の祭りばやし	539	
4	小室町の祭りばやし	540	
5	豊田本の祭りばやし	542	
6	大塚新田の祭りばやし	543	
7	南大塚の祭りばやし	544	
8	中台の上覽ばやし	546	
9	今福の祭りばやし	552	
10	藤間の祭りばやし	556	
11	寺尾の祭りばやし	558	
12	福田の祭りばやし	560	
13	網代の祭りばやし	562	
14	石田の祭りばやし	563	
15	府川の祭りばやし	565	
16	鴨田の祭りばやし	566	
17	伊佐沼の祭りばやし	568	
18	菅間の祭りばやし	569	
19	鹿飼の祭りばやし	570	
20	小中居の祭りばやし	570	
21	古谷本郷の祭りばやし	571	
22	南田島の祭りばやし	572	
23	並木の祭りばやし	575	
24	木野目の祭りばやし	576	
25	久下戸の祭りばやし	577	
26	渋井の祭りばやし	578	
第四節 餅つき踊り			579
1	南大塚の餅つき踊り	582	
第五節 万作踊り			591
1	老袋の万作踊り	594	
2	府川の万作踊り	619	
第六節 あやめ踊り			621
1	六軒町のあやめ踊り	624	
第七節 船頭歌			
1	新河岸川の舟運	627	
第三章 祭り			635
第一節 概説			637
第二節 春祭り			
1	一升講	639	
2	弓取式	645	
第三節 夏祭り			
1	まんぐり	648	
2	ほろかけ祭り	649	
第四節 秋祭り			663
1	川越氷川祭り	663	
第五節 冬祭り			
1	トリカエモチ	709	
あとがき			川越市助役 都築 肇
英文要旨			I

昭和43年3月31日 発行

川越市総務部市史編纂室

資料011 『川口市史 民俗編』

昭和55年3月

目 次

第一編 総 論		
序 章 川口市の概観		
一 自然環境<気象条件>	3	
二 地域と産業<鋳物/織物/釣竿/植木/苗木/味噌>	5	
三 行政区の変遷	12	
四 戸数と人口動態	14	
第一章 生業と生活		
第一節 生産・生業		
一 川口市の伝統産業		
(1) 鋳物業		
1 鋳物の歴史<創業時期と由来/鋳物製品>	17	
2 鋳物の生産過程と職人	20	
(2) 釣竿業・(3) 味噌醸造・(4) 織物	23	
(5) その他の産業	24	
二 農業 (1) 市域農業の概観	24	
(2) 農業の特色 <地図的特色/農作物の種類/米・麦/農家・戸数の変遷>	27	
(3) 稲作の特色	33	
(4) 植木業 <生産地域/立地条件/植木と苗木/果樹 苗木/切花/生産と販売>	34	
第二節 年中行事		
一 信仰的儀礼	38	
二 農耕儀礼	41	
三 年中行事の変化	44	
第三節 住		
一 屋敷講と母屋	48	
二 江戸末期の住いの状況	51	
三 室名呼称と各室の機能	52	
四 住に関する俗信	五 衛生	56
第四節 衣・食		
一 衣服	57	
二 食制	62	
第五節 社会生活		
一 ムラのしくみ	67	
二 家族・親族	73	
第六節 人の人生		
一 誕生・養育	77	
二 結婚	81	
三 葬喪	83	
第七節 交通・交易		
一 交通 (1) 陸上交通<道路/ミチの呼称/道普請>	87	
(2) 河川交通<渡しと船橋/横曾根の渡し>	92	
(3) 運搬<人力運搬/畜力運搬/荷車運搬/自然力運搬/運送業/包装用具>	97	
(4) 交通機関<乗合バス>	101	
(5) 旅 <旅の服装/所持品/旅に出るときの行事/宿/旅から帰ったときの行事>	102	
二 交易 (1) 交易の種類<物々交換/行商/市/店>	103	
(2) 決済の方法<買物に対する支払い>	107	
第二章 信仰		
第一節 家のまつり	109	
第二節 村のまつり	112	
第三節 講	117	
第三章 芸能・遊戯		
第一節 民俗芸能		
一 神楽	121	
二 祭囃子・獅子舞	123	
三 万作踊り	127	
第二節 民謡・民謡		
一 民謡	129	
二 童謡	132	
第三節 遊戯	135	

第四章 伝 説	139
第二編 各 論	
第一章 生業と生活	
第一節 水田地帯	
一 生産・生業	
(1) 総観<耕地の概観/主な用水源/伊刈村/柳崎村/前川村/生産暦>	147
(2) 稲作	
1 水稲栽培の慣行<用水/蓄水/田の一区画/田うない/代播き/苗代/種浸し/種まき/苗代の管理/苗取り/田植え/草取り/害虫駆除/稻刈り/稲抜き/穀摺り/米の保存/種粒の保存/米の収穫量>	153
2 稲作と労働慣行<労働力導入方法>	164
3 稲作儀礼と禁忌<サクイリ/燒き米/種まきの禁忌/種まき正/ナエタ'テ/田植の禁忌/ナサブ'リ/田植正月/雨降り正月/雨乞い/アレシオミキ/カマッパ'ライ/コキッパ'ライ/カラヌッパ'ライ>	165
4 天候予知<雨風雷木干ばつ>	167
(3) ハス・クワイの栽培	
1 ハス<田うない/植えつけ/肥料/除虫/草取り/芋回し/ハスの種類/連作/出荷/ハスの花/ハスの実/種バースの保存/収穫用具>	169
2 クワイ<クワイ種の保存/クワイ植え/除虫/葉欠き/草取り/肥料/収穫/収穫/出荷/料理法>	173
(4) 肥 料	175
二 年中行事	
(1) 暮から正月の行事<ススハライ/暮の市/歳暮/餅つき/往還飾り/門松/歳神棚/正月/オウバ'ン/年始わり/仕事始め/ナナケサ/白の使いめ/グラビ'ラキ/クリスマス/小正月/あづき粥/ヤブ'イリ/ハツカコカ'シ/恵比須講/天神講/不動講>	77
(2) 春の行事<節分/コトハシ'メ/初午/彼岸/雛まつり/花まつり/春祈禱/田うない/種の浸水/苗代作り/代参講/花見>	91
(3) 夏の行事<節供/種まき正月/農休み/田植/サナブ'リ/夏祈禱/虫追い/大山の燈籠立て/土用の牛の日>	195
(4) 盆の行事<盆市/カマノチチ/七夕/墓掃除/盆禱/迎え盆/盆の供え物/棚経/盆札/送り盆/施餓鬼>	197
(5) 秋から冬の行事<八朔/十五夜/十三夜/お日待/カツキリガ'ユ/神送り/トウカンヤ/恵比須講/神迎え/ルスイギ'ヨ/カビ'タリ/冬至/みそあ祓い>	201
三 住	
(1) 新築<明治中期の長屋新築>	203
(2) 住いと生活 1 芝地区	
(1) 柳崎, N・H氏宅<家の概略/屋敷講/母屋の間取/各室の機能/冠婚葬祭と家/年中行事※信仰と家>	205
(2) 伊刈, N・H氏宅<家の概略/母屋の間取/各室の機能/冠婚葬祭と家/年中行事※信仰と家/屋根の差し替え>	210
(3) 明治期の旧柳崎村の民家<柳崎/方位/屋敷講/母屋の間取/押入/床の間/厨/入側/イロリ/母屋の外形/柳崎村家屋略図>	212
四 衣・食	
(1) 衣服	236
1 平常着<普段着/長着/襦袢/帯/履物/前掛け/襷/腰巻/止め物/子供と着物/通入着/寝具>	236
2 仕事着<ノラギ/半纏/前掛け/脇貯き/脇巾/襷/被り物/履物/機屋職人/女工の仕事着>	242
3 晴 着<ヨコヨキ/宮参り/帯解き/婚礼/葬式>	245
4 裁縫・仕立て<裁縫・仕立て>	249
5 手入れ・保管<洗濯/土用干し/虫除け/保管>	250
6 結髪・化粧<結髪/化粧/髪染め/鉄染つけ>	251
7 服飾一般<機織り/染色/身なり/新調/禁忌>	252
(2) 食	
1 普通日の食	
(1) 主食	254
(2) 副食類<野菜/芋類/漬物/肉/魚/海産物/代用食/茶/その他>	255
(3) 調味料<味噌/醤油/塩/カツブ'シ>	259
(4) 食事の回数・献立	
<朝めし/お茶うけ/昼めし/ヨシハシ/夕めし>	261
(5) 料理道具・食器・燃料など	263
(6) 禁忌・作法・その他	264

2 特別の日の食 <正月祝い/ナクサオシヤ/クラビラキ/メタマタシコ/アズキガユ/ハツカガシ/節分/初午/エビス講/雛節供/彼岸/五月節供/講/サナブリ/カマノクチ/七夕/盆/八朔の節供/十五夜/お日暮ち/十三夜/荒神さま/トウカニヤ/エビス講/タシシゲ/オカメイチ/オカガリナイ/ススハイ/大海日/その他/祝儀/お産/不祝儀> ······	265
五 社会生活	
(1) ムラのしくみ	
1 ムラの範囲と区分 <ムラ/ムラの境/小字/組/小字と町会/ムラの鎮守> ······	277
2 ムラの組織と機能 <芝の事例/伊刈の事例/官根の事例/領家の事例/元郷の事例> ······	284
3 町会の組織 ······	297
4 ムラ入り慣行 ······	302
5 若い衆の組織 ······	303
6 講 ······	304
7 無尽 ······	307
(2) 家族・親族 <家族呼称/奉公人/屋号/親類/縁故・本家・分家> ······	307
六 人の人生	
(1) 誕生・養育 ······	311
1 伊刈 <安産祈願/帯かけ/妊娠の禁忌/出産/後産/臍の緒/お産見舞い/厄年の子/異常出産/流れ灌頂/産後の産婦/妊娠の食事/乳/お七夜/お宮参り/食い初め/子育て/初正月/初節供/お誕生餅/七五三の祝い/乳歯> ······	311
2 領家 <子授け/寝帯/妊娠の禁忌/妊娠/出産/後産/臍の緒/お産見舞い/厄年の子/双子/異常出産/産後の死/産後の産婦/乳/お七夜/お宮参り/食い初め/子育て/初正月/初節供/お誕生餅/七五三の祝い/乳歯> ······	315
(2) 結婚	
1 伊刈 <ハタヤマイリ/婚姻の範囲/結婚年齢/婚姻の条件/婚姻の禁忌/呼び名と髪型/見合いと恋愛/結納/仲人礼/アシイレ/婿入り/嫁入り道具/婚礼/バアサンブアルマイ/里帰り/離婚と再婚> ······	323
2 領家 <男女の知りあう機会/結婚相手/結婚年齢/婚姻の禁忌/嫁の呼び名と髪型/見合いと恋愛/結納/仲人礼/アシイレ/婿入れ/道具送り/婚礼/オバサンブアルマイ/里帰り> ······	330
(3) 葬喪	
1 伊刈 <死の予兆/死者の処理/組の構成と役割/葬式/湯灌/出棺/野辺送り/埋葬/忌払い/死後の供養/墓の普請> ······	335
2 領家 <死の予兆/死者の処理/組の構成と役割/葬式/湯灌/出棺/野辺送り/埋葬/死後の供養/墓地の土> ······	340
第二節 水田・畑作地帯	
一 生産・生業	
(1) 総観 <耕地の概観/安行村/慈林村/大竹村/赤井村/戸塚村> ······	345
(2) 稲作と畑作	
1 摘田の水稻栽培 <摘田と植田/ツミタ/水利慣行/摘田の利点と欠点/カブゴンゴミ/田うない/元肥/播種/草取り/畦刈り/虫除け/霜害/緑刈り/稻張き/初干し/初摺り/カラウスの構造/米の保存/小作米> ······	347
2 摘田地帯の農耕儀礼 <雨乞い/ミタシヨウガツ/カッキリガユ/ダイシガユ> ······	358
3 植田の水稻栽培 <主な用水源/田うない/種浸し/苗間/苗間の管理/代播き/苗取り/田植とコイ/田植衣裳/水の管理/除草/稗抜き/稻刈り/脱穀/調査/初摺り> ······	359
4 植田地帯の農耕儀礼と禁忌 <予祝/稚まき正月/サナブリ/雨乞い/七夕/アラシヨウガツ/カリアゲ/コキッパライ/カラヌッパライ/禁忌> ······	367
5 畑作の慣行 <作物/畑の種類/麦/畑金> ······	369
6 労働慣行 <イイ/テーマ/スケット> ······	373
二 年中行事	
(1) 蓋から正月の行事 <ススハイ/蓋の市/歳暮/餅搗き/注連飾り/門松/年越し/恵比須講/正月/仕事始め/年始まわり/タナサガシ/正月の遊び/ナクサ/クリ/マユダマンゴ/あずき粥/ヤブイリ/ハツカガシ/恵比須講/初不動/正月中の農作業> ······	375
(2) 春の行事 <節分/八日節供/初午/代参講のくじ引き/さつま芋の苗床作り/彼岸/節供/百万遍/天道念仏/花まつり/春祈拂/大般若/代参講> ······	387
(3) 夏の行事 <夏祈拂/端午の節供/さつま芋の植付け/サナブリ/虫追い/麦の収穫祝い/石尊講の代参> ······	390
(4) 盆の行事 <カマノクチ/七夕/盆市/墓掃除/盆棚/迎え盆/盆の供え物/額経/概念仏/盆見舞い/送り盆/除鬼> ······	392
(5) 秋から冬の行事 <バカムコ節供/二百十日/二百二十日/十五夜/十三夜/お日待ち/カッキリガユ/神送り/トウカンヤ/ルスイギョ/恵比須講/ジュウヤ/荒神さま/大師粥/コト八日/カビタリ/冬至> ······	395
三 住	
(1) 新築と儀礼 <地祭/地固め/建前> ······	399
(2) 屋根の葺替え <昭和20年代の事例/昭和初期の事例/明治期の事例> ······	399
(3) 住いと生活	
1 安行地区	
(1) 安行慈林, F氏宅 <家の概略/屋敷講/母屋の構造/各室の機能/照明器具/屋敷内の神/家の民俗/屋根の葺替え> ······	402
(2) 安行吉岡, S氏宅 <家の概略/屋敷講/母屋の構造/各室の機能/屋根の葺替え> ······	406
(3) 安行吉岡, M氏宅 <家の概略/屋敷講/母屋の構造/各室の機能/屋根の葺替え/家の民俗> ······	410
(4) 安行原, Y氏宅 <家の概略/屋敷講/母屋の間取/間取の変遷/各室の機能/屋根の葺替え> ······	414
(5) 安行領家, N氏宅 <家の概略/屋敷講/母屋の間取/間取の変遷/各室の機能> ······	422
(6) 安行領家, 長嶋家文書の間取絵図 ······	424
2 新郷地区	
(1) 赤井, K氏宅 <家の概略/屋敷講/母屋の構造/母屋の改築/各室の機能/屋根の葺替え> ······	425
(2) 赤井, Y氏宅 <家の概略/屋敷講/母屋の構造と改築/各室の機能と習慣/屋根の葺替え> ······	428
四 衣・食	
(1) 衣服	
1 平常着 <フランギ/襦/腰巻/子供の衣類/通常着/寝具> ······	431
2 仕事着 <ノラギ/腕巻き/脛巾/被り物/履物> ······	434
3 晴着 <ヨコヰ/官参り/帶解き/婚礼/葬式> ······	436
4 裁縫・仕立て <裁縫/仕立て> ······	439
5 手入・保管 <洗濯/虫干し/保管> ······	439
6 結髪・化粧 <結髪/化粧/おはぐろ> ······	440
7 服飾一般 <染色/新調/身なり> ······	441
(2) 食	
1 普通の日の食	
(1) 主食	
(2) 副食類 <野菜/芋類/漬物/肉/魚/海産物/代用食/茶/その他> ······	442
(3) 調味料 <味噌/醤油/塩/油/その他> ······	445
(4) 食事の回数ごめ立 ······	447
(5) 料理道具・食器・燃料など <なべ/かま類/食器/燃料> ······	447
(6) 禁忌・作法・その他 <禁忌物/食事のときの作法> ······	448
2 特別の日の食 <正月祝い/ナクサオシヤ/クラビテキ/マユダマンゴ/アズキガユ/ハツカガシ/節分/初午/桃の節供/端午の節供/サナブリ/テノウサマ/カマノクチ/七夕/盆/うら盆/八朔の節供/十五夜/お日暮/荒神さま/トウカニヤ/ススハイ/大海日/祝儀/お産・養育食/不祝儀> ······	448
五 社会生活	
(1) ムラのしくみ	
1 ムラの範囲と区分 <ムラ/小字と組/ムラの鎮守> ······	453
2 ムラの組織と運営 <安行領家の事例/赤井の事例/藤八新田の事例> ······	454
六 人の人生	
(1) 誕生・養育	
1 慈林 <子授け/安産祈願/帯かけ/妊娠の禁忌/妊娠/出産/後産/臍の緒/お産見舞い/厄年の子/双子/異常出産/流れ灌頂/産後の産婦/妊娠の禁忌/産婦の食事/乳/お七夜/お宮参り/食い初め/子育て/初節供/初誕生/七五三の祝い/乳歯/仲間入り/厄年> ······	458
2 赤井 <安産祈願/寝帯/妊娠の禁忌/妊娠/出産/後産/お産見舞い/42の二つ子/産褥期の死/産婦の禁忌/産婦の食事/乳/お七夜/お宮参り/初節供/七五三の祝い> ······	467
(2) 結婚	
1 慈林 <男女の知りあう機会/結婚相手/嫁の呼び名/見合/結納/仲人/>	

婿入り/道具送り/婚礼/バアサンブルマイ/里返り/離婚> ······	473
2 赤井<男女の知りあう機会/結婚相手/婚姻の禁忌/嫁の呼び名/見合と恋愛/結納/仲人/アシレイ/シンキヤク/道具送り/婚礼/嫁の顔見せ/バアサンブルマイ/里帰り/離婚> ······	478
(3) 葬喪	
1 慈林 <組の役割/ブク/湯瀬/葬式/野辺送り/四十九餅/死後の供養/墓の管理> ······	483
2 赤井 <葬式の名称/死の予兆/死者の処理/組の構成と役割/葬式/死の儀れ> ······	488
第三節 畑作地帯	
一 生産・生業	
(1) 総観<耕地の概観> ······	491
(2) 畑作の慣行	
1 麦作から植木栽培へ<生産暦> ······	492
2 麦作<堆肥作り/麦まき/麦踏み/麦刈り/脱穀/麦搗き/労力組織> ······	495
3 さつま芋<苗床/植え付け/芋掘り/品種> ······	499
4 里芋 ······	501
5 オカボ ······	502
6 切り花<草花/木花/花ムロ/さしだ> ······	503
7 野菜類 ······ 8 柿渋 ······	507
二 年中行事	
(1) 春から正月の行事<スパライ/暮の市/歳暮/注連飾り/門松/年越し/正月/三箇日の食事/オウバン/年始まわり/仕事始め/タナザラシ/歳神さま送り/正月の子供の遊び/ナナクサ/日の使いぞめ/サクイレ/マユダマンゴ/あずき粥/あずき飯/ヤブリ/ハツカコガシ/恵比須講/天神講/不動講> ······	508
(2) 春の行事<節分/メカゴ/麦のサクキリ/初午/彼岸/離まつり/花まつり/花見/苗間の虫除け/播田の準備/代参講/春祈願> ······	518
(3) 夏の行事<種まき/節供/播田正月/麦の刈入れ/ラチガキ/麦の脱穀/田の草取り/夏祈祷/テン/ウサマ/シャゲシャゲ> ······	523
(4) 盆の行事<カマノクチアケ/盆市/墓掃除/七夕/从具みがき/盆棚/迎え盆/無縁仏/盆の供え物/絆絆/盆礼/送り盆> ······	527
(5) 秋から冬の行事<八朔/二百十日/十五夜/十三夜/お日待/荒神さま/ナガエリ/麦まき/麦踏み/トウカンヤ/恵比須講/冬至/みそか祓い> ······	531
三 住	
(1) 新築と儀礼	
<地勢/大正・昭和期の建前/明治期の建前/新築祝い> ······	533
(2) 屋根の葺替え<昭和40年代の事例/明治期の事例> ······	536
(3) 住いと生活	
1 神根地区	
(1) 源左衛門新田, H氏宅<家の概略/屋敷講/母屋の間取り/母屋の改築/各室の機能> ······	542
(2) 源左衛門新田, H, K氏宅<家の概略/屋敷講/母屋の間取り/改築/各室の機能/屋根の葺替え/家の民俗> ······	549
(3) 白倉家の文書の間取りと絵図 ······	554
四 衣・食	
(1) 衣服	
1 平常着	
<フダンギ/襦/腰巻/履物/子供の着物/通学着/養育着/寝具> ······	555
2 仕事着	
<ノラギ/前掛け/腹掛け/櫛/腕貫き/脛巾/被り物/履物> ······	557
3 晴着<ヨヨキ/宮参り/帯解き/婚礼/葬式> ······	560
4 裁縫・仕立て<裁縫/仕立て> ······	563
5 手入れ・保管<洗濯/土用干し/保管> ······	564
6 結髪<髪型/化粧/おはぐろ>	
7 服飾一般<機織り/染色/新調/身なり/禁忌> ······	565
(2) 食	
1 普通の日の食 (1)主食 ······	567
(2)副食類<野菜/芋類/漬物/肉/魚/海産物/代用食> ······	568
(3)調味料 ······	569
(4)食事の回数・献立 ······	570
2 特別の日の食<正月祝い/ナナクサガユ/クラビキ/マユダマンゴ/アズキガユ/ハツカコガシ/節分/初午/離まつり/彼岸/五月節供/ナサブリ/カマノクチ/七夕/盆/八朔/十五夜/お日待/トウカンヤ/大晦日> ······	570
五 社会生活一源左衛門新田の事例一	
(1) ムラのしくみ ······	572
(2) 家族・親族 ······	575
六 人の人生一源左衛門新田の事例一	577
(1) 誕生・養育<子授け/妊娠祝い/安産祈願/帯かけ/妊娠の禁忌/妊娠/出産/後産/臍の痛/お産見舞い/厄年の子/双子/異常出産/産婦の禁忌/産婦の食事/乳/お七夜/お宮参り> ······	577
(2) 結婚<ハタヤマイリ/婚姻の範囲と条件/婚姻の禁忌/オッカサン/髪型/見合と恋愛/結納/仲人/アシレイ/婿入り/嫁入り道具/婚礼/バアサンブルマイ/里帰り/離婚と再婚> ······	583
(3) 葬喪<死の予兆/死者の処理/組の構成と役割/湯瀬/葬式/野辺送り/四十九餅/忌払い/死後の供養/墓地> ······	591
第四節 市街地域 一 生産・生業	
(1) 川口市の伝統産業	
1 鑄物業	
(1)木型屋<Sさんの事例/小僧時代> ······	598
(2)溶解土<Tさんの事例/Tさんの1日のスケジュール/シタク/溶解組合> ······	601
(3)鑄物師<1人前Nさんの事例> ······	604
(4)仕上師<Aさんの事例/カジヤ/道具/結婚/請負/カジヤ仲間/安全靴> ······	607
(5)ワリヤ<KさんとOさんの事例/1人前/ワリヤの技術/キリリ/ビリガゼタ/クチガナイタ/カンヂシ> ······	611
(6)親方と職人<Aさんの事例/買湯/ズカヤ/小僧> ······	616
(7)鑄物関係語彙(抄) ······	620
2 釣竿業	
(1)釣竿業の移り変わり <釣竿の種類と変遷/材料竹> ······	623
(2)竹の種類と用途 ······	626
(3)つなぎ竿の作り方<皮むき/竹みがき/油ぬき・乾燥/キリクミ/ヒレ/タメ/シタゴシラエ/漆塗り/節抜き/コミケズリ/クチサライ/漆塗り/仕上げ> ······	626
(4)竿屋の生活<竿師の修業/職人の養成/釣竿組合> ······	628
二 年中行事	
(1) 暮から正月の行事<スパライ/暮の市/歳暮/注連飾り/門松/仕事納め/年越し/正月/仕事始め/初キ/年始まわり/子供の遊び/ナナクサ/クラビキ/アズキ粥/ヤブリ/恵比須講> ······	629
(2)春の行事<端午/初午/お祇さま/彼岸/お祇迦さま/花見> ······	635
(3)夏の行事<端午の節供/金山さまのまつり/水神まつり> ······	637
(4) 盆の行事<盆/七夕/盆籠/迎え盆/盆の供え物/無縁仏/絆絆/盆盆/送り盆/ヤブリ> ······	638
(5)秋から冬の行事<十五夜/彼岸十三夜/フイゴ祭り/恵比須講/冬至> ······	640
三 住 ······	641
四 衣・食 ······	642
(1) 衣服	
1 平常着<普段着/襦/腰巻/前掛け/止めもの/履物/子供の着物/通学着/養育着/寝具> ······	642
2 仕事着</ノラギ/鑄物職人の仕事着> ······	646
3 晴着<ヨヨキ/宮参り/帯解き/婚礼/葬式> ······	647
4 裁縫・仕立て<裁縫/仕立て> ······	650
5 手入れ・保管<洗濯/土用干し/保管> ······	651
6 結髪・化粧<髪型/化粧/鉄筋つけ> ······	651
7 服飾一般<染色/新調/洋服/身なり/蚊いぶし/俗信> ······	652
(2) 食	
1 普通の日の食事(1)主食	
(2)副食類 ······	654
(3)1日の食事 ······	655
2 特別の日の食事<正月祝い/初午/盆/フットメ> ······	655
五 社会生活 (1) マチのしくみ ······	657
六 人の人生	
(1) 誕生・養育(金山町)<子授け/妊娠祝い/安産祈願/帯かけ/妊娠の禁忌/妊娠/出産/後産/臍の痛/お産見舞い/厄年の子/死産/産後の産褥/乳/お七夜/子守り/お宮参り/初正月/初節供/七五三の祝い/乳歯> ······	660
(2) 結婚(金山町)<男女の知りあう機会/結婚相手/結婚年齢/婚姻の禁忌/見合い/結納/道县送り/婚礼/バアサンブルマイ/里帰り/嫁の呼び名> ······	666
(3) 葬喪(金山町)<死者の処理/組の構成と役割/湯瀬/葬式/野辺送り/埋葬/死後の供養> ······	669

第二章 信仰	
第一節 家のまわり	
一 屋内の神	675
(1) 神棚にまつる神<大神宮/神棚のお供えもの>	675
(2) 神棚以外にまつる神 <牛神/オミタサマ/恵比須・大黒/荒神/仏壇>	678
(3) 神 札<床の間にまつる神/馬の絵馬/戸口にまつる新札/ヤキガシ/古い新札の処理法>	685
(4) 付属建物の神<セッヂンガミサマ/井戸神>	690
二 屋敷神	691
(1) 祀られる方角	692
(2) 初午のまつり	694
(3) その他の神のまつり	694
(4) 祀られた由来	695
(5) 家の移転に伴う屋敷神の処理	698
(6) 分家した場合の祀り方	699
第二節 村のまつり	
一 元旦のまつり	701
二 春のまつり	702
(1) オビシャ	702
(2) 初午	706
(3) 天神さまのまつり	709
(4) 春まつり<祈念祭>	709
(5) 春祈祷	711
三 夏のまつり	712
(1) 夏祈祷	712
(2) 観音経	714
(3) 大般若経	714
(4) 百万遍	715
(5) 蛇作り<蛇作りの手順>	715
(6) 虫追い	721
(7) 人形流し	724
(8) 浅間さまのまつり	725
(9) 天王さまのまつり	726
四 秋のまつり	731
(1) 宵宮	733
(2) お日待当日	735
(3) お日待の翌日	737
(4) まつり以外に集まる日	738
(5) 組織・役割	739
(6) 神饌など	741
(7) 費用	742
第三節 講	
一 念仏講	743
(1) 名称	743
(2) 場所及び組織	743
(3) 服装・楽器など	745
(4) 日時及び種類	
1 定期に行うもの	745
2 臨時に行うもの	747
(5) 念仏の構成<和讃/御詠歌>	748
(6) 念仏講の実際<月次念仏/彼岸念仏/千地蔵参り/西新井宿のテントウヅンヅン/小谷場のテントウネンヅン/棚念仏/庚申念仏/家見念仏/ヨミ念仏>	758
二 送り大師講	768
(1) 名称	768
(2) 日時	768
(3) 場所	769
(4) 組織	771
(5) 巡拝所の行事	771
(6) 念仏踊り	773
(7) 巡行以後の行事<月次念仏/大講摩>	774
三 東領家の題目講	775
(1) 名称	775
(2) 日時と種類	
1 定期に行うもの	775
2 臨時に行うもの	775
(3) 場所・組織	776
(4) 講の実際<月次講/オッカケ題目>	776
第四節 講	
(1) 講の種類	778
(2) 代参者の決定<掛軸/講員>	779
(3) 各講の代参とその日時<大山石尊講/藤名講/古峰講/御庭講/三峰講/御嶽講/成田講/笠間/寒川稻荷講/鹿島/香取講/猿波/富士講/伊勢講/戸隠・鉤船/神道第六天講/先達/講台帳/費用>	783
(4) 代参以後の行事<もの参り正月/神礼の処理>	790
第三章 芸能・遊戯	
第一節 民俗芸能	
一 安行藤八の祭囃子・神樂・獅子舞	793
(1) 祭囃子・神楽	
二 江戸袋の獅子舞	
1 所在地	793
3 組織	794
演目など<神代神楽/面狂言>	795
(2) 獅子舞	798
1 夏祈祷	798
2 舞の実際	799
三 東領家の祭囃子と神樂	
(1) 祭囃子	
1 所在地	822
2 名称	823
3 日時	823
4 場所	824
5 役割その他の組織<シナライ/ナライ>	804
6 服装	806
7 面・楽器	807
8 舞の実際	821
(2) 神樂	
1 由来	835
2 曲目その他	836
3 舞の実際	837
四 万作踊り	841
第二章 民謡・童謡	
第一節 民謡	
(1) 仕事唄<たたら唄/機織り唄/麦打ち唄/千住唄>	856
(2) 祝い唄<はづかせ/餅つき唄/正月祝い唄>	862
(3) 芸謡<おいとこ/やれそうだよ/高砂/木更津節/ヨカヨカ/からくり/とのさ/大津絵節/ゆうぐれ>	872
(4) はやり歌<さのさ/追分/八木節/伊勢くずし/書生節/有明節/鶴嶺江/軍行節>	885
第二節 童謡	
(1) 羽根つき唄/まりつき唄/お手玉唄/子守り唄/手遊び唄/ジャンケン遊び/遊ばせ唄/歳時唄/その他>	888
第三章 遊戯	
第一節 玩具	
(1) 傘舟/ジュゴの首飾り/麦笛/モロコシの三味線/ホオズキ/ショッパンコ/竹の子の皮のからかさ/独楽/虫かご/竹とんぼ/木鉄砲/紙鉄砲/竹鉄砲/パチンコ/竹の玩具/貝の飾り>	895
第二節 指遊び・手遊び	
(1) 指遊び	903
(2) 手遊び	903
第三節 軒遊び	
(1) 軒遊び	905
第四節 外遊び・辻遊び	
(1) 辻遊び	913
第五節 賭事的遊戯	
(1) 賭事的遊戯	920
第六節 年中行事と遊び	
(1) 年中行事と遊び	923
第四章 伝説	
第一節 自然伝説	
(1) 塚の伝説	925
(2) 山の伝説	927
(3) 池・沼の伝説	928
(4) 樹木の伝説	933
第二節 信仰伝説	
(1) 神社の伝説	
<流れ神/お熊んさま/後峯のお諏訪さま/いし稻荷>	937
(2) 地蔵の伝説	
<イボ地蔵/瘡地蔵/およし地蔵/身代わり地蔵/かわらけ地蔵>	939
(3) 鍾音の伝説	
<子安觀音/マリア觀音/前川觀音>	944
(4) 薬師如來の伝説	
<慈林寺の薬師如來/勧善堂薬師/薬師さま>	948
第三節 歴史伝説	
(1) 命名由来	
<十二石/灰の木/十二月田/錢橋/舟山/白樺/腹切り原/船	950

が島/仁王橋/縁切り橋/鎌倉橋/稻荷橋/三枚橋/ロンショ橋> 952
 二 家例・行事・職能由来<暮の餅/正月の餅/トウモロコシを作らない
 /蛇まつり/赤井の一升めし/四月八日のメガゴ/川口の餅物> 954
 昭和55年3月31日 発行
 川 口 市

資料012 『川本市史 通史編』

(第六編民俗)

平成1年10月

目 次

第六編 民 俗

第一章 衣生活	1119
第二章 食生活	1136
第三章 住 居	1147
第四章 農 耕	1161
第五章 年中行事	1181
第六章 人の人生	1193

元年10月31日 発行
 川 本 町

資料013 『かわさとの民俗 第一巻』

(村史調査報告書 第五集)

平成8年3月

目 次

第一章 稲 作

第一節 稲作栽培の慣行	2
1 田うない	2
<馬耕/田うない/單用犁のイチボネ及びニボネ/両用犁のイチボネおよびニボネ/ウマヤエ /田うない時期のチャガシ>	
2 代かき	7
3 サナフミ	8
4 苗の育成	9
<苗間疎/アゲナワシロ/メボシ/折衷苗代/虫取り>	
5 田植え	12
<苗取り/苗運び/コシカケダイ/機械植え/手植え>	
6 除草と水の管理	18
<田の草取り/水の管理/スイコ・水車>	
7 稲刈り	22
<カッポシ/ボッカリ/ハンデガケ>	

第二節 堀上田と水利

1 堀上田について	29
<堀上田の形態/堀上田の分布>	
2 堀上田の水利	32
<屈巣沼の用排水/屈巣沼の区割り/逆門堰と荒井釣吉>	

第二章 着物と食べ物

第一節 着 物	42
1 被り物	43
<職/笠/麦わら帽子>	
2 男の野良着	44
<野良着の様相/パンツ/モモヒキ/ズボン/防寒着>	
3 女の野良着	50
<野良着の様相/田植え支度/長着とジパン/帯と前掛け/モモヒキ/巻き/モンパとジバ /防寒着>	
4 履物と雨具	68
<履物/靴と笠/合羽>	
5 野良着の管理	70
<洗濯/縫い/縫い返し/取納>	

第二節 食べ物

1 普段の食べ物	
(1) 食事の回数と支度	74
<農繁期の食事/農閑期の食事>	
(2) 食事の場と座	76

<食事の場/食事の座>	
(3) 主 食	77
<麦飯/湯づけ飯/ヒヤシ飯/芋飯/菜飯/ヤキソバ/うどん/蕎麦/オッキリヨ /スイート/団子汁/餅/弁当>	
(4) 副 食	87
<野菜と豆類の料理/味噌汁/漬物/豆腐/納豆/コンニャク/川魚/コエビ/シジミ /エビガニヒタニシ/ウンガエル/イナゴ/購入する魚介類/鶏卵/肉>	
(5) 調味料	100
<味噌/醤油/食用油>	
(6)嗜好品	103
<茶作り/清酒/濁酒と清酒作り/甘酒>	
2 田植えと農耕儀礼の食事	
(1) 田植えの食事	106
<食事の回数と支度/ヒルメシとコジハ>	
(2) 農耕儀礼と食事	108
<サナブリ/シッパライ>	
3 台所と水まわり	
(1) 台所の設備	111
<台所の機能/煮炊きの設備/大釜/煮炊きの燃料/ヌカカマドの流行/食品の管理 >	
(2) 水まわり	116
<井戸/滝水/使い水の処理>	
第三章 年中行事	
第一節 年中行事概説	
1 年中行事とは	122
2 曆の変化	123
<旧暦から新暦へ/モノビ>	
第二節 正月行事	
1 正月の準備	125
<ススハイ/シメカザリ/門松/餅つき/神の膳>	
2 大晦日	131
3 正月行事	134
<年男/正月の供え物と正月の食事/若水汲み/初詣/セチ/歳神様/山入り/七草粥/カワイ レ・クラビラキ/マコダマ団子/ニワトコのハナ/成木責め/小豆餅とジュオウシ/オミタ マシ>	
4 その他の正月行事	148
<ヤブリ/出替わり/馬の乗り初め/正月の禁忌/仕事始め/年頭/天神様/恵比寿講>	
第三節 二月の行事	152
<次郎の朝日/節分/初午/鬼が嫁にくる日>	
第四章 人の人生	
第一節 成人	158
<一人前/成人式/青年団>	
第二節 婚 姻	161
<結婚年齢と通婚圈/相手の選択/見合い/恋愛/タレレ/タルビロウ/足入れ/嫁入り道具 /クリ祝儀/婚礼祝いの進物/花嫁行列/入家婚礼/モライ祝儀/お宮参り/お茶より/仲人 礼/ヨメゴヨビ/結婚後の生活>	
第三節 離 婚	175
第五章 広田のさらさら	
第一節 鷺栖神社と獅子舞	178
<由来/文書/変遷/氏子組織と伝承団体>	
第二節 祭礼日程と当日の様子	180
<日程/祭礼当日の様子>	
第三節 舞の場と用具	184
第四節 演目と内容	186
<花棒の演目/「太刀さばき」/獅子舞の演目/演目構成と伴奏/歌詞>	
第五節 技術の伝習	196
話者・写真提供・協力者一覧	
川里村史編さん関係者名簿	
あ と が き	
平成8年3月31日 発行	
川里村教育委員会	

資料014 『北本市史 第六巻民俗編』

平成1年3月

目 次

第一章 生活の場と民俗概観	
第一節 北本の位置と自然	2
第二節 北本市の略沿革	3
第三節 明治初期の村の様子	5
第四節 民俗とは何か	15
第五節 北本市域の民俗の特徴	23
第二章 社会生活と親族	
はじめに	38
第一節 村のあらまし	
1 行政区の変遷	39
2 村の境とその行事	44
3 村と鎮守	45
第二節 村の中の区分とつきあい	
1 村の中の区分	49
2 クミアイと近隣のつきあい	56
第三節 村の運営	
1 近世村の区、部落	62
2 村の役員	64
3 村の集会・行事	65
4 村の警備	66
5 自治会	67
第四節 村の中の諸集団	68
1 子供たちの集団	69
2 若い衆と囃子連	70
3 青年団(会)	73
4 婦人の集団	78
5 代参講	79
第五節 家と家族	
1 世帯構成	83
2 家族員の役割	84
3 家の相続	85
4 分家	86
5 絶家の再興	89
第六節 親族のつきあい	
1 本・分家集団	90
2 シンセキ(親戚関係)	92
第三章 農業と川漁	
はじめに	96
第一節 畑と畑作	
1 畑と山起こし	97
2 畑作物<作物の種類・作物と畑>	105
3 畑作の過程<麦・陸稲・アワ・サツマ任>	114
第二節 水田と稻作	
1 水田と水利	142
2 稲作の変遷	153
3 稲作の過程<播種・植え田>	159
第三節 肥料と客土	
1 肥料	183
2 ドロツケ	189
第四節 養蚕と桑苗生産	
1 養蚕業の歩み	191
2 養蚕の技術	198
3 豊蚕習俗	209
4 桑園の管理	210
5 桑苗の生産	214
第五節 労働と休日	
1 労働慣行	216
2 休日と農耕儀礼<モノ日・休日と農耕儀礼の諸相>	220
第六節 川漁と狩猟	
1 川漁<網漁・釣漁・筌漁・その他の漁法・川魚の料理など>	231
2 狩猟	240
第四章 職人と技術	
はじめに	248
第一節 日常生活と職人	249
1 コウヤ(紺屋)	249
第二節 交通・交易	
1 道	292
2 渡し・橋	295
3 運搬具	297
4 村を訪れる芸人	298
5 行商	299
6 仲買・問屋	300
7 市	303
8 店	305
1 石戸宿	306
2 高尾河岸	307
第五章 衣・食・住	
はじめに	314
第一節 衣生活	
1 幼児の服装	318
2 通学の服装	321
3 娘時代	325
4 嫁入り	329
5 仕事着	330
6 衣類の調達と管理	340
7 髮型・お歯黒・肌の手入れ	344
第二節 食生活	
1 食料と食事	349
2 日常の食物	354
3 ハレの日の食物	364
4 味噌と醤油	371
第三節 住居	
1 屋敷取り	374
2 母屋	380
3 付属屋	394
4 燃料と照明	399
5 建築儀礼	403
第七章 人の人生	
はじめに	410
第一節 産育	411
第二節 結婚	
1 結婚の条件	431
2 婚礼	441
第三節 葬送	
1 死と靈	454
2 葬送	462
3 忌みあけ、年忌	483
4 葬制・墓制	487
第八章 信仰	
はじめに	496
第一節 神社	
1 市内の神社	503
第二節 堂庵	565
第三節 家で祀る神仏	585
1 屋敷神・屋内神	597
第四節 講	607

1	市内の講	610
第九章	年中行事	
はじめに	<概説・暦法の変化>	620
第一節	正月行事	
1	正月の準備	627
2	大晦日	636
3	正月行事	640
4	六日までの行事	645
5	小正月	652
6	その他の正月行事	652
第二節	春から夏の行事	
1	1月の行事	662
2	2月の行事	666
3	3月の行事	674
4	4月の行事	678
5	5月の行事	680
6	6, 7月の行事	682
7	七夕	689
第三節	盆	
1	盆の準備	693
2	盆行事	698
第四節	秋から冬の行事	
1	8, 9月の行事	705
2	10, 11月の行事	708
3	12月の行事	716
第十章	民俗芸能・遊戯	
はじめに		720
第一節	民俗芸能	
1	石戸宿の獅子舞	721
2	各地域の囃子連<系譜・組織・練習・囃子と祀り・曲目>	732
3	万作<北袋の万作・北中丸の万作>	742
第二節	民謡	
1	祝い歌<はつせ・相撲甚句>	746
2	仕事歌<茶作り歌・麦打ち歌・地形歌・ドハブチ歌・田植え歌>	748
3	余興歌<船売り歌・おいとこ節>	754
第三節	わらべ歌<お手玉歌・まりつき歌・子守歌・ジャンケン歌・指遊び歌・人当遊び歌>	766
第十一章	伝説・世間話・昔話・諺	
はじめに		780
第一節	伝説<蒲団・逆さ椿または三神椿・龍灯杉・なんじやもんじや・物見の松・「花の木」と「常光」の由来・夜壇・左陣五郎が一夜で作った大御堂・かねづか・かんねづか・金根(かんね)塚・かね塚・太郎塚・庚塚・たから塚・御経塚・向塚・耳塚・首塚・十三塚・亀御前の塚・鰐沼・埋められてしまった石の仁王・伊藤刑部が背負ってきた地蔵・巖島神社の御神体・鰐沼出現の地蔵尊・病を治してくれる神仏・送り才オカミ・寿命院の宝剣様・河童・小豆とざばあ・キユウリを作らない家・キユウリ以外の禁忌作物・禁忌動物・元日に餅をつく家・三が日餅を食べない家・正月14日まで餅つきをしない家・門松を立てない家・おたきあげ・十日夜(とうかんや)>	785
第二節	世間話<オトカの嫁入り・狐にばかされた話・ゴーヘー・松の大木・力持ち・寿命院の井戸水・車橋・仲の悪い神様>	807
第三節	昔話<十二支に猫がない訳・からちら山・コオロギの鳴き声こめ太郎・花咲かじじい・浦島太郎・親捨て山・どっこうしょ・一番うまいとこ・糸合団・家廢め・みようがを食べる・半殺し・十五夜の月・おかわり・仕事は弁当・飯は食うが・田んなかに一升徳利・弘法大師の誤り・よってくだんのごとし・人間の寿命・コンニャクの神移り・きゅううつきゅううづく>	811
第四節	諺	
1	諺	830
2	言いならわし	835
第十二章	民俗の変化と変容	
はじめに		838
第一節	社会生活	840
第二節	人生儀礼	845
第三節	信仰	860
第四節	年中行事	866
北本の主な祭り・年中行事と民俗芸能		881
あとがき		
北本市史「民俗編」	話者名簿／執筆分担	

資料提供・協力者／市史編さん関係者名簿
平成元年3月 発行
北本市教育委員会

資料015『行田市史 下巻』

(第十六章民俗)

昭和39年10月

目 次

第十六章 民 俗

第一節	年中行事	967
(1)	忘れられた行事	968
(2)	帶解の祝い	970
第二節	風俗、習慣	
(1)	七夜並びにお宮詣り	971
(2)	七五三の祝	971
(3)	婚姻の儀式	972
(4)	葬儀	973
(5)	祭礼	974
第三節	方言、訛語	974
第四節	伝説	980
(1)	蚊喰塚	981
(2)	行人塚	981
(3)	蚊餌塚	982
(4)	稚兒塚	982
(5)	沖の天神	982
(6)	せわれ橋	983
(7)	ガッカラ薬師	983

第五節 民謡

(1)	麦打唄	985
(2)	手毬唄	985
(3)	忍領民謡	986
(4)	行田音頭	986

第六節 郷土芸能

(1)	獅子舞	988
(2)	村芝居	989
(3)	自立劇団コスマス座	990

第七節 娯楽(劇場、映画館)

(1)	忍座	994
(2)	大正座	994
(3)	昭和座	995
(4)	行田劇場	995
(5)	忍館	995

昭和39年10月20日 発行

行 田 市 役 所

資料016『熊谷市史 通史編』

(第三章民俗)

目 次

第三章

第四節	民俗と年中行事	384
第一項	民 俗	384
第二項	熊谷の年中行事	406

昭和59年8月 発行

熊 谷 市

資料017『騎西町史 民俗編』

昭和60年12月

目 次

第一章 社 会

はじめに		2
第一節	騎西町の今昔	
<その自然・むかしまかし・埼西と私市・山根庄海上郷・騎西領>		4

第二節 町村の形成

<自然村落・耕地集落・川と水と郷村・町村の発展・社会圈>		20
------------------------------	--	----

第三節 地域の自治<自治制の沿革・人口構成・区制と隣組>

		43
--	--	----

第四節 家族・同族集団<家族構成・核家族と相続・同族集団>

		53
--	--	----

第五節 性・年齢集団

<婦人団体/青少年団体/種足青年読書会/老人クラブ>	58	
第六節 産業経済集団<農業団体/商工団体等>	64	
第七節 宗教集団<氏子集団/徳使集団/半徳使制/講集団>	67	
第八節 文化・教育集団<騎西町文化連盟・PTA>	75	
第二章 経済		
はじめに	80	
第一節 産業構造の発展<産業の歩み/農間渡世/近代の産業>	82	
第二節 農業の展開<農家の変遷/農業経営規模/農地の状況/農地所有/小作慣行/經營組織/栽培技術/労働技術/収入と生産費>	90	
第三節 商工業の展開<町場と商工業/騎西と綿織物/騎西と酒造/大戦後の工業/大戦後の商業/金融関係>	143	
第四節 交通・公益<交通と交易>	160	
第三章 衣食住		
はじめに	174	
第一節 衣生活<衣料と衣服/晴れ着/訪問着/ふだん着/労働着/被り物/履き物等/寝具類/洗濯・掃除>	176	
第二節 食生活		
<食事と食料/晴れの日の食物/常日の食物/嗜好品・調味料/炊事/食器>	186	
第三節 住居		
<屋敷と住居/住居の間取り/住居の建築/建具と敷物/暖房・灯火>	204	
第四章 人間の生涯		
はじめに	230	
第一節 妊娠<身ごもり/身ごもりの予知/腹帯の祝い/妊娠の禁忌>	232	
第二節 分娩<産室/産婆/乳づけ/産婦の食事/ウブタテの飯/お産の神/七夜の命名/産明けの祝い>	236	
第三節 成長<食いぞめ/初正月/初節句/初誕生/七五三の祝い/成人の祝い/長寿の祝い/厄歳>	241	
第四節 婚姻<通婚範囲/姫嬢の形式/構入れと結納/荷送り/婚儀/お茶より/里帰り/婿入り婚/足入れ婚/髪直し/嫁と主婦の座>	248	
第五節 喪禮<死亡の認定/魂呼び/早使い/葬儀の準備/枕飯/枕団子/通夜/湯濯/納棺/葬儀/野邊送り/埋葬/妊娠婦の葬儀/土葬と火葬/香典等/墓制>	259	
第六節 忌服と忌日	274	
第五章 歳時習俗		
はじめに	280	
第一節 春の行事<正月迎えの準備/歳神祭り/賀正札/七草の節/山入り・鍵入れ/みたまの飯/物作り正月/エビス講/次郎の朝日/立春と節分/事始めとネロハ/初午/後岸会/上日の節>	282	
第二節 夏の行事<八十八夜と川祭り/苗代の祭り/端午の節/田植え祝い/農耕正月>	294	
第三節 秋の行事<たなばた祭り/盆祭り/八朔祝い/十五夜/重陽の節/十三夜・二十三夜/日待ち>	299	
第四節 冬の行事<おかさま祭/稻子祭り/エビス講/大師講/七五三の祝い/冬至の祝い/かびたり祝い/事始めとネロハ>	309	
第六章 宗教		
はじめに	318	
第一節 地域の神社<鎮守社/末社・小社等/神社の神々/講による神々/屋敷神・宅神/神社の整理>	320	
第二節 久伊豆明神考<久伊豆神社の分布/文献上の初見/騎西の久伊豆神社/伊豆山龍花院/伊豆山権現/久伊豆神の諸説/久伊豆宮と玉敷神社>	340	
第三節 地域の祭礼<祭礼/祭日/祭りの種類/特色ある祭り>	357	
第四節 地域の寺院<仏教伝来/寺院と宗派/町村と寺院/寺院の本尊/寺院の由来>	364	
第五節 堂庵・仏壇<堂庵/堂庵の仏/堂庵の由来/仏壇の位置/仏壇の中身/仏壇の由来>	378	
第六節 法会・講<法会/仏事講>	387	
第七章 俗信・俚諺		
はじめに	404	
第一節 俗信<児童と俗信/俗信の種類/俗信の変動/俗信一覧>	406	
第二節 俚諺<諺の伝承/諺の種類/諺一覧>	432	
第八章 方言・諺言		
はじめに	450	
方言・諺言一覧	455	
第九章 伝説・昔話		
はじめに<伝説と昔話/騎西の伝説と昔話>	478	
第一節 神社関係の伝説		
1 お獅子さまの夜廻り	2 流行病とお獅子さま	3 騎西の男神さまと越後の人
4 鳥居の白蛇	5 明神さまのご神湯	
6 雷電さまの雨乞い	7 雷神社のいわれ	
8 流れてきた獅子頭		482
第二節 寺堂関係の伝説		
9 龍花院の大寂和尚さん	10 鳥の鳴き声を聞く盛良和尚さん	11 洪水と背高地蔵
12 西の谷のいぼとり地蔵	13 上種足のいぼとり地蔵	14 根古屋の觀音さま
15 庚申さまと弁天さま		489
第三節 塚と橋の伝説		
16 戸室のおぎょう塚	17 上崎の入定塚	18 騎西の念仏橋
19 騎西の親爺橋		494
第四節 行事のいわれの伝説		
20 神ハのいわれ	21 卯日八日は吉日よ	22 山姥とおじいさん
23 名主の娘と沼の主		500
第五節 妖怪談など		
24 プツチャリテー	25 ムジナにばかされた話	27 戸室のおとか山
28 下崎の一本杉		503
第十章 芸術		
はじめに		510
第一節 玉敷神社神楽		
<行う時と所/行う人々/曲目構成/神楽用具/神楽の熊様/特色と由来>	512	
第二節 雷神社獅子舞<行う時と所/行う人びと/ささら用具/舞曲の編成/上演の準備/舞の熊様/ささらの由来>	520	
第三節 説経節の名人漆原四郎次		
<説経節/四郎次の修業/四郎次の門弟/説経説の演目>	556	
第四節 万作・盆踊り		
<万作とは/騎西の万作/戸室の万作/盆踊りとは/戸室の盆踊り/上崎の盆踊り娘>	566	
第五節 歌謡<騎西の歌謡(民謡・労作唄・子守唄・童唄)>	584	
騎西町史関係者名簿		602
索引		604
昭和60年12月25日 発行 騎西町教育委員会		

資料018 『久喜市史 民俗編』

平成3年3月

目 次

第一章 久喜の民俗の概観	1
第二章 生活を営む	
第一節 仕事	
1 お米を作る	25
2 畑の仕事 (1) 梨の栽培	45
(2) 麦の栽培	53
3 蚕を飼う	56
4 職人の仕事	67
第二節 着る	
1 ふだん着・仕事着	76
2 特別日の着物・身なり	82
3 手入れ	89
第三節 食べる	
1 ふだんの食べ物	93
2 特別な日の食べ物	99
3 食べ物の備え	101
4 食事のしかた	109
第四節 住む	
1 屋敷構え	112
2 母屋	114
3 付属屋	122
第五節 交 通	
1 道路	127
2 道標	130
3 乗合馬車	132
4 乗合自動車	133
5 来客輸送	134

6 村の来る芸人	7 遊山	135
8 船運から鉄道へ		138
第六節 交 易		
1 「埼玉県営業便覧」にみる商人		144
2 三・八の市		146
3 買い物		149
4 行商		150
第三章 生活を楽しむ		
第一節 天王様の祭り		
1 久喜の天王様		155
2 氏子町と地域		156
3 氏子町「新二」の組織		162
4 祭りの実態		166
(1) お仮屋の様子		166
(2) 「新二」の準備		170
(3) 山車の引き回し		175
(4) 後片付け		187
5 家庭の様子		188
第二節 獅子舞		
1 古久喜の獅子舞		191
2 天神社の獅子舞		195
3 除堀の獅子舞		198
第三節 子供の遊びと子供歌		
1 子供の遊びの種類		207
2 子供歌		211
第四節 口承文芸		
1 昔話・伝説・世間話		217
(1) 昔話		219
(2) 伝説		224
(3) 世間話		225
2 民俗知識等		238
3 土地の話		239
(1) 久喜地区		239
(2) 太田地区		243
(3) 江面地区		245
(4) 清久地区		251
第四章 幸せを祈る		
第一節 信 仰		
1 神社・寺院・堂		257
(1) 神社		258
(2) 寺院・堂		269
2 講		
(1) 代参講		286
(2) 村内の講		297
3 俗 信		
(1) 前兆・予知		304
(2) 禁 忌		305
(3) 民間療法		307
(4) まじない		308
第二節 年中行事		
1 年中行事の期日		309
2 正月行事		311
3 春・夏の祭りと行事		324
4 盆の行事		345
5 秋・冬の行事		351
第三節 冠婚葬祭		
1 久喜地区の冠婚葬祭		371
(1) 妊娠と出産		372
(2) 育児		375
(3) 成人		376
(4) 婚姻		377
(5) 厄年と年祝い	(6) 葬送	382
2 太田地区の冠婚葬祭		
(1) 妊娠と出産、育児		386
(2) 婚姻		388
(3) 葯送		391
3 江面地区的冠婚葬祭		393
(1) 婚姻		394
(2) 妊娠と出産、育児		397
(3) 葯送		400
4 清久地区的冠婚葬祭		
(1) 妊娠と出産、育児		402
(2) 婚姻		403
(3) 葯送		406
民俗資料		
方言・俗語一覧		409
「清久村郷土誌」における年中行事		420
我家の年中行事		427
我家の養蚕業の記録		439
・協力者(機関)一覧	・久喜市史関係者名簿	
・あとがき		
平成3年3月25日 発行		
埼玉県 久喜市		

資料019 『鴻巣市史 民俗編』

平成7年5月

目 次

第一章 社会生活と親族

第一節 社会生活

1 行政区の変遷	4
2 町場の社会生活	6
3 村の社会生活	35
4 青年と子ども	45
5 消防	50
6 近隣と家の付き合い	53

第二節 家と家族

1 イエの家族構成	60
2 家の相続	61
3 家と家のつながり	65
4 分家と方位	70
5 家と家のつきあい	72

第二章 住 居

第一節 農 家

1 屋敷構	83
2 母屋	86
3 付属屋	102
4 燃料と照明	108
5 家具・調度品	111
6 水害と生活	112

第二節 商 家

1 町屋(まちや)	117
-----------	-----

第三章 衣生活

第一節 仕事着

1 農作業の仕事着	128
2 商人の仕事着	134
3 職人の仕事着	135
4 勤め人の服装	136

第二節 普段着とよそゆき

1 普段着	138
2 よそゆき	140

第三節 通過儀礼と着物

1 誕生と着物	143
2 七五三と着物	146
3 成人式と着物	148
4 結婚式と着物	149
5 厄年・年祝いと着物	151
6 葯送と着物	152

第四節 祭りの着物と化粧

1 祭りと着物	154
2 化粧	157

第五節 着物と寝具の手入れと管理	
1 着物の手入れと管理	160
2 寝 具	162
第六節 織物・染め物・裁縫	
1 織 物	164
2 染 め	166
3 裁 縫	168
第七節 着物と行商	176
第四章 食生活	
第一節 毎日の食事	
1 主 食	180
2 副 食	187
3 汁	192
4 間 食	196
第二節 晴れの食事	
1 年中行事の食事	199
2 人の人生と食事	223
第三節 保存食	
1 潰 物	229
2 干し物	236
第四節 調味料	
1 味 噌	240
2 醬 油	243
3 その他	246
第五節 嗜好品	
1 茶	249
2 酒	251
第六節 食 制	
1 呼称と回数	253
2 食事の作法	255
第七節 台所と道具	
1 台所の移り変わり	257
2 台所の道具	258
第五章 生産生業	
第一節 農 業	
1 農業経営	265
2 農耕技術	281
3 農耕儀礼	304
第二節 漁 撈	310
1 採 捕	315
2 つかみ漁	316
3 潜水漁法	317
4 突き刺し漁	319
5 ウナギ搔き	320
7 ホリイケ	321
9 カイボリ・カイドリ	321
10 鵜飼い	322
13 篓 漁	323
14 釣り漁	333
15 網 漁	337
第三節 諸 職	
1 雑製造	348
2 赤物(練物)	359
3 桐箪笥	364
4 瓦製造	376
5 だるま窯製造	389
6 野鍛冶	394
7 上総掘り(井戸)	400
8 紺 屋	411
9 三味線	415
10 鋸鍛冶	418
11 籠 屋	425
第六章 交通・交易	
第一節 交通・運搬・通信	
1 道と交通	435
2 川と舟運	446
3 旅と往来	462
4 通 信	470
第二節 交 易	
1 店	473
2 行 商	480
3 市	483
第七章 信 仰	
第一節 家の神仏と代参講	
1 家の神仏と祠り方	490
2 屋内の神仏	491
3 屋敷神	500
4 代参講	505
第二節 社寺の信仰	
1 神社と信仰	517
2 寺院と信仰	541
第三節 祭りと行事	
1 滝馬室(氷川神社)の的祭	560
2 鴻巣のお獅子様	562
3 鴻巣の夏祭り	564
4 鴻巣の百万遍	566
5 滝馬室の丑の真言	568
6 勝願寺(本町)のお十夜	570
7 庚申講・地蔵講・愛宕講	571
稻荷様の灯ろう・天神堂の灯ろう	571
第八章 年中行事	
第一節 正月行事	
1 正月の準備	583
2 大晦日	588
3 正月の行事	590
4 小正月の行事	595
第二節 春から夏の行事	
1 一月の行事	601
2 二月の行事	603
3 三月の行事	607
4 四月の行事	609
5 五、六、七月の行事	611
6 七 夕	613
第三節 盆行事	617
第四節 秋から冬の行事	
1 八、九月の行事	623
2 十、十一月の行事	626
第九章 人の人生	
第一節 产 育	
1 妊 娠	633
2 出 産	636
3 生児儀礼	641
4 生育儀礼	647
第二節 婚 姻	
1 結婚の条件	653
2 婚 札	662
第三節 葬 送	
1 死と靈	677
2 葬 送	683
3 忌み明け・年忌	694
4 葬制・墓制	696
第十章 言い伝え	
第一節 名をつける	
1 土地の名まえ	701
2 道の名・橋の名	706
第二節 唱えことば	
1 自然の中で	709
2 子どもの遊びから	714
3 健康と豊作を願う	718
第三節 ことわざ	
1 農作業の知恵	722
2 生活の中から	724

3 嫌いごと（禁忌）	726
第四節 伝え話	728
第十一章 民謡	
第一節 中山道と荒川のうた	741
第二節 他唄と麦打唄	755
第三節 女の機械唄	766
第四節 子どものうた	768
第十二章 民俗芸能	
第一節 神樂	
1 湯立神楽	781
2 安養寺の神楽	782
3 糀田の神楽	787
第二節 祭ばやし	
1 はやし本宮連	790
2 糀田のはやし	793
3 滝馬室のはやし	797
4 小松原のはやし	799
5 町内のはやし	800
第三節 万作	
1 郷地の万作	803
2 寺谷の万作	807
第四節 獅子舞	
1 滝馬室の獅子舞	812
あとがき	
関係者名簿	

平成7年5月 発行
埼玉県 鴻巣市

資料020 『江南町史 資料編5民俗』

平成8年3月

目次

第一章 生産・生業

第一節 江南町の水田経営	4
1 江南町の農業の現況、水田経営	4
2 江南町の農業水利	
(1) 三水系による江南町の灌漑	5
(2) 水系別のため池分布 <ため池総数43ヶ所/ため池の標高/ため池の種類,呼称>	10
3 江南町の稻作慣行	
(1) 平地部の稻作慣行	14
1 横春地区の稻作暦	15
2 慣行の内容	15
(2) 谷津田の稻作慣行	16
1 小江川地区の稻作暦	17
2 慣行の内容	17
4 沼の水利慣行	
(1) 柴沼の水利慣行（吉野川水系） <水利組合/放水/樋棒/ネギ植え/堤体の普請/土場打ち唄/エビ漁>	19
(2) 大沼の水利慣行（和田川水系） <水利組合/放水/堆砂対策/「共同田植え」/普請/「しがらみ」/土場打ち唄/沼の漁業/記念碑>	21
(3) 駒込沼の水利慣行（滑川水系） <水利組合/話し合い/放水/樋棒/堤体の普請/魚>	24
(4) 沼の改修記念碑	25
5 沼の民俗	
(1) 土場打ち唄 <一人だこをやりながら(土場打ち)/一人だこのやり方>	26
(2) 沼の漁法	
1 網を使った漁法	31
2 篓を使った漁法・3 釣り上げの漁法	32
4 かき鏃を使った漁法	32
5 投げる道具、刺す道具を使った漁法	32
6 かえ堀、池さらい、池ぼし	32
(3) ウナギ漁	

1 ウナギかき鏃によるウナギ漁	33
2 ウナギの習性	34
3 ウナギの空気孔・4 ウナギの呼び名	35
5 ウナギの用途・6 その他のウナギ漁	36
6 沼普請文書	36
7 まとめにかえて	37
第二節 麦作	
1 台地の麦作<台地上の土地利用/大麦と小麦/耕地/整地/サクキリ/種まき/タラマキ/中耕・麦踏み・土入れ/夏作の準備/麦刈り/脱穀・調整/出荷>	38
2 低地の麦作<水田の裏作/種まき/整地>	48
第三節 養蚕と生絹	
1 養蚕	52
(1) 飼育回数と蚕期 <飼育回数/蚕期の日程/蚕と農作業等の兼ね合い>	53
(2) 蚕種の購入とコバカイ <蚕種の購入/コバカイと稚蚕共同飼育所>	56
(3) 蚕室<蚕室/蚕室の消毒/蚕室の暖房>	58
(4) 桑 <桑園/桑切りと桑摘み/桑の質と善し悪し/桑園の管理/桑の間作/桑の被害/桑の樹皮の利用>	65
(5) 飼育・上蔟の工程と用具 <棚廻り/掃き立て/糸糸/括座とウラトリ/発育進度の調整/蚕の病気と方法/台での飼育/上蔟/マシンの変遷>	74
(6) 収繭と出荷<叢書きと毛羽取り/出荷/収繭量>	93
(7) 養蚕の労働力 <仕事の分担/忙しい時期の手伝い/蚕日傭い>	100
(8) 養蚕信仰<養蚕祈祷の神社/小正月のマイダマ>	102
2 生絹	
(1) 町内の機屋<開業と全盛期/蒸業>	104
(2) 生絹の生産<生絹の種類/織の調達/製糸/生糸の購入/機織り/販機/織り手の付け届け/織り管の支払い方>	105
(3) 生絹の出荷と同業組合<生絹の出荷/生絹の用途/同業組合/品評会>	110
第四節 山仕事	112
1 用材と薪の生産 <山林の壳剥/山師の仕事/伐採/薪作り/搬出/山の神>	113
2 落ち葉かきとカヤ刈り <クズハイ/堆肥作り/クズハイカキ/カヤ刈り>	118
第五節 水車	122
第二章 衣生活	
第一節 仕事着	
1 仕事着の様相 <野良仕事の服装/田植えの服装/川の仕事の服装>	131
2 仕事着の形態と素材 <被り物/男の野良着(長着/シャツ/ハンキリの着物/股引き/野良着の洋装化)/女野良着(長着/帯/前掛け/腰巻/股引き/標準服とモンペ/割烹着/野良着の洋装化)/野良仕事の防寒着/脚絆と手甲/野良仕事の履物/野良仕事の雨具と日除け(雨具/日除け)>	134
第二節 家着とよそ行き	
1 家着<木綿の長着と防寒着/前掛けと割烹着/戦争中の家着/家着の洋装化/寝間着と寝具(寝間着/寝具)>	157
2 よそゆき<よそゆきの素材と仕立て/よそゆきの装い(男の装い/袴の季節/男の夏の装い/男の合着/女の装い/袴の季節/女の夏の装い/女の合着/戦争中の女の装い)/よそゆきをする機会>	163
3 下着と履物<下着(男の下着/女の下着/下着にかかる習俗)/履物(藁製の履物/下駄/草履)>	175
4 子供の衣類<オムツと襦袢/モリッコオビネンコパンテン/子供の着物/通学着/子供の履物/雨具・持ち物/子供のよそゆき/女学生の服装>	183
第三節 ハレ着	
1 出産<産着/お産見舞の反物/ショウボウギモノ>	195
2 帯解きと成人祝<帯解きの着物/成人祝の着物>	198
3 婚礼<花嫁の衣裳/花嫁衣裳/披露宴のお色直し/嫁入りに持ってきた着物/嫁入り道具/婚礼後の儀式の衣裳/嫁のショウボウギモノ>	200
4 厄年と年祝い<厄年帶/年祝いの着物>	220
5 葬式<死者の装束/男の喪服/女の喪服/割烹着を送る風習>	221
第四節 衣料の製作と入手方法	
1 衣料の製作<木綿機/絹機/絹の織を織る工程/縮緬やカベの織り方/残糸の	

利用/ナイロン糸を織る/紡績技術の修得/仕立てと裁縫用具>	223
2 衣料の購入 <呉服屋からの購入/行商からの購入/衣料の購入が困難した時代>	243
第五節 衣服の管理方法	
1 洗濯 <男良着の洗濯/洗濯の水/洗濯の用具と洗剤/衣替えと着物の丸洗い>	245
2 繕いと縫返し<縫い/張り返しと縫い返し/着物の縫り回し>	248
3 衣服の収納と防虫<収納具/防虫>	250
第六節 容姿	
髪型<男の髪型/女児の髪型/娘や婦人の髪型/髪結用具とカミサン/断髪とパーマネント>	253
2 髪の手入れ<洗髪/整髪>	257
3 化粧<化粧品/香水/お歯黒と眉を剃る習俗>	258
第三章 食生活	
第一節 普段日の食事	
1 普段の食事	264
2 間食	265
3 食事の場所と家族の配置	266
4 食物の煮炊き	269
第二節 晴れ日の食事	
1 年中行事と食べ物	
(1) 大正月<T家の事例/正月の餅>	271
(2) 七草	274
(3) 小正月	275
(4) 恵比須講(小江川・T家の事例)	276
(5) ジロウノツイタチ(次郎の朔日)	276
(6) 節分(7)初午(8)二月八日	277
(9) 三月節供 (10) 彼岸	278
(11) 端午の節供	278
(12) 六月一日(13)ナエビラキとサナブリ	279
(14) ノアガリ(野上がり)	279
(15) 七夕 (16) 盆	280
(17) 八朔の節供 (18) 十五夜・十三夜	281
(19) 二百十日(20)オヒマチ(お日待ち)	282
(21) トーカンヤ(十日夜)	282
(22) 恵比須講	283
(23) 川漫り (24) 冬至	284
2 祝儀・不祝儀と食べ物	
(1) 御祝儀の食べ物	284
(2) 不祝儀と食べ物<通知/四十九の団子/本膳としのぎ/メドバン/ボンケ(盆供)/野邊送りの膳>	286
第四章 住生活	
第一節 屋敷構え	
1 屋敷取りと建物配置	293
(1) 板井・小田川家<屋敷構え/間取り>	294
(2) 板井・吉野家<屋敷構え/間取り>	298
(3) 板井・富岡家<屋敷構え/間取り>	302
(4) 塩・富田家<屋敷構え/間取り>	306
(5) 三本・長谷川家<屋敷構え/間取り>	310
(6) 樋春・平山家	314
(7) 板井・飯島家	318
2 付属屋	
(1) 門 (2) 蔵<穀蔵/文庫蔵/味噌蔵>	320
(3) 物置<木櫃> (4) 井戸	322
3 屋敷まわり	
(1) カイドウ	324
(2) 防風林一屋敷林	325
(3) 庭<庭園> (4) 庭木	326
4 氏神様	327
第二節 家造りと住まい方	
1 屋根	
(1) 屋根の材料<かや葺き/瓦葺き>	330
(2) 屋根の形<煙出し/屋根組>	331
2 間取り	
(1) 間取り	333
(2) 造作<土台/柱/神棚の上>	335
3 土間<アガリハ>	336
(1) 出入り口<トボグチ/ナカトボ/ヒガシトボ/セドグチ>	338
(2) 台所<カマド/流し>	339
(3) 馬屋	341
4 風呂と便所	
(1) 風呂	342
(2) 便所<外便所/内便所>	343
第五章 社会生活	
第一節 ムラの組織	
1 ムラと屋号	349
2 ムラ組織と役職	352
3 諸集団	
(1) 講	357
(2) 子供	362
(3) 青年	364
(4) 女性	367
4 共同労働	
(1) エエ仕事	368
(2) 道普請と堀さらい (3) 夜番	369
(4) 水の管理と雨乞い	371
5 ムラの境	374
第二節 家と家族	
1 本分家関係	376
2 つきあい	378
3 通婚圏	393
第六章 儀礼と生活	
第一節 冠婚葬祭	
1 産育<妊娠/帯祝い/安産祈願/妊娠中の禁忌/出産/流れ産頭/ノチアン/ヘソノオ/妊娠の食事/オヒチャ/セッヂンマイリ/お宮参り/オクイゾメ/捨て子/夜泣き封じ/カンの虫/初正月/初節供/初誕生/帯解き>	402
2 成人<青年団/女子青年団/夜遊び>	407
3 婚姻<婚礼/結婚年齢と通婚圏/ハシリタシ/見合い/タリイレ/足入れ/恋愛結婚/嫁入り道具/クレセレモ/入家儀礼/モライ祝儀/仲人礼/離婚>	409
4 厄年・年祝い<男の厄年/女の厄年/年祝い>	417
5 葬送<死の予兆/死者の扱い/死に木/湯かん/組織の機能/通知/ハヤドウグ/穴掘り/香典/入棺/葬法/葬儀/葬列/埋葬後の習わし/イミアケ/墓直し/寺参り/念佛/死後の供養>	418
第二節 歳時儀礼	
1 正月行事<若木くみ/ウタイゾメ/三が日の食事/タナサガシ/七草/山入り/お手長様/鍼入れ/オシラビマチ/モノツクリ/マユダマ/小豆粥/やぶいり/セエノカミ/恵比須講/十二夜様>	424
2 春・夏の行事<次郎の朔日/節分/初午/デエモンガエシ/社日/春彼岸/お獅子様/ひな祭り端午の節供/石尊講>	431
3 盆行事<カマノチアケ/七夕/盆/盆迎え/盆の食事/新盆見舞/野回り/施餓鬼/盆送り>	434
4 秋・冬の行事<八朔の節供/十五夜・十三夜/お天道さまの日待ち/帯解き/恵比須講/デエモンガエシ/冬至/餅つき/松飾り/ミヅカッパライ>	437
第三節 農耕儀礼	
1 稲作儀礼	
<予祝儀礼/播種儀礼/田植え儀礼/祝術的儀礼/收穫儀礼>	442
2 畑作儀礼	
<予祝儀礼/十五夜・十三夜の年占/播種儀礼/播種の禁忌/收穫儀礼>	446
第七章 交通と交易	
第一節 交通	
1 交通の発達	
(1) 町内の交通の概況	454
(2) 外出の機会	458
(3) 荒川土手の築堤	460
2 運搬具の乗り物	
(1) ショイタ (2) 大八車	462
(3) 馬車・牛車	463
(4) 運送と香龍坊主の思い出	463
(5) 自転車の出現	465
(6) 耕運機	466
(7) オートバイ	467
(8) 自動車	468

3 バスの運行	469	
(1) 小川・熊谷線の運行	469	
(2) 熊谷・本郷線の運行	470	
4 水運と渡し舟		
(1) 押切の河岸	472	
(2) 押切の渡し舟	473	
第二節 交易		
1 物資の流通		
(1) 物資の交換と買入	478	
(2) 農産物等の売却	479	
2 行商人の往来		
(1) 物売り		
<越後の毒消し/富山の薬売り/お宝売り/魚売り/食べ物売り/一錢屋>	481	
(2) 露天商	485	
(3) 職人<傘屋/錦掛け屋/籠屋・薬直し>	487	
(4) 芸人<簪女/獅子回し/三河万歳/人形芝居/紙芝居>	488	
3 町内の商業活動		
(1) 屋号に残る昔の話		
<唐白屋と付け木屋/ラブ屋/巖治屋/籠屋>	490	
(2) 町内の商店	493	
第八章 信仰		
第一節 町内の社寺と祭り		
1 町内の信仰と概要	505	
2 町内各地区的社寺と祭り		
(1) 成沢		
1 地内の社寺<赤城神社/赤城庵/神力寺/静簡院>	520	
2 年間の祭り<天王様>	526	
(2) 三本		
1 地内の社寺<渡唐神社/駒形明神社/順海神社/安閑寺>	530	
2 主な年間の祭事<お日待>	535	
(3) 上新田		
1 地内の社寺<諏訪神社/薬師堂>	537	
2 主な年間の祭事<諏訪神社の大祭>	542	
(4) 押切		
1 地内の社寺		
<八幡若宮八幡神社/寺の前/東陽寺跡/円光寺/篠田家/伊勢宮/宝幢寺>	545	
2 主な年間の祭事	552	
(5) 横春		
1 地内の社寺		
<七社神社/觀音寺跡地/通殿稻荷社/真光寺/薬師堂>	554	
2 主な年間の社寺<七社神社の囃子投げ/薬師堂の暁日>	561	
(6) 御正新田		
1 地内の社寺<雷電神社/淨安寺/不動院>	565	
2 主な年間の行事<夏祭り>	569	
(7) 須賀広		
1 地内の社寺		
<八幡神社/枳迦寺/能満寺跡地/弁天社/重殿稻荷>	572	
2 年間の主な祭事<八幡様の秋祭り>	579	
(8) 野原		
1 地内の社寺<八幡神社/文殊寺>	581	
2 主な年間の祭寺<八幡神社の大祭/文殊寺の暁日>	588	
(9) 小江川		
1 地内の社寺<高根神社/保泉寺/満讚寺/聖觀寺/椎塙稻荷>	590	
2 年間の主な祭寺<高根神社のお日待と末社の祭り>	597	
(10) 塩		
1 地内の社寺<八幡神社/常安寺>	599	
2 年間の主な祭寺<天王様/薬師講>	604	
(11) 板井		
1 地内の社寺		
<出雲乃伊波比神社/長命寺/宝光寺/阿弥陀寺/キヨウホ院>	606	
2 年間の主な祭寺<天王様/不動様>	613	
(12) 柴		
1 地内の社寺<八幡神社/金胎寺跡/阿弥陀堂/寺内庵寺>	616	
2 主な年間の祭寺<お日待>	620	
(13) 千代		
1 地内の社寺<飯玉神社/普門寺>	622	
2 年間の主な祭寺<お日待>	626	
第二節 家の内外の神仏		
1 地縁・血縁による祭祀		
(1) 近隣で祀る神仏	628	
(2) 同族で祀る神仏<広沢一家の不動様(成沢)/関口稻荷(三本)/持田稻荷(下押切)/大島稻荷(下押切)/市川稻荷(下押切)/坂田家の薬師様(下押切)/寺山一家の地蔵様(千代)>	629	
(3) 個人で祀る神仏<高橋家の天神様(成沢)/平山家の地蔵様(樋春北)/鈴木家の不動様(樋春南)/大澤家の觀音様(樋春南)/岡田家の夜泣き不動(野原)/上杉家の氏神(千代)>	631	
(4) 先祖供養<新葬界の場合/仏葬の場合>	634	
(5) 信仰を同じくする人で祀る神仏<御嶽講(樋春北)/不動院(御正新田)/御嶽様(須賀広)/御嶽講(小江川)>	635	
(6) 入定塚		
<入定様(成沢)/ヒゲゾウ様(板井)/ダイコボウ様(須賀広)>	637	
2 家庭で祀る神仏		
(1) 氏神様	639	
(2) 神棚と恵比須大黒	(3) 荒神様	640
(4) 年神様		641
(5) その他		642
第三節 共同祈願		
1 瘟病除け		
(1) 百万遍と御真言<百万遍(三本)/御真言(樋春南)>	643	
(2) フセギ<上新田/樋春北・南/塩>	647	
(3) お獅子様<下押切/小江川/塩>	648	
(4) 大般若<須賀広>	654	
(5) 不動様<上押切>	655	
2 農業に関する諸祈願		
(1) 霽嵐除け	(2) 虫送り<下押切>	657
(3) 雨乞い<上新田/御正新田/塩>		658
3 火防<順海神社(三本)/お手長様(樋春北)>		661
4 安産		662
(1) 産泰講	(2) 二夜待	663
(3) 粟島神社		664
5 手習い・学業の上達		665
6 馬の健康<観音講(上新田)/観音様(樋春北)>		666
7 山仕事の安全		667
第四節 個人の祈願		
1 戰勝・武運の祈願		
(1) 八幡八社参り		669
(2) 八村八社参り	(3) 千社参り	672
(4) 辻参り		673
(5) その他の戦勝・武運の祈願		673
2 安産・子育ての祈願		
(1) 子授け<子待ち石(三本)/柳屋のぼた餅>		674
(2) 安産・子育て<庚申様(成沢)/子育て地蔵(上新田)/子育て地蔵(樋春南)/粟島神社(御正新田)/子育て地蔵(塩)/山王様(千代)>		676
(3) 夜泣き		
<福田家の稻荷様(上新田)/夜泣き不動(野原)/夜泣き地蔵(塩)>		678
(4) 子供の病気除け		
<出雲伊波比神社の橋くぐり(板井)/庚申様(小江川)>		679
(5) 手習い・学業の上達		
<天神様(成沢)/天神様(板井)/文殊寺の行事(野原)>		680
3 病気平癒の祈願		
(1) 目の病		
<薬師堂(上新田)/薬師様(下押切)/穴薬師(樋春南)/薬師講(塩)>		682
(2) 歯痛<白山神社(成沢)/庚申様(須賀広)>		684
(3) 婦人病<粟島神社(御正新田)>		684
(4) 痢<疣地蔵(塩)/疣地蔵(千代)/疣取り地蔵(小江川)>		684
(5) 足の病		
<道陸神様(成沢)/道祖神(上押切)/子の権現(須賀広)/庚申様(塩)>		686
4 生業発展の祈願		
(1) 農業	(2) 養蚕倍成・蚕守護	687
(3) 山仕事		689

5 諸願成就	(2) 言葉遊び歌
(1) 宮参り ······ (2) お百度 ······ 689	<ホタルの唄/寒さの唄/数取り唄/数え唄/尻取り唄/悪態唄/はやし唄> ······ 792
第五節 代参講と伊勢参宮	(3) 子守り唄 <遊ばせ唄/眠らせ唄/守っ子唄> ······ 797
1 信仰と旅 ······ 691	
2 棟名講と大山講	
(1) 棟名講 ······ 692	第五節 遊び・娯楽
(2) 大山講(石尊講) ······ 697	1 娯 楽 <女遊び/男遊び/夜遊び/外出/盆踊り/素人演芸/楽団> ······ 802
3 県内の神仏を対象とした講	2 子供の遊び <手伝い/遊び/遊びの種類/キシャゴ(おはじき)/トッコ/オ
(1) 三峰講 ······ 702	オガケ/クニトリ/軍取り/軍ジャ/バツツケ/縄飛び/まりつき/ドッヂボール/クギブ
(2) 宝登山講 ······ 704	ツケ/首ブッケ/金輪/ケダシ/石けり/丸飛び/ネコトリ/人取り/馬飛び/馬乗り/兵隊
(3) 手長講 ······ 705	ごっこ・兵隊ヤツコ/ママゴト/まんじゅう釣り/十日夜/木遊び/竹登り/ハチの巣取り/
(4) 釜伏講 ······ (5) 雷電講 ······ 707	魚捕り/簍竹鉄砲/草拂み/ドメ採り/柿採り> ······ 807
4 伊勢参宮 ······ 708	3 門 付 <ゴゼ> ······ 814
(1) 町内の伊勢講の動向 ······ 709	
(2) 昔の伊勢講 ······ 711	
第九章 民俗芸能と娯楽	
第一節 獅子	
1 須賀広のさら獅子舞 <由来/形態/八幡神社大祭/須賀広秋祭り 「さら」保存会/獅子頭・衣裳・用具/演目/歌(初手庭)/(二の庭)/曲目/楽器/行列 /舞の場と一行の位置/演目の構成と曲目の用い方/シシコ/組織/練習> ··· 718	1 地名起源の伝説
2 上押切ササラ獅子舞 <由来/形態/八幡神社大祭/獅子舞の奉納/獅子頭・衣裳・用具/演目/歌(平庭)/(弊 掛り)(花掛り)/(網掛り)/曲目/楽器/行列/舞の場/演目の構成と曲目の用い方/役者 /練習> ······ 738	1 一夜土手(板井)/2 カッパ山(成沢)/3 蔗屋敷(下押切)/4 寺跡(下押切)/5 道祖神(野原) ······ 820
第二節 祭り囃子	2 塚にまつわる伝説
1 成沢の祭り囃子	1 先祖山(野原)/2 十三塚(塙)/3 上人様と上人塚(権春南) ······ 822
(1) 天王様 ······ 747	3 神々にまつわる伝説
(2) 囃子の伝播と伝承 ······ (3) 楽器 ······ 748	1 ドコウジン様(成沢)/2 夜泣きを治す稻荷様(上新田)/3 お産の神様山王様(千代) /4 鹿島様の橋くぐり(板井)/5 重殿の稻荷(須賀広) ······ 824
(4) 屋台と屋台内の囃し手の位置 ······ 749	4 地蔵の伝説
(5) 曲目 ······ (6) 「屋台ばやし」の構成 ······ 750	1 椿森のお仕置場(塙)/2 熊地蔵(押切)/3 乳地蔵(野原)/4 子育て地蔵様(上新 田・権春南)/5 ジュウキ地蔵(須賀広)/6 いっぽ地蔵(千代・塙)/7 夜泣き地蔵 (野原) ······ 827
2 上新田の祭り囃子	5 薬師の伝説 ······ 1 穴の薬師(権春) ······ 834
(1) 諏訪神社の祭り ······ 751	6 馬頭観音の伝説
(2) 祭り囃子の伝播と伝承 ······ 752	1 おりっとの觀音様(権春)/2 熊谷次郎直実の馬(権春南) ······ 835
(3) 保存会 ······ (4) 楽器 ······ 752	7 その他の神や仮の伝説
(5) 屋台と屋台内の囃子方の位置 ······ 753	1 ドロクジン様(上押切)/2 若宮様(野原)/3 中島家の不動様(板井)/4 おきの さん(権春他)/5 悪魔除け「コロリ除け」(権春)/6 キリストンの天神様(三本)/ 7 神力寺(成沢) ······ 837
(6) 曲目 ······ (7) 「屋台ばやし」の構成 ······ 754	8 僧の伝説
(8) 技術の伝習 ······ 754	1 入定塚(塙・成沢)/2 ダイコボー様(須賀広)/3 ひげ僧様(板井) ······ 842
3 板井の祭り囃子	9 動物・妖怪の伝説
(1) 天王様 ······ (2) 囃子の伝播と伝承 ······ 755	1 オニがトバン「鬼が飛ぶ晩」(全町地区)/2 大沼と白蛇伝説(須賀広)/3 あづきとぎ 婆さん(須賀広)/4 片目の魚(千代)/5 文殊寺の獅子(野原) ······ 844
(3) 保存会 ······ (4) 楽器 ······ 756	
(5) 山車内の囃子方の位置 ······ (6) 曲目 ······ 757	10 世間話
(7) 「はやし」の構成 ······ 758	1 神隠し / ミヅガヤオトウカに化かされた話(塙・御正新田・成沢等)/3 ショウガがつ くれなかった話など(塙)/4 麻を作れない話(御正新田)/5 お正月に餅を食べない家 (権春・小川川)/6 枯れない井戸水(柴)/7 松楽院跡(千代)/8 沼の名のいわれ (千代)/9 子持石(三本)/10 次郎の朝日のぼたもち(三本)/11 能満寺の跡 (須賀広) ······ 852
(8) ひょっことこ踊り ······ 758	
(9) 技術の伝習 ······ 759	
第三節 民謡	あとがき
1 祝い歌 ······ 760	関係者名簿
2 祭り・踊り歌 ······ 761	平成8年3月25日 発行
3 行事歌 ······ 4 仕事歌 ······ 762	江 南 町
5 その他の歌 ······ 765	
6 歌詞と楽器	
(1) 祝い歌 <高砂/上様式の木遣り節> ······ 765	
(2) 祭り・踊り歌 <ポンガヤ-/シッショイ(合の手)/秩父音頭/八木節/盆踊りの歌> ··· 766	
(3) 行事歌 <七草の歌/尻まくりの唄/十日夜の唄> ······ 768	第四章 児玉町の概要
(4) 仕事歌 <桑み唄/機織り唄/杭打ち唄/ドハチ唄> ······ 768	第一章 児玉町の概要
(5) その他の歌 <はやし唄/十三仏/船屋の唄/ゴゼの唄> ······ 771	第一節 町の歴史と沿革
第四節 子供歌	1 児玉町の位置と歴史 <位置/原始/古代/中世/近世/現代> ······ 3
1 遊び歌 ······ 774	2 町の沿革 <沿革/行政区と大字> ······ 5
2 言葉遊びの唄 ······ 3 子守り歌 ······ 776	
4 歌詞と楽器	第二節 児玉町内の地域的特徴 <児玉地区/金屋地区/秋平地区/本泉地区/共和地区> ······ 8
(1) 遊び歌 <人寄せ唄/ジャンケン唄/鬼決め唄/指遊びの唄/手遊びの唄/手 合せ唄/顔面遊びの唄/キシャゴ・おはじき唄/お手玉・タマイン唄/羽根つき唄/まりつき 唄/なわとび唄/鼠あがの唄/石けりの唄/絵かき唄/鬼ごっこ唄/抜き遊びの唄/背合わせ 遊びの唄/押し遊びの唄/人当て輪遊びの唄/くぐり遊びの唄/列遊び/人取り遊びの唄/ 約束の唄> ······ 777	

(2) 道普請など	30	(3) 製品	164	
(3) 夜番	31	(4) 技術	166	
3 諸集団	(1) 子供	(5) 道具	168	
(2) 青年	32	(6) 販売	169	
(3) 女性	36	(7) 職人	170	
(4) その他の講集団	38	(8) 生活	171	
(5) 雨乞い	39	(9) 信仰	173	
第二節 家と家族	1 本分家関係	3 鍛冶屋	173	
2 婚姻圈	46	4 籠屋	177	
第三章 生産・生業		5 棒屋	181	
第一節 農業	56	6 桶屋	182	
1 稲作		7 下駄屋	184	
(1) 稲	1 栽培慣行<用水路と灌漑/溜池と灌漑/稻の品種/種稲の管理/耕起/畦塗り/苗代作り/根振り/植え田の代播き/苗取り/田植/除草/水の管理と追肥/害虫鳥類除/稻刈り/稻あげ/脱穀/調整/出荷/牛馬の飼育/野良仕事の服装>	8 建具屋	185	
2 農耕儀礼と禁忌	<年占/播種儀礼/田植の禁忌/サナブリ/雨乞い/収穫の儀礼>	9 叠屋	186	
	81	10 石屋<鬼玉町の石屋/江戸時代の石工/太子譜/石材の種類と入手先/製品の種類/職人について>	188	
2 畑作		第五節 魚取り		
(1) 畑	1 栽培慣行<麦の品種/耕起と整地/歴立/元肥/麦蒔き/タレ麦/カブ麦/中耕/麦踏みと土入れ/麦刈り/麦あげ/脱穀/調整/出荷>	1 魚取り		
1 栽培慣行	87	<トアミチ/ヒカリ/カキ/オキバ/ウケ/ブッテ/オッカセ/ケガリ>	192	
2 麦作の儀礼と禁忌	<年占/播種儀礼と禁忌/鎮入れ/収穫儀礼>	第四章 衣生活		
	96	第一節 仕事着		
(2) 陸稻	(3) 粟	1 男の仕事着		
(4) 粱	99	(1) 明治・大正・昭和初期		
(5) そば	100	<かぶりもの/腕/はきもの>	198	
(6) モロコシ	101	(2) 戦争中・戦後以後(昭和40年ごろまで)		
(7) 大豆	(8) 小豆	<かぶりもの/腕/はきもの/男の仕事着の変化>	200	
(9) ササゲ	(10) ごま	2 女の仕事着		
(11) 菜種	104	(1) 明治・大正・昭和初期<かぶりもの/腕/はきもの>	203	
(12) 苅類	105	(2) 戦争中・戦後以後(昭和40年ごろまで)		
1 里芋	/2 八つ頭	<かぶりもの/手ぬぐい/腕/はきもの/女の仕事着の変化>	206	
5 こんにゃく	106	3 雨具	208	
(13) 蔬菜類など		資料 仕事着一覧表	210	
1 大根	/2 にんじん	第二節 普段着		
2 にんじん	/3 ごぼう	1 男の普段着		
3 きゅうり	/4 ねぎ	(1) 普段着の移り変わり一着物から洋服へ	223	
6 なす	/7 しょうが	(2) 戦時下の普段着一国民服	224	
9 その他の蔬菜類	<ほれん草/はくさい/トトロ>	2 女の普段着		
(14) 茶・楮・とろろ葵・花卉		(1) 普段着の移り変わり<着物>	224	
1 茶	/2 楮	(2) 戦時下の普段着一標準服と防空頭巾	226	
3 とろろあおい (黄蜀葵)	4 花卉	3 子供の普段着		
		(1) 学校での服装<袴/先生/雨の日>	228	
3 養蚕	120	(2) 体操の時の服装	231	
(1) 飼育	<春蚕の飼育/初秋蚕の飼育/晚秋蚕の飼育>	第三節 よそゆき		
(2) 上簇	126	1 男のよそゆき	232	
(3) 蘿かき	131	2 女のよそゆき	233	
(4) 桑園	132	第四節 晴れ着		
(5) 養蚕信仰	134	1 子供の誕生、成長と着物		
第二節 林業	135	<生まれたときに着る着物/お七夜に着る着物/お宮参りに着る着物/ヒヤッケンギモ/帯とき(七五三)/成人式>	235	
1 用材生産	136	2 祝儀の着物	<戦争中の花嫁/花嫁の着物/嫁ごのお着物>	238
(1) 植付け	(2) 下刈り	3 葬式の着物	<白無垢/黒無垢/男の喪服/履物>	240
(3) 間伐	(4) 売買	第五節 裁縫		
2 炭焼き	<炭の種類/炭の原木/炭焼き製作り/炭焼き/出荷>	1 裁縫 (1) 裁縫所	242	
第三節 酪農・椎茸栽培		(2) 袖のいろいろ<筒袖/もじり袖/元禄袖>	243	
1 酪農		2 洗い張りと作り直し		
<搾乳/集乳/飼料/貯蔵放牧場/健康管理/爪切り/副業から専業へ>	143	(1) 洗い張り<糊/張り方>	244	
2 椎茸栽培		(2) 作り直し	245	
<原木切り/原木の購入/コマ植え/伏せ込み/芽だし/収穫/干しシイタケ>	148	第六節 染めと織り		
第四節 諸職	151	1 糸取り	<糸取り屋/糸染め>	246
1 瓦屋	(1) 組織と系譜	2 機織り	<機織り機/オサ/玉虫織り>	247
(2) 瓦の製作技術	156	3 染め	<縞まさぎ/染料/染め直し/型染め>	248
(3) 年季奉公	157	第七節 寝具		
(4) 職人の生活	159	1 布団 (1) 繊		249
(5) 西業	160	(2) 敷布団と掛布団		250
(6) 燃料	(7) 販売	(3) かいまき		251
2 鋳物業	162	2 枕	<箱枕/布枕/枕のなかみ>	252
(1) 敷地と仕事場	(2) 材料	3 蚊帳		253
		4 ねまき		254

第八節 髪と化粧	(5) 油 ····· (6) 酢 ····· 325
1 髪と化粧	
(1) 髪 型 <子供の髪型/女の子の髪型/娘たちの髪型> ····· 255	
(2) 洗 髪 ····· 256	
2 化 粧 ····· 257	
第九節 衣服の管理・保存	
1 洗 灌 <タイと洗濯板/石けん/洗濯機> ····· 257	
2 虫干し・収納 <防虫/虫干し/収納> ····· 258	
第五章 食生活	
第一節 食 制	
1 呼称と回数、食べる時間・場所	
(1) 朝食 · (2) 昼食 ····· 264	
(3) 夕 食 ····· 265	
(4) 休 み (10時休み／3時休み) ····· 266	
(5) 夜 食 ····· 267	
2 食事の作法 ····· 267	
3 食事の場所と移り変わり ····· 268	
第二節 毎日の食事	
1 主 食	
(1) 米・麦 <米/麦/精米/ご飯の炊き方/弁当/残りご飯> ····· 269	
(2) うどん・そば <うどん/うどんの「おつけ」/おきりこみ/あづきぼうとう/そば/そばがき> ····· 271	
(3) 雑 谷 ····· 275	
(4) 主食が足りなかったとき <つみっこ/あんつみっこ/おじや/さつま飯/モコシ焼餅/ゆで餅> · 275	
2 汁 (1) 味噌汁 <冷や汁> ····· 276	
(2) 醤油汁 <けんちん汁> ····· 277	
3 副食	
(1) 野菜のおかずと作り方 <冬から春/夏から秋/秋から冬> ····· 278	
(2) 魚のおかずと作り方 <じょう/ナ/タシ/サキ> ····· 280	
(3) 肉、卵のおかずと作り方 <鶏肉/うさぎの肉/卵> ····· 281	
4 間 食 ····· 282	
第三節 ハレの日の食事	
1 年中行事と食	
(1) 正月の行事食 <そば例/雑煮/餅/棚さがし/七草粥/小正月/小豆粥/恵比須講> ····· 284	
(2) 春の行事食 <節分/初午/桃の節句/彼岸/お駄巡様/端午の節句> ····· 287	
(3) 夏から秋の行事食 <おかに休み/農休み/七夕/お盆> ····· 288	
(4) 秋から冬の行事食 <十五夜/十三夜/十日夜/冬至/大晦日> ····· 290	
2 行事食の作り方	
(1) 餅 <正月の餅つき/かき餅> ····· 291	
(2) 赤 飯 ····· 293	
(3) あづきがゆ・あづきめし・あづきごはん ····· 294	
(4) かてめし ····· 294	
(5) すし ····· 295	
(6) まんじゅう・酢まんじゅう ····· 296	
(7) あんこ餅 (アンピン餅) ····· 297	
資料 年中行事食一覧表 ····· 298	
第四節 保存食	
1 潬 物	
(1) 秋・冬の漬物 <タケアン/こうじ漬け/白菜漬け/その他の漬物類> ····· 310	
(2) 春・夏の漬物 <らっきょう漬け/梅干し/ぬか漬け/味噌漬け/塩漬け/粕漬け> ····· 312	
2 干し物 <干し大根/芋がら/きりぼし/干し柿/たるぬき> ····· 315	
3 おなめ ····· 318	
第五節 調味料	
(1) 味 増 ····· 320	
(2) 醬 油 ····· 322	
(3) 砂 糖 ····· 323	
(4) 塩 ····· 324	
第六節 嗜好品	
1 茶 ····· 326	
2 酒 ····· 327	
3 牛乳・ヤギ乳 ····· 328	
第七節 民間療法 <どくだみ/せんぶり/げんのしょうこ/くま堆/どくだみ/ハトムギ/ウカミキリの幼虫> ····· 329	
第六章 住生活	
第一節 屋敷構え	
1 屋敷取りと建物配置 ····· 333	
(1) 飯倉・清水家 ····· 334	
(2) 保木野・清水家 ····· 336	
(3) 田端・田中家 ····· 338	
(4) 風洞・吉川家 ····· 340	
(5) 稲沢・木村家 ····· 342	
(6) 上真下・福島家 ····· 344	
(7) 下浅見・閔根家 ····· 346	
(8) 下浅見・久保家 ····· 348	
(9) 連雀町・斎藤家 ····· 350	
(10) 連雀町・金子家 ····· 352	
2 付属施設 · (1) 門 ····· 353	
(2) 藏・味噌蔵 ····· 354	
(3) 物置・納屋・木小屋 ····· 355	
(4) 蚕室 <競進社摸範蚕室/ドムロ> ····· 355	
(5) 井戸 <井戸掘り> ····· 358	
3 その他 · (1) 屋敷林 ····· 360	
(2) 庭 ····· 361	
(3) 庭木 ····· (4) 屋敷神一氏神様 ····· 362	
第二節 家造りと住まい方	
1 屋 根 · (1) 屋根の材料 ····· 363	
(2) 屋根の形 <高窓/屋根組> ····· 366	
2 間取り <太駄/篠原家/飯倉・清水家> ····· 367	
(1) 間取り ····· 368	
(2) 造 作 <柱/神棚の上> ····· 370	
3 土 間 (アガリハナ) ····· 371	
(1) トボ・セド <トボ/材ド/セド> ····· 372	
(2) 台所と道具 <流し/カマド/シタイロ/燃し木/火鉢・炬燵> ····· 373	
4 風呂・便 所	
(1) 風呂 <風呂場/水汲み/燃料/もらい湯/正月のもらい湯/行水/年中行事と風呂> · 376	
(2) 便 所 ····· 377	
5 建築儀礼 (1) 地鎮祭 ····· 378	
(2) 上棟祭 ····· 379	
第七章 交通・交易	
第一節 交 通	
1 道路 (1) 鎌倉街道 <上道/上杉道/その他の支道> ····· 383	
(2) 川越・児玉往還 <中山道・往還/大名小路/深谷道/本庄道/児玉新道> ····· 389	
(3) 大師道とその周辺の古道 <大師道/金鐵道/鬼石道/藤岡道> ····· 394	
(4) 秩父新道と周辺の道 <秩父街道/鬼石街道/上州道> ····· 397	
(5) その他の古道 ····· 403	
(6) 変わり行く道 ····· 404	
(7) 道 標 <江戸時代/下浅見成就院/児玉新町油地蔵/金屋淵龍寺/高柳字南/宮内/小平布袋堂/秋山字後手内/明治期以後 以上の道標> ····· 405	
(8) 道の管理・道普請 ····· 408	
2 交通機関・運搬手段の変遷	
(1) 馬車・人力車・荷車 ····· 410	
(2) 鉄道の開通 <本庄電気軌道の盛衰/八高線の開通> ····· 413	
(3) バス交通の盛衰 ····· 415	
第二節 交 易	
1 市 (1) 六斎市の変遷 ····· 416	
(2) 八幡山の市 <五・八の市/齋市/市浦> ····· 417	
(3) 児玉の市 <三・十の市/十の市> ····· 419	

(4) その他の市<だま市/植木市>	420
2 行商	
(1) 行商人	
<薬売り/農具/家庭用品(日用品・雑貨)/食品/漁産物/衣類>	421
(2) その他の行商<金魚売り/とっかん/紙芝居>	423
(3) 村を回る職人	
<鉛掛け屋/蝙蝠傘直し/研ぎ屋/箕直し/下駄の歯すげ>	423
第八章 信仰	
第一節 社寺の信仰	
1 神社の信仰	428
資料 児玉町の神社の変遷	431
(1) 児玉町の神社<種池神社/八幡神社/白髭神社/飯玉神社/三島愛宕神社/住吉神社/若宮神社/諏訪神社/御靈舎荷神社/十二神社/河原神社/新蔵人神社/天神社/石神社/日本神社/岩上神社/金鑓神社/福聚神社/富士浅間神社/駒形神社/金佐奈神社/金鑓神社/日枝神社/金鑓神社/八幡神社>	437
資料 神社の年間祭事一覧表	466
2 寺院の信仰	471
資料 児玉町の寺院	472
(1) 児玉町の寺院<長福寺/淨眼寺/実相寺/玉蔵寺/玉蓮寺/東福院/法養寺/信光寺/龍台寺/天龍寺/円通寺/真福寺/宝藏寺/満龍寺/恵日寺/圓満寺/長泉寺/觀音寺/法性寺/光福寺/真鏡寺/龍清寺/日輪寺/本覺院/真正寺/觀正寺/普賢寺/成身院/普明寺/春貞寺/光福寺/德藏寺/正覺寺/十輪院/慈眼寺/延命寺/能瀬寺/龍泉寺/正樂寺/西養寺/真福寺/成就院/岩谷洞>	474
資料 児玉町の行事一覧	502
(2) 児玉町の堂庵<地藏堂/觀音堂/虛空藏堂/觀音堂/地藏堂/不動堂/十天堂/觀音堂/藥師堂/藥師堂/觀音堂/十王堂/三佛堂/百体觀音堂/ほてい堂/地藏堂/釈迦堂/觀音堂/釈迦堂/阿彌陀堂/觀音堂>	510
資料 児玉町の堂庵の変遷	516
第二節 民間の信仰	
1 廊屋組、同族などで祀る小祠	520
2 屋敷神	523
3 屋内の神<大神様/歳神様/恵比寿講/荒神様/先祖の靈/トボクチの神/納戸の神/便所神様/オソウゼン様/蚕影様/庖瘡神様>	526
4 講	532
(1) 県外の社寺などを対象とした講組織	
<伊勢講/大山講/古峯講/篠講/御嶽講/富士講/成田講>	533
(2) 県内の社寺などを対象にした講	
<三峰講/宝登山講/金鑓神社講/産泰講>	544
(3) 地域内の講	
<子待講/庚申講/念仏講/二夜講/三夜講/布袋講/オショウジ>	548
5 路傍の石仏<地藏/庚申塔/猿田彦大神/觀音/甲子講/日待塔/十六夜塔/二十二夜塔/二十三夜塔/念仏供養塔/經典供養塔/廻國塔/巡拝塔/社日塔/道祖神/宝塚印塔/その他の石仏>	554
第九章 人の人生	
第一節 産育	
1 妊娠<妊娠/安産祈願/腹帯/妊娠中の禁忌や俗信>	580
2 出産<お産の場所と方法/出産とトリアゲバサン/への縁と後産/産湯/産着/産後の食事と産婦/産後の禁忌/お産見舞い>	583
3 子供の成長と祝い<ウブシ/お七夜/セッヂメイリ/名付け/床上げ/オエバキと初宮参り/お食い初め/里帰り/初正月/初節句/初誕生/捨て子の習俗/庖瘡流し/七五三/成人式>	587
第二節 婚姻	
1 婚約<結婚の条件/婚姻の条件/結婚年齢/男女の交際と恋愛/縁談と仲人/見合い/タリル(樽入れ)/結納/アシレ(足入れ)>	597
2 御祝儀<御祝儀の時期/嫁入り道具と荷送り/嫁方での祝儀/嫁入り行列/チュウヤド/入家儀礼/婿方での祝儀>	605
3 御祝儀後<宮参り/嫁の近所披露/カネツケ/お茶呼び/里帰り>	615
資料 本泉村郷土誌	645
第十章 年中行事	
第一節 正月行事	
1 正月準備<暮れの市/ススハイ/お松迎え/松飾り/歳神様/歳神様のお飾り/オソウゼン様/餅つき/供え餅>	655
2 大正月<初木と供え餅/正月の食べ物・供え物/正月の家例/年始/借宿の年始/タナガシ/オタキアゲ/山入り/七草/金比羅様/蔵開き/道祖神>	664
3 小正月<小正月/小正月の準備/マユダマ/十六マユダマ/ハナ/ワカモチ/粥引き餅/ハラミ差作り猪副餅/小豆粥/蔵入り/山の神の日/恵比寿講/二十日正月とショイナワ	
/天神講/シマ正月>	672
第二節 春から夏の行事<年取り/八日節句/初午/三月節句/彼岸/社日/お糺進様/水口祭/五月の節句/マンガい/農休み>	682
第三節 盆行事<七夜焼き/釜の口開け/七夕/墓掃除/盆の期間/盆棚/盆棚上の供え物/精霊様/無縫様盆棚と仮壇/迎え盆/盆中の食べ物・供え物/ショイナワ/燭見せ/盆中の生活/送り盆/盆棚の後片付け>	692
第四節 秋から冬の行事<二百日/八朔の節句/十五夜/十三夜/十日夜/神無月/恵比寿講/マキアゲ/氏神祭り/冬至>	704
第十一章 祭りと民俗芸能	
第一節 町場の祭り	
1 八幡神社祭礼	
(1) 由来	718
(2) 組織	720
(3) 祭りの経過	722
(4) 噴子	722
2 夏祭り	724
第二節 獅子舞	
1 東小平の獅子舞	
(1) 由来・変遷	725
(2) 役割・組織	727
(3) 練習	727
(4) 演目とその内容	727
(5) 獅子舞を行う場	736
2 吉田林の獅子舞	
(1) 由来・変遷	737
(3) 練習	738
(4) 獅子舞用具	742
第三節 神楽	
1 太駄の神楽	
(1) 由来	746
(2) 役割・組織	747
(4) 神楽が行われる場	750
2 小平の神楽	
(1) 由来・(2) 役割・組織	750
(4) 神楽が行われる場	751
第四節 万作	
1 西小平の万作	
(1) 由来	752
(2) 演目	753
(3) 万作が行われる場	760
(5) 用具	760
2 元田の万作	
(1) 由来・変遷	761
(3) 万作が行われる場	762
第五節 宮内の雨乞い屋台	
(1) 由来	763
(2) 雨乞いの実際	763
(3) 雨乞い囃子	764
第十二章 方言・訛言	
第一節 調査方法	
1 方言調査方法 2 収録手順 3 参考資料	768
第二節 収録方針	
1 収録内容	769
2 凡例	769
第三節 方言の実態・特徴	
1 音韻の転訛	769
(1) 列音の転訛	769
(2) はつ音(ン)ニ転訛	770
(3) 長音(ー)に転訛	770
2 語形の変化	
(1) 冒頭後の変化	770
(2) 語尾の変化	771
第四節 方言・訛語一覧	
参考文献一覧	772
あとがき	797
民俗調査話者一覧/アンケート調査協力者一覧	
協力者一覧/写真提供者一覧・執筆分担	
町史編さん関係者名簿	
平成7年3月28日 発行	
児玉町	

資料022 『坂戸市史 民俗史料編1』

昭和60年3月

目 次

第一編 家に關すること

第一章 本家・分家・いつけ

1 家と祖靈<人の生活/ホトケとゴ>	3
2 本家<核/別家>	7
3 分家<樹内分家と村外分家/隣居分家/譜代分家/孫分家>	20
4 親類<親類の呼び名/親類つきあい>	28

第二章 墓と屋敷神

1 墓と葬制の移り<墓は放る所か/両墓制/ムラの開発と墓地取り/家墓と屋敷鎮守/屋敷神としての稻荷と八幡/穀業神としての屋敷神/屋敷神とは/屋敷神の方位>	32
---	----

2 屋敷神の祭りとご利益

<屋敷神の祭祀とご利益/屋敷神の祟りと禁忌>	61
------------------------	----

第三章 屋内神

1 お釜さまと荒神様<屋内神とは/お釜様/荒神様/祖靈とお釜様/荒神様/お釜様と荒神様の祭り/地荒神>	65
2 えびす・大黒	
<大黒社/大黒様/えびす様/お勝手の神・福神としてのえびす・大黒>	93
3 大神宮<大神宮の神棚/大神宮の本来は>	100
4 その他の屋敷神<蒼前様/水神様>	102

第二編 年中行事

第一章 正月の支度

1 煤とり	114
-------	-----

2 かましめ	116
--------	-----

3 正月飾り	117
--------	-----

4 餅搗き	120
-------	-----

5 墓の贈答	121
--------	-----

6 大晦日	122
-------	-----

第二章 大正月

1 年神様	126
-------	-----

2 年男	129
------	-----

3 三が日	130
-------	-----

4 年始廻り・おおばん	132
-------------	-----

5 仕事始め	133
--------	-----

6 七草	134
------	-----

7 蔵開き	136
-------	-----

第三章 小正月

1 小正月のいわれ	138
-----------	-----

2 花搔き・ものづくり	140
-------------	-----

3 団子さし(繭玉)・成木攻め	145
-----------------	-----

4 十五日粥	150
--------	-----

5 十六日(藪入り)	153
------------	-----

6 えびす講	155
--------	-----

第四章 春の行事

1 次郎の一日	157
---------	-----

2 節分	158
------	-----

3 二月八日	161
--------	-----

4 初午	164
------	-----

5 出替り	165
-------	-----

6 雛祭り	166
-------	-----

7 彼岸	169
------	-----

第五章 初夏の行事

1 四月八日(五月八日)	171
--------------	-----

2 菖蒲の節句(鯉幟)	173
-------------	-----

3 苗間正月	176
--------	-----

4 植えきり	178
--------	-----

5 木綿ぼうず	180
---------	-----

6 総ごう上り	180
---------	-----

第六章 盆

1 月	183
-----	-----

2 七夕	186
------	-----

3 盆道作り・墓掃除	190
------------	-----

4 盆棚	192
------	-----

5 迎え盆・送り盆	193
-----------	-----

6 施餓鬼	199
-------	-----

7 盆の十六日	202
---------	-----

第七章 秋の行事

1 八朔(生姜節句)	203
------------	-----

2 彼岸	3	十五夜	206
4 お九日(おくんち)			207
5 十三夜			209
6 十日夜			211
7 お盆様の祭り	8	丑寅正月	214
9 刈り上げ			216
10 扱っ切り正月			218
11 えびす講			219
12 穴っぷさぎ			222
第八章 冬の行事	1	川びたり	223
2 師走八日			225
3 大師がゆ			228
4 冬至			231
第九章 まとめ			234
第三編 村に關すること			
第一章 ムラと家			
1 ムラはムレ<向う三軒隣/塞ぎとムラ/ふるさと>			241
2 ムラの構造<もよりと組/親類縁者>			250
第二章 ムラの階層			
1 地主と小作人<オモダチと小前/百姓と諸職/縁組>			256
2 ムラの意識		<ムラ人とよそ者/嫁と婿/婿いじめ/若い衆遊び>	259
第三章 ムラの鎮守様			
1 氏神・産土神		<氏神の名称/来歴不詳の氏神/内神より産土神へ>	265
2 氏神と氏子		<祭りへの参加/嫁方の親類の参加>	274
3 効請神と小祠		<効請神/ムラの小祠/流行神>	277
第四章 講とムラの生活			
1 土地の講	<講とは/荷荷講/念仏講/題目講/おしら講とおきめさん/世田ヶ谷の地蔵講/産泰講/お手長講/おじゅうもく講>		289
2 代参講	<代参講とは/大山講/その他の代参講>		305
第五章 政治と宗教			
1 明治政府の宗教統制	<排仏禁教/祭政一致/神社の合祀>		314
2 戦後の神社	<分祀/氏子制の復活/寺院と統制>		324
第六章 社寺と祭り			
1 四時の祭り	<祭りと村/四時祭>		324
2 春の祭り	<お焼き上げ/春祈禱/大般若経の転読/平方の獅子/その他の春祈禱/住吉神社と天下祭り/大宮住吉神楽/花祭り>		337
3 夏の祭り	<夏祭りの意味するもの/獅子と梵天/天王様/施餓鬼/十王斎・芋つ葉灯籠>		354
4 秋の祭り	<秋祭りの意味するもの/ささら獅子舞/その他の秋祭>		372
5 冬の祭り	<冬祭りの意味するもの/クリスマス/秋葉神社の祭り>		387
6 その他の祭りと芸能		<縁日/片柳の相撲場/入西くどく>	390
第七章 村の共同生活			
1 共用の場	<冢/裏り場>		403
2 もやい仕事	<屋根替え/井戸替え/道ぶしんと墓刈り>		408
3 村の自治	<世間つい/お上>		410
第四編 坂戸の伝説			
第一章 概説			417
1 水に関する伝説			419
2 動物に関する伝説			421
3 植物に関する伝説			423
4 神仏に関する伝説			424
5 塚に関する伝説			471
6 地蔵に関する伝説			473
7 妖怪変化に関する伝説			484
8 地名に関する伝説			504
9 その他に関する伝説			511
第五編 シンボジウム			
I 石井元宿座談会			541
II 上吉田地区座談会			554
III 欠ノ上地区座談会			561
IV 新堀地区民俗調査報告			567

昭和60年3月15日 発行

坂 戸 市

資料023 『坂戸市史』

民俗資料編Ⅱ 石造遺物』

昭和58年2月

目 次

第一編 総 説

第一章 石仏と生活

- 1 信仰のあかし／信仰の表出／石に祈る心> ······ 3
2 生活の変化と石仏
<自然石崇拝から石仏立へ／農法の進歩と石仏／忘れられた石仏> ······ 7

第二章 石仏の歴史

- 1 仏教と石仏<石仏の多様性／独立石化と磨崖仏／石造塔> ······ 13
2 墓塔と石仏<墓塔（墓石）／死靈觀の移り> ······ 16
3 民間信仰と石仏
<民間信仰と石仏／石仏の分類／石仏信仰の融通性> ······ 22

第三章 民間信仰と石仏造立

- 1 板碑と民間信仰<法界万靈供養と板碑／月待・庚申待の板碑> ······ 26
2 近世村落の成立<近世という時代／土豪の解体と庶民の抬頭／寺請制度の進行の聖／石工の村への定着> ······ 31
3 近世民間信仰の石仏誕生<造塔供養者／講の結果と石仏造立／石造文化の波及／廃仏棄釈と石仏／文化財としての石> ······ 36

第二編 各 説

第一章 生産神

- 概説 <生産の二面／自然神から祖靈神へ> ······ 49
1 水 神<弁財天／九頭竜大權現> ······ 50
2 日待・月待供養塔
<マチということ／日待供養塔／月待供養塔> ······ 55
3 山王・富士浅間<山王の旗／富士浅間社> ······ 62
4 出羽三山供養塔<修驗道と出羽三山／出羽三山供養塔> ······ 64
5 大黒天<大黒天塔／甲子待> ······ 67

第二章 塞 ぎ

- 概説 <塞ぎ観念／石仏と塞ぎ> ······ 68
1 道祖神<坂戸市内の道祖神／道祖神信仰> ······ 71
2 三界万靈供養塔
<三界万靈塔／坂戸市内の三界万靈塔／造立の趣旨> ······ 74
3 橋供養塔<石橋供養塔／道・橋のカミ／石橋架橋> ······ 77
4 勝軍地蔵（愛宕地蔵）
<奇妙な長久寺の像／勝軍地蔵（愛宕地蔵）> ······ 82

第三章 現当二世安樂の供養塔

- 概説 <現当二世／二世安樂> ······ 86
1 庚申塔<庚申塔の造立／庚申信仰の移り／庚申塔の様式／青面金剛／猿と庚申塔／鶴と庚申塔／庚申信仰の実態／他の信仰の混入> ······ 88
2 阿弥陀如来・大日如来<如来という仏／阿弥陀如来の像容／阿弥陀如来の信仰／大日如来／坂戸市の大日如来> ······ 102
3 地蔵菩薩<石仏の王者地蔵菩薩／地蔵信仰／治病・延命地蔵菩薩／子育地蔵／犠牲者のための地蔵菩薩／水子地蔵／その他の話／六地蔵／坂戸市内の六地蔵／坂戸市内の変わった地蔵／さいの神との習合> ······ 109
4 馬頭観世音<馬頭觀世音供養塔／仏說馬頭觀世音／蓮經講中／觀音講中／馬の供養としての馬頭觀世音／道しるべの馬頭觀世音／牛頭觀音の出現> ······ 129
5 観世音菩薩
<觀世音菩薩の石仏／仏說觀世音菩薩／現当二世安樂としての觀世音菩薩> ··· 140
6 天 部<天部とは／大天・摩利支天／仁王> ······ 147
7 明王部<明王部とは／不動明王> ······ 151

第四章 経典詠誦供養塔

- 概説 <経とは／経典供養塔> ······ 154
1 経典詠誦供養塔
<法華經詠誦供養塔／普門品供養塔／光明真言詠誦供養塔> ······ 156
2 写経供養塔<写経供養塔／一字一石供養塔> ······ 162
3 念仏供養塔
<念仏とは／念仏供養塔／念佛百万遍供養塔／寒念仏供養塔> ······ 164

第五章 巡拝供養塔

- 概説 <巡礼／巡礼と造幣> ······ 171
1 納経巡拝供養塔
<六十六部題国供養塔／薬師如來納経供養塔> ······ 174

- 2 巡礼供養塔<西国坂東秩父巡礼供養塔／百八十八ヶ所巡礼供養塔／神社仏閣拜礼供養塔／その他の供養塔> ······ 178

第六章 石造奉賽物

- 概説 <奉賽の意／石造奉賽物> ······ 184

- 1 石鳥居<鳥居とは／坂戸市内の鳥居> ······ 185
2 石灯籠<石灯籠奉賽の意味／坂戸市内の大山灯籠／その他の石灯籠> ··· 188
3 御手洗鉢<御手洗鉢とは／坂戸市内の御手洗鉢> ······ 189
4 犬 犬<狛犬とは／坂戸市内の狛犬> ······ 197
5 旗 枕<旗枕とは／坂戸市内の旗枕> ······ 199
6 その他の奉賽物<結界石／その他の奉賽物> ······ 201

第七章 その他の石造遺物

- 概説 <石造遺物の分類／坂戸市内のその他の石造遺物> ······ 203
1 宝篋印塔・宝塔
<宝篋印塔／酉光寺墓地の宝篋印塔／坂戸市内の宝篋印塔／宝塔> ······ 206
2 道しるべ<道しるべ／坂戸市内の道しるべ> ······ 213
3 その他<猿田彦大神／大六天／北辰星神／一日連神社／太杉大明神／六部の死と地蔵の真言／清正公大神體／川崎大明神／機神様／七面大荒神／不明の二神像／殉難者慰靈等／大震火災惨死者各靈廟> ······ 217

第三編 墓 石

第一章 墓石以前

- 概説 <石仏と墓石／墓石と供養塔／墓石の種々相> ······ 233
1 墓制の移り<善応寺の両墓制／魂と肉体／他界概念／墓り場> ··· 238
2 墓 地<墓地と墓石／一家墓地／屋敷墓地／寺墓地／共同墓地> ··· 242

第二章 墓 石

- 1 墓石の出現<石塔は積塔・埋没された板碑・五輪塔／村の草分けの墓石／歴代住職の墓／領主の墓／枕石と梢付塔婆> ······ 251
2 坂戸市内の墓石の様式<宝篋印塔・五輪塔・板碑型の墓石／唐破風角柱型墓石／位牌型の墓石／自然石の墓石／仏像を彫った墓石／角柱型の墓石> ··· 268
3 坂戸市内の墓石の種々相
<筆子塚／神道系の墓石／子供の墓石／戦没者の墓／武芸者の墓石> ··· 274
4 新しい墓石と墓地整理
<文化人の墓石／新しい五輪塔／墓誌と墓石／墓地整理> ······ 281

昭和58年2月15日 発行

坂 戸 市

資料024 『坂戸市の民俗一』

坂戸市民俗調査報告書 横沼の民俗

平成3年12月

目 次

第一章 概 况<地理的背景／歴史的背景／地名> ······ 1

第二章 生 業

第一節 農業

- 1 耕地と土地利用<地区的概況と土地利用／耕地面積と収穫／三芳野地区的ムラマラ／ノガタ・タバショ土質> ······ 11

- 2 稲作<水田／水利／肥料／稲の品種／大正年間の稲の品種／種類の保存> ··· 18

- (1) 植 田<田うない／畦つけ／浸種／選別／苗代と種ふり／芽干しなど／苗取り／田かき／田植え／植え切り／田植え中の食事／のあがりと正月／革取り／土用干し／出穗水／害虫／害鳥／稻刈り／はんて棒と乾燥／脱穀／穂すり／収納／精米／あきあがり> ··· 28

- (2) 摘 田<摘田／わたり木／畦付け／田うない／きっこうし／種類と肥料の配合／田かき／稻しげ押し／はったんびき／田摘み／らちがきと草取り／きりあげ／稻刈り> ··· 39

- 3 烟作<概況／麦／オカボ／栗／ソバ／豆腐／サトイモ／サツマイモ／木綿> ··· 45

- 4 農作業と用具

- (1) 農作業 1 一年間の仕事／生産暦／ワラ仕事／くずはき
2 労働賃借／モヤイ／スケット／テマガリ／ヒヨウトリ／牛馬とマモヤ／地主・小作> ··· 51

- (2) 用 具
<用具の調達／鍔／万能／うないと畦つけの用具／鍔／くるり棒／運搬具> ··· 56

- (3) 農作業の機械化
<田うない／田かき／田植え／稻刈り／脱穀／乾燥／穂すり／精米／農薬／除草剤> ··· 60

- 5 江戸時代の農作業<資料の概要／耕地と作業／生産暦と年中行事／資料（文政9年1月雇用覚帳）> ······ 63

第二節 養蚕

1	概況<養蚕の変遷と組合/養蚕の組立>	84
2	養蚕の技術<蚕種/掻き立て/稚蚕の飼育/蚕棚/柳钉い/条系育/三齡から条糸/おこあげ(上糸)糸/繭かき/けばとり/出荷/蚕室の例/蚕の病気と糸の異常>	85
3	桑の栽培と確保<桑園/桑の品種/桑くれ/桑の確保>	90
第三節 諸職		
1	諸職 <カゴヤ/カゴヤ/マキヤ・コビキ/角製造/屋根葺き/大工/屋号と職業>	96
2	瓦屋	
(1)	三芳野地区の瓦製造 <概況/瓦屋の系譜/正木瓦屋/中島瓦工場/川越地方の瓦の特徴>	104
(2)	瓦屋の労働と経営<瓦屋の労働力/ワタリ職人/瓦屋と瓦職人の組合/太子譜/キリソメ/瓦の種類/瓦屋の仕事場>	108
(3)	瓦の製造工程<土をひく/ドロコネ/タタラモリ/アラジトリ/アラジの乾燥/仕上げ/アラジの製作/仕上げの工具と道具/乾燥/ヒキツチ/ダルマガマ/カマタキ/カマシ/ヤクモンの製作/ムシロ/カタ燃料/サイゼン>	112
第四節 川 漁		
1	概況<三芳野地区の川漁/農家による川漁業>	127
2	準專業者による川漁	
漁場と経営<1 がぶせ網類(トアミ/カマツキ/コイのクリイ)/2 抄網類(ツッキダシ/アミ)/3 織網類(オッカイアミ/マチアミ/ヨツデアミ)/4 魚網類(ズリアミ)/5 建網類(ヤナ/オトシ/セバリ)/6 延縄類(オキバリ)/7 刺突具類(ヤス)/8 篠筌類(ヨギ/コイドウ/ドジョウ/ナマズ/ウケ/ウナギ/ウケ/スウケ)>		
		129
第三章 交通		
第一節 堤外の家々と河岸・渡し		
1	道場の渡し	139
2	横沼河岸	141
第二節 道場の渡しと道場橋		
		142
第四章 衣食住		
第一節 衣服<野良着/かぶりもの/手甲/脚半/はきもの/雨具/普段着/よそゆきの着物/下着/子供の着物/衣料/洗濯/染色/夜具/ワラ布団/ネゴザ/洗髪>		
		145
第二節 食制		
1	食制<食事の場/食事の回数/コウジュウハン>	149
2	主食<麦飯/うどん/カテゴハン/サツマメシ/イモメシ/カラメシ>	149
3	副食<汁/漬け物/油味噌/野菜の塩のみ/カテ肉・卵/野鳥/魚介類/海草/加工食品/キノコ/イナゴ/栗/キビ/豆類>	150
4	間食<サトイモ/ジャガイモ/サツマイモ/トウモロコシ/コガシ/ヤキモチ/オギリ/カキモチ/アラレ>	153
5	調味料<味噌/醤油/スマシ/砂糖/梅酢>	153
6	モノビの食べ物	154
第三節 住居		
1	概況<1 集落 2 屋敷構え 3 付属屋 4 主屋/建築/入口と土間/火所/土間境と部屋/暖房/照明>	155
2	民家調査例<1 A家の沿革 2 方位觀 3 屋敷構え 4 付属屋 5 主屋/建築年代/部屋の呼称など/改造部屋の使い方/屋根・小屋組 6 神仏の祭祀/神棚と仮壇/その他の屋内神と屋敷神/年中行事>	163
第五章 年中行事		
第一節 正月の行事		
1	正月準備<大掃除/餅捣き/正月飾り/歳暮/大海日>	184
2	正月<若水など/お供え/雑煮/その他の供えもの/仏様の供えもの/元旦参り/タルマ市/年始/歳玉/寒の入り/松のある内/栗穂伴と粥/猪き箸/七草/仕事始め/歳開き/小正月の物作り/小豆粥/嫁のお客/寄り合い/歳入り/大斎日/馬頭観音/恵比須講/天神様/不祝儀と正月/正月の期間>	187
第二節 春・夏の行事		
1	二・三月<節分/初午/八日節供/出替わり/節供/春の彼岸>	193
2	四・五・六月 <代参講/薬師様の縁日/お釈迦様の日/道普請と用水渡い/井戸渡い/春祭/種蒔き/菖蒲の節供/木綿の種蒔き祝/養蚕の祝/田植えの祝>	195
3	七・八月 <ケツアツリ/浅間様/天王様/嫁の里帰り/土用/觀音様の日>	197
第三節 盆の行事		
1	盆の行事 <盆の時期/勘定/地獄の口開け/盆の不幸/盆供/新盆/七夕/墓掃除>	199
2	盆<盆棚/オルスイサマ/無縁様/盆迎え/施餓鬼/棚絆/盆の食べ物/盆送り/盆の16日>	202
第四節 秋・冬の行事		
1	九月・十月 <二百十日/しょうが節供/十五夜/彼岸/十三夜/十日夜/秋祭/賽神の日>	206
2	十一月・十二月 <収穫の祝/大師様/恵比須講/穴ふさぎ/八日節供/冬至>	207
横沼の年中行事一覧		
第六章 信仰		
第一節 概観		
		211
第二節 神社と祠堂		
1	ムラ・地域の祀る神仏 <白髭神社/八坂神社/浅間神社/稻荷社/駒形八幡社/天神社/大藏印・根本山社>	213
2	イッケ・同族で祀る神仏 <阿弥陀堂/薬師堂/地獄堂/釈迦堂/地藏堂>	218
3	その他の小祠や堂 <チヨヒメサマ/カカン地藏/シンメサマ/ウツギサマ/馬頭観音>	221
第三節 家の神		
1	屋敷神	223
2	屋内神	225
第四節 寺院と檀家		
1	檀家と家	226
2	勝光寺	227
3	忠栄寺	228
4	西福寺	230
第五節 講とヒマチ		
1	第参講<御嶽講/戸隠講/藤名講>	231
3	その他の講<天神講/オシラ講>	232
第六節 俗 信<靈籠者/狐/土用のうどん/天候占い>		
		233
	天保15年「惣村歴代帳」	234
	「神社明細帳」「寺院明細帳」「堂庵明細帳」	237
	新井健治家所蔵神仏守礼等一覧表	240
第七章 社会構成		
第一節 「惣村歴代帳」に見る横沼村		
	<五苗五軒と五苗七軒/元祖と一軒者/買地分家と地先祖/家数の変遷>	251
第二節 ムラ境と地縁集団		
	<家屋配置/獅子とセイダク/クルワ/組合と焼保班・班/近隣/葬式の手伝い>	257
第三節 ムラの構成員<戸数の変遷/旧家の伝承/屋号/ムラ入り>		
第四節 ムラの運営など		
	<ねぎやウジ/ワカシアソビ/役者と区費/青年団>	268
第五節 家と同族<ジセンゾ・ジホンケ/イッケ・イチマキ>		
第八章 人の人生		
第一節 産育		
1	出 産<安産祈願/腹帯/妊娠中の禁忌/出産/ヘソノオとエナの処理/産後の食チブク>	273
2	育 児<お七夜/名付け/宮参り/初正月と初節供/初山/食い初め/お誕生/ミツミの祝い/帯とき/成人>	274
3	厄年と年祝い<厄年/フキダケの祝い/米寿の祝い>	275
第九章 芸能		
第一節 横沼ばやし		
	<名曲と系譜/曲目/構成/楽譜/舞子/川越祭りへの参加/芝居>	277
第二節 万 作		
		287
第十章 口承芸文芸		
第一節 文献に記された伝説と世間話		
1	「三芳野村郷土誌稿」「小畦川」の項	289
2	「坂戸の民話と伝説」 <北向き地蔵の由来/茶が蛇を飲んだ/池山の河童>	289
3	「ふるさと川島」<カッパの話=道場のカッパごう茶=>	291
第二節 伝説と世間話 <オシボリ/小沼と畠田/寛保二年の秩父暴徒/モミイシャ/オトウカの嫁入り/ヒトダマ/カッパ/オトウカモリ/アズキバア/川の怪異/大川平三郎家の吉井戸/大穴>		
		293
第十一章 大 水		
第一節 大水の被害<概況/明治43年の大水/大正時代の大水/昭和初年の大水と旱魃/昭和16年の大水/昭和22年の大水/その後の大水>		
		301
第二節 大水への対処<集落の大水への対処/隣地の大水への対処>		
		314
第三節 大水の克服<戦前の築堤/戦後の築堤>		
		316
付録 資料 文政年間「新編武藏風土記稿」		
		321

明治初年「武藏国郡村誌」 ······ 322
 大正初年「三芳野村郷土誌稿」 ······ 324
 平成3年12月10日 発行
 坂戸市教育委員会

資料025 『坂戸市の民俗二』

坂戸市民俗調査報告書 赤尾の民俗

平成5年8月

目 次

第一章 概況

<支配関係と行政区の変遷/耕地と生業/川と堤防/集落の成立/町と里> ······ 1

第二章 生業

第一節 耕地

<耕地と概況/大水による稲作・畑作の被害と対処/経営面積と食い料> ······ 21

第二節 稲作

<肥料/稲の品種/田うない/畦つけ/選別/長穂/苗代と種ふり/芽干し/苗取り/田かき/田植えのあがり/用排水の管理/草取り/畦刈り/草刈り/二日おき正月/土用干し/出港水/害虫/害鳥/稻刈り/追熟/脱穀/乾燥/穎すり/収穫/精米/新米祝い/あきあがり> ······ 29

第三節 麦作

<大麦と小麦/堆肥/麦まき/ぶつつきりまき/作切り/振るい込み/麦踏み/麦刈り/脱穀/調整> ······ 38

第四節 その他の作物

<雜穀/芋類/豆腐/野菜/木綿/琉球/作物/禁忌> ······ 41

第五節 労働

<一年間の労働/労働慣行/奉公人/子供の手伝い/地主と小作> 43

第六節 用具

<鋤と万能/犁・馬耕機/碎土機/苗取り腰掛/竹子と水車/柄鋤/除草用

具/鎌/くるり棒/鋤/千齒こき/脱穀機/唐臼と穎すり機/籠/箕/農業機械> ······ 48

第七節 牛馬

<農耕用牛馬/飼育/草刈り/上岡の觀音様/手間がわり> ······ 54

第八節 養蚕

1 養蚕の変遷<養蚕の始め/盛業館/養蚕の盛衰> ······ 56

2 養蚕の技術<養蚕の時期/種紙/棚飼いと条桑育/掻き立て・こば飼い/条桑育

/桑くれれ/うらじり/お蚕上り/繭かき/仲貢/繭の種類/蚕の病気/桑/養蚕に関する信仰

/オキサン> ······ 60

第九節 川漁

1 概観<赤尾の川漁/漁期> ······ 65

2 渔法<釣/投網/転干し/置針/やす/筌/アユのおとし/つきで/棒がき/巻伏せ/

池のかいどり/ドジョウとり> ······ 67

第十節 諸職

<職人と商い屋/職人/商い屋/露天/川魚/金魚売り> ······ 73

第十一節 箕筈

1 箕筈屋の仕事場と労働<箕筈屋の仕事/問屋への納入/箕筈屋の奉公

/技術の習得/太子講/箕筈の種類と構造> ······ 76

2 箕筈の製造工程<桐材の調達/銅板の製造/箕筈の製作/仕上げ/釘削り/

箕筈の製作用具> ······ 79

第十二節 交通・交易

1 交通<概況/二つの渡/天神渡と天神橋/落合の渡と落合橋/赤尾河岸/筏/自転車/

オートバイと自動車/運搬者> ······ 85

2 交易 <米の市/桑市/種・苗の市/購入/行商> ······ 89

第三章 衣食住

1 衣服<はじめに/野良着/かぶりもの/はきもの/雨具/普段着と晴れ着/洗濯/夜具

/髪型/洗髪> ······ 93

第二節 食制

1 食制<食事の撮/食事の回数/こじはん> ······ 96

2 主食<麦飯/うどん/混ぜご飯> ······ 96

3 副食<おかず/汁/漬け物/油炸物/野菜/卵・肉/海などの魚介類と海藻/川の魚介

類/加工食品/キノコ/豆類> ······ 97

4 間食<間食/芋類/にぎり飯と餅/団子/その他> ······ 100

5 調味料<味噌/醤油/砂糖/塩> ······ 101

6 儀礼食<年中行事の食/冠婚葬祭の食> ······ 102

第三節 住居

1 屋敷<屋敷構えと屋敷取り/付属屋/盛り土/木屋/池と構え組> ······ 104

2 間取りと部屋の機能

<母屋/屋根/二階/入口と土間/土間境と部屋/床/部屋の利用/土壁の補修/物の配置と大水の

備え/掃除> ······ 115

3 井戸と火所<井戸/火所/照明> ······ 122

4 調査事例<曲がり屋/民家調査による事例> ······ 126

第四節 大水

1 大水と堤防<堤防の変遷/河川改修前の堤防> ······ 135

- 2 大水への対策<土地の高低と大水の水位/大水の警戒と予知/水じまく/大水時の危険/水の引き際/飲み水と食べ物の確保/大小便の処理/牛馬の避難/舟> ······ 138
- 3 大水による被害<江戸時代の大水/明治一昭和の大水> ······ 143
- 4 大水の体験<昭和22年の大水/カスリン台風-「赤尾の水害」から-/被害とくらし-「昭和一けたの足跡から-> ······ 154

第四章 年中行事

第一節 はじめに<報告にあたって/赤尾の年中行事一覧> ······ 161

第二節 正月の行事

- 1 正月準備<大掃除/叢事/餅焼き/カマシ/門松/正月飾り/歳神様の棚/オソナエ/鷹日市/いろいろと竈の灰/大晦日/大晦日の参拝> ······ 163
- 2 正月<年男/初水/吸物と雑煮/正月のご馳走/初参り/初荷/年始/七草/村の寄り合い/蔵開き/仕事始め> ······ 171
- 3 小正月 <正月の物作り/小豆粥/嫁の里帰り/正月飾りをはずす/叢入り/お盆日/馬頭観音/恵比須様/女遊び/正月と不祝儀等/正月の変遷> ······ 174

第三節 春・夏の行事

- 1 二・三月 <節分/ダルマ市/八日節供/農道の砂利引き/天神講/初不動/初午/出番わり/春の後岸> ······ 179
- 2 四・五・六月 <節供/神武祭・住吉神社の祭り/代参講/潮干狩り/用水掃除/春祈禱/八十八夜/大掃除/節供/お祝いの日/養蚕の祝い/田植えの祝い> ······ 182
- 3 七・八月 <ケツアブリ/半夏至/初山/天王様の祭り/二日おきの正月/夏の土用/土用の井戸掃除> ······ 187

第四節 盆の行事

- 1 盆の準備<盆の時期と期間/地獄の口開け/盆の不幸/盆供/新盆/七夕/墓の掃除> ······ 189
- 2 盆<盆棚/お留守居様/無縁様/盆迎え/施餓鬼/お棚参り/盆の供物と食べ物/盆送り/叢入り/諏訪神社の祭り> ······ 190

第五節 秋・冬の行事

- 1 九・十月 <しおが節供/二百十日/金山彦神社の祭り/十五夜/秋の後岸/十三夜/日待> ······ 195
- 2 十一・十二月 <稻刈りの祝い/文化の日/十日夜/コクリボタモチ/恵比須講/新嘗祭/麦まきの祝い/賀神の日/川漫り/秋上がり/新米祝い/冬至/垣根の修理> ······ 196

第五章 信仰

第一節 概 観

<はじめに/神社と小祠/寺社の配置/大水からムラを守る神/寺と講> ······ 199

第二節 神社と小祠

<神社の役員と当番/白山神社/八坂神社/愛宕神社/荒神社/浅間神社/稻荷神社/天神社/金山彦神社/諏訪神社/稻荷神社/九頭龍と一目連> ······ 207

第三節 寺院と檀家

<檀家と墓/成就院/光勝寺> ······ 224

第四節 その他の神仏<葵堂/大日様/オコウシン様/觀音> ······ 229

第五節 代参講と村外の神仏

<在地講と参拝講/御嶽講/大山講と大山参り/稲荷講/高山講/子の権現参りと子の山講/觀音講/その他の講/地域外の寺社の参拝/オキサン> ······ 230

第六節 家の神<屋敷神/屋内神> ······ 235

第六章 社会構成

第一節 ムラの成立ち

<大字とムラ/集落/開発伝承/開発に関する伝説/開発に開むる文書/土着伝承/本村の屋敷の所在/通閑閣> ······ 237

第二節 ムラの組織と運営

<カミヒシモ/クミ・プラク・モヨリ/クミアイ・ゴケンギ/醫保班区長/大字の役職/大字総会/大字費/伝達方法/トウバン/オトコアソビ/メタモウシ/オンナアソビ/青年団/女子青年団/子供組> ······ 257

第七章 人の人生

第一節 産育

1 出産<妊娠/安産・子育祈願/出産/へその緒などの処理> ······ 265

2 産後と成育

<産後の食/産見舞い/お七夜/宮参り/厄年の子/初正月と初節供/初山/食い初め/お誕生/三つ身の祝い/帯解き/大山参り/成人/厄除けと年祝い> ······ 266

第二節 婚姻

1 結婚相手の選択<相手の選択/通婚の範囲/相性と方位/仲人/見合い/口がためと結納/足入れ> ······ 268

2 結婚式<ご祝儀の手伝い/嫁入り道具/ご祝儀/ご祝儀の服装/嫁のあいさつと鎮守参り/くれ祝儀/娘とイチゲン/入家儀礼/もらい祝儀の場と膳/もらい祝儀/嫁のあいさつと里帰り> ······ 271

3 結婚後と里帰り<初正月/初節供/住吉様/里帰りの機会> ······ 275

第三節 葬送

1 死の直後<死の兆候/末期の水/死後の処理/一杯飯/団子/餅/葬式の手伝い/死の知らせ/通夜/湯薬/納棺> ······ 277

2	葬送<共同の葬祝/作りもの/穴番/葬式/出棺/野辺送り/埋葬/お祓い/清めと本 膳/オカツのお膳と念仏/死後の供養/幼児葬送> ······	280
3	墓制<墓地/土葬と火葬> ······	284
第四節 個人の半生「I 氏の個人史」		
1	はじめに ······	286
2	結婚前まで ······	287
3	結婚から戦争まで ······	289
4	戦後から子供の独立 ······	292
5	子供の独立後 ······	295
6	歳事儀礼 ······	296
7	集会所 ······	298
第八章 芸能		
第一節 芸能		
1	赤尾のはやし ······	299
2	芝居 ······	300
第二節 民謡		
1	土羽打ち歌 ······	301
2	その他 ······	303
第三節 童 戯		
1	子供の遊び ······	304
2	家と屋敷まわりの遊び <弓矢作り/どっかん/コマまわし/かくれんぼ/坊さん坊さん/メンコ/ケダシ/ネックイ/ 兵隊ごっこ/風あげ/大木のときの木遊び> ······	304
3	野や的川原の遊び <魚とり/木遊び/ホタル捕り/ハサミッショ捕り/セミ捕り/トンボ捕り/アナゴ捕り/その 他の虫捕り/ドメ採り/クルミ採り/土手滑り> ······	306
第九章 口承文芸		
第一節 文献に記された伝説		
<水禍を教うお諏訪様/諏訪神社の由来> ······		309
第二節 伝説と世間話		
1	概況と凡例 ······	311
2	伝説<赤尾の下でソバを作らないわれ/諏訪神社とカジボウ/九頭龍様/赤尾と島田 の林家/赤尾・三軒百姓・五軒百姓・六軒百姓/御殿方/お蔵屋敷/ビンショウ/左京/岩殿 の大蛇征伐とけつあたり/七月饅頭を作らないわれ> ······	312
3	世間話<オトカバ/ヤキマ話/餌差/餌差のイハツアン/鶴追い/鰐屋/貸元/ 親分/岩吉和十郎/有水/清蔵じいさん/落合のナミサン/着論で餅をせしめる/はたらし は丈夫> ······	315
第三節 赤尾の林蔵<赤尾の林蔵の略歴/赤尾の林蔵に関する資料/赤尾で伝え られた林蔵/赤尾の林蔵と正月の餅のいわれ> ······		322
付録 資料 文政年間「新編武藏風土記稿」 ····		333
明治初年「武藏国郡村誌」 ····		334
天保2年「林本家記録帳」 ····		337
安政6年 「上分出水床上り家々見回り記録」 ····		344
平成5年8月30日 発行 坂戸市教育委員会		

資料026 『坂戸市の民俗三』

坂戸市民俗調査報告書 坂戸宿の民俗

平成8年3月

目 次

第一章 地域の概況 <坂戸の成立/日光街道と坂戸/支配関係と行政の変遷/6条市と 町内明治時代の生業と町並み/大正時代の生業/「坂戸町案内」> と電話帳による坂戸/鉄道の開通 と駅の開設/昭和10年代の坂戸駅前と駅通り> ······		1
第二章 町の組織		
第一節 町並みとその広がり <町場の村/上と下/木戸内と木戸外/町状 の屋敷割り/明治35年の町並み/駅通りの周辺/中通りの家並み> ······		21
第二節 町内と行政区 <町内と行政区との関係/江戸時代の町内/町内の付き合い /行政区の成り立ち/行政区の分割時期/行政区の連合/住居表示> ······		28
第三節 近隣の組織 <組合と隣組/向こう三軒両隣> ······		35
第四節 地縁組織の運営 <組合/区長/区長代理/副区長/相談役/世話を人/行 事/総会/区費/規約> ······		36
第五節 新しい町会 <1丁目の新しい町内/睦邻会/黄金町親和会> ····		39
第三章 生 業		

第一節 坂戸の米市と周辺		
<米市と穀屋/穀屋の営業/周辺農家と米市/米市とイカダ流し/上吉田のイカダ流し>		43
第二節 農 業		
<坂戸宿と周辺地域の農業/耕地の概況/用水/稻作/摘田/畑作> ······		47
第三節 蚕糸業		
1	養蚕<養蚕と桑栽培> ······	58
2	糸繭商 <坂戸宿の糸繭商/繭の種類/仲買人/製糸業者との取引/糸繭屋の条件> ······	59
3	燃屋と紺屋<燃屋と紺屋の仕事/燃屋の商売> ······	60
第四節 商家の変遷		
1	坂戸宿の商業<坂戸宿の商家/商業専従の時代へ/商店街の形成> ····	62
2	在来農家雜貨商から呉服屋・本屋へ <時計商の創業/呉服屋時代/書籍の販売> ······	63
3	旧家の小売展開 <近世商家の廃業/僕小売店の開業/戦後の商売の変遷> ······	64
4	「百貨店の賑わい」 <雜貨店の開業/配給元の時代/年始の商品> ······	65
5	文具卸商の独立とキドウチ移転 <修業と暖簾分け/キドウチへの店舗移転> ······	65
6	戦後の時計店<棒屋時代の半農半商/時計店の開業> ······	66
7	駅通り建具問屋から自転車販売店へ <建具問屋/改良唐菴の製造/販売/修行と販売> ······	67
8	キドソト呉服店の行商 <キドソトでの開業/小間物から呉服用品へ行商/戦後の商売> ······	68
9	京染取り次ぎ外商 <京染取り次ぎ商/京都の染め屋との取引/顧客の範囲/外売りから店売りへ> ····	69
10	食堂とアイスキャンバーの成果<暖簾分けと主店/菓子屋の 需要/ホールの付設/アイスキャンバー時代/グループの組織/仕入れ/二代目の修業> ·····	70
11	キドソト和菓子店の顧客獲得まで <修業と開店/夫人の婚入/顧客の獲得/パンの販売> ······	72
第五節 職 人		
1	職人の気風と連帯 <坂戸宿の職人/職人の気風/職人の連帯>	74
2	左官職人の修業と技術 <職人の修業と仕事/アラキ土/こまいかき /壁塗りの工程/アラカベ/ウラカベ/チリマフリ/ヌキブセ/ナラシ・ムラトリ・ナカリ /ウワヌリ/火所の壁/屋根根喰/コティエ/シタマシヒサイトリ/渡り職人/土子講> ·····	75
3	戦後の大工仕事と仏具店 <大工仕事/仏具店/引退> ····	81
4	鍛冶職から金物店へ <坂戸の移入/農具/鍛冶屋の生活/金物屋への転業> ······	83
第六節 旅館と露天商 <坂戸の旅館/旅館のなりたち/お駄遊の客> ····		84
第四章 衣食住		
第一節 衣 服		
1	はじめに ······	89
2	仕事着と普段着 <商家などの仕事着/野良着/普段着/前掛け/モンペ/半 纏/下着・肌着/職中・戦後の衣服> ······	89
3	晴れ着・外出着 <外出着/帯/羽織/長襦袢/礼服/初宮参り/七五三/花 嫁衣裳/嫁入り道具/葬式の衣服/祭りの衣装> ······	91
4	子供の衣服 <幼児の着物/おむつ/ねんねこ/もしり半纏/童の子半纏/戦前の 子供の着物戦後の子供の衣服/川越女学校の制服> ······	92
5	防寒着 <二重まわし/オーバーコート/外套/普段着の防寒着> ····	94
6	衣服の管理など <洗濯/虫干し・土用干し/衣類の保管/機織/衣類に関す る店/和裁/洋裁/雑巾・布巾> ······	94
7	髪型・洗髪 <髪型/洗髪> ······	95
8	被りもの <帽子/手ぬぐい> ······	96
9	履物 <野良仕事の履物/普段の履物/下駄/足袋/その他> ······	96
10	雨具 ······	97
11	寝具 <布団/綿入りの寝具/枕/布団綿の打ち直し/綿入れ/蚊帳/夏の寝具/産布団 /毛布/洋布団/寝間着> ······	97
12	袋物・小物類 <風呂敷/袱紗/半紙/袋物/雜叢> ······	97
13	禁忌・俗信 <禁忌/俗信> ······	99
第二節 食 制		
1	はじめに ······	100
2	日常の食 <食事の時間と様式/主食/副食/食品の確保/間食/弁当/食物の禁忌> ····	100
3	年中行事の食	

<モノビの食べ物/正月の食/お祝いの食/夏祭りの食/盆の食> ······	104	<子供御輿の概要/子供御輿の導入/各町の子供御輿> ······	266
第三節 住居		第二節 平成6年度夏祭り	
1 概況 <宿通りの地割/屋敷構えと方位観/部屋の間取りと機能/出入口/掃除/畠/土間/燃料/戸戸/付属屋/庭> ······	107	1 平成6年度の日程 ······	270
2 調査事例 <調査事例/屋内神と屋敷神/年中行事での利用/冠婚葬祭での利用/養蚕での利用> ······	113	2 7月15日 金曜日 <お庫出し/御斎台の運び込み/大御輿入魂式/大御輿のお仮屋設置> ······	270
3 排水と大水 <側溝/大水> ······	128	3 7月16日 土曜日 <トラック渡御/各町屋台の曳行/子供御輿の合同渡御/奉納囃子/曳きあわせ> ······	274
第五章 年中行事		4 7月17日 日曜日 <雲切り/会所の祈禱/神幸式/大御輿の渡御/大御輿納めの儀式/送り囃子/還幸式/曳きあわせ> ······	276
第一節 行事と歴法		第三節 大山講 <大山講の概要/大山の神酒樽と神酒杵/神酒樽と神酒杵と代参/平成6年度の大山講> ······	283
<年中行事の行われる日/暦法の変遷/本章の暦日表記> ······	131	第四節 世話人	
第二節 年末一正月の行事 <すす払い/餅つき/お供え/門松/カマシメ/正月飾り/初正月の縁起物/お歳暮/大海日/坂戸神社の大祓祭/ミソカッパライ/除夜の鐘/ドンドン燃し> ······	132	1 世話人の意義と職務 <はじめに/世話人の任期/世話人の選出/世話人の意義/仕事の伝達/呼びつかい/世話人の仕事/祭りの準備と執行/夏祭りの準備と有縁会・全体会議/お日待と引き継ぎ/退任の記念品/大山講> ······	290
第三節 正月の行事 <若水/年界/元旦・雑煮/坂戸神社の元旦祭/永源寺の三朝祈願・新春祈拂/初詣で/三が日/正月の子供の遊び/年始回り/大盤ぶるまい/同業者の新年会/太子講/仕事始め/初荷・初売り/川越の初大師・ダルマ市/寺の年始/消防出初式/七草/永源寺の開山忌/永源寺の初護摩祈拂・ダルマ市/蔵開き・鏡開き/団子刺し/小正月> ······	139	2 その後の世話人 <昭和60年代の世話人/昭和60年代の「申し送り」/変化のきっかけ> ······	300
第四節 春一夏の行事 <春の幕入り/長久寺の觀音参り/エビス講/屋敷神の祭日/米の市/金毘羅堂の縁日/薬師堂の縁日/奉公人の出番り/初午/年取り/ミカイのまじない/道経会・涅槃会/越生の雛市/女の節供・雛祭・重複総会/春彼岸/年忌總供養/坂戸神社の勅學祭/岩殿山の花見/薬師堂の開帳/坂戸神社の春季例大祭/春の大祓除/苗間正月/菖蒲の節供/永源寺のお駕馳/植え切り・野上がり/ケツアブリ/麦芽牛/初山/八坂神社/夏祭/土用・丑の日/大山阿夫利神社代参> ······	148	3 世話人に関する記録 <記録の概要/大山代参の祭典要領/諏訪祭の祭典要領/例大祭の祭典要領/七五三と秋祭の祭典要領/カマメ・大祓・元旦祭の祭典要領/春祭の祭典要領/夏祭の祭典要領/行事一覧表> ······	302
第五節 盆の行事		第五節 夏祭り囃子	
<地獄の釜の蓋開け/ポンコ/七夕/新盆供養会/墓掃除/迎え盆/盆棚/盆/新盆見舞/お棚回り/送り盆/夏の幕入り/大祓除鬼会/蚤施鉢鬼> ······	162	1 坂戸夏祭り囃子 <夏祭りの囃子調査/坂戸の囃子の概要/坂戸の囃子の系統/夏祭りにおける主な囃子の場> ······	312
第六節 秋一冬の行事 <出羽三山詣で/坂戸神社の諏訪祭/八朔の節供/大鑓殿造立記念日/十五夜/十三夜/秋彼岸/お盆様/秋の大祓除/達磨忌/十日夜/御会式/カッキリ正月/坂戸神社の秋季例大祭/笠間福岡の菊祭/坂戸神社の七五三祭/穴っぽさげの祝/エビス講/坂戸神社の新嘗祭/駅尊道成会/熊手市/冬至> ······	168	2 一丁目/二丁目/三丁目/四丁目/栗生田 ／囃子の経本	
第六章 坂戸の「お祝い」 ······	173	第九章 個人史 ライフヒストリー	
第一節 はじめに・第二節 記述されたお祝い ······	173	· Aさんの半生 ······	353
第三節 永源寺とお祝い ······	176	第十章 伝説と世間話	
第四節 文化7年の一事件 ······	177	1 はじめに ······	365
第五節 商家とお祝い ······	180	2 町・村の伝説 <元坂戸/元坂戸/坂戸の町並み/曲がり曲がった日光街道> ······	365
第六節 農家とお祝い ······	183	3 神仏の伝説 <大御輿のいわれ/お車の健/夏祭りのいわれ/大御輿の重さ/永源寺の諏訪山/坂戸判官と経明と薬師/吉田のお諏訪様> ······	366
第七節 寺院とお祝い ······	184	4 行事その他の伝説 <ハイシのいわれ/太子講のいわれ/けつあぶり觀音講/太田道灌> ······	367
第八節 露天商とお祝い ······	186	5 狐に関する世間話 <オトウカの嫁入り/オトウカに化かされる> ······	368
第九節 おわりに ······	194	坂戸周辺の出来事年表 ······	371
第七章 信仰		平成8年3月25日 発行 坂戸市教育委員会	
第一節 寺社の変遷 <神社と寺院の変遷/祭りの成り立ち> ······	197		
第二節 神社 <坂戸神社とその合祀社/坂戸神社の祭神/氏子と子孫代/世話人/官司/一年の祭り/お庫> ······	203		
第三節 寺と堂			
1 永源寺 <由緯と歴史/寺の行事/金毘羅社/万治高尾> ······	215	資料027 『狭山市史 民俗編』	
2 薬師堂 <由緯と歴史/祭祀組織/ご利益と縁日> ······	218	昭和60年3月	
3 現存しない寺院 <江戸時代以前の寺院> ······	220		
第四節 その他の神仏		目 次	
<地蔵/御祖宝稻荷/豈川稻荷/オコウシンサマ/八幡> ······	221		
第五節 家の神 <家の神と禁裏> ······	223	序 章	
第八章 夏祭りと大山講		(1) 自然条件から見たムラ ······	3
第一節 夏祭りの構成と要素 ······	225	(2) 文化圏からみたムラ ······	6
1 夏祭りの概要 <八坂神社の夏祭りと成り立ち/祭りの日程と概要> ······	225	(3) ムラと家 ······	8
2 大御輿の渡御の変遷 <大御輿渡御の概要/現在の大御輿渡御/戦前戦後の大御輿渡御/大御輿渡御の復活/栗生田の大御輿渡御/旭町の大御輿渡御> ······	230	第一章 総 説	
3 夏祭りと大御輿のいわれ <夏祭りの記録/大御輿の銘/夏祭りのいわれ/「坂戸神社誌」にみる夏祭りのいわれ> ······	244	一 民俗学と市史	
4 お仮屋・会所・獅子 <幟/お仮屋/会所/獅子> ······	251	(1) 民俗学とは <常民の歴史を知る学問/狭山市史と民俗編> ······	13
5 山車・屋台の変遷 <山車・屋台の曳行/山車と屋台の導入/一丁目・二丁目共有的山車と為朝の首/一丁目の屋台/二丁目の屋台/三丁目・四丁目共有的山車/三丁目の屋台/四丁目の山車/栗生田の屋台/手古舞> ······	253	二 各説の概要	
6 夏祭りの準備と役員 <夏祭りの準備と役員/区の組織と夏祭りの役員> ······	262	(1) 家とムラ ······	17
7 夏祭りの役 <夏祭りの片付けとお供物/お日待/全町世話人反省会/引き継ぎ> ······	265	(2) 年中行事 ······	20
8 子供御輿の導入と新しい町会		(3) 人生儀礼 ······	24
		(4) 伝説・昔話・世間話 ······	27
		(5) 織 物 ······	30
		(6) 石造遺物 ······	31
		第二章 各 説	
		一 家とムラ	
		(1) 家とムラについての観念の変化 ······	37
		1 父系制の濃い東国の伝統 <父方の姓/武蔵武士の伝統/家とムラ> ······	37

2	ご先祖様と本家・分家 <本家・分家/イッケ・地親類>	41	<十五夜と十三夜/お盆祭/亥の子ととおかんや>	241
3	ムラの草分け <ムラの開発/柏原鐵治の流れ/落人伝承/本村と新田>	43	2 塞ぎ行事<師走八日/冬至>	255
(2)	屋内神		'まとめの言葉'・年中行事と地域差	260
1	お盆様 <お盆様の祭り/火の神から祖先神へ/作神への発展/釜ノ>	48	年中行事と作神	
2	荒神様<荒神様の祀りと功德/一家荒神からムラ荒神へ>	52	年中行事はなぜ簡素化されたか	261
3	えびす・大黒<大黒様とえびす様/大黒様/えびす講>	56	四 人生儀礼 概説	263
4	大神宮 <天照大神/八百萬の神/水神/雪闇神/オソウデン様/その他の屋内神>	58	(1) 産育	
(3)	屋敷神と屋敷墓		1 出産以前<子授けと安産祈願/妊娠の祝い/妊娠中の禁忌/産部屋/お産と産婆/産湯と産着>	265
1	屋敷神と屋敷墓 <稲荷中心の屋敷神/屋敷神と屋敷墓/ホトケから屋敷神へ/益/無縁仏/墓地と仏壇/屋敷神からムラの稻荷へ/変わった屋敷鎮守>	62	2 お七夜から初誕生まで <お七夜と命名/お盆参り/お食い初め/初正月と初節供/初山/初誕生>	279
二	ムラ		(2) 子供から大人へ	
(1)	ムラのしくみと信心		1 少年期<三つの祝い/五歳の祝いと常解>	289
1	ムラのつきあい<一家/もよりと組/ムラの階層>	75	2 成人期<成人祝い>	291
2	相互扶助とムラ <冠婚葬祭とムラ/もやい仕事/くぐはき橋>	78	(3) 婚姻	
3	講のさまざま		1 婚礼以前<縁談と仲人/口固めと結納/足入れ>	292
(1)	山岳信仰に発した講<講のさまざま/大山講/榛名講/古峰原講/三峯講/御嶽講/秋葉講/出羽三山講/富士講/高尾山講/山岳信仰と農村・町場>	81	2 婚礼<出祝儀/嫁入りと入家式/本祝儀>	299
(2)	特定の祈願の講<産泰講/久米の水天官講/子の神講/蚕影講/おしら講/天神講/稻荷講>	99	(4) 厄年と年祝い	
(3)	塞ぎの講<平心講/世良田の天王様/厄神講/庚申講>	106	1 厄年と厄除け<厄年と厄除け>	306
(4)	仏教関係の講<念仏講/觀音講/川崎大师講/馬頭講成田講(不動講)/お命講/お齋日/お構進>	108	2 年祝い<年祝い>	307
4	氏神・産土神 <氏神・産土神の成立/素人芝居/合祀された氏神>	114	(5) 生と死の境から靈の世界へ	
5	寺と堂<寺と堂/崇り場>	119	1 予兆と末期<死の予兆/末期の水/死後の処理と通夜>	308
6	祭りと郷土芸能		2 葬式<ともらいの準備/ともらい>	315
(1)	祭り<梅宮神社の甘酒祭り/市場の荒神様/広瀬の火祭り/諏訪神社のなすとりかえ/立寺のお命講/加佐志の天王様/青柳の天王様/沢の天王様/下奥富の天王様/柏原の天王様/入間川の天王様>	120	3 葬法と墓制<土葬/火葬/單墓制と両墓制>	319
(2)	郷土芸能<入曾の獅子舞/八幡神社鹿子舞/柏原の獅子舞/上赤坂の獅子舞/芭井豊年踊り/入曾囃子/広瀬囃子/下諏訪囃子/普曾囃子/青中囃子/西方囃子/鶴の木囃子>	131	4 先祖供養と回忌 <初七日から49日まで/1周忌から先祖となるまで>	330
(2)	核家族化と家・ムラ		五 伝説・昔話・世間話	
1	戦後の大変革<自由主義の導入/高度成長と生活改善>	141	(1) 伝説	335
2	年齢階級制の復活 <子供会/老人会への期待>	144	1 水に関する伝説<不老川その1・その2・その3・その4・その5・その6/遠水その1・その2・その3/遠水の里その6/逆川/したれ川その1・その2/まいが淵/まごえもん淵/すえなし川/梅の井戸/乳の出る竹づぼの水/乳の出る井戸水/タケが淵/オタケ大日如来水神宮/クモが淵/せとっぱらのガンガン井戸/西方の淵/七瀧の井/七曲がりの井>	338
3	信仰集団から目的集団へ <信教の自由/趣味の会の発展/生涯教育と地方公共団体>	146	2 動物に関する伝説<西淨寺でクワ虫が泣かない話/ガシャを封じた話/西淨寺の夜盗/西淨寺の鷹の絵/ガシャガシャ山のオホミ/オホミの餌/ヘビと藏/智光院の大蛇/オカケハビ>	345
三	年中行事		3 植物に関する伝説<血のしたたる木/血の出るケヤキ/ごせんとサトイモ/菊つなぎの松/ズイコウのケヤキ/じょんか松/大樹寺の大ケヤキ/大樹寺の大ケヤキとすま/大樹寺の大ケヤキと虚空菩薩/大樹寺の大ケヤキとくすり湯/大樹寺の大ケヤキと木さま/神の木さま/木さま/なんじやもんじやの木>	348
序説・年中行事の意義		149	4 地名に関する伝説<射留魔の地名由来/したたれのさかさ川/天倒山/石無坂/しょいや坂/坂原横町/中の坂/鶴の木/ゴロ坂/河岸街道/梨の木/御狩場その1・その2/宮街道/寺街道/井戸山//ごしん山/かすや新道/ムジナ街道/やせ原原/権現橋/富士見台/富士見里/富士見坂/向/オツウカ山/三ヶ窪/思い川その1・その2/宮前/神明/かずばたけ/ガシャガシャ山/竹の花/梶屋/八瀬/八瀬の里/八丁の渡その1・その2/清水/宮後/弁天道/前田/小袋/荷舟上/水押/ごへ坂/お寺街道/八反目/金堀/奥富/くづはき橋/向陣/半貫/丸山/半貫山/御所の内/霞ヶ関/だんご坂/おおじょうどう/ごぜ橋その1・その2/新田の船/八幡/稻荷/たすき坂/広瀬その1・その2/中島/大杉だねし/清水坂/一本杉/加治街道/ネコ屋敷/よこまくりその1・その2/根山/日光街道/横岸のかじや/殿さま街道その1・その2/撫州開き山/滝谷戸/井岸>	351
暦法の変遷		151	5 人物に関する伝説<仮名頭兼吉と力石その1・その2/仮名頭兼吉と俵の柏木/甲田の姓/半貫という姓の由来/齋匠と豪傑/新田義貞の太刀/新田義貞瀧陣の地>	369
(1)	正月の行事		6 塚に関する伝説<行人塚その1・その2/さかい塚/山王塚/お經塚/念仏塚/證文塚/のんの塚/富士塚/荒神さまの塚/狩塚>	371
1	正月のしたく <2つが正月から1月正月へ/祭りと餅つき/神飾り/大晦日の行事>	152	7 神仏に関する伝説<沢のお雷電さまその1・その2/百日咳に効く沢の雷電さま/三柱神社のツゲのだんご/市場の荒神さま/愛宕神社/眼病と虫歯に効く白山さま/亀の石像と石碑/こぶとりのお庚申さま/入間川の天神さまが嘔のときは/なすりかえ神事の由来/清水八幡宮のご利益/梨原御殿/入曾の獅子舞の起こり/乳の出る石/東方の薬師さまその1・その2/丸山の猿洗い弁天さま/足の権現さま/梅宮神社と安産の神/安産砂/やんめはあさんその1/その2/歯に効く金山さま/あさひ稻荷/山の神さま/山神さまとオオカミ/くらの井戸の薬師さま/かさもり稻荷その1・その2/弁天さまの雨もり/いば神さま/馬頭さま/三つの寺/渡辺稻荷と増島稻荷/お産神さま/火事を防いたタニシ/どうはんのにちりんさま/イモができない場所/小山坊薬師如来の由来/薬師さまの清水/足に	
(2)	春夏の行事			
1	予祝行事<次郎の朝日/節分と年とり/稻荷講/丑寅正月>	204		
2	祖靈に関する行事<後岸>	213		
3	五節供<節供について/三月節供/五月節供>	214		
4	農休日 <植えきりと田上耕正月/その他の農休日/土用の丑の日>	222		
(3)	盆行事			
1	盆のしたく <七夕と盆/入間川の七夕/盆の取り/盆供と墓掃除/盆棚作り>	228		
2	盆行事<迎え盆/供え物と無縁仏/施餓鬼と棚絆>	235		
(4)	秋冬の行事			
1	感謝行事			

効く権現さま／娘とオカミ／庚申さま／大六天さまその1・その2／その3／耳だれさま／禪竜寺の觀音さまその1・その2／新田の薬師さま／子育ての鬼子母神その1／広瀬の鬼子母神その2／子育ての鬼子母神その3／広瀬神社由緒／撫州さまと厄難消除のお堂／歯痛に効くがんざ山の白山さま／觀音堂の火祭り／禪竜寺のだんぎはっく> ······ 374
8 地蔵に関する伝説 <耳だれ地蔵／耳だれ地蔵／加佐志の耳だれ地蔵／岩田の耳だれ地蔵／自制坊の耳だれ地蔵／岩田のじせい坊／耳だれ地蔵／常円寺の耳だれ地蔵／化け地蔵／水野の化け地蔵その1／その2・その3／影隠地蔵その1・その2／田中のカンカン地蔵その1・その2／増益地蔵／ますさん地蔵／歯痛どめの地蔵その1・その2／三体の地蔵尊／いば地蔵／黒くなった地蔵／子育て地蔵／はっぱられた地蔵／せんちやん地蔵／岩殿地蔵／夢地蔵> ······ 392
9 妖怪・変化に関する伝説 <井戸山の小豆婆さん／小豆婆その1・その2／さっくりはばあ天狗にさらわれた話／てんごにさらわれた話／雀井のタケ坊その1・その2> ······ 400
10 その他の伝説 <だいだらぼっちの足跡その1・その2／でえだらぼっちの足跡／やんぶしのため／だいだらぼっちと大昔の清水の池／金家の大刀と小刀／奥富おごり／どんどん焼き／どんどん焼き／のげ焼きその1・その2／子供の夜泣き／武士の隠れ穴／ピワ市／馬ぐそ大尻／柏原の不思議その1・その2／奥富の不思議> ······ 404
(2) 昔 話 ······ 409
1 動物昔話 <ツバクロとすずめ／ニワトリとカラスが仲の悪い話> ······ 411
2 世間話化した話 <スズメとカラスは仲がよい話／モズが木の枝に顔をかけるわけ／サルとニヌが仲の悪い話／ネコが十二支に入れてもらえなかつたわけ／イチヂクが十二支に入れてもらえなかつたわけ／ネコ・ヘコ・トコ・ニワトリは奇態なもんだ／おことさんとムジナ／善光寺参り> ······ 414
3 その他の話 ······ 417
(3) 世間話 ······ 423
1 動物に関する話 <キツネの嫁入りその1・その2・その3／オトウカの嫁入り／オトウカの嫁入りと化かされた話／キツネ火その1・その2／キツネに化かされた話その1・その2・その3／五反田のキツネ／第六天のキツネ／キツネの意通し／キツネのべっぴんさん／キツネと野バラ／キツネ封じのタバコ／キツネとタバコ／かまつでもらえぬ福荷さま／ほら穴のキツネ／オトウカ山／おさんどんに化けたムジナ／タヌキ福荷／オオカメをぶり出した話／ネコ・ヘコ・トコ> ······ 424
2 織 貴家に関する話 ······ 433
六 織 物
(1) 序 説 ······ 439
1 広瀬地方の概要 ······ 440
2 養 蚕 ······ 441
3 染 色 ······ 443
(2) 広瀬斜子
1 川越斜子 ······ 445
2 広瀬斜子 ······ 447
3 広瀬周辺の斜子 ······ 451
4 斜子屋と問屋 ······ 455
5 斜子織のおもな用途 ······ 456
(3) その他の織物 1 木綿織 ······ 458
(4) 織娘と機織歌 1 織娘 ······ 459 2 機織歌 ······ 461
(5) 信 仰
1 おしら講 ······ 469
2 蚕神様 <荒神様／おしんめい様／おしら様／亀井神社と蚕影山／蚕と三味線／福荷様／繭玉／馬鳴様> ······ 473
3 機神様 ······ 4 愛染様 ······ 475
七 石造遺物 総 説 ······ 477
1 民間信仰と石仏 2 石仏の分類 ······ 478
3 狹山市の石仏 ······ 480
(1) 生産神 ······ 486
1 水と生産神 <井財天／九頭龍大権現／水神> ······ 487
2 霊山と生産神 <富士信仰／大山信仰／出羽三山信仰／御嶽信仰> ······ 495
3 日待・月待 <日待供養／月待供養> ······ 503
4 その他の生産神 <山の神／山王の娘／蚕神／福荷> ······ 509
(2) 塞 ぎ ······ 552
1 三界万靈供養塔 <狹山市内の三界万靈塔> ······ 553
2 石橋・敷石塔の供養塔 <石橋供養塔／石塔・敷石供養塔> ······ 555
(3) 現当二世安楽の供養塔
1 庚申塔 <造立の時代的推移／造像上の特色／庚申信仰> ······ 575
2 如 来 <紀迦如来／阿弥陀如来／大日如来／五智如来> ······ 582
3 地藏菩薩 <造立の時代的推移／造像上の特色／地藏信仰／安産・子育て地藏／治病の地藏菩薩／六地藏> ······ 588
4 馬頭観世音 <造立の時代的推移／造像上の特色／造立の趣旨と造立者／他の信仰と結びいた馬頭観世音> ······ 597
5 観世音菩薩 <狹山市の觀世音菩薩／七觀音> ······ 602
(4) 経典供養塔
1 経典読誦供養塔 <法華経誦供養塔／普門品供養塔／光明真言供養塔／大般若經供養塔> ······ 684
2 写經供養塔 <納經塔／一字一石塔> ······ 690
3 念仏供養塔 <念佛供養塔／百遍念佛塔／六龜念仏供養塔／寒窓念佛供養塔> ······ 692
(5) 巡拝供養塔
1 納經巡拝供養塔 <市内の回国供養塔> ······ 747
2 巡拝供養塔 <西国・坂東・秩父巡拝供養塔／伊勢信仰の塔> ······ 750
(6) その他の石仏
<道しるべ／不動明王／愛染明王／大六天／牛頭天王／痞瘧神> ······ 774
石造遺物写真図版
狹山市史編さん関係者名簿 昭和60年3月30日 発行 狹 山 市

資料028 『志木市史 民俗資料編 I』

昭和60年3月

目 次

ムラとイエの民俗

一 村の仕組み

1 行政区の変遷 ······ 3
2 村落の内部組織 ······ 6
3 家のつきあいと贈答 ······ 8
4 寄 合 ······ 9
5 葬式組合 ······ 10
6 井戸組合 ······ 12
7 スケ(助)と共同作業 ······ 15
8 休日と娯楽 ······ 17

二 本家と分家

1 親族のつきあい ······ 25
2 本家の来歴 ······ 27
3 分家の出しかた ······ 29
4 婚 姻 ······ 32
5 家族・親類の呼称 ······ 33

三 住居と生活

1 商家の間取り ······ 35
2 農家の間取り ······ 37
3 部屋の呼称と機能 ······ 43

四 ムラと講

1 講の分類 ······ 47
2 代参と目的 ······ 48
3 山嶽信仰と講の結成 ······ 50
4 富士講 ······ 51
5 御嶽講 ······ 62
6 御岳講 ······ 68
7 棚名講 ······ 71
8 大山講 ······ 75
9 高尾講 ······ 78
10 伊勢講 ······ 79
11 念仏講 ······ 80
12 庚申講 ······ 86

五 ムラの祭り

1 ムラと祭り ······ 93
2 春祭り ······ 94
3 夏祭り <火祭り／天王様> ······ 98
4 秋祭り ······ 105

六 屋敷神及び稻荷社		
1 屋敷神とは	106	
2 稲荷信仰の発生と流行	108	
3 屋敷神の推移	111	
4 屋敷稻荷から氏子稻荷へ	117	
5 ビシャ講と祭日	126	
6 その他の稻荷講		
<ニツ猿稻荷/篠竹稻荷/蓮田稻荷/泣虫稻荷/大野稻荷/尾崎稻荷/高野稻荷/前内手稻荷/行星稻荷/三才稻荷/中丸稻荷/末光寺稻荷>	130	
7 稲荷神以外の屋敷神	138	
8 屋敷神の移転とその処理	143	
七 家の中に祀られる神々		
1 大神宮	146	
2 荒神	149	
3 エビス大黒	156	
4 井戸神	161	
5 便所神	6 水天宮と竜蛇様	162
7 市神	163	
8 金山様	164	
9 聖徳太子	166	
10 金毘羅様	167	
11 古い神札の処理	170	
12 消滅した神々	171	
年中行事		
一 概 説		
1 晴れの表の区別	177	
2 行事の簡略化と暦の変化	178	
3 月と重日による行事	179	
4 新暦採用と月遅れの行事	181	
5 年中行事の変化と消滅	183	
二 正月の支度		
1 煤掃き	185	
2 竈注連	189	
3 門 松	192	
4 歳神棚	196	
5 忌中の家の正月飾り	200	
6 餅搗き	203	
7 暮の贈り物	206	
8 暮の買い物	209	
9 大晦日	211	
三 正月の行事		
1 正月様	215	
2 年 男	218	
3 市 神	220	
4 門付芸人	223	
5 正月中の仏壇の扱い	226	
6 年始廻り	228	
7 お寺の年始	231	
8 仕事始め	233	
9 棚さがし	236	
10 節 (セチ)	238	
11 松納め	241	
12 七草粥	244	
13 鍔入れ	246	
14 藏開き	248	
15 小正月	251	
16 生木責め	253	
17 粟穂・稗穂	254	
18 削り掛け	258	
19 粥かき棒	260	
20 孕み箸	262	
21 蔊 玉	265	
22 小豆粥	269	
23 どんど焼き(お焼かあげ)	272	
24 蔊入り	274	
25 じょうめし(+狂)	276	
26 十八日粥	279	
27 二十日正月	281	
28 恵比寿講	283	
四 春から夏の行事		
1 次郎の朔日	288	
2 節 分	290	
3 馬の年越し	294	
4 八日節供・針供養	296	
5 初午とビシャ講	299	
6 出替り	302	
7 雛祭り	305	
8 お彼岸	309	
9 種まき正月	311	
10 大ぶせぎ	312	
11 卯月八日	315	
12 苗立て	318	
13 菖蒲の節供	320	
14 つじ餅	324	
15 木綿ぼうず	326	
16 麦の刈り上げ祝い	328	
17 サナブリ	330	
18 茅の輪くぐり	333	
19 七月一日	336	
20 白井様の祭り	338	
21 粉 初	339	
22 総ごじまい	340	
23 土用の丑の日	343	
五 盆の行事		
1 盆こと盆の口開け	346	
2 七 夕	348	
3 盆棚づくり	353	
4 盆迎え	355	
5 無縁仏	358	
6 新 仏	360	
7 盆 礼	363	
8 棚 経	365	
9 盆送り	367	
10 蔊入り 11 じょうめし(+狂) 12 次ぎ盆	370	
13 裏 盆	372	
六 秋から冬の行事		
1 八朔の節供	374	
2 風切り鎌と無難正月	376	
3 お九日	379	
4 お彼岸	5 穂がけ	381
6 十五夜	383	
7 十三夜	386	
8 お日待ち	388	
9 刈り上げ	390	
10 卵と丑寅の麦蒔き	392	
11 穴っぷさげ	394	
12 十日夜	396	
13 お釜様	399	
14 扱き上げ	404	
15 秋上り正月と油しみ	406	
16 恵比寿講	17 川浸り餅	408
18 八日節供	19 大師粥	411
20 冬至と星祭り	414	
生産性業と用具		
I 農 業		
一 概 況		
1 自然状況<土/水/気象/害虫鳥>	421	
2 耕 地<野方と里/土地利用と田の種類/土地改良>	426	
3 農業経営<労働力/肥料/農家経営/組合>	429	
二 作物と耕作		

I	主な作物	437	1	網 <網 ^キ /漁作りときおり/保養>	593																																																																																																												
2	作物の耕作		2	ヤ	596																																																																																																												
	<縫/糸作/サツマイモ/ハクサイ/ホウレンソウ/ゴボウ/ニンジン>	438	五	川とくらし																																																																																																													
三	保存と出荷		1	内川と遊漁	598																																																																																																												
1	穀類	2 芋類	2	荒川と生活	600																																																																																																												
3	野菜類		V	狩 猿																																																																																																													
四	用具と野良着		一	概 況																																																																																																													
1	耕作具		1	狩獵対象の鳥獣	605																																																																																																												
	<耕耘/播種/施肥/除草/害虫駆除/収穫/脱穀・選別/調整/その他>	456	2	狩獵と法的規制<鳥獣類の保護/志木地域の狩獵>	606																																																																																																												
2	運搬具<身体に付けるもの/車>	469	二	獵法と用具																																																																																																													
3	藁工用具		1	網獵法<蘆 ^シ /鶴 ^シ /穂 ^シ /打 ^シ /両羽>	609																																																																																																												
4	容器<笊/籠/桶/樽/その他>	475	2	わな獵法<罠 ^{ワナ} /トラバミ>	616																																																																																																												
5	野良着<衣服/被物/履物>	477	3	その他の獵法<千本/直針>	616																																																																																																												
五	用具の変化		三	捕獲と処理																																																																																																													
1	製作と修理	480	1	売り物	620																																																																																																												
2	畜力と機械化	481	2	料理法	622																																																																																																												
II	商 業		伝 説																																																																																																														
一	概 況		I	概 説 伝説分布地図	634																																																																																																												
1	志木の町場	485	II	自然に関する伝説																																																																																																													
2	商家と店の種類	487	一	動 物																																																																																																													
3	今日の商業	488	1	カッパ																																																																																																													
二	商い方法		(1)	宝幢寺の地蔵さんとカッパの話	637																																																																																																												
1	商店 <肥料屋/穀物屋/米屋/荒屋/吳服屋/主人と奉公人>	489	(2)	カッパから相撲を仕掛けられた話	643																																																																																																												
2	行商 <志木内の行商/志木から出る行商/志木に出る行商>	499	(3)	カッパを相撲で負かした話	645																																																																																																												
3	露店 <露天商/地元商店とのかわり>	505	(4)	市場天王さんの社紋とカッパの話 解説<天王とさゆうりとカッパについて/カッパについて>	646																																																																																																												
三	用具と服装		2	狐																																																																																																													
1	看板・広告	509	(1)	助右衛門さんと白狐の話	656																																																																																																												
2	帳場用具と証書・印判	511	(2)	子狐の死と三ツ子稻荷の話 <狐との出会い/稻荷の祠建立>	664																																																																																																												
3	服 装	515	(3)	つんぽになった船頭さんの話	668																																																																																																												
III	諸 職		(4)	八ツ釜地と狐の話	675																																																																																																												
一	概 況		(5)	子狐と鹿の話 解説<稻荷信仰と狐について/仏家系の稻荷社/江戸での繁栄/迷信による信仰/狐とのつながり/初午祭り>	678																																																																																																												
1	資料にみる志木の諸職	519	3	むじな																																																																																																													
2	技能職と製造職	520	(1)	長勝院のチョッピラリン	686																																																																																																												
二	職人のくらしと用具		(2)	八どんとむじなの話	687																																																																																																												
1	大工職 <修業・生活/道具・道具箱・仕事着/仕事場>	522	(3)	むじなのたたり 解説<たぬきとむじなの違い/話題に出てくるたぬき>	694																																																																																																												
2	左官職 <修業・生活/蔵造りの工程/道具・道具箱・仕事着>	525	4	猫 <猫踊り>	699																																																																																																												
3	箒 職 <志木の箒作り/修業・生活/原材料の入手と保管/道具・仕事場/箒作りの工程/販売方法>	533	5	魚																																																																																																													
4	桶 職 <志木の桶作り/修業・生活/材料の入手と保管/道具・仕事場/桶作りの工程/製品>	539	(1)	三貫田池の片目のフナの話 (荒井仁右衛門と山口大膳の決闘)	701																																																																																																												
三	船頭のくらしと用具		(2)	コクゾウ池のうなぎが八ツ目うなぎに変身する話	703																																																																																																												
1	早船 (新河岸川運搬船)		(3)	コクゾウさんの縁起 解説<片目のフナと片目のうなぎ/資料に見える大膳と仁右衛門・館村古今精決集録>	704																																																																																																												
	<新河岸川舟運と船/船頭の生活/仕事着>	551	2	砂 船 <荒川の砂採り/砂船と生活/仕事着>	555	6	蛇		3	遊覧船	556	(1)	蛇に當てられた話	708	4	渡 船	557	(2)	かしらなし (頭無し)	709	四	職人や船頭の集まり		二	植 物		1	太子講 <大工職/左官職/桶職>	558	1	むくの木と坂上田村麻呂の口碑	710	2	ふいご祭り	561	2	業平の松		3	大杉講・水上講 <船頭/漁師>	562	3	杉の木のたたり <大天について>	712	IV	漁 搶		III	歴史に関する伝説		一	概 況		一	地 名		1	志木の河川	565	1	三貫田	717	2	志木の川と魚種・漁法	566	2	精進場(じょうじんば)	718	3	法的規制 <漁業権と漁業共同組合/規制漁法>	567	3	蟹 坂(かにさか)	719	二	漁法と用具		5	稻荷山	720	1	網漁法 <投網/刺網/掛網/建干網/地曳き網/瀬張り網/四ツ手網/待網/鉛網/追込み網/ザリ網/三角網/搔上げ網>	570	7	味 場(あじば)	721	2	釣漁法 <置針/長綱/とびつき/-本釣り/穴釣り/引っかけ>	578	8	おおばけ・こばけ	722	3	雑漁法 <筌/ピン網/竹ざっぱ/ゴキ/築/味噌漬けせ/饅焼き/火振り/ガラス瓶/うろぼし/毒水/搔堀/潜り>	581	9	陣 場(じんば)	723	三	漁獲と処理		1	売り物と喰い料 <売り物/喰い料>	589	2	料理法と効用	591	3	餌取り	592	四	用具と修理と保管	
2	砂 船 <荒川の砂採り/砂船と生活/仕事着>	555	6	蛇																																																																																																													
3	遊覧船	556	(1)	蛇に當てられた話	708																																																																																																												
4	渡 船	557	(2)	かしらなし (頭無し)	709																																																																																																												
四	職人や船頭の集まり		二	植 物																																																																																																													
1	太子講 <大工職/左官職/桶職>	558	1	むくの木と坂上田村麻呂の口碑	710																																																																																																												
2	ふいご祭り	561	2	業平の松																																																																																																													
3	大杉講・水上講 <船頭/漁師>	562	3	杉の木のたたり <大天について>	712																																																																																																												
IV	漁 搶		III	歴史に関する伝説																																																																																																													
一	概 況		一	地 名																																																																																																													
1	志木の河川	565	1	三貫田	717																																																																																																												
2	志木の川と魚種・漁法	566	2	精進場(じょうじんば)	718																																																																																																												
3	法的規制 <漁業権と漁業共同組合/規制漁法>	567	3	蟹 坂(かにさか)	719																																																																																																												
二	漁法と用具		5	稻荷山	720																																																																																																												
1	網漁法 <投網/刺網/掛網/建干網/地曳き網/瀬張り網/四ツ手網/待網/鉛網/追込み網/ザリ網/三角網/搔上げ網>	570	7	味 場(あじば)	721																																																																																																												
2	釣漁法 <置針/長綱/とびつき/-本釣り/穴釣り/引っかけ>	578	8	おおばけ・こばけ	722																																																																																																												
3	雑漁法 <筌/ピン網/竹ざっぱ/ゴキ/築/味噌漬けせ/饅焼き/火振り/ガラス瓶/うろぼし/毒水/搔堀/潜り>	581	9	陣 場(じんば)	723																																																																																																												
三	漁獲と処理																																																																																																																
1	売り物と喰い料 <売り物/喰い料>	589																																																																																																															
2	料理法と効用	591																																																																																																															
3	餌取り	592																																																																																																															
四	用具と修理と保管																																																																																																																

10	亭ノ下(ちのした又はていのした)	724
11	絡ヶ崎	725
13	高 橋(たかばし)	726
14	地獄谷又は十玉谷	727
15	腹切り場	728
16	焼き場	729
17	馬捨て場と横馬置場(おばおきば)	730
二	人 物	
1	業平伝説	
(1)	「館村旧記 上」による伝承	731
(2)	「館村風土記・長勝院由来」による伝承 <田舎郡司藤原長勝の事/平清盛の横暴の事/業平と五月前の恋/都島の事/膝折の事/長勝・業平討死の事>	733
三	塚	
1	中宗岡の一里塚	739
2	甲子山塚と日本武尊の口碑	740
3	休み場	741
4	首 塚	742
IV	信仰に関する伝説	
一	神	
1	北向きの下の冰川さん	743
2	富士の巻狩りの時の話 (羽根倉浅間神社の縁起)	745
3	中宗岡の泣き虫稻荷	747
4	子供の好きなお稻荷さん	751
二	仏	
1	ほっぺたの黒いお地蔵さん	753
2	味場の地蔵さんと哀れな姉ちゃんの話	756
(1)	味場の地蔵さん・(2)哀れな姉ちゃんの話	
3	イボとり地蔵さん	760
4	中道の子育て地蔵さん	763
5	大塚のすくも薬師の話	765
6	鉄身不動明王が汗を流した話	767
7	六部にさらわれた上宗岡の観音さんの話	770
8	ボボ施餓鬼寺とボボ薬師寺	771
三	妖怪変化	
1	お鷹橋と魔女の話	775
2	姥 袋	777
3	水中の怪物	778
4	地獄谷の小豆婆	781
街道・耕地・集落		
一	街 道	
1	河岸街道	785
2	引又道	787
3	科人街道(江戸道)	790
二	耕 地	
1	耕地の様子	796
2	湿田と土地改良	798
3	耕地と人々	800
4	残る高地	803
三	集 落	
1	街 村	805
2	集村・塊村	808
3	散 村	811
4	戦後の新しい集落景観	812
執筆者及び執筆分担/話者・協力者一覧 志木市史編さん関係者名簿 あとがき		
昭和60年3月25日 発行 志 木 市		
第一章 地域概観		
第一節	自然環境	3
第二節	歴史概観	5
第二章 生産・生業		11
第一節 農 業		
一 農業		
1	植田の栽培慣行 <種粒の管理と品種/耕耘/田うない用具とその変遷/ 畦塗り/苗代と種まき/代播き/田植えの服装と野良着/田植えの禁忌と儀礼/ 除草/害鳥虫駆除/稲刈り/稲あげ/脱穀/調整/牛馬の飼育>	12
2	摘田の栽培慣行 <名称とその規模/立地と水利/耕作/播種/苗揃え/田の草取り/稲刈り>	31
3	掘上田 <掘上田の分布(爪田ヶ谷地区)(高岩地区)(小久喜・千馴野地区) (野牛地区)(下大崎地区)(皿沼)(柴山沼)/掘上田の耕作(耕耘)(ハネツケ) (ノロキ)(アゼッピキ)(苗代)(田搔き)(田植え)(田の草取り)(水落とし) (稲刈り)>	35
二 畑 作		
1	麦作 <整地/播種/中耕/麦踏み/土入れ/麦刈り/脱穀/精麦・精粉/検査>	44
2	雑穀類 <粟/もろこし/そば/大豆/小豆/ささげ/金時豆/えんどう豆/そら豆/みずら>	53
3	芋類 <さつ芋/里芋/じゃが芋>	59
4	工芸作物 <茶/綿/菜種/ごま/えごま/柿>	62
5	蔬菜 <大根/なす>	67
三 養 蚕	<蚕室/蚕種/飼育/出荷/桑>	68
四 肥 料	<ダゴイ/ツミゴイ/モク/綠肥/下肥/煮大豆/大豆粕/化学肥料>	71
五 梨作り	1 梨栽培の歴史 <埼玉梨の歴史/町内への梨伝授/梨栽培の定着と産地化>	75
2	梨栽培 <品種(品種の変遷)(品種の更新)/施設(梨棚)(竹棚)(幾見式)(福島式)(鉄線)(棚がけ)>	82
3	栽培技術 <土壤管理(表層管理)(深耕と有機物の投入)(排水と灌水)/花かけ(直接受粉)(人工受粉)(受粉樹)/摘果から収穫まで(摘果)(袋かけ)(収穫・共通)/剪定と肥料(カッパギ)(肥料)>	87
4	病害虫防除 <無農栽培/袋かけ/防除/鳥害対策>	99
5	出荷販売組織 <出荷方法/出荷の容器/太山村果実出荷組合の成立/花見会>	99
第二節 諸 職		
一	町内の概要 <猿津村野諸職/町内の職人(屋根屋)(紺屋・綿屋)(鍛冶屋)(瓦屋)(造酒屋)(桶屋)(下駄屋)>	104
二	屋根屋 <技術の伝播/屋根葺の材料/屋根葺道具(鉈)(鍼)(押切り)(鉗)(カヤキ)(ガンギ稚)(棒棒)/屋根葺きの工程(準備)(下地作り)(軒付け)(グシ)(グンドメ)(仕上げ)/技術の修得/職能の分担/同業者の組織/職人の生活/生産暦/信仰>	110
三	紺屋 <技術の伝播/藍染/施設と道具/藍建て/型染め/糸染め/技術の修得と組織/職人の生活>	119
四	大工 <技術の伝播/素材/製作の工程/技術の修得(職能の分担)(西行)/同業者の組織/職人の生活/行事の信仰>	126
五	仏師 <技術の伝播/素材/作品(影刻)(彫塑)(塗り物)(修理)/技術の修得/信仰>	131
六	鍛冶屋 <製品/信仰と行事/組合(西行)>	136
第三節 漁 捞		
一	網漁法 <かき網(搔叉手)/網/スクリュ/エビスクイ網/投網/四つ手網>	138
二	釣り漁法<竿釣/ボカン釣/オキバリ>	141
三	雑漁法 <ウナギヤス/アガリトリ/ブッサシ/ドカゴ/ピンドケ/金網筌/タカラズボー/キリヨミ/ニゴシ/フミカゴ(踏み籠)/カタッケ-捕り/しじみ捕り>	142
第三章 年中行事		
第一節	年中行事暦	151
一	暦の変化 <旧暦から新暦へ/モノノイ>	152
二	年中行事の変化 <現在でも行われる行事/消滅した行事>	154
三	年中行事暦	159
第二節 正月行事		
一	正月準備 <すす払い/餅つき/門松/オカザリとカマジメ/大晦日/暮れ市/神の宿・神の枕>	164

資料029 『白岡町史 民俗編』

平成2年3月

目 次

二 大正月	
<年男/歳神様/初詣/若水汲み/朝湯/宝船/オオバン/正月の供え物と家桶/山入り/七草 ・七草粥/鏡入れ>	171
三 小正月 <歳玉団子/ハナ/オミタマ/成木責め/嫁の里帰りと女の年取り(年越)/ 小豆粥/小豆飯とオサイニチ(お齋日)/藝入り/カガザリへの感謝>	179
四 五月・六月・七月の行事	
<五月の節供/セキ/初山・浅間様/百万遍/夏越と天王様/石尊様の灯籠/サナボリ(サナ ブリ)>	196
第四節 盆行事	
一 七夕	
<七夕飾り/七夕の供え物/七夕飾りや馬の処理/七夕に関する伝授>	204
二 盆 <盆の口開け/盆供/盆の期日/盆棚/ルスイの先祖様/無縫仏/迎え盆/盆の食 事と供物/オミタマ/盆参り/棚絆/野回り/施餓鬼/送り盆/新盆>	204
第五節 秋冬の行事	
一 九月の行事 <八朔の節供/二百十日/十五夜>	211
二 十月の行事	
<クンチ・セマチ(お待ち)/荒神様(オカマサマ)>	212
三 十一月・十二月の行事 <十日夜/收穫儀礼/ダイシガユ(大師粥)/ 恵比寿講/七五三/カビタリ(川漫り)/シリスヨウカ(師走八日)/ヨウカセック(八日節 供)/徳がけ/冬至>	215
第四章 信仰	
第一節 社寺の信仰	222
一 神社と信仰 <風土記譜に見る神社/「郡村誌」に見る神社/「社寺明細帳」 に見る神社/神社の起源>	223
二 寺院と信仰 <新義真言宗/禪宗/淨土宗/修驗/寺院の起源>	333
三 社寺の縁起 <大徳寺(上野田)/正伝寺(上野田)/安楽寺(太田新井)/忠惠 寺(高岩)/白岡八幡宮/諏訪八幡神社(柴山)>	241
第二節 民間の信仰	249
一 屋敷神と屋内神	
1 屋敷神 <祭神と呼称/祭祀の開始と契機/御利益と崇り/祭場/祭祀>	250
2 屋内神 <大神宮様/歳神様/恵比寿・大黒様/荒神様/便所神様/井戸神様/戸 守り>	257
二 講	
1 講とは <民間信仰を基盤とした講/社寺に参詣する講>	262
2 民間信仰を基盤とする講 <庚申講(講中の範囲)(日時)(当 番と供え物)(講の沿革・歴史)/(稻荷講/千駄野の講)(爪谷ヶ谷の講)(篠津下宿の 講)(篠津馬立の講)(荒井新田の講)(柴山の講)/愛宕講(篠津上宿の講)(篠津神 山の講)(白岡茶屋の講)(下大崎のオカダン)(荒井新田のオカダン)/弁天講/念佛 講(千駄野の講)(篠津の念佛講)(白岡大門講)/百万遍(千駄野の講)(上野田の 講)/日待講/浅間講/八将神講>	264
3 県内の社寺に参拝する講	
<秋葉講/箭弓稻荷講/第六天講/三峰講/妙見講>	284
4 県外の社寺に参拝する講 <板倉講/榛名講/成田講/笠間稻荷 講/大山講/川崎大師講/武州御嶽講/普光寺講/戸隠講/伊勢講/木曾御嶽講>	287
三 絵馬	
1 正伝寺開山堂の絵馬 <(正伝寺と開山堂)(絵馬の分類)(銘文) (年代)(年齢)(奉納者の分布)(開山様信仰)(御利益と奉納物)>	297
2 柴山諏訪八幡神社の絵馬 <(図柄による分類)(祈願内容によ る分類)(絵解き)(奉納者の信仰)(絵馬販売の様子)>	302
四 石仏と供養塔	306
1 石仏 <阿弥陀如来/菩薩(觀音菩薩)(馬頭觀音菩薩)(勢至菩薩)(虚空藏菩 薩)(地藏菩薩)/不動明王/庚申/その他の石仏(十三仏)(愛宕大権現)(大黒天) (聖德太子)>	307
2 供養塔 <巡洋塔・廻國塔/読誦塔・光明真言塔/念佛供養塔/名号塔・題目塔/石橋 ・敷石供養塔/二十三夜塔>	315
五 石祠と石塔 <稲荷/天神・天満/山岳信仰/その他の神々>	319
第三節 民間知識	
一 前兆・予兆 <天候・気象の予知(自然現象によるもの)(動物によるもの)(諸 事によるもの)/吉凶・事変の予知(天体・気象によるもの)(動物によるもの)(植物によ るもの)(暦によるもの)(諸事によるもの)>	321
二 民間療法	
<呪術的療法/祈願/薬草による療法(内臓・風邪)(皮膚病・外傷)(歯・目・その他)/動 物を薬とする療法>	326
三 俗 信 <人の人生に関するもの/衣服・食事に関するもの/住居に関するもの/年中 行事に関するもの/動物・植物に関するもの/その他>	329

第五章 人の人生

第一節 産育儀礼

一 妊娠 <妊娠/妊娠祈願と安産祈願/腹帯/鰐の贈答/妊娠中の労働/妊娠中の 禁忌・俗信>	337
二 出産 <産室/トリアゲバサン/出産/地蔵様っ子/へその緒と後産/産湯/ウサ タテゴメと産後の食事/産後の禁忌/授乳>	341
三 子供の成長と祝い <お七夜/産見舞い/セッヂンマイリ(名称)(実施 例)(行われる日)(供物)(参る所)(参るときの生児の姿)(生児を連れて参る人)/ト オアゲ/里帰り/お宮参り/産毛そり/食い初め/初節供/初正月/初山参り/初誕生/おし め/乳歛/夜泣き>	345

第二節 婚姻

一 婚約	
<結婚の条件/恋愛結婚/縁談と仲人/見合い/タリイレ/結納/アシレ>	356
二 御祝儀 <名称と時期/荷送り/嫁迎え(クレシュウギ)/嫁の出家儀礼/嫁入り行列 /嫁の入家儀礼/御祝儀の座/御祝儀の次第/イチゲンのあいさつ/三三九度/祝宴/嫁の 料理/祝い金と引き出物>	362
三 御祝儀後	
<宮参り/女イチゲン/ミツメ/里帰り/シンショウ渡し>	370

第三節 葬送

一 死と靈	
<予兆/末期の水/死後の処理/ハヤツカイ/湯灌/入棺/通夜>	373
二 葬式 <葬式の日取り/葬式組/床掘り/出棺/ニワドムライ/葬列/埋葬/葬式の 食事/キヨメ/キヨミ/念佛/墓直し/異常葬式>	376
三 忌明け・年忌 <忌中餅/ヒトナノカ/四十九日/新盆/年忌>	383

第六章 見の回りの生活史

第一節 衣生活

一 仕事着とふだん着 <仕事着/男の仕事着/女の仕事着/袖の型(筒袖) (元禄袖)(振袖)/前かけ/ふだん着(下着)(帯)(足袋)(おしめ)/外出着>	387
二 晴れ着 <婚姻(シアワセ・見合い)(御祝儀)(メデタムシ)(里帰り)(ヨメガ八 幡)/子供の祝い(お七夜)(宮参り)(ミツミワイ)(オビキ)(葬送(死者の服装))>	396
三 衣の製作・入手方法	
<機織り/染色/藍染め/針仕事/裁縫/針と糸/衣服の調達>	400
四 かぶり物・履物・雨具	
<かぶり物(ほっかぶり)(モロク頭巾)(あねさんかぶり)(おこそかぶり)(菅笠)/履物 (下駄)(草履)/雨具>	403
五 寝具 <枕/カヤ>	408
六 衣類の保管 <洗濯/衣類の管理>	410
七 髮型と化粧用具	
1 髮型	412
2 化粧 <(オハグロ)(マコオシ)>	414
3 その他 <歯みがき/洗髪/風呂/便所紙>	414

第二節 食生活

一 日常の食事 <主食(麦・粟・そば)/副食/間食/保存食(大根・さつま芋 魚)/調味料>	416
二 ハレの食事	
<米/糯米/小麦/大麦/栗/もろこし/そば/その他/甘酒>	421
三 共同飲食 <通過儀礼>	425

第三節 住生活

一 屋敷	
<母屋の向き/戸井/庭/屋敷林/庭木/門・木戸/昔の屋敷の構え>	428
二 母屋 <「小久喜村百姓家小前繪図」にみる間取り(事例1・2・3・4・5)/聞き取 りによる間取り(バターン!・Ⅱ・Ⅲ)>	431
三 付属や <木小屋/蔵/便所>	440
四 家づくり	
<チョウハジメ/ジマツリ/ジギョウ/ムネアゲ/壁塗り/家移り>	440
五 屋根替え	446

第七章 交通・交易

第一節 交通

一 道路	
1 道路 <鎌倉街道/御成道/慈恩寺道/春日部・菖蒲道(柏壁菖蒲往還)/蓮田・杉戸 道/久喜道/原市道>	453
2 道しるべ	461
二 河川と用排水	
1 町域を流れる河川と用排水 <元荒川/野川/星川/見沼代用	

水/隼人堀/桟間堀/庄兵衛堀/黒沼代用水/笠原用水/姫宮堀/備前堀/野牛高岩落/ 新堀/三ヶ村落>	465
2 『武藏国郡村誌』にみられる河川と用排水	468
3 見沼代用水開削の前と後	470
三 舟運 <見沼代用水の舟運/江戸時代の河岸と荷物/見沼通船会社の設立/菖蒲河岸/平野河岸/柴山橋戸 の町並/橋戸の屋号と職業/隼人堀の舟運/元荒川の舟運>	472
四 車の普及	
1 荷車・リヤカー <荷車(オシルマ)/貨シルマ(車輪の変遷)/リヤカー>	481
2 トラック・オート三輪 <トラック/オート三輪/原動機付自転車>	484
3 自転車	485
五 交通機関の発達	
1 人力車・輪タク・タクシー <人力車/円タク/輪タク>	488
2 乗合馬車・乗合自動車<乗合馬車/乗合自動車>	489
六 鉄道の敷設<駅の開設/新説白岡車站之碑/共進組合/祝賀記念式と八幡橋の架 橋/駅周辺の発達>	490
第二節 交易	
一 行商<ヨコヨカ船屋/ブッキリ船屋/朝鮮船屋/細工船屋/甘酒売り/糰売り/しん粉 屋/米屋/アイスキャンデー屋/川魚売り/魚売り/アサリ・シシ売り/玄米パン屋/唐辛子屋 /富貴豆売り/煮豆売り/佃煮売り/焼き团子売り/納豆/豆腐屋/おでんや/目立て屋/コウモ リ直し/ラオ屋/下駄の歛付け/銷かけ屋/フリ屋/研ぎ屋/瀬戸物売り/小間物屋/呉服屋/ 羽物売り/座卓売り/簾屋/十銭屋/あかざれの着物売り/毒消し売り/着物売り/セイセイヤッカ /孫太郎虫売り/御札売り/神の膳・ヨシの膳売り/にわことの花売り/七夕の馬売り/盆花・シ キミ売り/蚕の種紙売り/苗売り/金魚売り/押し売り>	493
二 市<町内の市/白岡八幡宮の市/篠津の市/白岡の市/橋戸の雑屋/紅葉大門の市/近傍 の市/岩槻の市/幸手の市/久喜の市/杉戸の市/菖蒲の市/大宮の市> >501	
三 篠津の町並<江戸時代末期の篠津/明治・大正の篠津/うどん屋/餅屋/糸屋 /木綿屋(シロヤ)/足袋屋/下駄屋/荒物・雑貨屋/料理・仕出し屋/錢湯/造酒屋>	
	503
第八章 社会生活	
第一節 ムラのしくみ	
一 ムラの構造	
1 ムラの起源<ムラ/ムラの範囲/ムラの開発伝承(岡泉・実ヶ谷・千駄野・ 小久喜・上野田・下野田・爪田ヶ谷・太田新井・彦兵衛・篠津・野牛・高岩・寺塚・白岡・柴 山・荒井新田・下大崎)/村制度の変遷>	513
2 ムラの組織と運営<(実ヶ谷の事例)(千駄野の事例)(荒井新田の 事例)/トナリ・マエ・ウシロ/ムラ入り/寄り合い>	519
二 相互扶助と共同作業<(道普請・井戸替え・茅の調達)/消防組合(糸 の手伝い・馬の共有・農機具の共有)/水利慣行(入水と落水・水番・底渡い・纂刈)> >527	
三 ムラの諸集団<子供組/青年会/若い衆組/傭女会/年よりの集団(念仏講・ 老人会)>	536
第二節 家と同族	
一 家族の名称と呼称	
<名称と呼称/相続/慣れ屋敷の再興/家の繼承>	544
二 本家・分家と種類<イッケと家意識/家の付き合い(親戚、親類の付き合 い・中行事/人の人生)>	547
第九章 民俗芸能と遊び	
第一節 民俗芸能	
一 小久喜のささら獅子舞	
<由来/日時と場所/役割と組織/祭の準備/官参り/舞の種類(飛違いの舞・巣籠りの舞・折 枝獅子)/ゴシュウギヒウタイ/獅子舞の笛>	553
二 岡泉の神楽と雛子	
<由来・日時/演目と構成/他所での奉納/がっきと神楽面>	574
第二節 祭礼	
一 篠津の天王様<須賀神社/祭礼/御輿/山車>	577
二 新田の天王様	584
三 柴山の天王様	586
四 玉敷神社のおしきさま<玉敷神社/行事の日取り/役割分担/村回り /小久喜の事例/千駄野の事例/野牛の事例>	590
五 あんば様の祭り <由来/お獅子様の各戸訪問/御輿の渡柳(村回り)>	595
第三節 遊び	
一 植物の遊び	
<採る・集める/味わう/染める/ふくらます/鳴らす/いじわる/比べる/とばす/占い など/おしゃれ/作る・あそぶ/竹の玩具/その他>	598
二 動物の遊び<捕らえる/させる>	605
三 屋内の遊び<おはじき/お手玉(なんご)/しと投げ/紙相撲/着せかえ人魚/ 折紙/あやとり/こおり出し色鬼/椅子取り/座布団すわり>	607
四 屋外の遊び<こま回し/メンコ/ビー玉/釘さし/たが回し/風あそび・竹馬/影 ふみ/石けり/押しからんじゅう/山くずし/石投げ/根ん刈り/根つ木(念柄・念打ち) /ひょうたん鬼/牢屋田んぼ/かんけり/ポコベン/だるまさんころんだん/左食と玉様> · · · · ·	608
五 あそび唄<てまり唄(1)~(8)/お手玉唄(1)~(5)/羽根つき唄(1) ~(4)/紙風船つき唄/きしゃ遊び唄/手遊び唄/指遊び唄/なわとび唄(1)~(3) /鬼遊び唄/せっせっせっせっせん/ほたんの花/通りやんせ/かごめかごめ/唄>	612
第十章 口承文芸	
第一節 昔話と伝説	· · · · ·
一 昔話<ねずみ淨土/ツバメの借金取り/蛇女房/菖蒲湯のいわれ/鍵い針を飲まされて 死んだ虹/桃太郎/米理舞/猫踊り/慈照院はチビロリン/どっこいしょ団子/いとっこ団子 /糸合団/屁つぶり嫁ご/ものぐさ/鼻の療治屋/手打ちか半ろしか/聞いただけだ千両とられた た/仕事は弁当/休みながらためかぎ/鉛筆のおっこべとけ/湯のしたふたけろ/弘法様の話 (1)~(5)/きゅうくつ/灰の縄>	624
二 世間話<オトカに化かされた話(1)~(4)/オトカの寝取り(1)~(4)/ム ジナに化かされた話/ムジナを捕まえた話/マミ/隠し婆/血探りが出る/「柳やら」の由来/何 か忘れてやしねえか/食いくらべ(1)~(2)/暴徒を防いだ篠津の人々/度胸だめし> · · · · ·	646
三 伝説<八幡太郎駒つなぎの杉/駒つなぎの松/片葉の葦/菖蒲湯由/地名の來/ある聖 の墓/塚の越塚/東光院塚/根繁塚/行人塚の話/神馬社の由来/神馬社と、でか清さん/童姫と 娘/筆子地蔵/忠惠寺の地蔵>	658
第二節 ことわざと謎	· · · · ·
一 ことわざ	· · · · ·
二 謎 1 二段式の謎	· · · · ·
2 三段式の謎	· · · · ·
あとがき	
民俗編執筆者/民俗部会調査員・協力者/資料・ 写真提供者/民俗調査協力者/白岡町史関係者名簿	
平成2年3月27日 発行	
白 岡 町	

資料030 『草加市史 民俗編』

昭和62年3月

目 次

I 緒論一草加の民俗生活一	
一 自然と歴史	3
二 民俗生活の基盤	9
三 歳事と生産	14
四 宿場と村落	24
II 暮らし(生活伝承)	
一 概説	31
二 衣	
1 日常の服装	
(1) 普段着	38
(2) 仕事着	42
① 野良着	50
② 職人の着物・商人の着物	58
(3) 子どもの服装	63
2 晴日の服装	
(1) 晴れ着	79
(2) ヨソユキ	82
3 衣服の調達と管理	82
三 食	
1 日常の食事	
(1) 食事	85
(2) 主食物	89
(3) 副食物	93
(4) 調味料	98
(5) 間食	101
2 晴日の食事	
(1) 餅・団子	102
(2) 赤飯・小豆飯	114

(3) 麵類	118	(2) 精米小売り	336	
(4) 粥	119	3 せんべい屋	(1) 由来・沿革	338
(5) 副食物(その他の行事食)	120	(2) 生地屋	339	
3 民間医薬	125	(3) 焼屋	343	
(1) 植物	126	4 ゆかた染め	(1) 由来と概況	347
(2) 生き物(動物・昆虫・魚など)	134	(2) 晒	349	
(3) その他の民間医薬	140	(3) 白張・形付け	350	
四 住		(4) 染色	353	
1 屋敷構え	142	5 諸職	356	
(1) 草加宿の屋敷構え	144	三 ムラの生産生活		
(2) 農村部の屋敷構え	146	1 農業経営と管理		
2 母屋		(1) 耕作物と地域	364	
(1) 間取り	149	(2) 用水の利用と管理	368	
(2) 九左衛門新田(旭町)の場合	158	(3) 肥料の調達	370	
(3) 各部屋の名称と機能	169	(4) 農耕馬の調達	372	
(4) 各部屋の特徴	171	(5) 労働力の調達	373	
(5) 暖房・燃料・照明	176	2 農耕技術		
(6) 屋根	(1) 茅葺屋根の場合	179	(1) 稲作	374
(2) 瓦葺屋根の場合	181	(2) 稲作以外の水田耕作	392	
(7) 風呂	(8) 井戸	(3) 畑作	398	
(8) 井戸		3 生産暦	(1) 水田作物	408
3 付属屋	187	(2) 畑作物	411	
4 建築儀礼	193	V まつり・信仰(信仰伝承)		
II 社会(社会伝承)		一 概説	415	
一 概説	201	二 家のまわり(年中行事)		
二 ムラの社会生活		1 正月行事	433	
1 ムラのしくみ		(1) 行事と暦日	433	
(1) ムラの範囲と区分		(2) 正月	(1) 正月の準備	434
① 村とムラ	215	(2) 正月飾り	437	
② ムラ境	217	(3) 大晦日	442	
③ ムラ組と近隣組	219	(4) 大正月	444	
(2) ムラの組織と運営		(5) 小正月	454	
① ムラの役職	228	2 春・夏の行事		
② ムライリ・ナカマイリ	234	(1) 二月・三月の行事	463	
③ ムラの共有財産	237	(2) 四月・五月の行事	469	
④ ムラの共同作業	239	(3) 六月・七月の行事	473	
(3) ムラの諸集団	(1) 氏子組織	240	3 盆行事	
② 講集団	242	(1) 七夕の行事	475	
③ 年齢集団	248	(2) 盆の行事	478	
2 イエの仕組み		4 秋・冬の行事		
(1) 家族の構成と生活		(1) 九月・十月の行事	493	
① 名称と呼称	253	(2) 十一月・十二月の行事	500	
② 家族の役割	255	III 村のまつり		
③ 奉公人	257	(1) 宿場の祭り	504	
④ 屋号	258	(2) 初午	516	
⑤ 家例	258	(3) ヒヤクマンベン(百万遍)	519	
⑥ 相続	260	(4) 花祭り	526	
⑦ 養子	261	(5) ダイハシニヤ(大般若)	529	
⑧ 隠居	261	(6) オビシャ	554	
(2) 本家分家と種類	268	(7) 虫追い	556	
III マチ(宿)の社会生活		(8) テンノウサマ(天王様)	571	
1 マチ(宿)の民俗	268	(9) オヒマチ	581	
2 マチ(宿)のしくみ		(10) 蛇ねじり	584	
(1) マチの範囲と区分	269	(11) オミキ	586	
(2) 草加宿から草加市へ	272	IV 人の人生		
(3) マチ(宿)の組織と運営	277	1 誕生	(1) 妊娠	590
(4) マチ(宿)の諸集団と慣行	280	(2) 出産	597	
(5) 現在の町会組織	282	(3) 誕生儀礼	607	
(6) 交易	286	(4) 育児	614	
3 イエのしくみ		(5) 子ども	616	
(1) 家族の構成と生活	304	2 結婚	(1) 結婚の条件	618
(2) 親族の名称と範囲	310	(2) 婚約の成立	622	
(3) 交際互助慣行	312	(3) 婚礼	627	
(4) マチの職業の変遷	319	(4) 嫁の里帰り	638	
IV 生産生業(生産伝承)		3 死	(1) 死の予兆	639
一 概説	323	(2) 死者の処理	640	
二 マチのなりわい				
1 宿駅から商店街へ	331			
2 米穀商	(1) 米問屋			
	332			

4	死 後	(1) 忌明け	666
		(2) 年 忌	668
五	信 仰		
1	講		
	(1)	代参講—遠隔地社寺への信仰—	
	①	講の目的と分布	670
	②	講の組織	674
	③	講の運営	676
	④	各講の実際	680
	(2)	巡回—ムラの周辺をめぐる信仰—	
	①	三郡送り大師講	711
	②	大正記念大師講	716
	③	夏祈禱	718
	(3)	村の中の講—追善・祈り・娯楽と信仰—	
	①	念佛講	720
	②	観音行	732
2	屋内の神・屋外の神		
(1)	屋内の神		
	①	神を祀る場所	734
	②	神棚に祀る神	736
	③	神の祀り方	738
	④	荒 神	740
(2)	屋外の神		
	①	屋敷神	741
	②	稻荷社の祭り	744
	③	その他の屋敷神	745
3	俗 信		
(1)	禁 忌		753
(2)	呪 い		765
4	前兆・予知		
(1)	前 兆		770
(2)	占 い		783
5	民間療法(呪いによる療法)		784
VI	ことば・芸能(言語・行動伝承)		
一	概 説		795
二	伝 説	1 地名起源の伝説	807
	2 塚にまつわる伝説		808
	3 神々にまつわる伝説		809
	4 地蔵の伝説		815
	5 薬師の伝説		818
	6 觀音の伝説	7 その他の神や仏の伝説	819
	8 旅の僧の伝説		821
	9 動物・妖怪の伝説		822
	10 世間話		827
三	民謡・童謡		
1	民謡	(1) 祝い唄	837
		(2) 行事唄	850
		(3) 仕事唄	852
		(4) 踊り歌・余興歌	858
		(5) 「うた」の伝承と定着	
		① 「うた」の運搬者	871
		② 「うた」の伝承者	873
2	童謡	(1) 遊び歌	885
		(2) 嘩し歌	893
		(3) 子守り歌	897
四	諺・謎		
1	諺		899
	(1)	天候に関するもの	900
	(2)	批判・攻撃的なもの	901
	(3)	知識・教訓的なもの	902
2	謎		906
五	民俗芸能		
1	万 作		908
	(1)	柿木町の万作	909
	(2)	氷川町の万作	913

(3)	葬 送	648	
4	死 後	(1) 忌明け	666
		(2) 年 忌	668
五	信 仰		
1	講		
(1)	代参講—遠隔地社寺への信仰—		
	①	講の目的と分布	670
	②	講の組織	674
	③	講の運営	676
	④	各講の実際	680
(2)	巡回—ムラの周辺をめぐる信仰—		
	①	三郡送り大師講	711
	②	大正記念大師講	716
	③	夏祈禱	718
(3)	村の中の講—追善・祈り・娯楽と信仰—		
	①	念佛講	720
	②	観音行	732
2	屋内の神・屋外の神		
(1)	屋内の神		
	①	神を祀る場所	734
	②	神棚に祀る神	736
	③	神の祀り方	738
	④	荒 神	740
(2)	屋外の神		
	①	屋敷神	741
	②	稻荷社の祭り	744
	③	その他の屋敷神	745
3	俗 信		
(1)	禁 忌		753
(2)	呪 い		765
4	前兆・予知		
(1)	前 兆		770
(2)	占 い		783
5	民間療法(呪いによる療法)		784
VI	ことば・芸能(言語・行動伝承)		
一	概 説		795
二	伝 説	1 地名起源の伝説	807
	2 塚にまつわる伝説		808
	3 神々にまつわる伝説		809
	4 地蔵の伝説		815
	5 薬師の伝説		818
	6 觀音の伝説	7 その他の神や仏の伝説	819
	8 旅の僧の伝説		821
	9 動物・妖怪の伝説		822
	10 世間話		827
三	民謡・童謡		
1	民謡	(1) 祝い唄	837
		(2) 行事唄	850
		(3) 仕事唄	852
		(4) 踊り歌・余興歌	858
		(5) 「うた」の伝承と定着	
		① 「うた」の運搬者	871
		② 「うた」の伝承者	873
2	童謡	(1) 遊び歌	885
		(2) 嘩し歌	893
		(3) 子守り歌	897
四	諺・謎		
1	諺		899
	(1)	天候に関するもの	900
	(2)	批判・攻撃的なもの	901
	(3)	知識・教訓的なもの	902
2	謎		906
五	民俗芸能		
1	万 作		908
	(1)	柿木町の万作	909
	(2)	氷川町の万作	913
(3)	稻荷町の万作		919
(4)	谷塚町の万作		935
2	里神楽		936
(1)	柿木町の神楽		937
(2)	手代町の神楽		943
3	祭り囃子と太鼓		980
(1)	氷川町の祭り囃子		981
(2)	八幡町の八幡太鼓		982
六	遊 戲		
1	童 戯		985
(1)	玩 具	(1) 買い求める玩具	985
		(2) 手作りの玩具	987
(2)	遊 び	(1) 屋外の遊び	993
		(2) 屋内の遊び	1007
(3)	子供の年中行事		1012
2	競 技		1013
3	娛 楽		1016

あとがき

資料提供者および調査・編集等協力者／

「草加市史 民俗編」／ 草加市民俗調査団／

草加市史編さん関係者名簿

昭和62年3月9日 発行

草 加 市

資料031『玉川村の民俗』

平成3年12月

目 次

はじめに	<玉川村の民俗/年中行事とは/人の人生/村の生業/村の口頭伝承>	1
第一章	年中行事	5
第二章	人の人生	22
第三章	村の生業	34
第四章	村の口頭伝承	60
第五章	村の祭り	69

資料提供者／協力者名簿／執筆者・

村史編さん調査協力者名簿

村史編さん事務局員名簿

平成3年12月25日 発行

玉 川 村

資料032『鶴ヶ島町史 民俗社会編』

平成4年3月

目 次

第一章	背 景		
第一節	自然	1 地形・地質	2
		2 気候と植生	4
第二節	歴 史		7
第三節	地 名	1 境界と地名の変遷	10
		2 鶴ヶ島の地名の特徴	10
		3 鶴ヶ島という地名	11
		4 小字名等	12
第四節	字 誌		
1	大字脚折		16
2	大字高倉		18
3	大字下新田		20
4	大字中新田		21
5	大字上新田		22
6	大字町屋		24
7	大字三ツ木, 三ツ木新田		25
8	大字太田ヶ谷		27
9	大字藤金		29
10	大字上広谷		30
11	大字五味ヶ谷		31

12 旧大字大塚野新田(現1丁目/富現6丁目) ······	33	3 生活空間としての家と屋敷 ······	154
第二章 村 落		4 住居の変化とその要因 ······	163
第一節 ムラの形成と空間配置		第五章 親 族	
1 概観 ······ 2 中世に成立した集落 ······	36	第一節 イッケ	
3 近世に成立した集落 ······	40	1 概観 ······	168
4 中間形態を持つ集落 ······	42	2 三ツ木におけるイッケの事例 ······	169
第二節 ムラの組織		3 五味ヶ谷におけるイッケの事例 ······	173
1 組織の変遷 ······	46	4 鶴ヶ島のイッケと他地方の本分家集団との比較 ······	174
2 ムラの寄り合い ······	48	5 鶴ヶ島のイッケと父系集団との比較 ······	174
第三節 ムラの活動		第二章 シンセキ ······	177
1 共有財産の運営 ······	49	第二節 婚姻圏 ······	179
2 共同の活動 ······	51	第三節 親族間における交際の諸相 ······	181
第四節 ムラの生活と諸集団		第六章 人の人生	
1 概観 ······	53	第一節 概観 1 人生の節目と儀礼 ······	188
2 年齢を軸にした集団 ······	54	2 儀礼の背景 ······	188
3 経済互助を目的にした集団 ······	56	第二節 妊娠と出産	
4 その他の集団 ······	56	1 妊娠 ······	189
第五節 近隣集団 ······	57	2 出産 ······	192
第六節 近隣集団のツキアイ		3 産後 ······	193
1 クミアイのツキアイ ······	60	第三節 育児 1 初誕生まで ······	194
2 ムラのツキアイとスグジ道 ······	61	2 子供の成長 ······	199
第七節 近隣集団の活動		第四節 青年期 ······	201
1 脚折におけるクミ ······	61	第五節 婚姻	
2 脚折と三ツ木におけるクミアイと班 ······	62	1 婚礼以前 ······	203
第三章 生 業		2 婚礼 ······	209
第一節 鶴ヶ島の農業		3 婚礼以降 ······	216
1 鶴ヶ島の農業の歴史 ······	64	4 入籍と離婚 ······	217
2 農家の階層と労働力 ······	68	第六節 厄年と年祝い	
3 労働と休日(正月) ······	69	1 厄年 ······ 2 年祝い ······	218
第二節 稲作		第七節 葬送	
1 鶴ヶ島の水田 ······	78	1 死 ······	220
2 摘み田による稲作 3 摘み田の作業工程 ······	79	2 死後の処理と通夜 ······	221
4 摘み田から植田へ ······	81	3 葬送 ······	225
5 陸稻栽培 ······	82	第八節 死生觀と供養	
第三節 養蚕		1 ブクと死生觀 ······	233
1 明治時代以降の養蚕の動向 ······	83	2 年忌と先祖供養 ······	236
2 養蚕のプロセス ······	85	3 墓制と位牌 ······	238
3 養蚕製造業者 ······ 4 養蚕言葉 ······	92	第七章 年中行事	
第四節 茶業		第一節 概観	
1 河越茶から狭山茶へ ······	95	1 年中行事について 2 年中行事の内容 ······	242
2 近代の狭山茶 ······	96	第二節 正月の行事	
3 鶴ヶ島の茶業 ······	97	1 正月の準備 ······	243
第五節 諸職		2 大正月 ······	251
1 鶴ヶ島の諸職 ······	99	3 小正月 ······	256
2 ムラの諸職 ······	103	第三節 春の行事	
3 諸職の事例 ······	104	1 一月の行事 ······	258
第六節 交通		2 二月の行事 ······	261
1 道の種類 ······	112	3 三月の行事 ······	268
2 道の種類 ······	115	4 四月の行事 ······	272
3 道の管理 ······	117	第四節 夏の行事	
4 乗合馬車から乗合自動車へ ······	118	1 五月の行事 ······	274
5 鉄道 ······	119	2 六月の行事 ······	277
第四章 イエと家族		3 七月の行事 ······	278
第一節 イエの特性		4 八月の行事 ······	283
1 構造的特色 ······ 2 イエの表象 ······	122	第五節 盆	
3 イエの相続 ······	127	1 盆月 ······ 2 盆の準備 ······	284
4 イエ内の人間関係 ······	130	3 盆行事 ······	286
第二節 イエと祖先祭祀		第六節 秋から冬の行事	
1 センゾの觀念 ······	133	1 九月の行事 ······	290
2 センゾの位牌 ······	134	2 十月の行事 ······	291
3 センゾの祀り ······	136	3 十一月の行事 ······	294
第三節 イエと女の一生 ······	137	4 十二月の行事 ······	297
第四節 イエの家族構成 ······	141	第八章 信 仰	
第五節 生活空間としてのイエ		第一節 ムラの神社	
1 建物としての家と屋敷 ······	143	1 概観 ······ 2 白鬚神社 ······	300
2 生産空間としての家と屋敷 ······	152		

3	日枝神社	302		
4	羽折稻荷神社	303		
5	神明神社	304		
6	日枝神社	305		
7	高徳神社	306		
8	その他の神社	308		
9	屋内神	309		
第二節 ムラの寺院				
1	概観	311		
2	善能寺	313		
3	慈眼寺	314		
4	満福寺	316		
5	法昌寺	317		
6	正音寺	318		
第三節 石造遺物				
1	概観	319		
2	石仏	320		
3	石塔	321		
4	石碑	322		
5	石祠	323		
第四節 共同祈願				
1	ムラ祈祷	324		
2	雨乞い	325		
第五節 信仰的講集団				
1	講の種類	2 代参講	328	
第六節 民間宗教者				
1	概観	331		
2	修驗	332		
3	御嶽講	333		
第九章 民俗芸能と遊び				
第一節 概観			338	
第二節 高倉の獅子舞				
1	概観	339		
2	名称	3 日時	4 場所	340
5	組織及び諸役	340		
6	被りもの、服装	341		
7	練習、準備	343		
8	祭当日	344		
9	順路及び舞曲	345		
10	曲目、舞	347		
11	獅子の褒め言葉、返し言葉	347		
12	高倉の獅子舞の特徴	348		
第三節 民謡				
1	概観	350		
2	仕事唄	351		
第四節 子供の遊び				
1	概観	2 遊びの種類	354	
第十章 口承伝承				
第一節 概観			364	
第二節 伝説				
1	鶴ヶ島の鶴と松	365		
2	鶴ヶ島、脚折、羽折	365		
3	ケツアブリ(=尻灸り)	365		
4	雷電池と雨乞の龍	366		
5	日本武尊と脚折の坂	367		
6	高麗人と白鬚神社	367		
7	白鬚神社の大櫻と蛇の話	367		
8	高倉と高倉福信	368		
9	旧高福寺の不動尊掛け軸	368		
10	オカネガ井戸・11 高倉のお雷電様	369		
12	上新田・中新田の出入りと正月の餅	369		
13	三ツ木という地名	370		
14	鎌倉街道と逆木の池	370		
15	逆木ノ池	371		
16	ダイダラボッチと逆木	372		
17	埋蔵された宝物・18 岸田正信と和泉橋	372		
19	太田ヶ谷の地名	20 孝女ちか	372	
21	瘡守稻荷	373		
22	長龍寺の狸	374		
23	藤株稻荷	375		
24	ブッキラレ坂	25 オクニガ池	376	
26	上広谷の天王様	376		
27	腹を立てたささら獅子	377		
28	六部の墓	378		
第三節 世間話				
1	神明社の台石	2 前方地蔵の祟りの話	378	
3	オトーカの話	379		
4	大蛇の話	381		
第四節 謂・俗信・禁忌				
1	諂	382		
2	俗信	385		
3	禁忌	391		
第五節 地元の言葉と口承伝承				
1	挨拶	394		
2	子供の頃	395		
3	オカネガ井戸	396		
4	ケツアブリ(=尻灸り)	397		
5	薬師様と不動の掛け軸	398		
6	時代の違い	399		
7	日枝神社・獅子舞・六地蔵	400		
8	回避作物	401		
9	家屋と生活	402		
10	民間療法	403		
第十一章 ライフ・ヒストリー				
第一節 トピック別回想				
1	子ども時代	408		
2	娘時代	410		
3	結婚	413		
4	嫁の時代	416		
5	産育	419		
6	主婦の時代	422		
7	老年時代	425		
第二節 自分史				
1	生家	427		
2	子供の頃	3 娘時代	428	
4	結婚	429		
5	嫁の苦労	432		
6	農家の生活	433		
7	嫁と実家	434		
8	嫁の外出	435		
9	お客様	436		
10	子育て	437		
11	戦争の頃	438		
12	食生活	439		
13	怪我とお針	442		
14	辛かった思い出、楽しかった思い出	442		
15	結び	443		
あとがき				
町史編さん関係者・協力者名簿				
平成4年3月23日 発行				
鶴ヶ島市				

資料033 『所沢市史 民俗』

平成1年3月

目 次

第一章 地域概観	1
第一節 地理と自然	
1 地理	3
2 自然	4
第二節 歴史と市の沿革	

1	歴史の流れ	7
2	市の沿革	12
第二章	ムラと家	15
第一節	ムラの社会生活	
1	北野海谷組の事例	17
2	集落の構成と付き合いの諸相	19
3	共同作業など	22
4	江戸時代の五人組	23
第二節	マチの社会組織	
1	マチの範囲	25
2	マチの組織と機能(1) 町会	27
	(2) 組	35
3	年齢集団(1) 子供 (2) 青年・壮年	36
	(3) 婦人	37
	(4) 老人	38
4	利益組合(1) 井戸・上水道組合	38
	(2) 街灯組合	44
第三章	生産生業	47
第一節	農業	
1	労働(1) 労働と休日	49
	(2) 農家経営と労働力	49
	(3) 相互扶助と雇用労働	52
	(4) 子供と労働	56
2	稲作(1) 水田の分布と水稻栽培の特色	57
	(2) 植田の技術伝承	58
	(3) 摘田の技術伝承	63
3	畑作	66
	(1) 麦	67
4	さつま芋の栽培	75
	(1) 栽培技術	76
	(2) 貯蔵と出荷	78
	(3) 儀礼	79
5	茶の栽培と製茶	80
6	養蚕	86
7	その他の農作物	90
第二節	地場産業	
1	所沢飛白	
	(1) 発祥から衰退まで	92
	(2) 所沢飛白の特徴	93
	(3) 所沢飛白の製造工程	96
	(4) 機屋	112
	(5) 織り娘	115
2	所沢人形	125
	(1) 「所沢人形」の実態	126
	(2) 雛人形	128
	(3) 押絵羽子板	133
3	安松笊	140
	(1) 竹細工の製作	141
	(2) 竹の仕入れ (3) 道具と工程	142
第三節	諸職	
1	簞屋	145
2	桶屋	
	(1) 製品	147
	(2) 製作方法	150
	(3) 修業 (4) 桶屋職人のプロフィール	152
	(5) 太子講	154
3	菓子屋	154
	(1) 第二次世界大戦中の菓子屋	155
	(2) 年中行事と人生儀礼の和菓子	156
	(3) 和菓子屋の仕事場と信仰	157
4	箪笥屋 (1) 加工販売	157
5	豆腐屋	158
6	棒屋	161
7	鍛冶屋	162
第四章	年中行事	165
第一節	概観	
1	年中行事について	167
2	年中行事の特徴	171
3	行事内容について	
	(1) 正月の準備	172
	(2) 大正月	175
	(3) 藏開き (4) 小正月	177
	(5) 恵比須講 (6) 初午	181
	(7) 節分	183
	(8) 女の節供 (9) 男の節供	184
	(10) 七夕	184
	(11) 盆	185
	(12) 十五夜・十三夜	188
	(13) オカマサマ(お鎧)	189
	(14) 恵比須講	190
第二節	年中行事の事例	
1	中富S S家の事例	
	(1) 正月行事	191
	(2) 節分 (3) 初午	194
	(4) 蔽入り (5) 女の節供	195
	(6) 春の彼岸 (7) 春祈禱	195
	(8) 男の節供 (9) ボンコ	196
	(10) 盆 (11) 十五夜	196
	(12) 十三夜 (13) 亥の子	197
	(14) 秋祈禱 (15) 恵比須講	197
	(16) オカマサマ (17) サツマホリ正月	197
	(18) 冬至・星祭り	197
2	中富S T家の事例	
	(1) 正月行事	198
	(2) 節分 (3) 恵比須講 (4) 初午	200
	(5) 春の彼岸 (6) 女の節供 (7) 男の節供	201
	(8) ショウゴジマイ (9) ボンコ (10) 盆	201
	(11) 二百十日 (12) 十五夜	202
	(13) オヒマチ(お詫せ)	202
	(14) 十三夜 (15) オカマサマ(お鎧)	203
	(16) イノコ(亥の子) (17) 恵比須講	203
	(18) 冬至	203
3	北野O家の事例	
	(1) 正月行事	203
	(2) ジロウノツイタチ(次郎の朝日) (3) 節分	207
	(4) 初午 (5) 女の節供 (6) 春の彼岸	208
	(7) 天神様の祭礼	209
	(8) シガツヨウカ(四月八日)	209
	(9) 棦名講 (10) 御獄講・平方講	209
	(11) 五月節供(男の節供) (12) 上簇祝い	209
	(13) 半夏 (14) 七夕 (15) 盆	210
	(16) 八削の節供 (17) 十五夜	212
	(18) 十三夜 (19) オカマサマ(お鎧)	213
	(20) 亥の子(亥の子)	213
	(21) カマアライ (22) ドジョウガユ	213
	(23) アナップサギマンジュウ	214
	(24) 恵比須講 (25) ノアゲノダン	214
4	大字城A家の事例	
	(1) 正月の行事	214
	(2) 節分	217
	(3) 春・夏の行事	219
	(4) 盆行事	222
	(5) 秋・冬の行事	224
第五章	信仰	227
第一節	神社と寺院	
1	市内の神社・寺院の信仰と年中行事	229
	(1) 神社及び寺院の概要	230
	(2) 社寺の年中行事一覧	232
	(3) 神社の行事と寺院の行事	240
2	市外の神社・寺院の信仰と年中行事	241
	(1) 今井の荒神様 (2) 宮寺の馬鳴様	242
	(3) 木の宮地蔵(富の地蔵)の祭礼	243

3 社寺・小堂の祭りと神事	245
(1) 久米の初水天宮	247
(2) 本郷上組の乳不動講初護摩	248
(3) 久米長久寺豊川稻荷の初午	250
(4) 坂之下の金毘羅堂大祭	251
(5) 坂稻荷の初午	252
(6) 北野天神社の春祭り	253
(7) 日比田氷河神社の神楽	255
(8) 多聞院の大般若經転読	256
(9) 宮本町新光寺の馬のまち	257
(10) 東住吉町豊川稻荷の大祭	259
(11) 北秋津富士塚の山開き	259
(12) 有楽町の天王様	261
(13) 北秋津の天王様	263
(14) 安松の天王様	265
(15) 上新井の厄除け獅子	266
(16) 久米の天王様	267
(17) 山口堀之内の地蔵祭り	269
(18) 雛子の天王様	270
(19) 下富の天王様	272
(20) 西所沢三ツ井戸の弘法様	275
(21) 原の地蔵祭り	276
(22) 和田の地蔵祭り	278
(23) 日比田の地蔵祭り	279
(24) 元町法華寺の炮烙炎	279
(25) 北の天神社の秋祭り(芝居)	280
(26) 糀谷八幡神社のヤブサメ	281
(27) 山口觀音の十夜	283
(28) 北岩岡のお念仏	285
(29) 西新井町熊野神社の若注連神事	287
(30) 東町庚申堂のオヒマチ	288
(31) 和泉のまわり地蔵	289
4 講と生活	
(1) 棣名講	292
(2) 戸隠講	293
(3) 御獄講	296
(4) 平方平心講	297
(5) 古峯講	298
(6) 富士講	300
5 絵馬の奉納	303
6 所沢の山車祭り	
(1) 神明社祭礼の山車引き回し	307
(2) 大正期以降の山車引き回し	309
(3) 山車祭りの実際	310
(4) 町内の準備	312
(5) 山車の編成とひき出し	312
(6) 山 車	316
7 新しい祭り	
(1) 市民フェスティバル	317
(2) 新興地域の祭り	319
第二節 屋敷神と屋内神	
1 屋敷神	322
(1) 各戸でまつる事例	323
(2) 本分家や親戚一族でまつる事例	325
(3) 地縁でまつる事例	325
(4) 他家へ参拝する事例	326
(5) 子供たちが屋敷神の前に小屋掛けする事例	326
(6) 屋敷神の祭場と祭日	327
2 屋内神	327
第六章 衣生活	331
第一節 仕事着	
1 かぶりもの (1) 男のかぶりもの	333
(2) 女のかぶりもの	335
2 野良着 (1) 男の野良着	337
(2) 女の野良着	351
3 履物 (1) 男の履物	384
(2) 女の履物	386
4 雨具	388
第二節 通過儀礼の衣装	
1 出産・2 お七夜・3 オビヤケ(裾引)	390
4 初節供	391
6 成人	397
7 婚礼 (1) 嫁の衣装	397
(2) 嫁入りに持ってくる衣類	405
(3) 媚の衣装	407
8 弔い	
(1) 死者の装束	408
(2) カケギモノ	409
(3) 着物に水を掛ける風習	409
(4) 死者の着物の縁起	409
(5) 哀服	409
第三節 機織り	
1 木綿縞	
(1) 糸の入手	412
(2) 染色	414
(3) 織る	412
(4) 縞の種類	414
2 絹 (1) 製糸	415
(2) 染織	417
第四節 寝具	419
1 布団	420
2 夜具・カイマキ	422
3 薫布団	
4 枕 (1) 男の枕	424
(2) 女の枕	424
第五節 髪	
1 髪型 (1) 男の髪型	425
(2) 女の髪型	426
2 洗髪 (1) 回数	433
(2) 洗髪剤	433
第七章 食べ物	435
第一節 食制	
1 食事の呼称と回数	437
2 食事の場所と食事の座	437
3 食事の作法	439
第二節 ふだんの食事	
1 主食	439
2 副食	442
3 間食	444
4 調味料 (1) 味噌	449
(2) 醤油	455
(3) 塩と砂糖	456
5 飲料水	456
6 調理	459
7 調理用具と食器	459
第三節 ハレの食事	462
1 アソビヒ(遊び日)の食事	465
2 農耕儀礼の食事	468
3 産育儀礼の食事	469
4 御祝儀の食事	470
5 とむらいの食事	471
第四節 貯蔵	
1 穀物の貯蔵	472
2 野菜・芋類の貯蔵	472
第八章 住まい	475
第一節 屋敷と家	
1 立地と条件	477
2 母屋と付属棟配置	480
3 屋敷林	487
4 垣根	488
5 取付け道	489
6 屋敷神	490
第二節 母屋と付属施設	
1 農家	
(1) 北野O家	492
(2) 中富S家	504
(3) 南永井I家	507
(4) 山口T家	512

(5) 山口S家	516	
(6) 下安松I家	520	
2 商 家	525	
(1) 元町K家商家	526	
(2) 元町S家商家	528	
3 職人の家		
(1) 上安松竹細工屋M家	532	
(2) 元町豆腐屋E家	535	
第三節 井 戸		
1 井戸の特色	539	
2 中富の井戸と井戸組	541	
3 井戸かい	545	
第四節 照 明	546	
第五節 風 呂	549	
第六節 家普請と建築儀礼		
1 立て替えの準備	552	
2 家の取り壇し	553	
3 地祭り	554	
4 水盛り	555	
5 地掲き	555	
6 上棟式	556	
7 家移り	556	
第九章 交通交易	557	
第一節 交 通		
1 主要道・街道・道しるべ		
(1) 主要道	(2) 街道(謹)	559
2 交通の変遷	564	
3 宿場町と旅籠屋		
(1) 旅館	565	
(2) 下宿屋	566	
(3) 木賃宿	567	
4 古橋と石橋供養塔		
(1) 古橋	567	
(2) 石橋供養塔	568	
第二節 交 易		
1 所沢の交易	570	
2 行商と市		
(1) ムラに来た行商	571	
(2) ムラに来た職人・門付け芸人	575	
(3) 所沢の市・物日と露店	577	
3 問屋と仲買人	580	
(1) 問屋	(2) 仲買人	581
4 商 店		
(1) 店の定着	581	
(2) 商店の種類と商店会	583	
第十章 人の人生	585	
第一節 概 説	587	
第二節 日常生活		
1 プロフィール	588	
2 子供のころ	589	
3 青年のころ	590	
4 壮年のころ	591	
5 老年のころ	598	
第三節 儀 礼		
1 妊娠と出産		
(1) 妊娠	600	
(2) 安産祈願とお礼参り	601	
(3) 妊娠中の禁忌・俗信	604	
(4) 出産	605	
(5) 産後の禁忌	(6) 産婦の食事	610
(7) コショウ	(8) お産見舞い	611
(9) 異常出産		612
2 育児		
(1) お七夜	612	
(2) 命名	(3) 産毛そり	613
(4) オビアゲとお宮参り		614
(5) 食い初め	(6) 初誕生	615
(7) 初正月	(8) 初節供	616
(9) 捨子の習俗	(10) 育児の俗信	618
(11) 子守り	(12) 七五三	619
3 成 人	621	
4 婚 姻		
(1) 通婚圏	(2) 結婚年齢	622
(3) 男女の交際		624
(4) 縁談		625
(5) 仲人	(6) 婚約	626
5 御祝儀		
(1) 時期と日取り	(2) 嫁入り道具送り	630
(3) クレ祝儀とモライ祝儀		631
(4) カオミセ・ヨメミセ		637
6 嫁と里		
(1) 里帰り		638
(2) アタマアライ(ガライ)		639
(3) 年中行事と里帰り		639
7 厄 年	639	
(1) 厄年と厄落とし	(2) 年祝い	640
8 葬 送		
(1) 葬送		640
(2) 墓制		653
第十一章 民俗芸能		
第一節 民俗芸能	657	
1 獅子舞		
(1) 獅子舞の構成		657
(2) 獅子舞の由来・沿革		657
(3) 組織		660
(4) 獅子頭と衣装		662
(5) 期日		664
(6) 場所		665
(7) 演目と順序		666
(8) 歌謡		675
2 祭り囃子		
(1) 祭り囃子の分布		675
(2) 古谷重松と重松流祭り囃子		676
(3) 祭り囃子の系譜		678
(4) 重松流祭り囃子保存会		679
(5) 重松流の芸態		681
(6) 祭り囃子の事例		683
3 餉屋芝居と万作	703	
4 双盤念仏		
(1) 双盤念仏の分布	(2) 構成と特徴	712
(3) 起源と廃絶		713
(4) 演奏の機会		714
(5) 系譜と流派		715
(6) 双盤念仏の事例		716
第二節 民謡		
1 祝い歌	725	
2 祭り踊り歌	728	
3 歳事歌	729	
4 仕事歌	730	
5 子供歌	733	
6 その他の歌	744	
第十二章 口頭伝承	745	
第一節 昔話		
1 太郎とマメ		747
2 こぎつねコンとこだぬきポン		750
3 百姓は天狗様より偉い		752
4 ネコが十二支に入れて貰えなかつたわけ		752
第二節 伝説		
1 三ツ井戸		753
2 河童のわび証文(秋津曼陀羅淵河童)		754
3 勘七猫塚		755
4 桜淵地蔵尊		756
5 とんぼの宿り木		757
6 車返しの弥陀		758

7	行脚の弥陀	759
8	福猫塚	760
9	鼠薬師	761
10	あっちいちいの新光寺・11 滝の城の竜	762
12	滝之城の大蛇	763
13	北岩岡の念佛地蔵・14 平家の落人	764
15	ドーンボーツカ・16 東光寺の金毘羅様	764
17	塚ノ越地蔵	765
18	タヌキのお稻荷さん・19 堀口の小太郎坂	766
20	ヤマトタケルノミコト井戸	766
第三節 世間話		767
1	動物に関する話	
(1)	キツネの出る場所	769
(2)	キツネの話・(3) キツネ火	770
(4)	キツネが人をバカす話	772
(5)	キツネにバカされずに済む方法	772
(6)	キツネが人をバカす方法	773
(7)	ワカイシューとキツネ	773
(8)	キツネの意趣返し	773
(9)	キツネが娘に化けた話	774
(10)	山の中の茶店	774
(11)	キツネにバカされた話	775
(12)	キツネがバカそうとした話	778
(13)	キツネが跡を追ってきた話	779
(14)	キツネが自転車に飛び乗った話	779
(15)	キツネが化けたのを見た話	779
(16)	白いキツネの話	779
(17)	キツネに祟られた話	780
(18)	稲荷に祟られた話	780
(19)	キツネッタカリの話	780
(20)	キツネッタカリが落ちる方法	781
(21)	きつねたかりになった人の話	781
(22)	お白狐がワザをした話	782
(23)	信心者的人に病気をみてもらった話	782
(24)	ハヤリ神	782
(25)	所沢のDさん・(26) エチコ	783
(27)	クボの稻荷・(28) ムジナの話	783
(29)	ムジナが飛行機に化けた話	783
(30)	ムジナがバカにきた話	784
(31)	ムジナが尻尾で戸をたたいた話	784
(32)	タヌキが尻尾で戸をたたいた話	784
(33)	イタチの話	784
(34)	イタチのチンペー・(35) ネコの話	784
(36)	ネコがクダマキをした話	785
(37)	オオカミの話	785
(38)	御岳さんのオオカミ	785
(39)	大蛇の話	785
(40)	ナンジャモンジャのヘビ	786
(41)	ヘビの話・(42) カッコーの話	786
(43)	天狗様の話・(44) カッパの話	787
(45)	雷獣の話	787
2	不思議な話	
(1)	カラス鳴きの話	787
(2)	人魂の話	788
(3)	火の玉を見た話・(4) 死の予兆	789
(5)	魂が戻ってきた話	790
(6)	影が薄い人の話・(7) ウドングの花	790
(8)	馬に追われる夢・(9) 歯のこぼれる夢	791
(10)	虫の知らせ・(11) 不思議な夢	791
(12)	ヘビの夢の話	792
(13)	木を伐って祟のあった話	792
(14)	財産家の家がつぶれた話	792
(15)	樺の木の祟	792
(16)	仏の祟の話・(17) 大山参りの雷	793
(18)	病人の不思議な言葉	793
(19)	生き靈の話	793
(20)	墓地の幽霊	794
(22)	小太郎坂の老婆・(23) 不思議な光	794
(24)	不思議な出来事	795
(25)	小ヶ谷戸の幽霊騒ぎ	795
(26)	三ヶ島の幽霊騒ぎ	795
(27)	タクシーの幽霊・(28) 幽霊騒ぎ	796
(29)	お化け騒ぎ	796
3	ホラ吹き・トンチモン他	
(1)	センミの話・(2) センミツの話	797
(3)	茂十さんの話・(4) オトウカドンの話	797
(5)	ヘダラモンの話・(6) 米泣き	798
(7)	カモギモンの話・(8) 太平の話	798
あとがき		800
話者		801
資料提供者及び協力者		806
執筆分担		807
所沢市史関係者名簿		808
平成1年3月29日 発行		
所沢市		

資料034 『戸田市史 民俗編』

昭和58年3月

目次

第一章 社会構成

第一節 概観	3
第二節 村落生活	
1 ムラの構造<行政区/境界>	7
2 地位・階層<名主/ダンナ/地主・小作>	8
3 ホラと町会	11
4 ホラの組織<ホラの寄合/ホラの人足/回文・その他/ホラの運営費/共有財産の管理/ホラ入り/八分(ホラハヤ)>	14
5 組・リンカ	20
6 年齢集団<子どもの仲間/青年会・青年団/若い衆仲間/姉女会・婦人会/老人会/念佛の仲間>	27
7 消防組	30
8 つきあい・贈答<葬式づきあい/祝儀のつきあい/見舞い・援助/屋根葺き・建築の手伝い/ツレ>	38
9 労働慣行<農事のモヤイ/餅焼きのモヤイ/ヒヨトリ/農馬の共同利用/水番・用水管理/経済的な収穫みなし代謝と休み日>	45
10 祭祀機能<神社と氏子・寺と植家/講>	51

第三節 家族生活

1 家族の呼称と名称	54
2 家族の構成	55
3 家族の生活	
<生業/親類/夜な仕事/小遣い/若い衆/子ども/里子・養子>	56
4 相続・隠居	
<美女木の例/下垂木の例/惣右衛門の例/薪曾の例/上戸田の例/下戸田の例>	62
5 奉公人	65

第四節 同族慣行・その他

1 本家と分家	70
2 イッケとジルイ	72
3 イッケのつきあい	76
4 擬制的親子関係	77

第二章 人生儀礼

第一節 産育<妊娠/出産/産後の儀礼/育児/七五三/成人式>	83
第二節 婚姻	
1 通婚圏	101
2 配偶者の選択<結婚年齢/夫婦の年齢差/生まれ年・相性・方角/家格・家屋・家系/恋愛結婚と夜遊び/見合い/仲人>	105
3 婚約の儀礼<結納>	110
4 アシイレ	111
5 婚礼<婚礼の時期と日取り/荷物送り/署入り/嫁のタチブルマイ/嫁の出立ち/嫁入り道中/入家儀礼/益事/披露目/婚礼の衣装/手伝いとアトザキ/カオミセ/近所ブルマイ/祝儀に関する禁忌・その他/ミツメの里帰り/髪洗い/お産黒・マミヤ落とし>	112

6	嫁の里帰り	122	
7	離縁・再婚	123	
	厄年・年祝い	124	
第三節 葬 送<死と死の種類/靈魂・後生・再生/死後の世界/口寄せ・イジッコ/死の予兆・虫の知らせ/次の玉・シダマ/死に水・末期の水/死の間際の統経・祈禱/お百度踏み/タマヨビ/組と葬儀の準備・分担/トモライツカイ/臨終後の死体の扱い/マクラ団子・死者への供物/通夜/通夜盆浴/湯瘡/死装束/納棺/トモライ/葬式行列/トコトリ・トコバン/埋葬/念佛講/ユミアケの膳/ソジュウカモチ/死者の着物/コミアケ・シハライ/四十九日までの供養/百箇日・年忌/墓制/特別葬法/死の忌>		126	
第三章 生 業			
第一節 農業の立地・環境			
1	自然環境	2 堤内と堤外 175	
3	土 壤	177	
第二節 稲 作			
1	稻作の歴史と概要	179	
2	品 種	180	
3	稻作の作業<本田の整地/水利慣行/侵種/苗代/播種/田植え/本田の管理/刈り入れ/脱穀/調製/販売/精米/選種と保存/検査制度>	192	
4	稻作の特徴	228	
第三節 畑 作			
1	畑作の歴史と概要	265	
2	畑作物の概要<ムギ「品種」「耕起・整地」「基肥」「播種」「中耕・追肥」「刈り入れ」「脱穀」「精麦」「品種」「耕起・整地・基肥」「播種」「中耕」「収穫」「脱穀」「精粉」「雜穀」/アワヒエキ/モロコシ/ソバ/トウモロコシ/豆類/ダイズ/アズキ/ササギ/ヤイナリ/ヤエナリ/インゲン/ナタマメ/ブン/ウマツ(豌豆)/ソラマメ/ナツマメ/テンマメ/サトイモ/ドグレ/セイモ/エゴイモ/シマイモ/トウイモ/ヤツガラ/インネイモ/ナガイモ/ジャガイモ/ナツイモ/ジャガタラ/ジャガイモ/サツマ/サツマイモ/クワイ/ハス/ダイコン/カブ/ゴボウ/ニンジン/ショウガ/漬菜/ミカワシマ/タイナ/サントウナ/チリメンナ/キョウナ/コマツナ/フダンソウ/トウナ/ホウレンソウ/ネギ/ケケギ/キネギ/ケネギ/アサズケ/アサツキ/ラッキョウ/ヒル/ニンニク/ニラ/ミツバ/キュウリ/ナス/トウナス/トンガリ/ナタネ/カラシナ/ゴマ/ワタ/アイ/アサ/ネリ/チャ>	269	
3	畑作の特徴	334	
第四節 肥 料			
1	草(緑肥)	357	
2	灰	3 ゲス灰(初灰・刹灰) 361	
4	カタゴエ(金肥)	5 シモゴエ(下肥・人肥・人糞) 364	
6	肥料形態の変化	368	
第五節 漁 捕			
1	漁捕の歴史と概要	370	
2	棲息魚種	372	
3	網漁法<サシアミ/トアミ/ツキアミ/サテアミ/イタミドリ/ナタアミ/フンゴミ/マチアミ/アジアミ/ヨクアミ/ジビキアミ/セバラミ/タテボシ>	374	
4	釣漁法<サシバリ/ウナギツリ/トビックキ/ヒッカケ/ナガナワ>	389	
5	雄漁法<ウナギキ/ヤス/ツッサシ/ボサ/ド/ウナド/エビド/ドジョウド/カイボリ/ハネコミ/セイド/ゴキ/テッポウウケ/タケズボ/ブツタイ/ソコダテ/ブクブク/ウガラス>	395	
6	漁具・漁船	418	
7	荒川の漁捕の特徴	422	
第六節 諸職			
1	諸職の歴史と概要	423	
2	屋根葺き職人<屋根葺きの材料「茅」「小麦ガラ」「藁および藁綱」「栗」「チガヤ」「道具「ハリ」「ハサミ」「ハゴイタおよびガング」「ホウショウ」「ノゴリ」「アゲタケ」「屋根葺き「足場作り」「下地作り」「ヤナカ・タルキ・ロッパ・ケショウダケ・エツリ・ホコダテ」「屋根葺き」「様づくり」「刈り込み」>	432	
3	井戸掘り職人<井戸の種類「ナミド」「チュウイド」「フカイド」「掘削」>	446	
4	瓦屋<瓦の製作工程/瓦の販売ほか>	454	
5	船大工<材料/造船の過程/船釘/道具/当地の造船に関する史料>	463	
6	白屋<白の材料/白の製作工程>	487	
7	籠屋<材料/道具「ワリボウチョウ」「ヒガボウチョウ」「ケズリボウチョウ」「クリガナ」「クリガナ(棒状)」「ケズリ(カンナ)」「ケズリ台」「タタキボウ(ツチ)」「ヘラ・ベラ」「ノコギリ」「ワリボウ」「ハサミ」「ヒガカケ」「その他の道具」/ピクの製作工程/籠の販売ほか>	506	
第七節 交 易			
1	近隣の町と市<町と市利用の概要/【埼玉県営業便覧】(明治35年)から		
蕨町・志木町の町並と埼玉県下市日一覧の抄録】・【新編武蔵風土記稿】・【十方庵遊歷録】から吹上親書市の抄録】>		529	
2	行商<甘酒売り屋/ヨカヨカ船屋/ブッキ船屋/センセヤッカ/山椒魚・孫太郎虫壳り/お膳・お焼売り/ 粉屋/イワシコイ/氷屋/アイスクリン壳り/饅頭屋/筍壳り/蓑壳り/桶屋/桶壳り/目立て屋/唐白屋/蚕の種紙壳り/瀬戸物壳り/印刷屋/本屋/ウドン屋/煮豆屋/煎餅壳り/寒天壳り/サツマイモ壳り/芋魚壳り/小間物屋/アソマコウ屋/竹細工屋/塗辛屋/定番屋/燒兵/サツマ苗壳り/キヨウリ苗・ナス苗壳り/巖治屋/鍛掛屋/下駄・草履屋/金魚屋/風鈴・ホウズキ壳り/盆花・提燈・神籠・オガラ・シキビ・線香壳り/荒神城の額・神膳壳り/細工屋/玄米バ屋/唐辛子屋/納豆壳り/大根壳り/西瓜・トウナス壳り/アイスキャンディー屋/ラオ屋/白屋/足袋屋/研ぎ屋/コウモリ直し/毛皮屋/ニンジン・ゴボウ壳り/アソリ・蛤・シジミ壳り/魚屋/豆腐屋/カンピョウ壳り/夜鳴きソバ/紙芝居屋/富山の薬壳り/大和の薬壳り/近江の薬壳り/毒消壳り/吳服屋/羽物壳り/幕屋/下駄の薬入れ屋/二品屋/座卓壳り押壳り>	551	
第四章 衣食住			
第一節 衣生活			
1	衣料<木綿/絹/その他の衣料/染色/機織り>	621	
2	ふだんの服装<農作業の服装「ジュパン・ナガギ」「ハンテン・チャンチャンコ」「モモヒキ・モンペ」「コシマキ」「オビ」「マエカケ」「ウデヌキ」「キヤン」「ノラギの変化」/商人・職人の服装/勤め人の服装/家庭婦人の服装/子どもの服装/学生の服装/下着/防寒着/かぶりもの「手ぬぐい」「カサ」「ミノ・キゴザ・雨合羽」「ズキン」「帽子」/はきもの「ゾウリ」「ワラジ」「ゲタ」「クツ」「髪型・化粧」>	629	
3	晴の日の服装<晴れ着/婚礼の服装/葬式の服装/身祝いの服装/行事・儀礼のときの服装>	651	
4	衣生活の管理<裁縫/洗濯/寝具/購入品と贈答>	695	
第二節 食生活			
1	主食と食制<主食「大麦」「外米」「雜穀」「イモ」「小麦」「米」/食制「田植えのときの食事」/中間食>	664	
2	ふだんの日の食物<三度の食事/毎日の副食/魚貝類/鰻肉と卵納豆とナメソ/調味料「味噌」「醤油」「油」「塩」「砂糖」「スマシ」「嗜好品「茶」「酒」「甘酒」「菓子」>	670	
3	晴の日の食物<年中行事の食物「正月の食物」「盆の食物」「餅」「赤飯・ササミ」「白米飯」「カエ」「ボタモチ」「ダンゴ」「ソバとウドン」「マンジュウ」/婚礼・葬式の食物/出産と食事/贈答>	679	
4	食生活の管理<食物の管理「炊事」>	689	
第三節 住 居			
1	屋敷<集落/屋敷取り/屋敷林/水害>	693	
2	民家<間取り/ダイドコロ/オカテ/ザンキ/コザ/ティ/ヘヤ/屋根>	696	
3	屋内の火所<ヘナカ/カマド/荒神/イロリ>	703	
4	民家の設備<フロ/便所/井戸/照明>	709	
5	古民家<小林政吉氏宅/横山実氏宅/柴原喜蔵氏宅/峰岸俊氏宅/大山隆治氏宅/鶴下清左衛門氏宅/細井敏治氏宅/大山多嘉蔵氏宅/熊木幸雄氏宅/八木橋義蔵氏宅ウマヤ/右井正徳氏宅/熊木惣次郎氏宅/永井利久氏宅/熊木義蔵氏宅/加藤正軌氏宅/そのほかの民家>	713	
6	新築民家<間取り/部屋名称の消滅/屋内神の合祀・祭場の変化/その他の変化>	763	
7	建築儀礼<ジマツリ/ジンギョウ・ドウツキ/タテマエ/ザシキビロメ>	766	
8	堤外民家の移転<河川改修/写真に見る堤外地の民家>	772	
9	重瀬地区の復元<移転の経過/渡船/竹製品/洪水と堤防/地名>	775	
第五章 年中行事			
第一節 年中行事と暦			
<暦法の変遷/本草の暦表記/年中行事とモノビ/年中行事とアソビヒ>			785
第二節 正月準備と行事<クネイ/ススキ/ススキイワイ/酉の市/餅つき/ザイモチ/餅つきの準備/モチゴメ以外の餅/カキモチ/水餅・寒餅アラレ/鏡餅/え餅/カクシモチ/貢餅/正月飾り/歳神櫛/神の膳・神の枕/ヤナギバシ/カマジメ・神札/御嶽札など/門松/御嶽幕/大晦日/貸借の清算/オタキアゲ/オミタマサマ/除夜の鐘/晦日参り/ミソカッパライ>		796	
第三節 正月の行事<若水・年男の奉仕/元旦・三が日/福の掃きこみ/初詣で・初詣り/初ダルマ/元旦の寺の行事/ハタタテ・ノリタテ/オセチ料理/雑煮・初寄り/若い衆の初寄り合い・初入り/初荷・初売り/職人の仕事始め/年始回り/セチ・大番/寺の年始/タナザラエ/お年玉・正月の子どもの遊び/正月の門付け/カミアガリ/七草・七草ガユ/藏開き/クワリエ・仕事始め/小正月/小正月の小豆ガユ・ササギメシ/作の花・アボヘボ/マユダマ団子/ナレナレのまじない/ヤブリイ/針供養・十王様/正月の晦日>		827	
第四節 春・夏の行事<上岡の馬頭観音/エビス講/大野の氷川祭り/新宿観音寺の御開帳/砂堀の天神祭り/毎月の行事「薬師様」「お題目講」「富士講」「觀音講」「ツキナミ念仏」「巣鴨のトゲヌキ地蔵の縁日」「一乘院の地蔵尊護摩供」/講の代参決め/初午・初午のビシャ講/子どものビシャ講・オナリココ・葵雨・懃右衛門の初午祭り/節分の豆まき・ヤッカ			

ガシ/八日節供/鎮守の新年祭/春祈禱/火の番のうちあげ/蕨のヒナ市/三月節供・雛祭り/ツジ餅/春彼岸/天道念仏/往日詣り/吹上の觀音様/一乗院の不動尊大護摩供/花祭り・オシヤカサマ/花見・行楽/足立坂東三十三ヶ所ノ巡拜/大師送り/代參講の參拜/種まき正月/木口祭り/西新井大師の縁日/川崎大師の餘厄/四月のツジ餅/木綿坊主・春の大掃除/五月節供/オロクショサマの田植え/サナブリ/野あがり正月/オシメリ正月/氷川の氷川祭り/新曾観音寺の御開帳/重瀬の觀音經/朝マンジャウの星ウドン/荒川のコリ/富士山の山開き/夏祈禱/夏新禱の大般若/夏祈禱の百万遍念佛/重瀬ノ石尊講/鎮守・ホラ神の夏祭り/土用・丑の日>857	9 はやり歌 ······ 1192
第五節 盆の行事<盆供/新盆の高燈籠/七夕/盆/盆の墓掃除/迎え盆・ホトケムカイ/盆棚の飾りつけ/無縫仏への供物/盆棚の供え膳/棚經/送り盆/盆のヤブイリ/オセガキ/カラ盆> ······ 908	10 わらべ歌・子守歌 ······ 1196
第六節 秋・冬の行事<八削の節供/新曾の弁天祭り/觀音様の供養/氷川神社の庚申祭り/十五夜・十三夜/川施餓鬼/西掘・田島の泣き節供/お目待ち・節供/鎮守の祭り/秋彼岸/觀音寺の御開帳/重瀬の觀音經/荒神の出雲發ち/秋の大掃除/カリアゲ/十日夜/ルスイヨウ/エビス講/ワセ大師・ナカ大師・オカ大師/八日節供/七五三・オビトキ/ニイケメ祭/カビタリ/冬至> ······ 936	11 民謡の音楽くはつせ/餅搗き歌/盆歌/田の草取り歌/夜さがり(船頭歌)/麦打ち歌> ······ 1199
第七節 童戯<玩具/手・腕などの遊び/お手玉/おはじき/手まり/人形遊び/植物遊び/虫遊び/たぬき遊び/コマまわし/根木/メンチ/石けり/縄跳び/棒跳び/押くらまんじゅう/竹馬・はしご乗り/トオリヤンセ/カゴメカゴメ/花いちもんめ/かくれんぼ/鬼ごっこ/鳥捕り/魚介捕り/泳ぎ> ······ 1206	
第八章 口承文芸	
第一節 昔 話	
1 昔話概説<伝承の実態/採集方法/話型/語り手> ······ 1221	
2 動物昔話<キツネの尾尻の釣/タニシとキツネ/十二支由来/サルカニ合戦/カチカチ山/古屋の漏り/ムカデの医者迎え/ホトトギスと兄弟/スズメ孝行/犬の脚/コオロギの鳴き声/ボーコーの鳴き声/ヒバリの鳴き声/ヨシキリの鳴き声/カエルの鳴き声> ······ 1237	
3 本格昔話<ショウブ湯の由来/ツル女房/キツネ女房/天人女房/桃太郎/竹取姫/子育て幽霊/花咲じい/舌切スズメ/金のウエンボ/米埋隠裡/雫子と鳥/雫子の釜ゆで/雫子と魚/天狗に助けられた雫子/姉妹とエビ/ザルで水汲み/浦島太郎/七枚のお札/猿神退治/化物寺/タヌキの八戸敷/ゴンベエとタヌキ/ネコの踊り/夢で長者> ······ 1244	
4 笑話<床をとれ//茶の実/悪か者の洗面/事三味線/芋転がし/和尚裁判/沢庵風呂/団子蟹/悪か蟹/ウグイス言葉/首通し/屁ひり娘/ネズミの嫁入り/草刈ろう/ミョウガ女房/姑毒殺/へのこの話/半殺し皆殺し/平林/三人商人/辛抱比べ/風鉢かチロリンか/中ぶらりん/十五夜の月/現捨て山/和尚と小僧/辯才本尊様/俵薬師/つま話> ······ 1260	
5 形式譚<長い話/はなし/長い名の子> ······ 1274	
6 世間話化した話<牛にひかれて善光寺参り/養老の滝/幽靈は枝木/湯たん山茶くれん山/餅の話/バクチの話/薬師様の開眼> ······ 1276	
第二節 世間話<キツネに化かされた話(1)~(6)/ミミズを食べた話/マグソを食べた話/肥だめに落ちた話/キツネにとりつかれた人(1)~(5)/キツネにとりつかれた人とイカ/戸田のキツネ/キツネの話(1)(2)/キツネ火(1)~(3)/キツネの穴(1)(2)/ムジナに化かされた話(1)~(4)/ムジナにいたずらされた話/ムジナのたたり/ムジナの話(1)~(3)/ムジナとキツネ/タヌキの話/タヌキ汁にした話/送りイタチ/カワウソに化かされた話/カッパの話/ネコの話(1)(2)/ネズミに話/ツバメの話/屋敷へビ(1)(2)/ヘビの話/大蛇の話/八幡様のヘビ/アラメンのスン/ヘビのたたり/羽黒山のヘビ/戸田橋の塗(1)~(3)/戸田橋犠牲者の塗/オコンの靈/人魂の話(1)(2)/モチの木の火の玉/幽靈の話/魂の話/不思議な夢(1)~(3)/無縁仏のお札/平等寺の觀音經棟梁の妻の腰巻き/ふんどしで天気予報/女郎買いを行った話/はらたけ・ふきだけ/子どもの名/新曾のあだ名/庚申の夜/ミョウガの話(1)(2)/木戸黄門とサンマ戸黄門と米> ······ 1279	
第三節 伝 説	
1 村・ホラの部<美女木のいわれ/美女木のホラのいわれ/稱額の立て札/美女木の砂場/馬場のいわれ> ······ 1294	
2 石・岩の部<氷川神社の力石/カゴダイ> ······ 1296	
3 水の部<聖釜(1)(2)/片目の魚/コウスケ橋/弘法清水/弘法水/鏡くわし/タイタロウ/お水もらひ> ······ 1296	
4 塚の部<熊本家の塚/塚田> ······ 1298	
5 祠堂の部<美女木八幡の鐘(1)(2)/美女木八幡の鳥居/西霧寺の地蔵/下巻目の稻荷様/子安曼陀羅/川岸の水神様/夜泣きをなくす稻荷様/シロヤの道陸神様> ······ 1299	
6 その他<弘法大師と石芋/弘法大師のゴマばた餅/弘法大師と里芋/水子村の由来/ピクニン田/ハイ田/伝四郎屋敷/鷹揚/モリヤスジの葬式/蕨の本陣/建て前にクシなどを祭るいわれ> ······ 1301	
第四節 謎 ······ 1305	
第五節 謎 ······ 1310	
付・関係史料(地誌・縁起類)	
[解説/武藏志/新編武藏風土記稿/武藏国郡村誌/神社明細帳/寺院明細帳/堂庵明細帳/正八幡宮並出現之鑑略縁起/三宝山徳祥寺の起因/氷川明神縁起/宗門第一子安之靈場略縁起/龍宝山愛染院觀音寺略縁起/足立郡戸田氷川神社並多福院縁起/戸田羽黒山縁起/北足立戸田村海禅寺由緒/武州足立郡芭目領内谷村日輪山・一乘院本尊大日如來延命地蔵尊縁起/足立坂東起本開山記/足立坂東順礼歌/武州足立百不動尊順礼歌/北足立新四國真言在家勤行法集/北足立二ヶ所弘法大師順拜詠歌]	
あとがき・執筆者一覧・資料提供者一覧・市販さん関係者名簿	
昭和58年3月15日 発行 戸 田 市	

資料035 『長瀬町史

民俗編Ⅱ 野の石造物』

平成3年3月

目 次

一 石仏・石神

1	如来<阿弥陀/大日/釈迦/薬師>	1
2	菩薩<聖觀音/如意輪觀音/馬頭/子安/地藏/六地藏/勢至>	3
3	明王<不動>	8
4	天<太黒/弁財/青面金剛>	8
5	諸天<摩利支天/猿田彦大神>	9

二 民間信仰の石仏・石神

1	庚申塔	2	日待塔<甲子/巳待>	10
3	月待塔<二十二夜塔/二十三夜塔>	11		
4	念佛塔<百万遍/寒念仏/十六日念佛/彼岸念佛/千日遍向>	13		
5	經典供養塔<読誦塔/石経塔/光明真言塔>	15		
6	巡拝塔・回国塔<百番巡拝/六十六部回国>	16		
7	馬頭観音塔	17		
8	山岳信仰塔<富士講/木曾御嶽講/靈巖塔>	18		
9	名神大社信仰塔<金毘羅信仰塔>	20		
10	自然信仰塔<山神/水神/社日/金神>	20		
11	道祖神・塞神塔	22		
12	その他の信仰塔 <三界万盡/名号/蚕神/聖樹太子/市杵島姫/子の権現/大口真神>	22		

三 石仏・石神以外の信仰石造物

<宝篋印塔/五輪塔/無縫塔/石燈籠/石祠/狛犬/神使>	24
-----------------------------	----

四 道標・標石等<道標/句碑/説牌>

<道標/句碑/説牌>	29
------------	----

五 調査地区的設定・同設定図

<調査地区的設定・同設定図>	30
----------------	----

六 調査地区ごとの石造物

1	長瀬地区	33
2	本野上・中野上地区	73
3	野上下郷(宮澤・辻・杉郷)地区	138
4	野上下郷(小坂・滝の上)地区	178
5	矢那瀬地区	204
6	岩田地区	236
7	井戸・風布地区	263
8	増補	304

七 考 察<町内石造物の概要と考察,集計表>

1	長瀬地区<概要と考察,集計表>	307
2	本野上・中野上地区<集計表>	309
3	野上下郷(宮澤・辻・杉郷)地区<主計表>	311
4	野上下郷(小坂・滝の上)地区<集計表>	313
5	矢那瀬地区<集計表>	315
6	岩田地区<集計表>	317
7	井戸・風布地区<集計表>	319
8	編年表<馬頭尊,地蔵尊,二十二夜塔,庚申塔>	321

あとがき

関係者名簿

平成3年3月25日 発行

長瀬町

資料036 『滑川村史 民俗編』

昭和59年10月

目 次

第一章 衣・食・住	33
第一節 衣生活<かぶりもの/はきもの/雨具/普段着/寝具/結婚式の衣服葬式の衣服 /機織り/染めつけ/お針>	35
第二節 食生活<食事/ヒキワリメシ/イモ/ウドン/ツメリコヒオッキリコミ/汁物 と漬物/味噌/野菜/魚/焼き餅とだんご/甘酒/ソバ/ナリクダモノ/カーリモン/結婚式の食 事/葬式の食事>	40
第三節 住生活<屋敷構えと間取り/タネー/棗とかやの屋根/イロリ/便所と風呂/建築 儀礼/屋敷取りと間取りの実例/蚤も馬も同居>	50

第二章 沼の民俗 ······ 71

第一節 沼は語る<1下福田 両表/2下福田 大木・下向/3下福田 下中郷/4上

福田 馬場/5上福田 小川谷/6上福田 在在家/7上福田 円正寺/8山田山王/9山田 根岸/10山田 前谷中郷/11山田 中里/12山田 東・西/13山田追山/14土塙 下/ 15土塙 中/16土塙 薬王子/17土塙 上/18和泉 上/19和泉 中・下/20和泉 菅原/21中尾 前組/22中尾 内郷/23中尾広瀬/24中尾 加田/25伊古 下/26伊 古 郭/27伊古 中/28伊古 上/29水戸 上/30木戸 下/31月輪 六軒/32月輪 西荒井/33月輪 中丸/34月輪 中組/35月輪 下組/36羽尾 蟹山/37羽尾 金光 地/38羽尾 打越/39羽尾 藤ヶ谷戸/40羽尾 両家/41羽尾 中組/42羽尾 表/ 43羽尾平/44羽尾 裏郷南部/45羽尾 裏郷北部>	73
---	----

第二節 沼の呼び名 ······ 106

第三節 沼水の利用 ······ 108

1 山田大沼<木はいつ出すか/木樋を抜く/水を引く/五分しつけ>	109
2 羽尾平地区<堀普請/水を引く/堰水の上を流して>	113

3 土塙中・下地区 <水を引く/水を出す時期と規則/沼下・出耕作・入耕作>	115
--	-----

第四節 沼普請と沼普請唄

1 両表の沼普請<役に出る/鍬入れと上げ講/鍬の伏せ替え/内はぎ・外はぎ/ 沼チヂギイ/島田文子さんの体験記から>	121
2 いろいろな沼普請唄 <土盛り/タコ掘き唄(ドウ突き唄)/土端打ち唄>	126

第三章 ヤマと生活 ······ 133

第一節 二ノ宮・大立・高根の三山

1 二ノ宮山と伊古の人たち <二ノ宮山に登る/山遊び/花見/爾乞いの山/二ノ宮山は奥社>	135
---	-----

2 大立山と加田 14軒<大立山/大立山頂の松/山の神の石祠/山の神に 初詣/とりかえ餅>	140
--	-----

3 高根山と円正寺・榎の人たち <高根さま/高根さまのまつり/ダンゴ作り>	143
--	-----

第二節 ヤマ仕事聞き書き

1 吉田健吉さんと聞く<さきやまし/山仕事は冬場/薪を伐る/山は宝物 /たて松/木心/軒百本/燃し木/山の神の日/山入りの行事>	146
---	-----

2 宮島森藏さんと聞く<木戸はヤマシが多い/木の伐り方/カノヤとキノ ヤ/伐りしん/木をかえす/さがっちょの山の木/あてっ木は伐りにくい/伐る構え/木の かつき出し/木材にこしらえる/薪伐り/苗木の植付けと手入れ/うるぬき/燃し木/堆肥づ くり/山講やるべえ/木戸の山の神/山入り>	150
--	-----

第三節 ヤマの食べもの

1 春の山菜 <ショウガ/ワラビ/フキノトウ/山ミツバ/サンショウ/タロンベ>	158
--	-----

2 秋のキノコ採り	159
-----------	-----

3 冬のナガイモ掘り	160
------------	-----

第四節 薬草のいろいろ ······ 161

第五節 ヤマと屋号 ······ 162

第四章 馬と共に ······ 169

第一節 馬のこと聞き書き

1 農耕馬について<馬の役割/馬の植段/馬の産地と性質/いい馬/馬の食べ 物=カイバ/仕事を覚えさせる/百姓馬の仕事/馬の手入れ/モヤイ馬/ウマゾサク(馬小 作)/ウウマ(ゴガツウマ)/馬との別れ/馬と信仰/花馬(ハナウマ)/農作業/牛と馬 >	171
---	-----

2 運送馬について<荷と行く先/山出し/タテバ/よい運送馬/カイバ/仕込 み/馬の手入れ/さみしがる/馬頭観音信仰/馬の病気>	177
--	-----

3 紫藤たけさんと贊田広治さんの体験記 <馬のはなり/桑運び>	181
------------------------------------	-----

第二節 馬の信仰

1 福田の觀音さま<馬の觀音番り/千匹馬の幕/大きな供え餅>	185
--------------------------------	-----

2 馬の絵馬<絵馬/絵馬売り>	187
-----------------	-----

3 辻々の馬頭観音	190
-----------	-----

第五章 年中行事 ······ 195

第一節 暮れと大正月の行事<すす払い/カマシメ/餅搗き/門松/年神様

の棚/人形/大海日/年神様/年男/若木/お焼き上げ/正月の食習/正月に餅を食べない家例/ 初詣/セチ/仕事始め/棚さがし/作入れ/山入り/七草/蕨開き・鏡開き>	200
---	-----

第二節 小正月の行事<若木/物作り/小正月の家例/オミタマ様/ナルカナンネ

エカ/小豆粥/アーボヒーボーラーブラ/嫁ごの正月/蕨入り/セエノカミ/仏の日あけ/十八番 /恵比須講/天神講/棚おろし/薬師・山の神・不動の祭日>	218
--	-----

第三節 春と夏の行事<次郎の朝日/川浸り/年取り・節分/八日節供・糸供養/

初午/男遊び/女遊び/難祭り/彼岸/水口祭/花祭り/すす払い/端午の節供/苗開き/サナブ	
--	--

リノアガリ/尻あぶり/川浸り>	230
第四節 盆の行事<盆のふたあげ/七夕/墓掃除/盆花/盆棚/ショウヨウ様/迎え盆/作案内/送り盆/棚怪/新盆/靈祭/盆の食習/盆がら>	238
第五節 秋と冬の行事<生姜節供/二百十日/お月見/十三夜/彼岸/お九日/饅初め/刈り上げ祝い/オカマ様/亥の子/十日夜/恵比須講/大師粥/こき上げ祝い/マキアゲ/川浸り/師走八日/冬至>	247
第六節 宮前村郷土誌にみえる年中行事	255
第一章 人の人生	257
第一節 産育<妊娠/安産祈願/奉祝い/妊娠中の食事/妊娠中の俗信/産婆/出産/双子の出産/ウバタテの御飯/産湯/ハゾの猪/後産/乳付け/産後の食事/産の忌/お七夜/お産見舞い/名付け/初割り/宮参り/孫祝い/食い初め/初正月/初節供/初誕生/オビトキ/初山参り/青児とまじない>	259
第二節 厄年と年祝い<厄年/厄年の子/彼岸生まれの子/年祝い>	273
第三節 婚姻<年まわり/相手の選択/仲人/クチガタメ/アシレ/道具送り/嫁入り/御祝儀/里帰り/挨拶回り>	275
第四節 葬送	275
1 葬式<葬制/臨終/北枕/五軒組/勝手仕事/弔の沙汰・遣い/湯薙/棺桶/納棺/通夜/穴掘り/香典/焼典/野辺送り/埋葬/墓地/浄め・忌中ばらい/墓のおし>	279
2 死後の供養<初七日/四十九日/新盆/年忌>	284
第七章 村人の信仰	287
第一節 村の神	289
1 神社の移り変わり	290
2 鎮守<熊野神社=下福田/淡洲神社=上福田・上山田/大雷淡洲神社=下山田/淡洲神社=土塹/八宮神社=和泉・菅原/雷電神社=中尾/伊古乃速御玉比売神社=伊古/阿須神社=水房/月輪神社=月輪/羽尾神社=羽尾>	300
3 部落やイッケの神<稻荷=福田両表/稻荷=福田両表/荒神=福田大木/山王=福田大木/琴平=福田下向/琴平=福田古姓/浅間=福田小川谷/亀ヶ入の稻荷=福田中在家/天神=福田小川谷/高根山=福田円正寺/湯前権現=福田円正寺/北向稻荷=山田根岸/神明=土塩上/駒形=土塩上/広路谷稻荷=土塩下/天神=和泉上/八幡=和泉下/安佐=中尾内郷/稻荷=中尾内郷/天神=中尾加田/大立山=中尾加田/三島=中尾広瀬/ハスケ様=中尾広瀬/荒神=中尾広瀬/稻荷=中尾広瀬/葵名=伊古/大六天=伊古大上/天神=伊古上/稻荷=伊古山田/北向稻荷=水房/霧島=月輪六軒/篠崎稻荷=月輪中丸/高根=月輪西荒井/高鶴稻荷=月輪西荒井/金井稻荷=月輪中組/大塚稻荷=月輪下組/武井稻荷=月輪下組/御嶽安房=羽尾平/横塚稻荷=羽尾平/赤沼稻荷=羽尾表/諫訪=羽尾裏郷/小林稻荷=羽尾裏郷/弁天=羽尾裏郷/天王=羽尾裏郷/八坂=羽尾山屋敷/稻荷=羽尾山屋敷/倉林稻荷=羽尾倉林/二つ山稲荷=羽尾打越/稻荷=羽尾打越/神明=羽尾隸ケ谷戸/鹿島=羽尾両家/飯塚稻荷=羽尾蟹山>	321
4 その他の神仏<聖天=福田円正寺/薬王子権現=土塩薬王子/八王子権現=土塩薬王子/生首八幡=土塩下/不動=伊古郭/山の神様=菅原/ヤクシ様=山田追山/はらみ松=伊古中/コウチの地蔵様=伊古中/二十二夜様=伊古中/地蔵月輪西荒井/ホーセンボウ=月輪中組/不動院の不動様=月輪中組/弁天様=羽尾打越/ドウロクジン/羽尾隸ケ谷戸/ドウロクジン伊古上/ドウロクジン福田小川谷/天神=福田下向/蚕の神/庖厨神様>	345
第二節 家の神	345
1 家屋内外の神	349
2 荒神様とオカマ様	352
3 各戸のウジガミ	354
第三節 寺と堂	354
1 寺と堂の移り変わり	377
2 寺<成安時=福田/明照寺=上塙/泉福寺=和泉/慶徳寺=中尾/円光寺=伊古/方光寺=木戸/福正寺=月輪/奥長寺=羽尾/その他>	381
3 堂<不動庵=福田両表/十王堂=福田大木/馬頭観音=福田古姓/摩尼庵堂=福田小川谷/薬師堂=福田中在家/不動庵=福田円正寺/薬師堂=福田円寺/真福寺觀音堂=福田馬場/七觀音=福田馬場/薬師堂=山田西/薬師堂=山田中郷/阿弥陀堂=山田山王/觀音堂=山田前谷/不動堂=和泉中/薬師堂=中尾加田/東覚院=伊古上/如來堂=伊古上/薬師堂=伊古中/延命地蔵=木戸上/聖觀音=水房上/十一面觀音=水房中/大日堂=月輪中丸/勢至堂=月輪中組/地蔵堂=羽尾平/千体地蔵=羽尾表/十王堂=羽尾裏郷/阿弥陀堂=羽尾打越/薬師堂=羽尾金光地/川原堂=羽尾隸ケ谷戸/不動堂=羽尾蟹山>	385
第四節 村外の神仏	395
1 代参講<様名講/大山講/三峯講/宝登山講/その他>	393
2 深谷国濟寺の地蔵	400
3 木曾御嶽山	401
第五節 雨乞いとフセギ	405
1 雨乞い	405
2 フセギ	406
第六節 農と絵馬奉納	409
1 雨乞いの絵馬	409
2 富士山の絵馬	411
3 伊勢参りの絵馬	411
4 目の絵馬	413
第七節 まえだれ・いみ・まじない	413
1 まえぶれ<自然現象に関するもの/動物に関するもの/その他>	415
2 いみ	422
3 まじない	424
第八章 民俗芸能	429
第一節 獅子舞	429
1 下福田の獅子舞 *舞いつづける	431
*花づくり	432
*場を淨める棒使い	434
*獅子が舞う	435
(1)すり込み/話/女獅子隠し/ミコの舞/天狗拍子/暇ない/すり出し	435
(2)田の草取り/御幣抜き/暇拍子	439
*今日のさらの切りをちがえた	442
*オカメとヒョウウットコの舞 <カメの舞/ヒョウウットコの舞>	442
2 上福田の獅子舞	444
*新稽古の思い出	444
*獅子舞書き書き<獅子が出来る/特別な舞庭/棒使いとすり込み/獅子の出/田草取り/一番ご・二番ご・休み/お神楽/幣掛り/すり上げ>	446
*雨乞いの獅子	450
3 羽尾下郷の獅子舞	451
*獅子元の家	451
*座敷獅子	452
4 羽尾裏郷の獅子舞	453
*お諏訪のまち	453
*花うちわ	454
5 羽尾平郷の獅子舞	455
*平郷の獅子舞	455
6 月輪の獅子舞	457
*上と下を払う	457
*月輪の獅子舞を見る<三宝/悪魔払いの唄/勇壮な神楽舞>	458
7 伊古の獅子舞	459
*早川さんのノートから	461
*腕抜きと御幣抜き	465
*オカメ神楽と大神楽	466
*雨乞いに獅子が出来る	466
*雨乞い唄	467
第二節 地芝居	468
1 水房の地芝居	468
*きのじや連の歩み	468
*坂東又四郎と坂東池鶴	469
*花芝居と祭り込み	470
2 裏郷の地芝居	474
*栄連の役者たち	474
*幕初めに三番叟	475
*佐平さんの思い出	476
3 下福田の地芝居	477
*大正団	477
*大正団の人たち	479
第三節 万作	479
1 大木の万作	479
*大木連	479
*おいとこそうだよ	481
*お半長右エ門	482
第四節 盆踊り	483
1 盆がヤーハエ	483
*田植踊りと石投げ踊り<盆踊り唄>	483
第五節 傘踊り	485
1 滑川の傘踊り	485
*傘踊りの流行<山田の傘踊り/裏郷の傘踊り>	485
第六節 もちつき踊り	486
1 裏郷のもちつき踊り	486
*にぎやかなもやい揚き	489

*ひきづり餅	490
第七節 キツネつり	
*キツネつり <櫛平のキツネつり/キツネつりやるべ>	491
第八節 連経太鼓と真言打ち	
1 伊古の薬師堂と月輪の勢至堂で	
*連経太鼓と真言打ち	494
第九節 民謡	
1 仕事唄	
*田植唄	495
*機織唄 <どうぞ日機の織れるように/監督さんの目がひかる/来たなりよなよ/沼の 数さが百七つ>	497
2 わらべ唄	
*子守唄	503
*手まり唄 <はじめの唄/あの山で/あれみさえ/おらが前の竹ちゃん>	506
*縄とび唄	516
*手合せ唄	518
第九章 昔話・伝説・噂話・唱えことば・ことわざ	521
第一節 昔話 <十二支のいわれ/一粒千粒なあれ/モリドン/古屋のモリヤ/ほどときすの 兄弟/雀とつばめ/猿の寝取り/子供の寿命/舌切雀/お元日の十貴い/まますの栗拾い/まます子 と笛/三枚のお札/孤のお産/ことしやみせん/竿轆がし/馬の尻に十三仏/ドウコイショ餅/屁 ひり嫁/胆試し/半殺し/天狗の隠れ蓑/ヒガンかヒガンか/うばすて山/カツタクツタ/たん ぎくどんの仕事は弁当/たんぎくどんの大食い/たんぎくどんの休みながらの溜めかめ/風呂の湯加 減/初午のいわれ/オトコナシ/嘘くらべ/知ったから/夕飯の時間/福は苦い/てんしき/ 夢のお告げ/娘のおなら/牛に引かれて善光寺参り/お茶は毒消し>	524
第二節 伝説 <如来堂の阿弥陀様/恒儀様/ホーセンボウ/不動坂の不動様/生首八幡/広 路谷稻荷/福田鉢泉/天狗の足跡/浦川の通り水/何童の証文/油免/すずりめん/ 平/地獄谷/鑑証場/とりっこ坂/五月節供のいわれ/五月節供のいわれ>	550
第三節 噂話 <オトウカの嫁取り/孤火/孤火/孤火/オトウカの巢/孤に化かされた話 (1~5)/孤に憑かれた話/黙に憑かれた話/ムジナの嫁とり/ムジナの話/ムジナに憑かれた 話/オトウカとムジナ/三峯様/オイヌ様の見まわり/オオカメ様/送り狼/送り狐/猫の話/大 蛇の話(1~3)/カッパ/カッパ/龍の話/石の話/火の玉/人魂/火柱/人魂/ホウシの玉/ 幽霊の話/生まれ変わった話/忌みを破った話/カクレザトウ/ジャッキリオバア/アズキギ モー/血取り/力持ち/大食い/大食い/慈病な侍/天に道にあるまい/あわてものの代参/芋の 多い難煮>	555
第四節 唱えことば	
*ニューニューニューの頭に火がついた	565
*肩させ裾させ	566
*お寒ことこと	567
*だるまさんころんだ	568
*泣き虫小虫	569
*唱えごと(呪文)	570
第五節 ことわざ	
*女は機織れ	571
*薪きシンを教えるもの	572
話者・協力者名簿	573
調査参加者名簿	576
執筆者名簿	577
村史編さん関係者名簿	578
昭和59年10月31日 発行	
滑川村	

資料037 『鳩ヶ谷市史』民俗編

昭和63年8月

目次

第一章 鳩ヶ谷の地域概況	1
1 地域の概況	3
2 位置・面積	4
3 行政区域変遷	6
4 人口動態	11
第二章 生産・生業	17
第一節 生産・生業の概観	19
第二節 農業	21
1 稲作	
(1)植田 <水田稲作/用水と灌漑/稲の品種/耕起/用水さらい/畦塗り/苗代作	

り/種まきの管理/種まき/苗代の管理/代かき/田植/水の管理/除草/追肥/害 虫駆除/緑刈り/脱穀/調整/播種儀礼/田植の禁忌/サナブリ/雨乞い/雨降り正 月/収穫儀礼/労働慣行>			
(2)摘田 <株の踏込み/田うない/畦つけ/ニパン(二番)/田宿み/一番草>	42		
(3)蓮 <田うない/補え付け/追肥/除虫/除草/芽回し/蓮の種類/収穫/出荷>	47		
(4)くわい <くわい種の保存/補え付け/除虫/除草/葉欠き/施肥/収穫/出荷>	51		
2 畑作			
(1)麦 <耕起/播種/追肥/麦踏み/土入れ/麦刈り/脱穀・調整/俵詰め/蓄麦の利 用/麦搗き/麦の食品/麦作儀礼>	54		
(2)里芋	63		
(3)八つ頭	64		
(4)さつま芋	65		
(5)じやが芋	69		
(6)大根 <夏大根/秋大根>	70		
(7)ふき	71		
(8)山東菜	(9)ねぎ	72	
(10)みょうが <根掘り/みょうがのものもじ作り>	73		
(11)なす	75		
(12)粟	76		
3 柿の栽培 <柿の栽培サイクル/施肥/枝欠き/収穫/出荷/豊作祈願>	76		
第三節 諸職			
1 釣竿作り	81		
(1)釣竿業の沿革	81		
(2)釣竿に使われる竹 <布袋竹/矢竹/大名竹/淡竹/真竹>	82		
(3)継ぎ竿の名称	84		
(4)継ぎ竿の釣り方と釣り物による竿の名称 ①釣り方の呼び名による継ぎ竿	85		
②釣り物の呼び名による継ぎ竿 (川釣り)	86		
③釣り物の呼び名による継ぎ竿 (海釣り)	86		
(5)継ぎ竿の製作工程 ①さらし <皮むき/竹磨き/油抜き>	86		
②切り組み	87		
③タメ・火入れ	④シタゴシラエ	89	
⑤糸巻き	⑥節抜き	91	
⑦継ぎ <コマケヅリ/クチライ>	93		
⑧漆塗り		94	
⑨仕上げ		96	
(6)販売		96	
2 井戸屋		104	
(1)井戸掘り <掘削位置/掘削時期/一日日の作業工程/二日目の作業工程/ 三日目の作業工程/井戸さらい>	104		
(2)服装・賃金・仕事の範囲他	110		
3 羽根職			
(1)総観		111	
(2)素材	(3)製作・加工工程	112	
(4)製作・加工用具		113	
(5)製作・加工施設		114	
(6)製品	(7)職能・組織	114	
(8)職人の生活		115	
4 紺屋			
(1)総観	(2)素材	121	
(3)製作・加工工程		122	
(4)製作・加工用具		123	
(5)製作・加工施設	(6)製品	123	
(7)職能・組織	(8)職人の生活	124	
5 料職			
(1)総観	(2)素材	138	
(3)製作・加工工程		139	
(4)製作・加工用具	(5)製作・加工施設	140	
(6)製品・販売	(7)職能・組織	140	
(8)職人の生活		141	
(9)その他		142	
6 鋸鍛冶・目立て			
(1)総観	(2)素材	(3)製作・加工工程	147
(4)製作・加工用具			149

(5)製作・加工施設	150
(6)取引き	150
(7)職能・組織	150
(8)職人の生活	151
第三章 衣服	157
第一節 衣服の概観	159
第二節 衣服	
1 普段着・仕事着	
(1)普段着	162
(2)仕事着<野良着/商人の着物/職人の着物>	167
2 ハレ着<ヨコヨキ/子供の祝い/結婚式/葬式>	177
3 夜着	182
第三節 衣服の調達と管理	
1 衣服の調達	184
2 衣服の新調	185
3 衣服の管理	186
第四章 食物	191
第一節 食物の概観	193
第二節 普段の食事とハレの食事	
1 日常食・労働食	
(1)主食	195
(2)副食物<漬物/芋煮/肉・魚・海産物>	196
(3)食事の回数・献立	199
(4)労働食<大工の食事/機屋の食事>	199
2 ハレの日の食事	200
(1)年中行事と食事<-日と十五日/-一日餅/正月三箇日/七種粥/歳開き/マダマ餅子/小豆粥/ハツカゴシ/節分/初午/三月の節供/彼岸/五月の節供/サナブリ/天王様/七夕/お盆/お日待/荒神様/恵比須講>	200
(2)人生儀礼の食事<祝膳/葬式>	205
3 保存食<あられ/寒餅/乾燥芋/芋がら/乾飯/切り干し/芋駄芋>	207
第三節 調理と保存	
1 調理器具<せいろ/焰烙/こね鉢/鍋/笊>	209
2 食器<膳/茶碗/お椀/おか持ち/弁当箱>	211
3 貯蔵法	
<土中にそのまま保存/乾燥させて保存/慣物にして保存/粉にして保存/米櫃/樽/甕>	212
第四節 酿造<醤油/味噌>	215
第五節 食と信仰	
1 食の禁忌<きゅうりの禁食/正月の餅/その他の食についての言い伝え>	217
第五章 すまい暮し	219
第一節 すまいの概観	221
第二節 すまいの歴史	225
第三節 農家	
1 屋敷内の状況	233
2 母屋の形式と屋根の形	234
3 母屋の各室の名称と使い方<土間/カマヤ/デンキ/ディ-ティ-/ハイ-オク/コゲ/コウガ/オカッテ/柱>	235
4 付属屋<廬/蔵/外便所>	241
5 屋敷内の植物	242
6 燃料	244
7 井戸	245
8 照明<石油ランプ/提灯/燭台/電気>	247
第四節 家	251
第六章 社会生活	255
第一節 社会生活の概観	257
第二節 町の社会生活	
1 町の概観	259
2 町の組織	
(1)町会の組織	269
(2)近所・組合<向こう三軒・両隣/お組合>	270
(3)町の諸集団<井戸組合/納稅組合/青年団/消防組/氏子/講>	271
3 町の祭りと社会組織	275
4 町の家族・親族	
(1)商家の家族と奉公人	279
(2)商家の同族集団	280
第三節 村の社会生活	
1 村の範囲と区分	281
2 村の組織と運営	282
3 村寄り合い	283
4 村入りの慣行	283
5 前田地区的事例<ムラの範囲/ムラの境/隣近所の付き合い/ムラの役職者/社寺にかかる役職者/葬式組/共有財産/寄り合い/座順/転入者の承認方法/ムラの重立ち>	285
6 家族・親族<家族呼称/奉公人/屋号/親類・縁故/本家・分家>	287
第七章 年中行事	291
第一節 年中行事の概観	293
第二節 暮れから正月の行事<搽払い/餅搗き/注連飾り/歳暮/大晦日/ミカツバライ/門松/歳神帽/正月/初詣/初水汲み/オウバン/年始まわり/正月の遊び/タナガシ/迎え年越し/仕事始め/七草/クラビラキ/小正月/マユダマ/あざき粥/ヤブリ/ハツカゴシ/恵比須講/天神講>	295
第三節 春から夏の行事<節分/オビシャ/初午/初庚申/雛祭り/フセギ/彼岸/花祭り/花見/春祈祷/五月の節供/夏祈禱/サナブリ/田植正月/大祓え/天王様>	310
第四節 盆行事<カマノクチ/七夕/十一面様/墓掃除/盆帽/迎え盆/柳経/送り盆/盆札/ヤブリ/旅猿鬼/ウラボン/地蔵盆>	318
第五節 秋から冬の行事<八朔/十五夜/十三夜/お日待/神送り/ルスイヨウ(留宿業)/荒神様/恵比須講/冬至/おかめ市>	328
第八章 人の一生	331
第一節 人の一生の概観	
1 産育と成人	333
2 婚姻	335
3 葬送	337
第二節 産育と成人	
1 妊娠と出産	
(1)妊娠<妊娠/安産祈願/催祝い/妊娠中の禁忌・俗信>	339
(2)出産<お産の場所と方法/夫の役割/へその緒/エナ/産湯/乳付け/産後の禁忌/産婦の食事/産見舞/異常出産>	341
2 育児	
(1)誕生儀礼<お七夜/命名/宮参り/食い初め/初正月/初節供/初誕生>	345
(2)育児の習俗<育児の俗信/子守り>	349
3 子どもの成長と儀礼	
(1)七五三<三歳の祝い/五歳の祝い/七歳の祝い>	350
(2)一人前	351
第三節 婚姻	
1 婚約	
(1)結婚の条件<通婚履歴/結婚年齢/相手の選択/恋愛/仲人/見合い>	352
(2)婚約<結納/アシレ>	355
2 祝儀	
(1)ご祝儀前の儀礼<荷送り>	356
(2)御祝儀<ムコリ/嫁入り行列/入家儀礼/鏡祝儀/祝い唄/オバサンブルマイ/ミツメ/カミアライ/仲人札/離婚>	357
第四節 葬送	
1 死と靈<死の予兆/死に水/死者の扱い/枕団子/枕飯/葬式の準備/シニツカイ/湯沸/入棺/通夜>	363
2 葬送	
<葬式組/墓穴掘り/葬式/香典/出棺/野辺送り/埋葬/帰りの作法/異常葬法>	367
3 忌み明け・年忌<葬式後/初七日/四十九日/新盆/年忌>	373
第九章 信仰	377
第一節 信仰の概観	379
第二節 家のまつり	
1 屋内の神	381
2 屋敷神<畠田稻荷/妙前稻荷/三光稻荷/石田明神/天神社/不動堂>	384
第三節 村のまつり	
<鳩ヶ谷氷川神社/三ツ和氷川神社/八幡神社/十二所神社>	393
第四節 講<念仏講/様名講/古峯講/伊勢講/大山講/身延講/送り大師講>	402
第五節 俗信	
1 予兆<予兆のいろいろ>	426
2 禁忌<結婚に関する禁忌/妊娠・出産に関する禁忌/死に関する禁忌/日にに関する禁忌/その他の禁忌>	427
第十章 交通・交易	431
第一節 交通・交易の概観	433
第二節 交通	
1 陸上交通<道路/ミチの呼称/道普請>	435
2 交通機関<人力車/乗合馬車/乗合自動車>	442
3 河川交通	445

4	運搬 <人力運搬/畜力運搬/車両運搬>	447
5	旅 <代議士としての旅/伊勢講の旅/旅の服装/所持品/旅の俗信>	450
6	通信 <言い継ぎ/回覧板/その他の伝達>	452
第三節 交 易		
1	行商・出荷 <行商/セリ売り(引き売り)/市場への出荷>	454
2	問屋 <穀物問屋>	457
3	仲買 <穀類の仲買人/灰の仲買人>	459
4	店 <糸屋/魚屋/種屋/自転車店/買い物>	459
5	市 <三・八市/市における香具師の役割>	463
付・資料		473
参考・引用文献一覧/執筆者一覧/民俗調査員一覧/話者一覧/資料提供者一覧		
鳩ヶ谷市編さん関係者名簿/あとがき		
附録「昭和28年鳩ヶ谷町全図」/「昭和60年鳩ヶ谷市全図」		
昭和63年8月31日 発行		
鳩ヶ谷市		

資料038 『飯能市史』 資料編VI

昭和58年3月

目 次		
I	飯能市の概観	
<位置/面積/地勢/市域/気候/交通/人口/民俗> 1		
II	生産生業	
1	農業	
(1)	稲作 <ツミタヒエタ/根つくり/クロツケ/タウナイ/タネツミ/メボシ/クサトリ/ハナカゲミズ/オイゴエ/オトシミズ/タカリ/ノヨキ/根干し/棒打ち/根摺り/俵づめ/小作米/ヒマツ>	7
(2)	畑作 ······ 10	
(ア)	年間の農作業(昭和30年頃)春 夏 秋 冬	
(イ)	こんにやく	
(ハ)	苗木①種とり②種まき③手入れ④山出し	
2	養 蚕	
(1)	時期 ······ (2)蚕室 ······ (3)蚕種 ······ 16	
(4)	掃立て ······ (5)飼育 ······ 17	
(6)	上蔟 ······ 19	
(7)	繭かき ······ (8)糸繭師 ······ 20	
3	林 業	
(1)	山の名称 ······ 20	
(ア)	地形から来たと思われるもの/イ 水に関するもの/ウ 住居の跡地から来たもの/エ 意味不明なもの	
(2)	山林の境界 <ア 境界 イ 境界争い> ······ 21	
(3)	山林所有面積 ······ (4)草刈場 ······ 22	
(5)	造林 ······ 22	
(ア)	地ごしらえ/イ 植付け/ウ 下刈り/エ 起し/オ 枝打ち/カ 施肥/キ 除伐/ク 開伐	
(6)	販売と山見 ······ 27	
(7)	伐採 ······ 28	
(ア)	口開け/イ 山始め祭り/ウ 木切り/エ 輪/オ ユウ荷/カ 中土塗祭り/キ 山佐舞祭り	
(8)	搬出 ······ 31	
(ア)	木出し祭り/イ かつぎ出し/ウ 土挽き/エ 修羅/オ 木馬/カ 土入れ祭り/キ 山絶え祭り/ク 山の神/ケ 架線/コ サ流し	
(サ)	後 ①西川村 ②後の組み方 ③後の川下げる ④羊の使い方 ⑤後の萬吉物 ⑥最終段階での後の大きさ ⑦後歌	
(9)	製材 <ア 木挽き/イ 削り/ウ 工場製材> ······ 41	
(10)	山小屋 ······ 43	
(11)	薪炭 ······ 44	
(ア)	薪と粗朶/イ 炭焼き ①炭材 ②白消しと黒消し ③窯焼き ④焼成 ⑤炭出し・俵づめ・搬出	
4	狩 猎	
(1)	狩獵の対象 ······ 49	
(ア)	獣類 A野兔 B狸 C狐 D熊 E鹿 F岩羊 G猪 Hその他の獣	
(イ)	鳥類 A山鳥 B鳩 C小綿鶲 Dその他の鳥類	
(2)	狩獵法 <ア 猛/イ 網/ウ 謂/エ 銃/オ 個人銃/カ 共同銃> ······ 51	
(3)	狩獵の禁忌 ······ 54	
5	織 物	

(1)	原料の変遷 ······ 55
(2)	糸 ······ 55
(ア)	績む/イ 糸ひき/ウ 線紡・結合と目針/エ 精錬・糸染め・糊つけ
(3)	手 機 ······ 59
(ア)	糸アヤ・歳/イ 男巻き・機草/ウ 糸車・座縫/エ イザリバタ・高機
(4)	昔の飯能織物 ······ 62
(ア)	飯能絹/イ 浮織/ウ 斜子織/エ 銘仙/オ 新銘仙/カ 双子織/キ 織絣/ク 京棧留/ケ 博多結城>
(5)	現在の飯能織物 ······ 64
III 年中行事	
1	大正月の行事
(1)	三が日 ······ 67
(2)	1月4日 ······ 68
(3)	七草 ······ (4)藏開き ······ 69
2	小正月の行事
(1)	粟穂稗穂 ······ (2)小豆がゆ ······ 69
(3)	まゆ玉 ······ 70
(4)	なり木責め ······ (5)やぶ入り ······ 71
3	えびす講 ······ 4 節 分 ······ 71
5	2月の祭事
(1)	山の神祭り ······ 72
(2)	2月8日の目籠 ······ (3)針供養 ······ 73
(4)	初午 ······ (5)天神講 ······ 73
6	ひなまつり ······ 7 春の彼岸 ······ 74
8	お釈迦様祭り ······ 74
9	5月節供 ······ 10 七夕 ······ 75
11	お盆様
(1)	盆の用意 ······ (2)盆迎え ······ 76
(3)	盆棚 ······ (4)供え物 ······ 76
(5)	生き盆 ······ (6)盆送り ······ (7)精靈流し ······ 77
12	秋の行事
(1)	十五夜・十三夜 ······ (2)十日月夜 ······ 78
(3)	七・五・三 ······ 79
13	冬 至 ······ 79
14	歳 末
(1)	餅つきその他 ······ 79
(2)	大晦日 ······ 80
N	民 家
1	飯能市民家の概要
(1)	立地条件 <ア 境界と旧郡/イ 地勢と交通> ······ 83
(2)	民家の構造 <ア 入母屋造り/イ 切妻造り/ウ 寄棟造り> ······ 83
(3)	民家の地域性 <ア 庵と棟> ······ 84
2	民家の型式
(1)	間取りの型 ······ 84
(ア)	古四間取り/イ 三間取り広間型/ウ 四間取り/エ 四間取り裏部屋付木/オ 六間取り
(2)	部屋の呼び名 ······ 85
(ア)	土間/イ 土間寄りの前の部屋/ウ ザシキ裏の部屋/エ ザシキ横の部屋/オ テエ裏の部屋/カ 六間取りおよび六間取組形の客座敷
(3)	構造 <ア 柱配置と断面架構の基本形> ······ 86
(4)	民家の主な部分の解説 ······ 87
(ア)	棟 ①大棟 ②腰棟 ③箱棟 /イ 染/ウ 柄
3	明治期におけるある村落民家の実態
(1)	絵図の概要と村落の状況 ······ (2)方位と配置 ······ 88
(3)	生活必需物件 ······ 89
(ア)	湯屋/イ 火床/ウ 水屋/エ 収納場・味噌部屋/オ 飲料水等/カ 便所/キ 屋根の葦材
4	明治期における市街地の蔵造り
(1)	田口家 ······ 90
(2)	大河原家 ······ (3)町屋としての新井家 ······ 91
5	飯能市における古民家
(1)	加藤家 ······ 92
(2)	岡部家 ······ 93
(3)	岡野家 ······ 94
(4)	市川家 ······ 95
(5)	関口家 ······ (6)井上家 ······ 96

(7) 岩田家	(8) 朝日家	97		
(9) 宿谷家		98		
(10) 西村家	(11) 木崎家	99		
6 付				
(1) 屋根の葺材	(2) 壁について	100		
(3) 明治初年の飯能村		100		
V 食物				
1 主食				
(1) 麦の時代		103		
(2) 外来	(3) 稗	104		
(4) 小麦	(5) かて物	105		
(6) 米の収納	(7) 精米	106		
(8) 麦の収納	(9) 棒打ち	107		
2 その他の穀物		108		
3 野菜・根菜・その他	4 保存食	108		
5 食物調理の場				
(1) いろり	(2) かまど	109		
(3) むかしのお勝手道具		110		
6 食器具				
(1) 膳箱	(2) 弁当箱	111		
7 年中行事と食べもの		112		
8 もの日と日常の食べもの				
(1) 往時のもの日(ハレの日)の食事		112		
(2) ふだんの日の食事		112		
9 余禄・大食いの話		113		
VI 衣服				
1 はじめに		117		
2 衣服の原料		118		
3 ふだん着		119		
4 赤ん坊の衣服 その他				
(1) はだ着	(2) 中着	121		
(3) よだれかけ	(4) 襪	121		
(5) 赤ちゃん用のおくるみ		121		
(6) 赤ちゃん用の帽子	(7) 蚊帳と搖籃	121		
(8) 成長と衣服の大きさ		122		
ア 一ツ身/イ 三ツ身/ウ 四ツ身/本裁ち/オ 各特長				
5 祝い着ほか				
(1) 熨斗目		123		
(2) 七五三の祝い着	(3) 七歳女児祝い着	124		
(4) 被 布	(5) 成人の祝い着	124		
(6) 婚礼の衣服		124		
6 裹 服		125		
7 仕事着				
(1) 農 民		125		
(2) 職 人	(3) 商人	127		
(4) 山仕事		128		
8 防寒具				
(1) 二重回	(2) マント	129		
9 小学生の服装		129		
10 被りもの				
(1) よそ行き帽子<ソフト帽/ハンチング/山高帽子>		129		
(2) 夏物の帽子<麦わら帽子/カンカン帽子/ハサマ帽子>		130		
11 履きもの				
(1) 普段履き		130		
(2) 祝い履きとよそ行き		132		
12 雨 具				
(1) から傘	(2) こうもり傘	(3) 日傘	133	
13 夜 具				
(1) ふとん	(2) 枕	133		
(3) 蚊帳	(4) 寝巻	(5) どてら	134	
14 髪かたち				
(1) 丁髷	(2) 断髷	(3) 稚児髷	134	
(4) 桃割れ	(5) 島田髷	(6) 丸髷	135	
15 化 粧				
(1) 紅	(2) 白粉	(3) 石けん	(4) お歯黒	136
16 装身具				
(1) 煙草入れ	(2) 金銀時計	(3) 金銀のキセル	136	
(4) 柳	(5) 筍	(6) 簪	(7) リボン	137
(8) 手 絡	(9) 帯どめ		137	
VII 社会生活				
1 村の生活の実相				
(1) 村の区域		141		
(2) 村 組		142		
(3) 共有財産	(4) 若者組から青年団へ	143		
2 儉約令から生活改善運動まで				
(1) 儉約令	(2) 五人組	144		
(3) 節儉申合せ		145		
ア 小久保村聯合内/イ 双柳村聯合規約/ウ 原市楊村生活改善申合規約				
(4) 自力更生指定村東吾野村		149		
(5) 戦時下の生活		149		
3 原市場の青年矯風会		150		
4 地域社会とのかかわり合い		151		
VIII 人の一生				
1 出産				
(1) 出産まで	(2) 助産婦	(3) 産室	(4) 後産	155
(5) へその緒	(6) 産見舞い		156	
(7) お七夜	(8) お宮参り		156	
2 食い初め				
(1) 食い初め等	(2) 七五三		157	
3 青年期		158		
4 結 婚				
(1) 縁 談		159		
(2) 結納・口固め		160		
(3) 結納の型	(4) 結納後		162	
(5) 結婚式		162		
ア 嫁迎/イ 嫁がたくさん歩いた例/ウ 花嫁衣装/エ 嫁入り道具/				
オ 嫁の乗り物 作文-嫁入り行列/カ 組合の協力/キ 嫁ご到着/				
ク 着座して(祝儀の席の進め方の例)				
(6) 結婚式後<ア 嫁の顔見せ/イ 嫁入り道具拌見/ウ 里帰り以後>		169		
5 嫁と姑 (思い出話)		171		
6 厄年	7 ひのえうま等	172		
8 葬 儀				
(1) ひと		172		
(2) 北まくら	(3) まくら団子		173	
(4) 四十九だんご		173		
(5) 葬具	(6) 納棺		173	
(7) 通夜	(8) 葬儀		174	
(9) 葬列		175		
(10) 墓地にて		176		
(11) 墓払い	(12) 葬式のあと		177	
(13) 忌明け	その後		178	
X 交 易				
1 行 商				
(1) せんきん丹売り	(2) 置き薬屋		181	
(3) 毒消売り	(4) 山椒魚売り	(5) こんぶ売り	181	
(6) わかめ売り	(7) ヨカヨカ飴屋		182	
(8) ぶっかき飴屋	(9) 小間物屋		182	
(10) おきぬさん	(11) その他<ア 髪女/イ 万才>		182	
2 店売り・仲買い・出買い				
(1) 山間部の店売り		183		
(2) 平野部の店売り	(3) 都市部の店売り		184	
(4) 山間部の仲買い	(5) 平野部の仲買い		185	
(6) 都市部の仲買い		186		
(7) その後の繩の出荷方式		186		
3 市 (いち)				
(1) 山間部の市		186		
(2) 都市部の市	(3) 飯能五・十の市		188	
XI 信 仰				
1 講				
(1) 講とは		193		
(2) 代參講		193		
ア 太太神樂/イ 大山講/ウ 大山講と燈籠/エ 現代版御嶽講				

(3)代参講以外の講	196
ア 錫岳講/イ おしら講/ウ お精進/エ 太子講/オ 烂びす講/	
カ いなり講 ①大人のいなり講 ②子供のいなり講/キ 天神講/ク 二十三夜待(講)	
ケ 三日月信仰/コ 念仏講/サ お申講/シ 火伏せの神	
2 民間信仰・慣習	
(1)厄除け	201
(2)六三除け	201
ア 大酉ノブ氏の話/ イ 築茂新蔵氏の話/ ウ 関根吉市氏の話	
(3)金神	203
(4)土公神	203
(5)鬼門	203
(6)水神・井戸神	203
3 祈願・共同祈願	
(1)雨乞い	204
(2)庚申信仰	205
XII 芸能・娯楽・遊戯	
1 獅子舞	
(1)獅子舞とは・(2)諏訪八幡神社の獅子舞	209
(3)浅間神社の獅子舞	210
(4)三輪神社の獅子舞	211
(5)喜多川神社の獅子舞	212
(6)花桐の獅子舞	213
(7)我野神社の獅子舞	213
(8)阿寺の獅子舞	215
2 獅子舞の種目一覧	215
3 獅子舞の行列一覧	215
4 獅子舞の歌	216
5 高山の太々お神楽	218
6 阿寺諏訪神社の神楽	219
7 下畠の回り獅子	220
8 石原の獅子	221
9 西川古柳の車人形	222
10 片瀬人形	223
11 西光寺の浅草流念佛	224
12 大光寺の双盤鉢	224
13 囃子	
(1)一丁目のはやし・(2)二丁目のはやし	225
(3)三丁目のはやし・(4)河原町のはやし	226
(5)宮本町のはやし	226
(6)原町のはやし・(7)中山のはやし	227
(8)前だのはやし・(9)柳原のはやし	227
(10)双柳のはやし・(11)下畠のはやし	228
(12)上畠のはやし	228
(13)直竹のはやし・(14)間野のはやし	229
(15)中藤のはやし	229
(16)板石町分のはやし	230
14 童謡・民謡	
(1)わらべ歌	230
ア まりつき歌/イ 羽子つき歌/ウ お手玉歌/エ 蜜とり/オ お月様いくつ/	
カ しりとり歌	
(2)作業歌	236
ア いかだ歌/イ 木挽き歌/ウ 機織り歌/エ 妻打歌/オ 田刈歌/	
カ うすひき歌/キ 茶もみ歌/ク どう突き歌	
XIII 民俗の知恵	
1 予兆	243
2 禁忌	243
3 まじない	244
4 民間療法	245
調査協力者一覧表	247
あとがき	249
編さん関係者氏名	250
昭和58年3月1日発行 飯能市	

資料039 『東松山市史』民俗編

昭和58年7月

目次

第一章 概観

第一節 生活の舞台

1 東松山市の自然	1
-----------	---

2 東松山市の略沿革	2
3 江戸末期のようす	4
4 明治期のようす	8
5 大正期のようす	16

第二節 民俗

1 社会生活	21
2 生産と生業	21
3 交易と交通	22
4 衣・食・住	23
5 人の人生	24
6 祭りと信仰	25
7 年中行事	26
8 民俗芸能	27
9 伝説	30
10 付編(町村誌抜粋)	31

第二章 社会生活	
第一節 むらの社会生活	
1 行政区の変遷	33
2 むら社会のしくみ	36
3 モヨリとリングミ	37
4 むらの運営	39
5 むらの共同作業	39
6 むらの寄り合い	41
7 むらの休み日	42

第二節 家と付き合い	
1 家	43
家族と相続/分家/家柄/屋号と家例	
2 家のつきあい	47
両隣/本家分家のつきあい/組の付き合い/仕事によるつきあい/ぼたもち親戚	

第三節 町場の社会生活	49
地域の概況/町内会の組織と運営/隣組のつきあい	

第三章 生産と生業	
第一節 田と畠	

1 田	53
田の種類/水利/稻作/いぐさの栽培/琉球の栽培	
2 畑	70
麦作/木綿の栽培/養蚕/甘藷の栽培/ゆりの栽培	
3 農家のくらし	80
堆肥づくり/山仕事/水車	

第二節 漁撈	
1 魚の種類	85
2 渔法	86
3 魚取りの名人	89
4 溜池での魚取り	90

第三節 諸職	91
鍛冶屋/籠屋/桶屋/唐臼屋/屋根屋/菓子屋/鳶	

第四章 交通と交易	
第一節 交易	

1 町なみ<本町の町なみ>	101
2 市と交易	105
五・十の市/その他の市/高市	
3 松山町の店	113
穀屋/吳服屋/材木屋/荒物屋/下駄屋/綿屋/足袋屋/糸繭商/荷鞍屋などの話	
4 村々の店	128
雑貨屋/菓子屋/豆腐屋/酒屋/醤油屋などの話	
5 行商	137
定斎屋・毒消売り・マムシ屋・飴屋・朝鮮飴屋・ヨカヨカ飴屋・オシンコ屋・チヂミ屋・際物売り・魚屋・キノコ売り・ワカメ売り・氷屋・苗木屋・種木屋・ヨミウリ・	

イカケ屋・トギ屋・ラオ屋・下駄の歯スグ		
第二節 運搬と道路		
1 運 搬 ······	140	
馬と荷車／馬力と立場／乗合馬車と人力車 ／馬喰のはなし		
2 主要道 ······	149	
川越・熊谷道／鴻巣・小川道／八王子・ 日光道／秩父道		
3 村々の道 ······	154	
川岸道／観音道／秋葉道／殿様街道		
4 道 標 ······	156	
第三節 舟運と河川		
1 早俣河岸と舟運 ······	162	
<早俣河岸と問屋／舟運と船乗り／船造りと船下し>		
2 渡船と橋 ······	166	
3 都幾川と越辺川の筏流し ······	171	
<筏流し／筏乗りの服装や食物／筏乗りの信仰>		
4 主な河川 ······	174	
都幾川と越辺川／その他の河川		
5 洪 水 ······	182	
第五章 衣・食・住		
第一節 衣生活		
1 衣の心 ······	189	
1 東松山地方のお針の先生 ······	190	
松山の田中まつさん／田中まつさんのお弟子 の話／東平の柳沢せいさん／古凍の中山なべ さん／川越仲町の大塚ていさん		
第二節 食生活		
1 食事と食物 ······	200	
2 日常の食べ物 ······	201	
3 ハレの日の食べ物 ······	203	
4 味噌と醤油 ······	206	
5 保存食 ······	207	
6 水と酒 ······	207	
第三節 住		
1 屋敷構え ······	206	
2 母屋と生活 ······	211	
3 付属建物 ······	215	
4 井 戸 ······	216	
5 照明具 ······	217	
第六章 人の人生		
第一節 産育と通過儀礼		
1 妊娠と安産祈願 <妊娠／腹帶祝い／安産祈願／妊娠中の禁忌>	219	
2 出産 <産室／産褥／ウタテの飯／ヘソの緒／後産／ウブ／産見舞い／ 産婦の食事／衣服と休養>	221	
3 生児儀礼 <オシチャ(お七夜)／セッキンマイ(お宮参り)／オクイゾメ／ ユミハマ(初節供)／初山参り／初誕生>	224	
4 育児 ······	227	
<育児とまじない／オニコウ／厄子／四十二の恥かきっ子／四十二の二っ子／四十二 カカリゴ／四十八の恥かきっ子／子守り／三ツ身の祝い／五つの祝い／オビトキ>		
5 成人 <-入前／若衆遊び／厄年／還暦祝い／吹き竹の祝い／米寿の祝い>	231	
第二節 婚 姻		
1 結婚の条件 <年まり／相性と方角／縁談／見合い／恋愛／仲人／クチ ヰメ／結納／アシレ>	232	
2 婚礼 <道具送り／クレショウギ／出家式／入家式／貢い祝儀／初節供>	234	
第三節 葬 制		
1 死靈 <マツゴの前後／マツゴの水／死の直後／神棚かくし／枕団子／枕飯／シラ セ／テラズカイ／ツカイバシリ／葬式組／ハヤモノ／カガリダンゴ／カッテバラキ／ 通夜／湯瀬／納棺／道中錢／カクシガネ／枕／キヨウカタビラ／底なし足袋／頭巾袋／ ツリボウシ／位牌かけ／僧鉢かぶせ／アンビンモチ／トモライモチ／祭壇>	237	
2 葬送 <タイヤク／出棺前／出棺／野辺送り／ニワトモライ／葬葬と帰りの作法 ／喪家への贈り物／カガゼガキ>	243	
3 忌み明けと年忌 <ショナカ／ブカケ／アラボン／年回忌>	246	
第七章 祭りと信仰		
第一節 鎮守と祭り		
1 むらと鎮守 ······	249	
2 鎮守さまの祭り <大岡地区的鎮守さま／願いごと／あげもの／お下り		
/横の木/雷電山/とうろう/とうろう絵/祭りの日/春日待と秋日待/初聴あげ/大 谷の仕祭典/雷さま>	249	
3 松山の天王様 <八雲神社の祭典/祭りの主催者/祭りの場所/祭りの準備/ 祭りのかたち/祭りの係り/御輿の担ぎ手/祭りの服装/子供みこし/屋台/祭り を支える人々>	254	
第二節 モヨリで祭る神仏	257	
第三節 町場の祭りと信仰	<初祭/下沼の弁天様/己の晩/お祭 迦(大祓)いと人形流し/お駕馳様/ヤクジンサマ/金勢様/下寺のお地蔵様/元宿の お地蔵様と庚申様/山王様/八幡様の祭り/お酉様/關魔様/清正公様/神明様/愛宕 様/太子様/千子福荷/おどんきょ様/椿地蔵/愛宕様>	258
第四節 水神信仰	<九頭龍さま/水神さま/弁財天>	266
第五節 村祈とう	<春祈とう/オシッサマ(お獅子様)/平心講(オシッサマ) 大般若/フセギ/ナンマイダンボ>	269
第六節 いろいろな講	<鎮守講/念佛講/八幡講/甲子講/觀音講/太子講/ 天神講/九頭龍講/その他/代參講(棲名講/石尊講/伊勢講)>	272
第七節 共同祈願	<雨乞い/虫送り>	279
第八章 年中行事		
第一節 正月行事		
1 正月の準備 ······	281	
<門松迎え/神棚かざり/年神飾り/正月餅/カマジメ/スマハライ>		
2 大晦日 <ミソカッパライ/ミソカソバ/大晦日の晩>	284	
3 大正月 ······	284	
<正月の供物と家例/トシオトコ/元旦/三箇所の食事/ワカミズ/オタキアゲ/ 仕事始め/三日とろろ/四日おじや/寺年始/嚴様年始/山入り/オタナサガシ /七草がゆ/クリイ/クラビラキ/鏡開き/あさづけ/お鏡なおし/正月送り>		
4 小正月 ······	289	
<モノツクリ/マコエダンゴ/モメンバナ/ナルキゼメ/アズキガユ/粥占い>		
5 その他の正月行事 ······	292	
<書き初め/初湯/初荷/ネンシまわり/ヤブイリ/男遊び/女遊び/正月の子供遊び /仏の正月/十八日ガユ/不幸のあった家の正月>		
第二節 春から夏の行事		
1 一月の行事 <二十日正月/エビス講/天神様>	294	
2 二月の行事 <ジロウ/ツイタチ/節分/焼きかがし/福茶/福豆/コト 八日/針供養/觀音講>	295	
3 三月・四月の行事 ······	298	
<初午/スミツカリ/春の彼岸/ひな祭り/フセギ/春祈願>		
4 五月の行事 ······	300	
<花まつりと虫除け祝い/五月の節供/菖蒲節供/稚稚子祝い>		
5 六月・七月の行事 <オバライ/ケツアブリ正月/タコトマンジュ ウ/初山参り/夏祭り/土用の丑の日/虫送り>	302	
6 八月の行事 <たなばた/髪洗い>	304	
第三節 盆		
1 盆の準備 <盆益/盆掃除/盆桶洗い/盆花迎え/盆櫛飾り/新盆>	306	
2 盆行事 <迎え盆/迎え火/供え物/送り火/送り盆>	307	
3 その他の盆行事 <タナマイリ/仏の野廻り/朝草刈り/タナギョウ/ セギ/盆の十六日/待ポン>	309	
第四節 秋から冬の行事		
1 九月の行事 <ショウガセック/十五夜/二百十日>	311	
2 十月の行事 <十三夜/オクエンチ/お日待ち/素師様/お十夜>	311	
3 十一月の行事 ······	313	
<十日夜/秋のエビス講/オカマサマ祭り/帯解き>		
4 十二月の行事 ······	316	
<カバビリ/ヨウカセック/ダイシ講/大島様/冬至>		
第九章 民俗芸能		
第一節 神 樂		
1 下唐子・川辺の神楽 <大吉坊さんの神楽/川辺の神楽>	317	
2 古凍の神楽 ······	319	
<舞台を淨める翁舞/面白い半神代/岩戸開き/オロチ退治/權兵衛の種まき>		
3 正代の神楽 <三番叟の舞/エビスと大黒の魚とり>	322	
4 箭弓神社の神楽 ······	323	
<箭弓さまの神楽殿/村方の神楽をよぶ/奉納された神楽面/國貞の絵>		
第二節 獅子舞		
1 野田の獅子舞 <悪魔払いの獅子頭/太右吉門さんの笛>	326	
2 宮鼻の獅子舞 <山のねぐにさん>	328	
3 上野本の獅子舞 ······	329	

<獅子舞を見る/地元の人と共に/嚴粛な棒使い/大きな万灯>	
4	下唐子の獅子舞 <獅子舞の行列/獅子舞の構成(一)(二)> ······ 333
5	西本宿の獅子舞 <富士渡間/獅子が狂う/扇子でおぐ> ······ 339
6	上唐子の獅子舞 <笛のしらべ> ······ 341
7	神戸の獅子舞 <雨乞い獅子/鞍掛道にすり込む/祈りの雨乞い唄> 343
8	大谷と下岡の獅子舞 <書かれた文字/さら道> ······ 344
9	東平新田の獅子舞 <なか道化> ······ 346
第三節 祭ばやし	
1	古凍の祭ばやし <小見野から習う/屋台の踊り> ······ 347
2	正代の祭ばやし ······ 349 <行テケ/オイテケ/ヤッテケ/通り祭り/屋台の踊り>
3	箭弓町と松葉町の祭ばやし ······ 351 <屋台の新調/子供ばやし>
4	屋台のヒックワセ ······ 352
第四節 万作	
1	柏崎の万作 ······ 353 <踊りと歌/はじめに錢輪さんば/とのさ節を万作に>
2	毛塚の万作 <薬師堂で習う/新川踊り他> ······ 356
第五節 盆踊り	
1	盆踊り ······ 358
2	下唐子の盆踊り ······ 359
3	盆踊りと原留さん ······ 360
第六節 傘踊り	
1	神明町の傘踊り ······ 362 <繕りの仲間/音頭取りの加藤さん/新田のオハネ>
2	上野本の傘踊り ······ 365 <シッショイバツが十三歳/幕間の手踊り>
3	大谷の傘踊り <山本達> ······ 366
4	新作の八木節 <高坂村々ぐくし> ······ 367
第七節 チョボクレ	
	喜十さんのチョボクレ
	岩治さんと実さんのショボクレ
第八節 地芝居	
1	田木の地芝居 <今に残る幕/聞書> ······ 371
第九節 餅搗き踊り	
1	金谷の餅搗き踊り ······ 374 <餅搗き踊りの種類/餅搗き踊りの基本/金谷の餅搗き唄>
2	東平のひきづり餅 <腰やかなモヤイ搗き/ひきづり餅> ··· 377
第十節 人形芝居	
1	東平の人形芝居 ······ 377 <東平人形芝居の起り/四里四方に興業/阿古屋の人形>
第十一節 相撲	
1	大谷のぼたもち相撲 ······ 381 <大豊神社の祭礼相撲/豊作を喜ぶ祭礼相撲/大豊神社の雨乞い/山あいの相撲場>
2	八幡講相撲 ······ 383 <八幡講の力士たち/八幡幣で土俵開き/土俵じまい>
第十二節 梯子乗り	
1	勇み肌の芸 <梯子乗りの型> ······ 385
第十三節 民謡	
1	土手普請唄 <いろいろな土手普請唄> ······ 386
2	麦打唄 <ヤセ//リオセ> ······ 394
3	酒づくりの唄 <いろいろな酒づくりの唄> ······ 395
4	木やり唄 <祝いの席で> ······ 400
5	屋移し唄 <ヨトコ/巻いて> ······ 400
6	保線の唄 <ベタ搗き唄> ······ 403
7	わらべ唄 <山の山のオクニさん/まりつき唄> ······ 404
伝説編	
1	市ノ川の室戸岩のいわれ ······ 409
2	田村麿将軍の惡龍退治 ······ 410
3	弘法大師の願い井 ······ 412
4	高濟寺の蓮のお曼茶羅 ······ 414
5	岩殿山と比企能本 ······ 416
6	若狭局と比企禅尼 ······ 419
7	鈴木三郎重家と鈴留川 ······ 421
8	勝利地蔵と洪水 ······ 423
9	高坂氏息女の悲恋物語 ······ 425
10	松山城落城と龍の枕石 ······ 426
11	松山の女沼男沼の由来 ······ 427
12	八百比丘尼東崎山に来たる ······ 428
13	おさづけ沼の話 ······ 429
14	黒髪塚の由来 ······ 431
15	本海行人の入定談 ······ 432
16	雷電山の山姫様 ······ 434
17	秋葉神社のご神徳 ······ 435
18	越辺川若ヶ渕の悲話 ······ 437
19	岩殿觀音の抜け絵馬 ······ 438
20	安曇昌成二本松経塚 ······ 439
21	白山神社の縁起 ······ 440
22	永福寺に伝えられた河童の詫証文 ······ 441
23	河童地蔵 ······ 443
24	下沼の巡礼坂のいわれ ······ 443
25	箭弓神社錢絵馬(めとゑ)の由来 ······ 444
26	下唐子の夜泣き松 ······ 445
27	金谷の一本松にまつわる悲話 ······ 446
28	袖曳坂の怪 ······ 29 ざる坂のいわれ ······ 447
30	徳利坂の由来 ······ 31 狐に化かされた話 ······ 448
32	万五郎稻荷の狐に化かされた話 ······ 449
33	おとうかっ火 ······ 449
34	大日堂の怪談 ······ 450
35	神かくしにあった男の話 ······ 451
36	お力さん ······ 452
37	だいりぼっち ······ 453
38	くずるが橋のいわれ ······ 454
39	ざきっこ婆さん ······ 40 乞食谷のいわれ ······ 454
41	たたった蟹と蛇 ······ 42 落人穴の由来 ······ 455
43	蛇娘 ······ 44 利仁神社の枕石 ······ 456
45	雪女郎 ······ 457
46	等覚院の阿弥陀さまの縁起 ······ 458
付編 町村誌抜萃(明治末期～昭和初期)	
	松山町誌抜萃 ······ 461
	唐子村郷土誌抜萃 ······ 470
	高坂村郷土誌抜萃 ······ 473
	野本村誌抜萃 ······ 482
話者・資料提供・協力者一覧 ······ 501	
昭和58年7月25日発行	
東松山市	

次号に向けて

目論みの前提としての「章立て」という資料を紹介するために紙幅を相当費やした。次号も手元のフロッピーを見ると相当ページが章立てという事例の提示に費やされる予定である。自治体刊行の民俗編についても、これだけのエネルギーを消費しての成果であるから、この県内市町村で繰り広げられてきた「民俗編刊行」という名の風潮の功罪についても、一度はまとまった論議をしてもいい時期だと思っている。もう、すでに県内の自治体発行の民俗資料あるいは民俗編のありようが、いうなれば調査あるいは研究の対象となっているわけだ。「民俗編」というものがどんなものなのか、という合意形成が暗黙のうちにあるにせよ、そろそろ、その暗黙の合意の内容についても考えていくことが必要なのかも知れない。私たちが繰り返してきた徒党（気の合う調査仲間、信頼し合える調査仲間のこと）を組んでの民俗調査と民俗編（資料）刊行は、ムラの伝統あるいはマチの伝統をある概念で捕捉し、近隣市町村との差異を探しながら、今日（現代）と少し昔（過去）との暮らしのあり方についても、その差異を細かに、そして見つけたら最大限にシルシヅけて、伝統の素晴らしさ（民俗文化の重要性）を訴えながら、膨大な資料を積み上げてきた。問うてみたいことは、私たちの用意した概念や実際に調査上の規制とか制約、調査の方法、調査員（あるいは調査団）の依頼方法、執筆までの調査刊行日程、調査予算のありかた、までを含めた総合的なことがらとなるのでは、と思っている。

なお、本報告ではできるだけ遺漏のないように資料を集めていく方針だが、気づかないような資料がそれぞれの市町村にあれば、何卒ご教示を賜りたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

ところで、最後になるが『民俗編』というかなり厚めの本は、刊行されたときにはそれなりに歓迎されて購入されるという現象を筆者が入間市史の編纂の過程で体験したことがある。身近なことがらが記されているからだとか、なつかしさのあまり購入したとか、話者となって協力した人たちが自分がしゃべったことがらが書かれているからだとか、掲載された古い祭りの写真に若いころの父親が写っているとか、『中世編』とか『近世編』とかがあまりにつまらないし解りにくいからだとか、民俗編が売れる理由は諸説紛々ということになっていた。ようするに民俗編にはいろいろな過去と現在の多様な生活実相が、バランスよく配備されていて、市民の多くが納得のいく態勢をとっているからだと思われているからである。これって民俗編への幻想でしかない。けれども、私自身の経験からだが、「民俗編は身近な市民の経験を載せるのだから、一定程度は売れるんです」なんてことをせっかく刊行したのに在庫の山になっては大変だという悩みを持つ担当者に向かって安心の呪文のように唱えたことがあるぐらいだから、民俗編は割りと売れるという感覚をいつのまにか持っているのも事実である。ノスタルジックをセールスポイントにして売れているからといつても、良書ということではないけれど、他と比較して卖れているというのも紛れもない事実なのである。そこで、次に気になるのは『民俗編』を読むいわゆる読者層のことである。私たちが『民俗編』を見るとき文字どおり「民俗の事例集」として眺めているだけで、飛ばし読みしかないから、味わって読むような熱心なことはしない。そうなると、熱心な民俗編の読者という存在が気になっ

てくる。ただ、これまでの経験では、近隣市町村が刊行する『民俗編』を集めて読むような熱心な読者とはついぞ会ったことはないから、本当はいないのかも知れない。民俗編の購買層の存在が相気になるのである。

再び、入間市で筆者が経験したように、割りと気まぐれで購入した人たちから、その後にもっと詳しく民俗調査を実施し、市内の民俗の記述を充実させろといった意見は出てこない。このページの記述が面白かったというような読書カードが寄せられることもない。また、あの厚い市町村史の『民俗編』の存在が、いわば定本となり、決定版となってしまい、新たな問題意識を民俗調査員が持ち込もうとしても、「もう、私たちの町ではあの立派な民俗編ができあがったのだから、もう調査なんていらないのでは、第一に予算だってできませんよ」ということになる。今後はあの煩わしい民俗調査を経験しなくてもいい、という証明にあの厚い本は自治体にとって必要だったわけである。

自治体にとって、次の開発行為に進むために、いわば「過去の文化も大切に」というキャッチコピーをかざしながら、振り返り行為のピリオドとしての民俗編というふうに思っておけばいいのでは、と思う。民俗編を刊行することによって、自治体に暮らす人たちのアイデンティティーが醸成されたと理解し、幕を閉じるのである。要するに民俗編は結局は政治的な営みであって、読者がいよいに書くことを許される媒体でありつづけたというのも、その辺にありそうだと思うのである。